

福生市高齢者・障害者生活実態調査  
報 告 書

平成26年3月

福 生 市

# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	3
2. 調査の種類 .....	3
3. 調査方法と回収状況 .....	3
4. 調査項目 .....	3
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	4
<b>第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細</b> .....	5
1. 基本属性 .....	7
(1) 年齢 .....	7
(2) 性別 .....	7
(3) 住まい .....	8
(4) 要介護度 .....	9
2. 生活の状況 .....	10
(1) 現在の居場所 .....	10
(2) 記入者 .....	11
(3) 家族構成 .....	12
(4) 同居人数 .....	12
(5) 同居者の続柄 .....	13
(6) 日中独居の状況 .....	14
(7) 介護・介助の必要性 .....	15
(8) 主な介護者の続柄 .....	15
(9) 主な介護者の年齢 .....	16
(10) 1日の介護時間 .....	17
(11) 今後望ましい本人の生活場所 .....	17
(12) 介護をしていく上での問題点 .....	18
(13) 介護・介助が必要になった主なきっかけ .....	19
(14) 年金の種類 .....	21
(15) 経済的な暮らしの状況 .....	22
3. 住まいについて .....	23
(1) 居住地区 .....	23
(2) 2階以上の生活場所の状況 .....	26
(3) エレベーターの設置状況 .....	27
4. 運動や外出について .....	28
(1) 運動や外出 .....	28
(2) 外出を控えている理由 .....	31
(3) 外出する頻度 .....	32
(4) 外出する際の移動手段 .....	33

5. 転倒について	35
(1) 転倒の不安や歩行速度等	35
6. 口腔・栄養について	37
(1) 身長と体重	37
(2) 口腔・栄養の状況	38
(3) 1日の食事回数	41
(4) 欠食の頻度	41
(5) 食事をともにする機会の有無	42
(6) 食事をともにする機会がある方の続柄	42
7. 物忘れについて	44
(1) もの忘れ	44
(2) 活動の判断能力	46
(3) 意思伝達能力	46
8. 日常生活について	47
(1) 日常生活のさまざまな行動について	47
9. 健康づくり、医療と介護予防について	57
(1) 主観的健康感	57
(2) 治療中の病気の種類	58
(3) かかりつけ医の有無	60
(4) 健康診査の受診状況	60
(5) 処方薬の種類	61
(6) 通院状況	61
(7) 飲酒頻度	63
(8) 喫煙状況	63
(9) こころの状況	64
10. 社会参加と日ごろの活動について	66
(1) 社会参加と日ごろの活動	66
(2) 地域活動の参加頻度	70
(3) 地域活動の未参加理由	73
(4) 社会参加活動や仕事の頻度	75
(5) たすけあいの状況	77
(6) 相談相手	81
(7) 友人関係	81
11. 介護保険について	84
(1) 居宅サービスの利用状況	84
(2) 介護サービスと介護保険料に対する考え	86
(3) 介護保険料の家計負担感	87
(4) 介護保険サービス全般の満足度	88
(5) 介護保険サービスの充実に必要なこと	88
(6) ケアプラン作成にあたっての説明状況	89

(7) 介護サービス事業者の評価	89
(8) サービスに不満や苦情がある場合の訴え先	90
(9) サービスに不満や苦情がある場合に訴えなかった理由	90
12. 高齢者施策について	91
(1) 高齢者福祉の在宅サービスの利用希望	91
(2) 高齢者福祉の充実のために必要なこと	93

### 第3章 障害者生活実態調査結果の詳細 95

1. 基本属性	97
(1) 年齢	97
(2) 性別	97
(3) 家族構成	98
(4) 愛の手帳の有無、度数	99
(5) 精神保健福祉手帳の有無、等級	100
(6) 身体障害者手帳の有無、等級	101
(7) 障害の種類	102
(8) 自立支援医療費助成を受けているか	102
(9) 具合が悪くなった年齢	102
2. 生活の状況	103
(1) 現在の居場所	103
(2) 記入者	104
(3) 同居人数	105
(4) 同居者の続柄	106
(5) 居住年数	107
(6) 医療券の有無	107
(7) 障害の種類と難病の内容	108
(8) 疾病のために医療を受けている状況	109
(9) 初めて具合が悪くなった年齢	109
(10) 病名	110
(11) 発達障害がわかったきっかけ	110
3. 日常生活について	111
(1) 家の中の動作	111
(2) 主な介助者	113
(3) 主な介助者の年齢	113
(4) 主な介助者の健康状態	114
(5) 主な介助者の就労状況	114
(6) 買い物や趣味、遊び、散歩などのための外出状況	115
(7) 外出時に最も多い移動方法	115
(8) 外出の回数	116
(9) 外出する時の主な介助者	116

(10) 外出しない理由	117
(11) 外出について	118
(12) 部屋の掃除や整理整頓の状況	122
(13) 衣類の洗濯の状況	122
(14) 日常の買い物の状況	123
(15) 食事の支度等の状況	123
(16) 通院の状況	124
(17) お金の管理の状況	124
(18) 服薬の管理の状況	125
(19) 平日（月～金）の昼間の過ごし方	125
(20) 日曜日や休日の過ごし方	126
(21) 今、特にしたいと思っていること	126
(22) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じたこと	127
(23) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じた内容	127
4. 健康・医療について	128
(1) 現在お医者さんにかかっているか	128
(2) ひと月の通院または往診の回数	129
(3) かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）の有無	130
(4) 医療について困っていること、要望	130
(5) 身体機能低下の防止や機能向上のための機能訓練の状況	131
(6) 機能訓練を受けている機関	131
(7) 市で実施している健康診断の受診の有無	132
(8) 受けていない主な理由	133
(9) 市で実施しているがん検診の受診状況	134
(10) 受けていない主な理由	135
(11) 市の健康相談、電話相談利用の有無	136
(12) 利用したことがない理由	137
(13) 病院のケースワーカーへの相談	138
(14) 市役所利用の有無	138
(15) 市役所、保健所の利用の内容	139
(16) 市役所や保健所などで必要な情報	139
5. 就労について	140
(1) 現在の就労状況	140
(2) 現在の就労形態	141
(3) 働くのをやめたい、働く予定がない、働けない主な理由	142
6. 収入について	143
(1) 家庭の収入	143
(2) 障害年金受給の有無と等級	145
(3) 1か月の収入	145
(4) 収入による生活費の過不足	146

(5) 支出の中で最も割合の多いもの	146
(6) 今後の生活費の考え方	147
(7) 家族の暮らしを支えている人	147
(8) 家族の生活費をまかなっている主な収入	148
7. 社会参加と日ごろの活動について	148
(1) 地域や各種団体への加入状況、団体が行う行事や事業への参加状況	148
(2) 加入、参加している団体	149
(3) 加入、参加していない主な理由	150
(4) 楽しみや生きがい	151
(5) 今後やってみたいこと	152
(6) 昼間、通っている場所	153
8. 住まいについて	154
(1) 住居形態	154
(2) 持ち家・賃貸等	155
(3) 今後、望んでいる暮らし方	156
(4) 今後暮らしたい場所	156
(5) 住まいを探した経験	157
(6) 住まいを探した時に困ったこと	157
(7) 住まいを探した時に不安に思ったこと	158
(8) 現在、住まいで困っていること	159
(9) 「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修	160
9. 障害者福祉サービスについて	161
(1) 障害程度区分の認定状況	161
(2) 居宅介護（ホームヘルプ）の認知状況	162
(3) 居宅介護（ホームヘルプ）の利用の有無	163
(4) 利用頻度	164
(5) 1回当たりの平均利用時間	164
(6) 居宅介護提供事務所の今後の変更意向	165
(7) 利用している居宅サービスの内容	165
(8) 今後の居宅サービス利用意向	166
(9) 利用したいサービスの内容	166
(10) ショートステイの認知状況	167
(11) 短期入所（ショートステイ）の利用の有無	168
(12) 1年間のショートステイの利用回数	169
(13) ショートステイの平均利用日数（1回当たり）	170
(14) ショートステイの提供事務所の今後の変更意向	171
(15) 施設の利用状況	171
(16) 現在利用しているサービス	172
(17) 利用を始めてからの期間	172
(18) 現在の通所先は何か所目にあたるか	173

(19)	サービス提供事務所の今後の変更意向	173
(20)	障害者総合支援制度全般について、現在利用しているサービス量の過不足	174
(21)	現在、利用しているサービス提供事業者の満足度	174
(22)	現在支払っているサービス利用料の負担感	175
10.	在宅でサービスを利用している方の今後の利用意向	176
(1)	今後のサービスの利用意向	176
(2)	施設でのサービスに変更する際の不安	176
11.	施設でサービスを利用している方の今後の利用意向	177
(1)	今後のサービスの利用意向	177
(2)	在宅でのサービスに変更する際の不安	177
12.	その他の福祉サービスについて	178
(1)	「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」の認知状況	178
(2)	サービス申し込みの手続きを自力で可能かどうか	179
(3)	本人や介助者が生活上の悩みや困ったことを相談する先	180
(4)	市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することを知る手段	182
(5)	今後、市に期待すること	183
(6)	「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要なこと	185
13.	災害時の対応について	186
(1)	災害時、受診や診療を受けられない場合に健康上困ることの有無	186
(2)	受診や治療を受けられない場合に困る理由	186
(3)	災害発生時に心身の健康面や生活面で困ること	187
(4)	災害発生時の自力で避難の可否	187
(5)	災害発生に伴う避難時に、身近に手助けをしてくれる人の有無	188
(6)	避難時に身近に助けをしてくれる人	189
(7)	手助けがない、どちらともいえない理由	189
(8)	家庭で緊急時の対応策として準備していること	190
(9)	「災害時要援護者登録制度」の認知及び登録状況	191
(10)	ヘルプカードの利用意向	192
(11)	利用したい理由	193
(12)	利用したくない理由	194





# 第 1 章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

本調査は、平成26年度に実施する介護保険事業計画及び障害福祉計画の見直しに向け、高齢者・障害者の生活実態及び福祉施策に対する要望等を把握するため、実施した。

## 2. 調査の種類

調査の種類		調査対象	対象者数
高齢者	非認定～要介護2	65歳以上の市民	1,996人
		要支援1～要介護2の市民	919人
	要介護3以上	要介護3以上の市民	457人
障害者	身体・知的障害者 難病患者	身体障害者手帳を交付されている市民 愛の手帳を交付されている市民 難病に罹患されている市民	1,706人
	精神障害者	精神・神経科の医療機関に入院・通院されている市民 福祉施設を利用されている市民 市内のグループホームで生活されている市民	192人

## 3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配布－郵送回収法（調査期間中に礼状兼督促はがきを1回送付）

調査期間：平成25年11月12日（火）～11月30日（土）

回収状況：下表のとおり

調査の種類		配布数	有効回収数	有効回収率
高齢者	非認定～要介護2	2,915件	1,882件	64.6%
	要介護3以上	457件	207件	45.3%
障害者	身体・知的障害者 難病患者	1,706件	894件	52.4%
	精神疾患患者	192件	90件	46.9%

## 4. 調査項目

高齢者生活実態調査	障害者生活実態調査
1. 基本属性	1. 基本属性
2. 生活の状況	2. 生活の状況
3. 住まいについて	3. 日常生活について
4. 運動や外出について	4. 健康・医療について
5. 転倒について	5. 就労について
6. 口腔・栄養について	6. 収入について
7. 物忘れについて	7. 社会参加と日ごろの活動について
8. 日常生活について	8. 住まいについて
9. 健康づくり、医療と介護予防について	9. 障害者福祉サービスについて
10. 社会参加と日ごろの活動について	10. 在宅サービス利用者の今後の利用意向
11. 介護保険について	11. 施設サービス利用者の今後の利用意向
12. 高齢者施策について	12. その他の福祉サービスについて
	13. 災害時の対応について

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

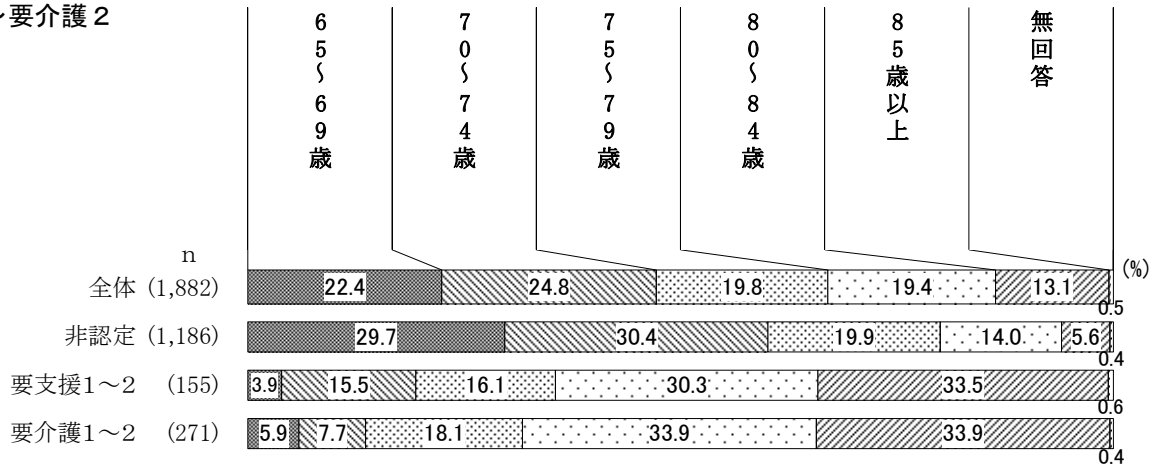
## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



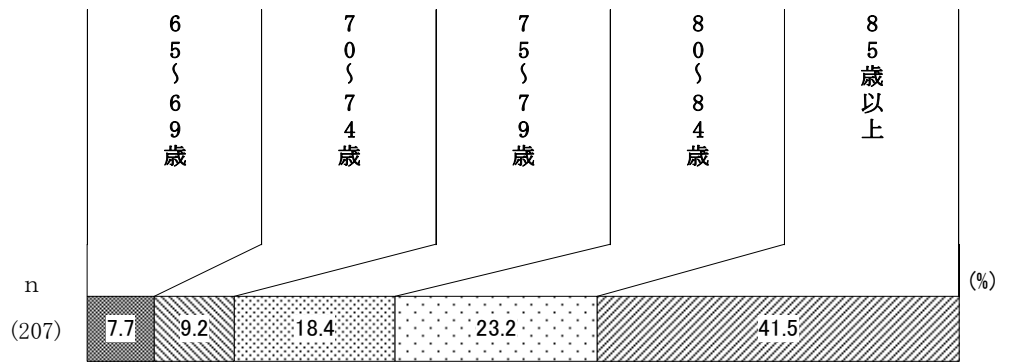
# 1. 基本属性

## (1) 年齢

非認定～要介護2

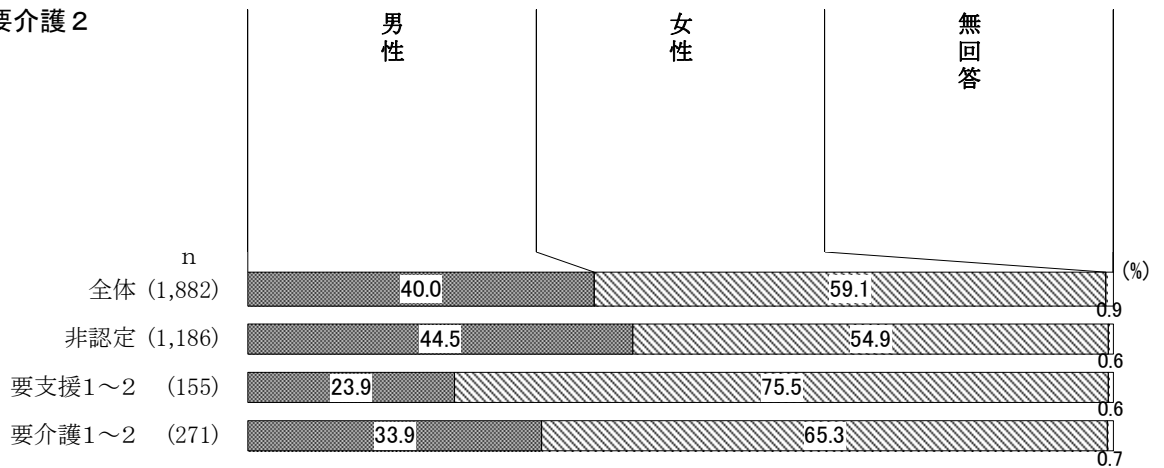


要介護3～5

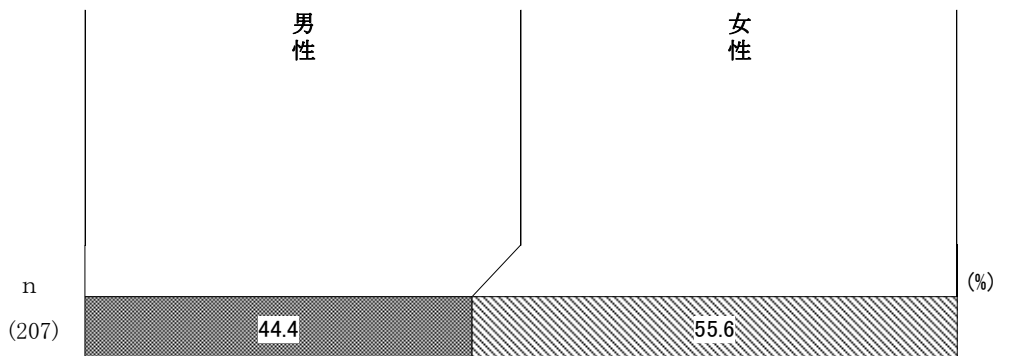


## (2) 性別

非認定～要介護2



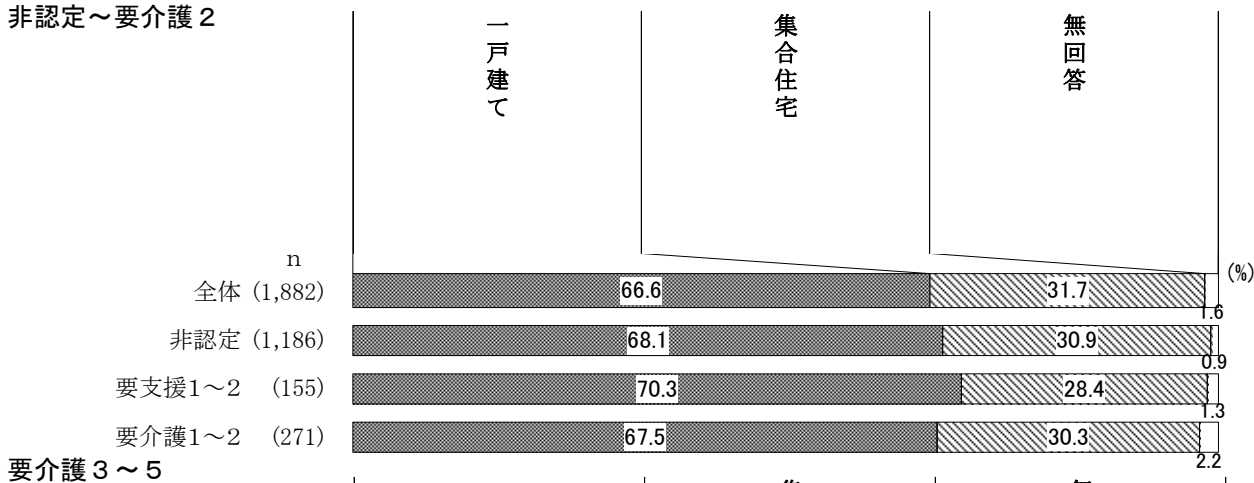
要介護3～5



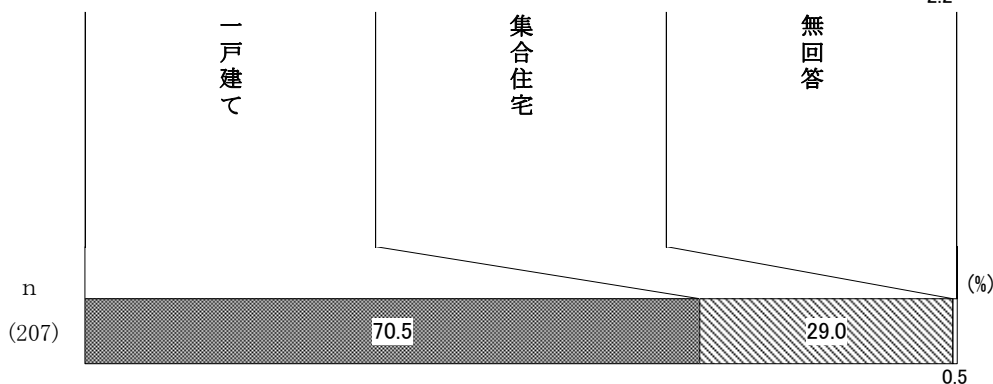
(3) 住まい

【戸建て／集合住宅】

非認定～要介護2

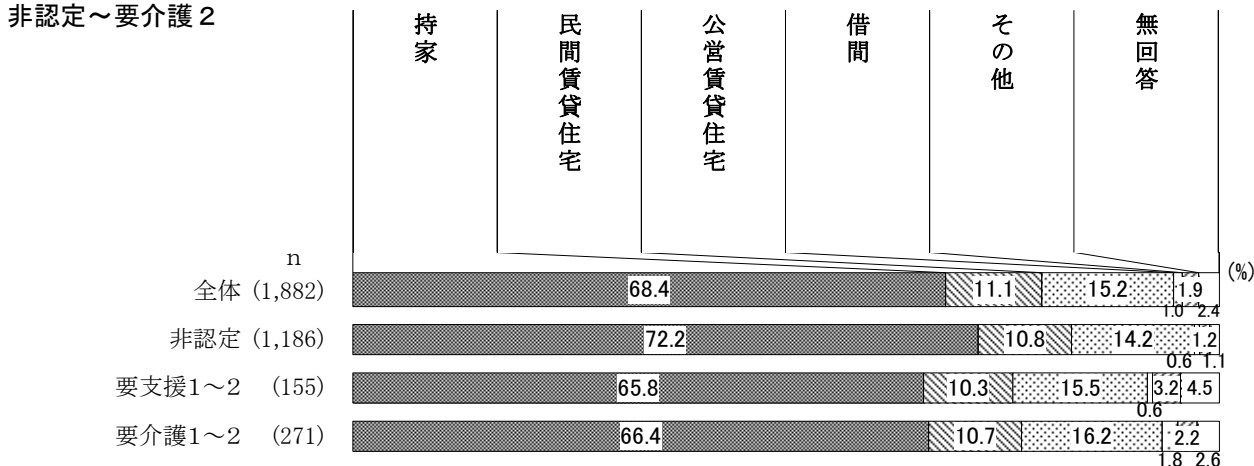


要介護3～5

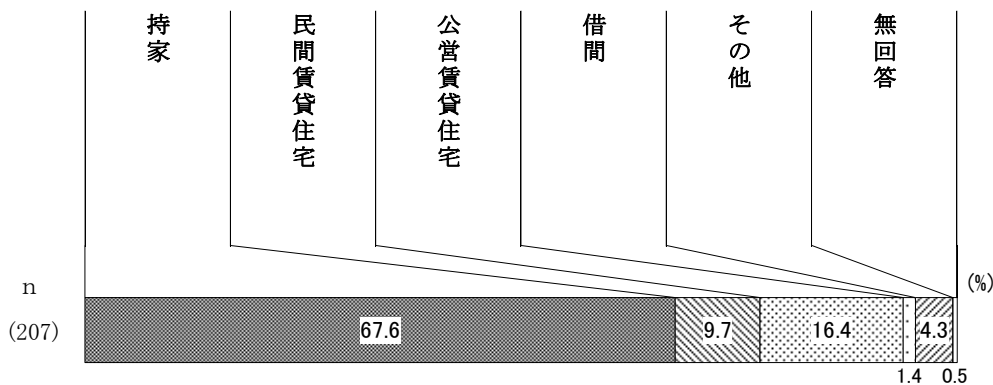


【持ち家／賃貸】

非認定～要介護2



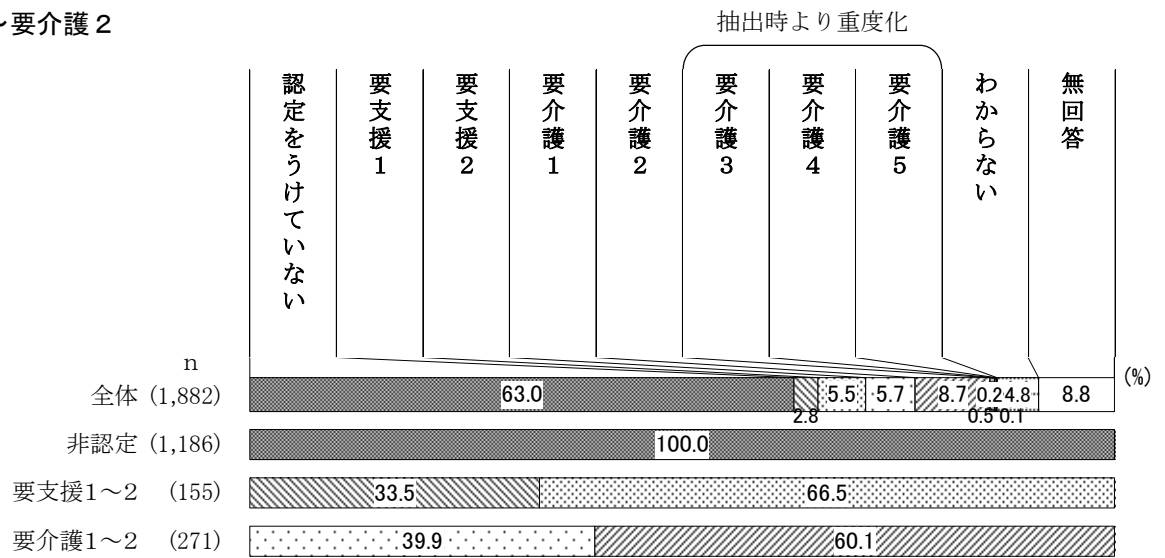
要介護3～5



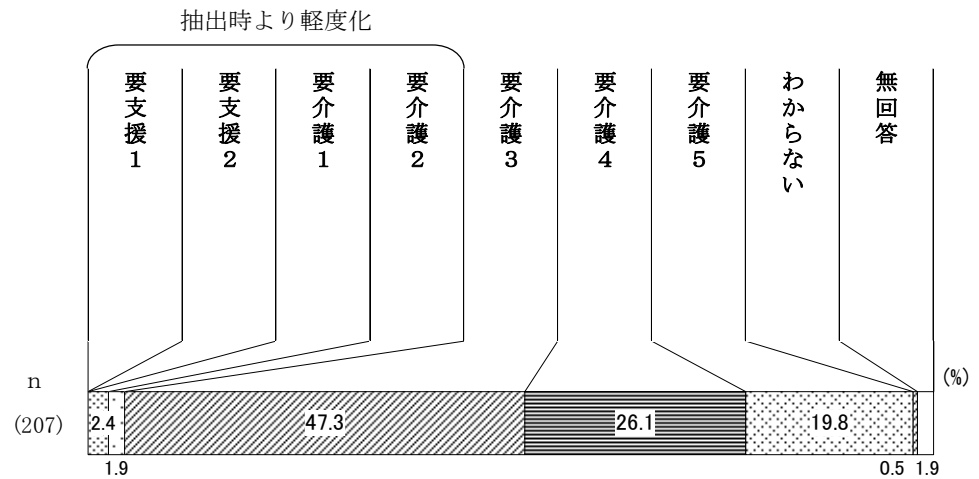


(4) 要介護度

非認定～要介護2



要介護3～5

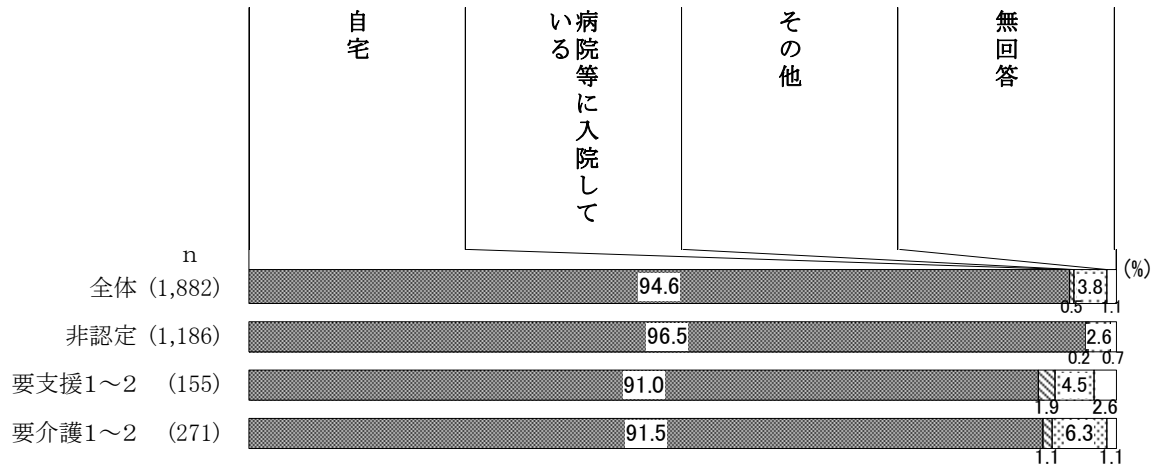


## 2. 生活の状況

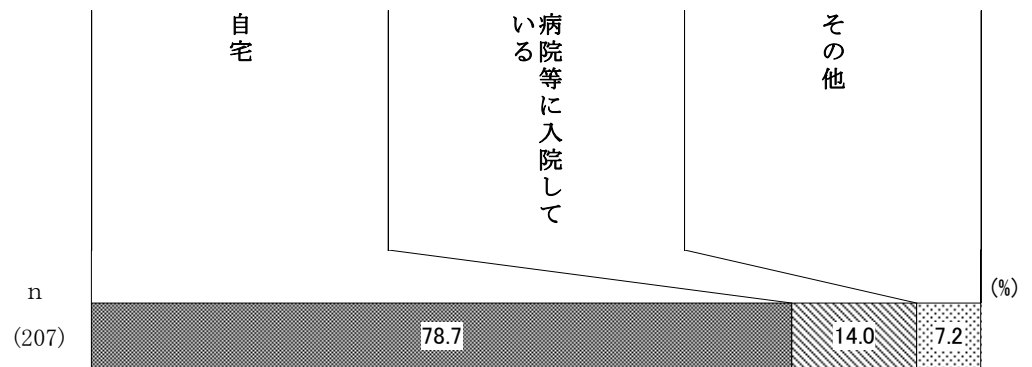
### (1) 現在の居場所

問1 あなた（あて名ご本人）は、現在どちらにいますか。[1つに〇]

#### 非認定～要介護2



#### 要介護3～5

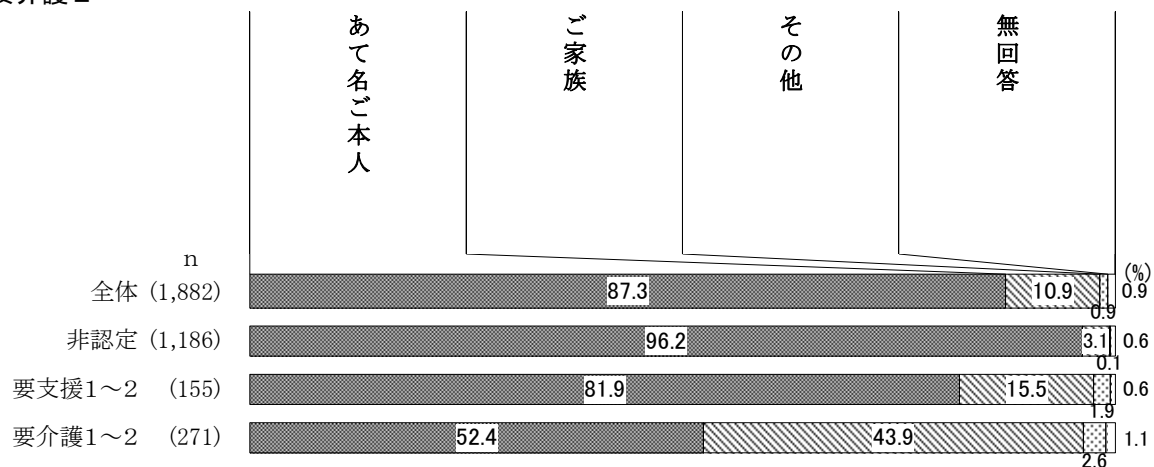


現在の居場所は、非認定、要支援1～2、要介護1～2では、「自宅」が9割を超えて最も多くなっています。要介護3～5では、「自宅」が7割台後半、「病院等に入院している」が1割台前半となっています。

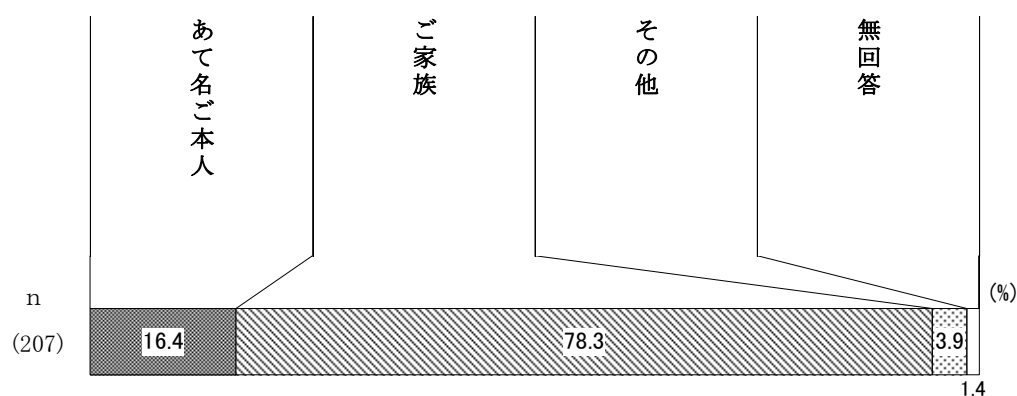
(2) 記入者

問2 この調査票はどなたがご記入されますか。[1つに○]

非認定～要介護2



要介護3～5

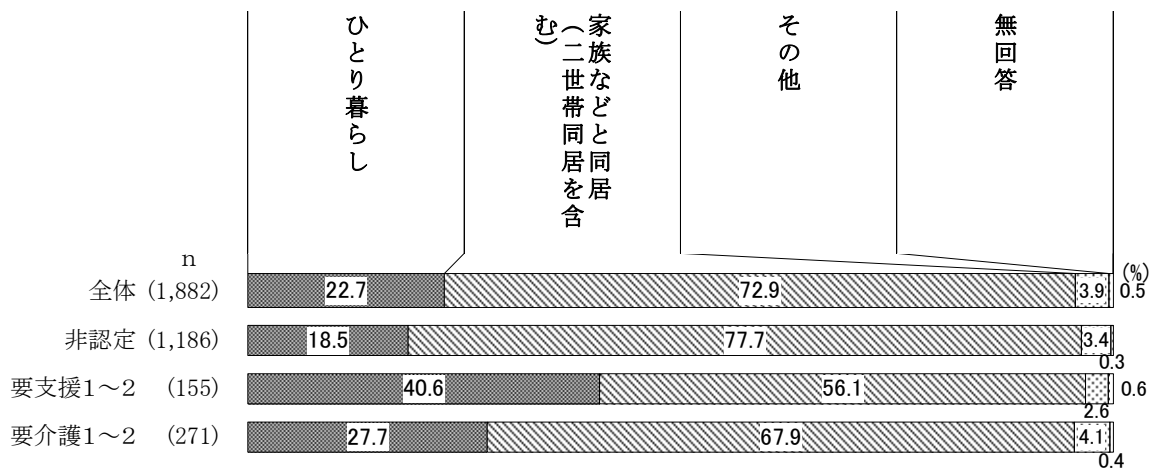


調査票の記入者は、非認定では「あて名ご本人」が9割台後半で最も多く、要支援1～2は「あて名ご本人」が8割台前半、要介護1～2では5割台前半と低くなり、「ご家族」の割合が4割台前半で高くなっています。要介護3～5では、「ご家族」が7割台後半、「あて名ご本人」が1割台後半となっています。

(3) 家族構成

【非認定～要介護2調査のみ】

問5 家族構成をお教えてください。[1つに〇]



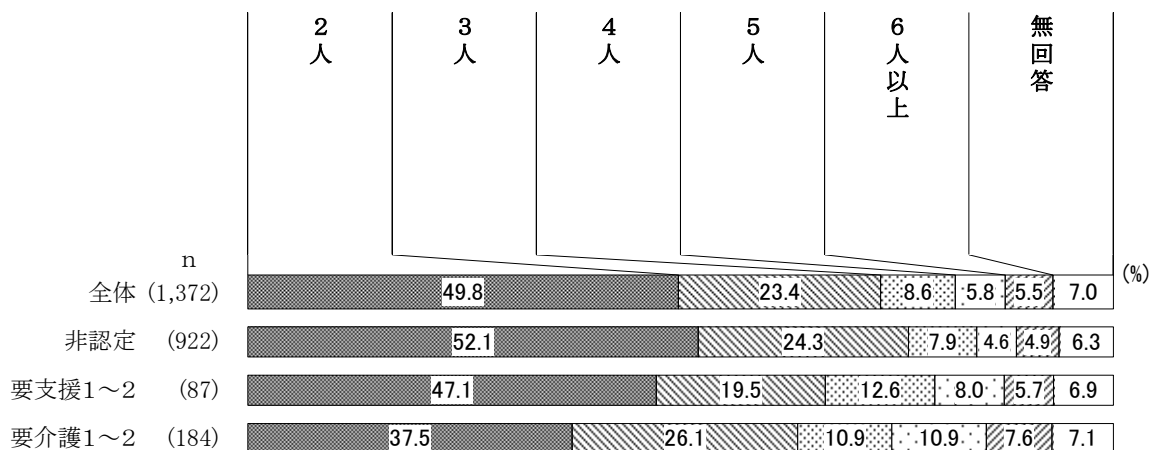
家族構成は、非認定では「家族など同居（二世帯同居を含む）」が7割台後半と多く、「ひとり暮らし」は要支援1～2が約4割で非認定、要介護1～2と比較して多くなっています。

(4) 同居人数

【非認定～要介護2調査のみ】

問5で「2. 家族など同居（二世帯同居を含む）」と答えた方におたずねします。

問5-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。[人数を記入]



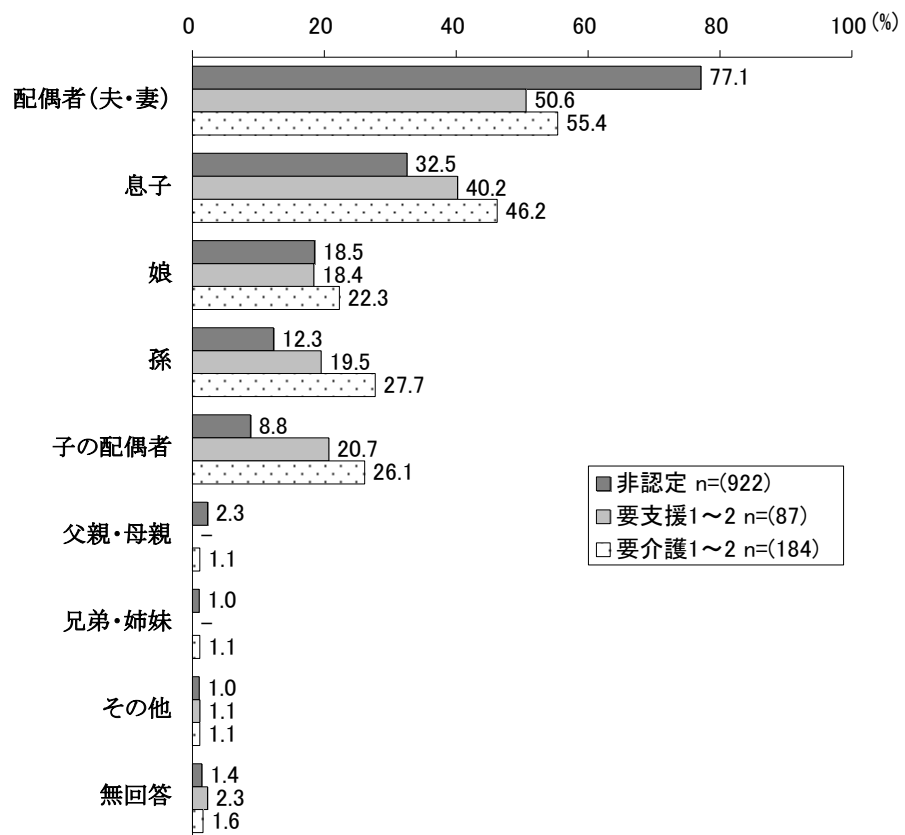
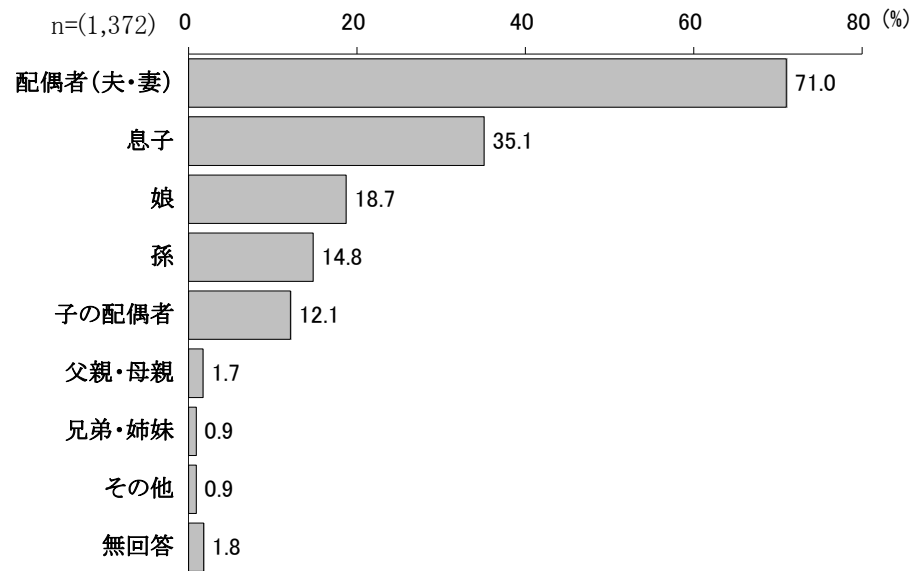
同居人数は、「2人」が非認定では5割台前半で最も多く、要支援1～2は4割台後半、要介護1～2は3割台前半で介護度が上がるにしたがい減少しています。「3人」は非認定と要介護1～2で2割台となっています。

(5) 同居者の続柄

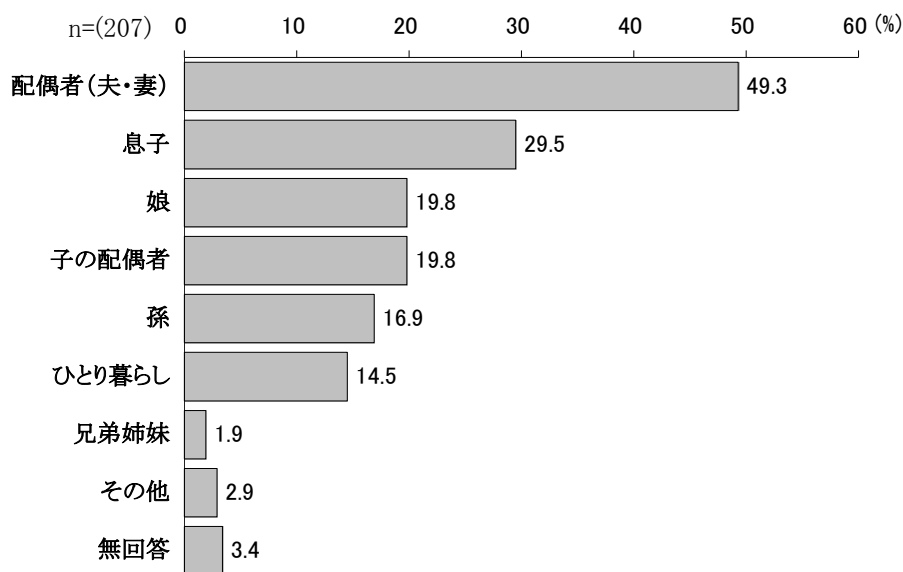
問5-2 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

【要介護3～5／問5】

非認定～要介護2



要介護3～5

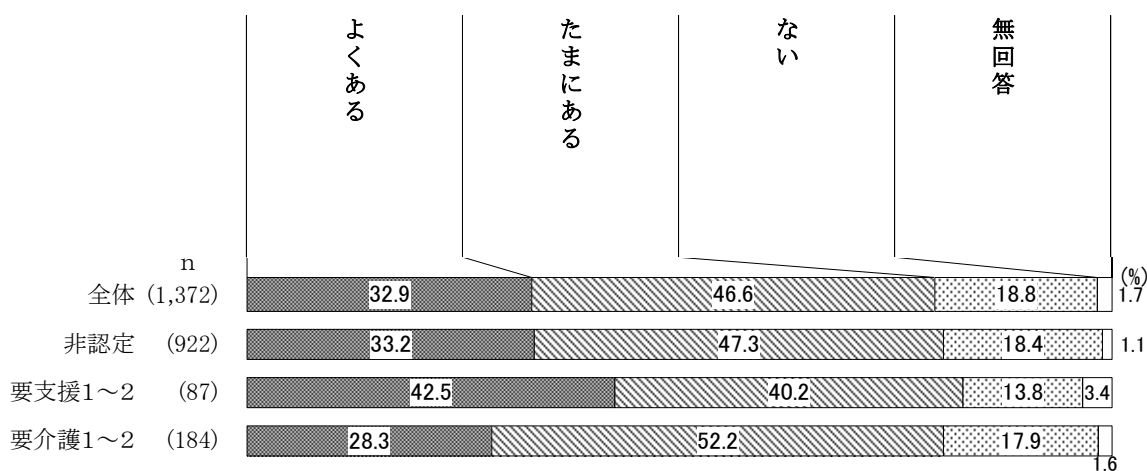


同居者は、非認定、要支援1～2、要介護1～2とも、「配偶者(夫・妻)」が最も多く、非認定では7割台後半、要支援1～2と要介護1～2では約5割～5割台半ばとなっています。次いで「息子」は要介護1～2が最も多く4割台後半、要支援1～2が約4割、非認定が3割台前半となっています。「娘」「孫」「子の配偶者」も要介護1～2の割合が多くなっています。要介護3～5では、「配偶者(夫・妻)」が約5割、「息子」が約3割、「娘」「子の配偶者」が約2割と続いています。一方、1割台前半が「ひとり暮らし」と回答しています。

(6) 日中独居の状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問5-3 日中、一人になることがありますか。[1つに○]

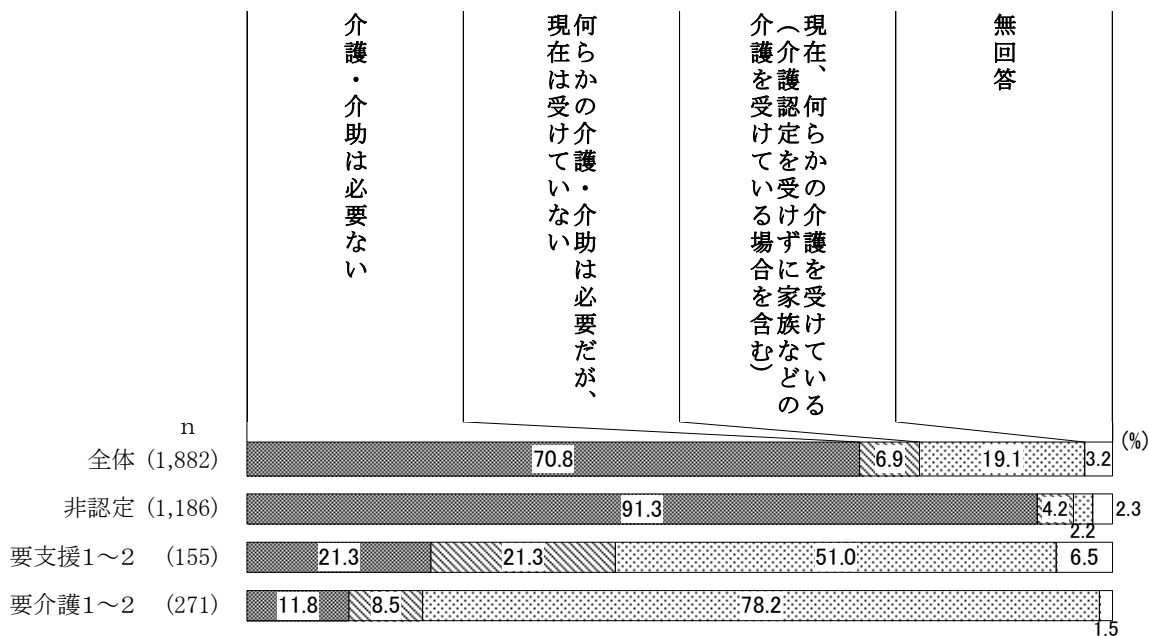


日中、一人になることが「よくある」は要支援1～2が4割台前半と多く、「たまにある」は、要介護1～2で5割台前半と多くなっています。

(7) 介護・介助の必要性

【非認定～要介護2調査のみ】

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[1つに○]



「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合を含む）」は要支援1～2では約半数、要介護1～2では7割台後半で多くなっています。

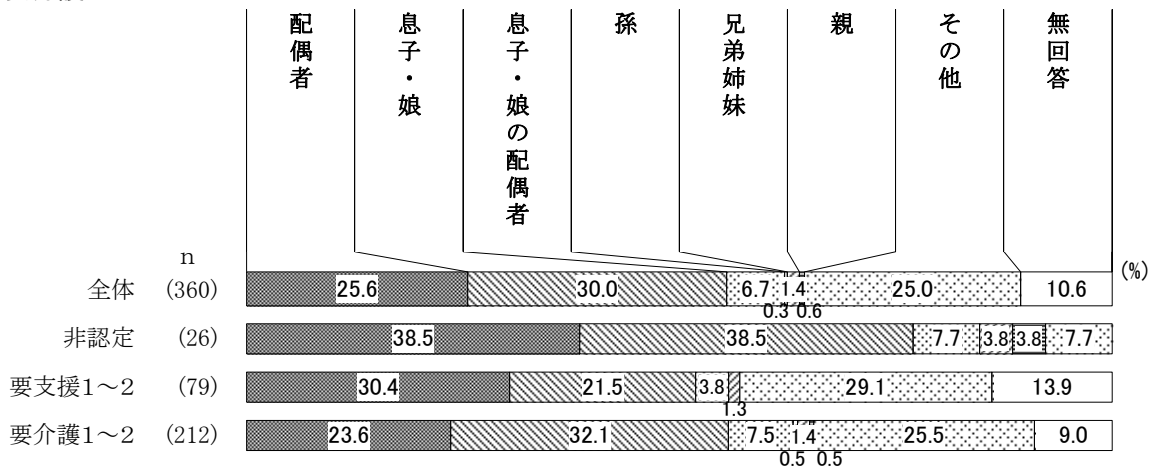
(8) 主な介護者の続柄

問6で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方におたずねします。

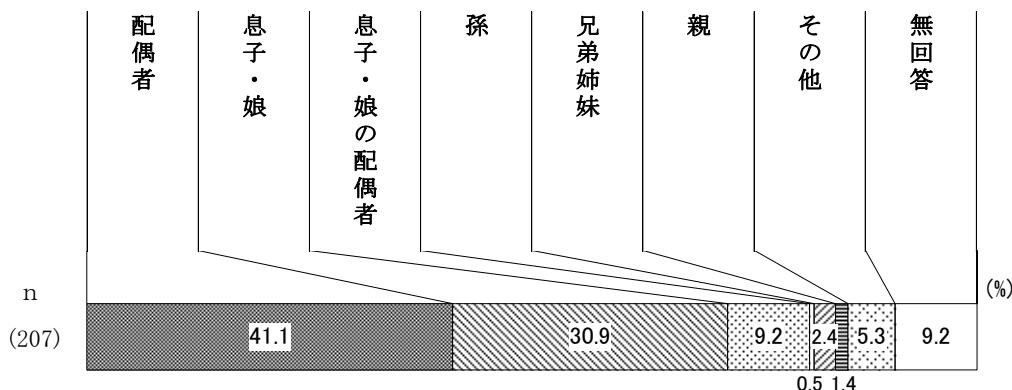
問6-1 主にどなたの介護・介助を受けていますか。[1つに○]

【要介護3～5/問23】

非認定～要介護2



要介護3～5

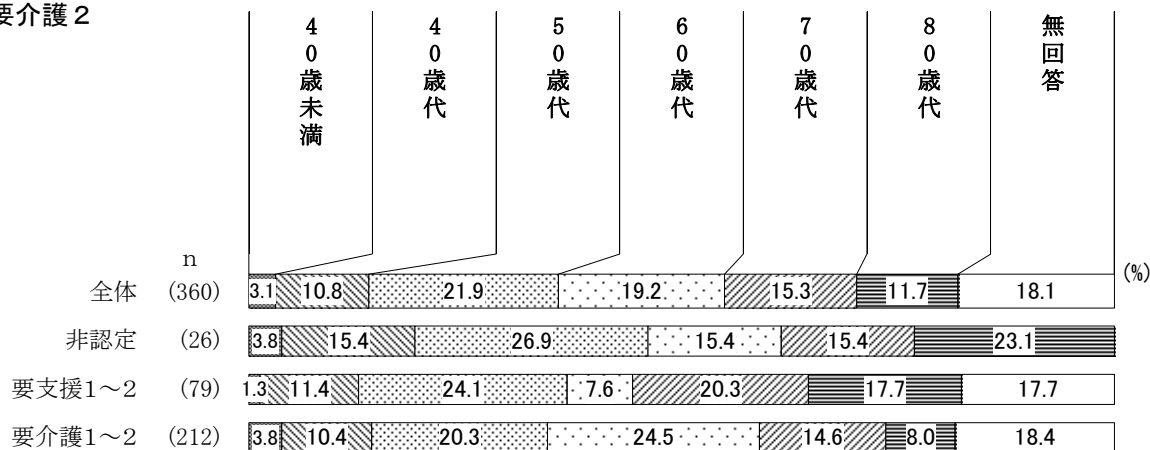


主な介護者の続柄は、要支援1～2では「配偶者」が約3割、「その他」が約3割となっています。要介護1～2では、「息子・娘」が3割台前半、「その他」が2割台半ばとなっています。要介護3～5では、「配偶者」が4割を超え、「息子・娘」が3割で続いています。

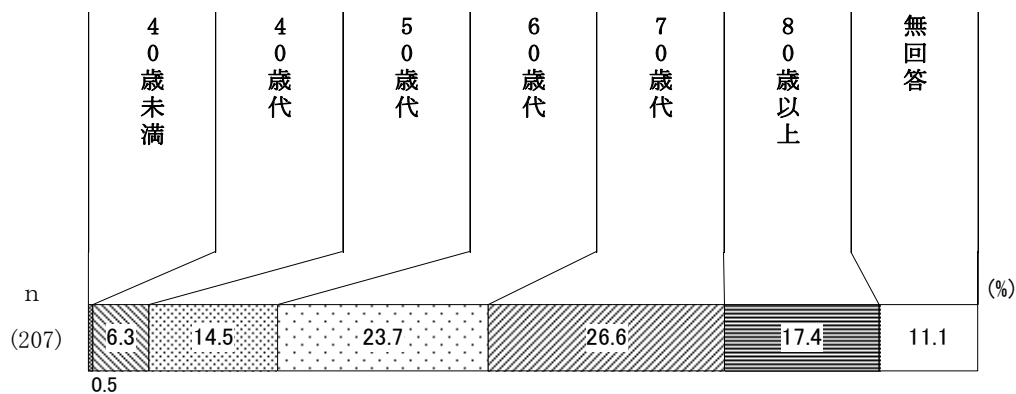
(9) 主な介護者の年齢

問6-2 介護・介助している方の年齢は、どれですか。[1つに○]  
【要介護3～5/問24】

非認定～要介護2



要介護3～5



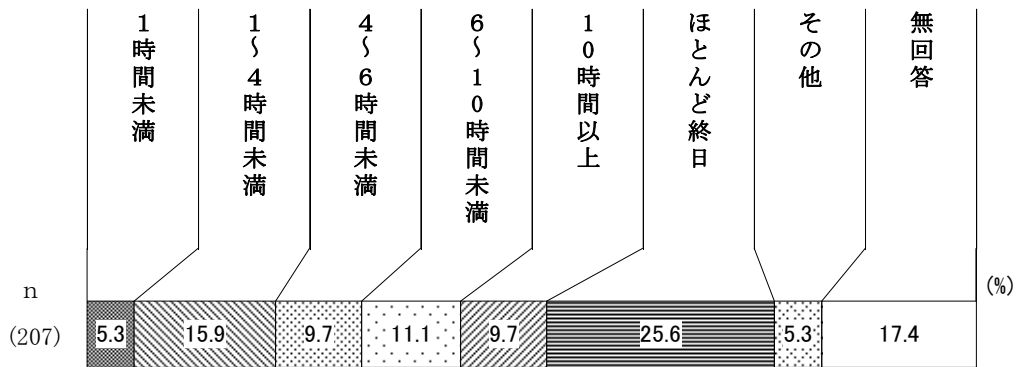
主な介護者の年齢は、要支援1～2は「50歳代」が2割台前半、「70歳代」が約2割となっています。要介護1～2では、「60歳代」が2割台前半、「50歳代」が約2割、要介護3～5では「70歳代」が2割台後半で、介護度が上がるにしたがい介護者の年齢も上がる傾向となっています。



(10) 1日の介護時間

【要介護3～5調査のみ】

問25 あて名ご本人を介護する時間は、1日平均どのくらいですか。[1つに○]

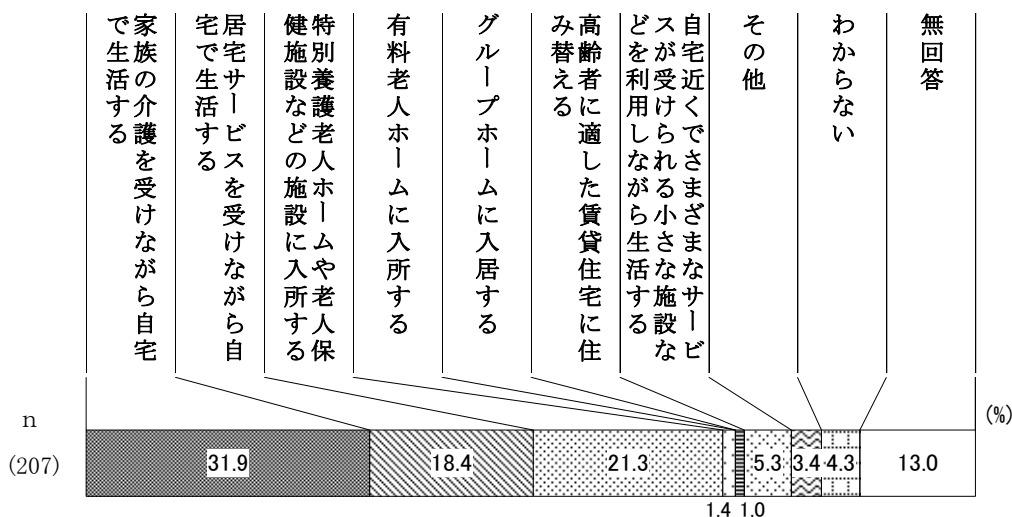


1日の介護時間は、「ほとんど終日」が2割台半ばで最も多く、次いで「1～4時間未満」が1割台半ば、「6～10時間未満」「4～6時間未満」「10時間以上」が1割前後が続いています。

(11) 今後望ましい本人の生活場所

【要介護3～5調査のみ】

問26 今後、あて名本人は、どこで生活するのが良いと思いますか。[1つに○]

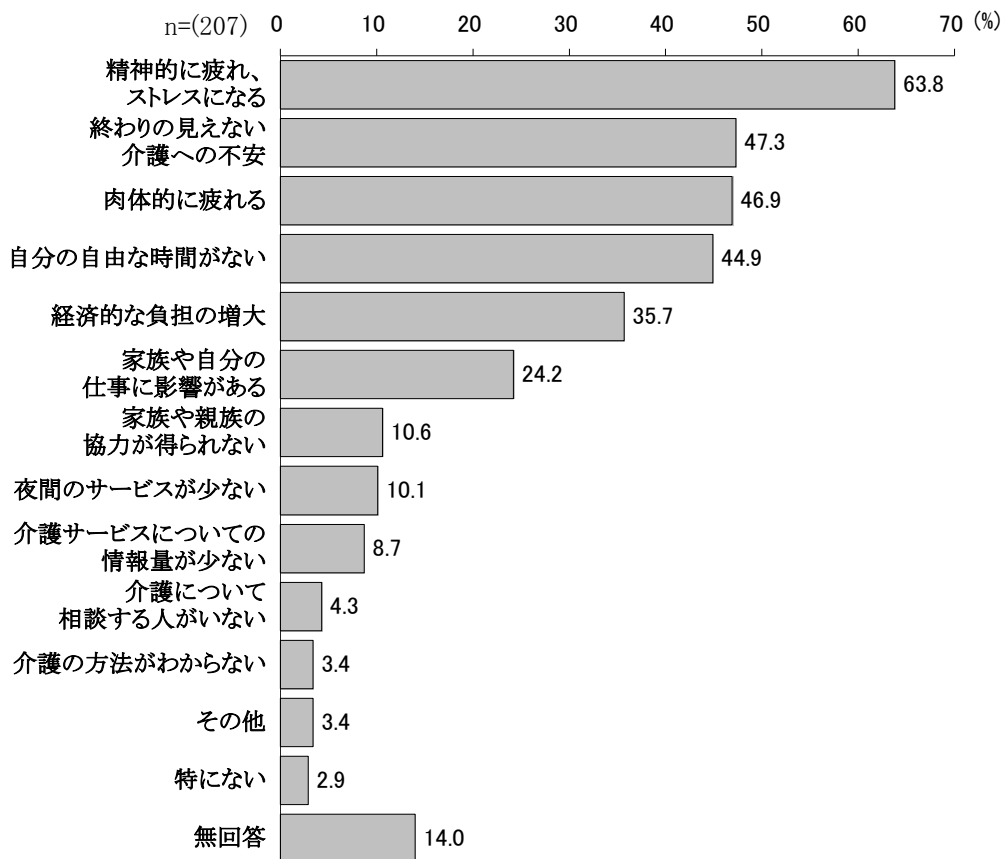


今後望ましい本人の生活場所について介護者に聞いたところ、「家族の介護を受けながら自宅で生活する」が3割を超え、「居宅サービスを受けながら自宅で生活する」を含めると自宅での生活を希望する人が5割を占めています。次に「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」「居宅サービスを受けながら自宅で生活する」が2割前後が続いています。

(12) 介護をしていく上での問題点

【要介護3～5調査のみ】

問27 介護をしていく上で、どのような問題がありますか。[いくつでも○]

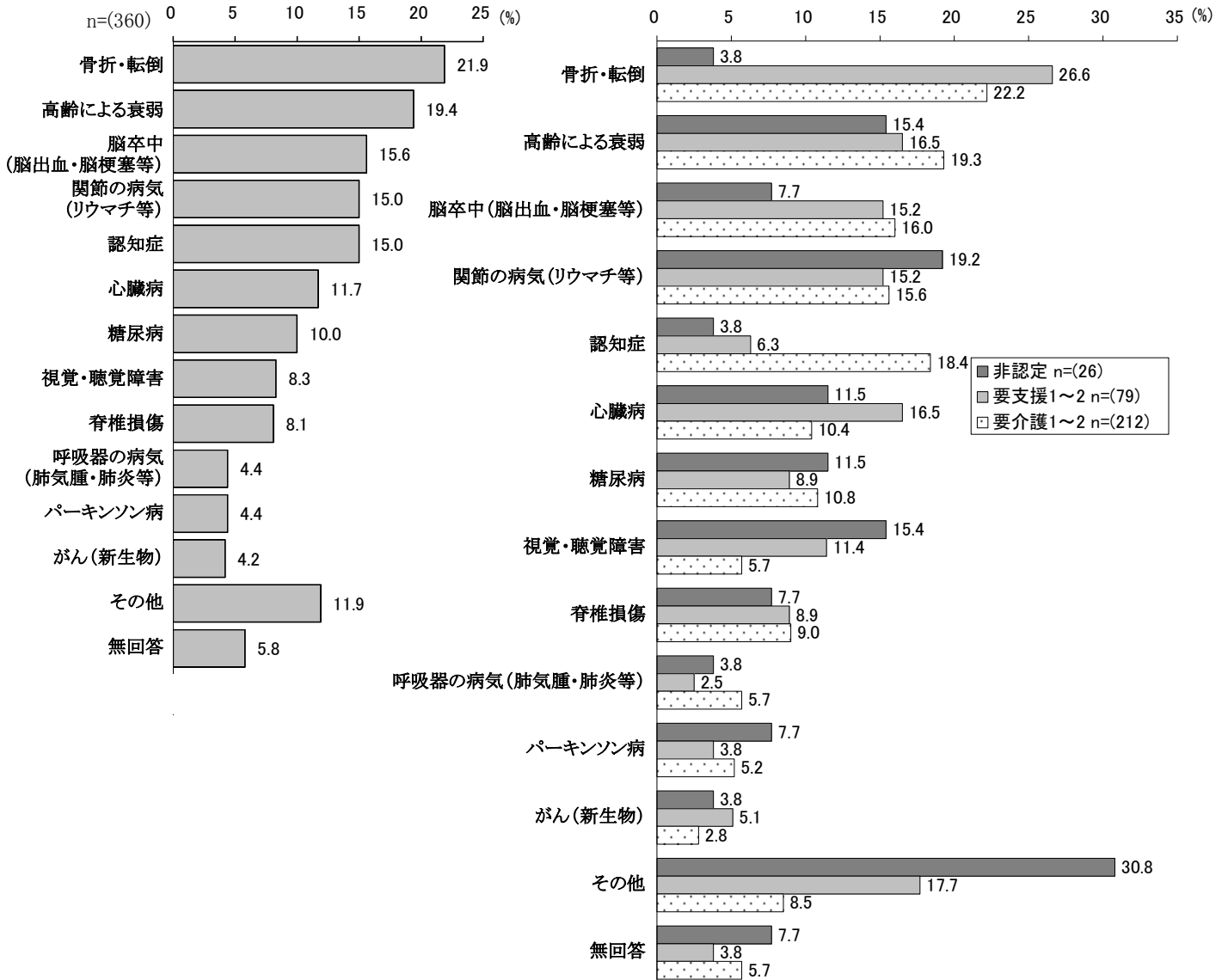


介護していく上での問題点を介護者に聞いたところ、「精神的に疲れ、ストレスになる」が6割台前半で特に多くなっています。次に「終わりの見えない介護への不安」「肉体的に疲れる」「自分の自由な時間がない」が4割台で続いています。

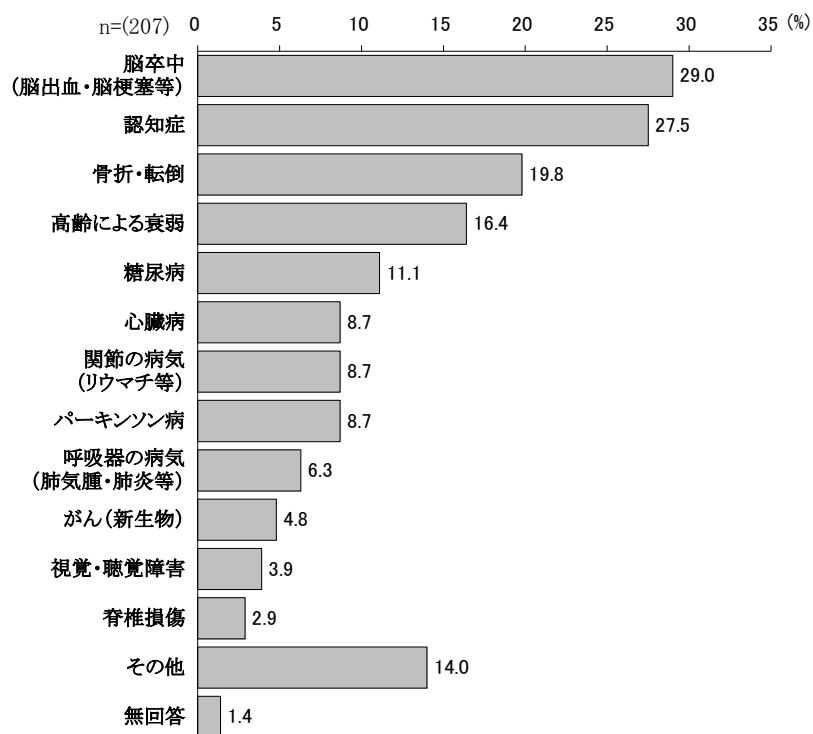
(13) 介護・介助が必要になった主なきっかけ

問6-3 介護・介助が必要になった主なきっかけはなんですか。[いくつでも○]  
【要介護3~5/問7】

非認定~要介護2



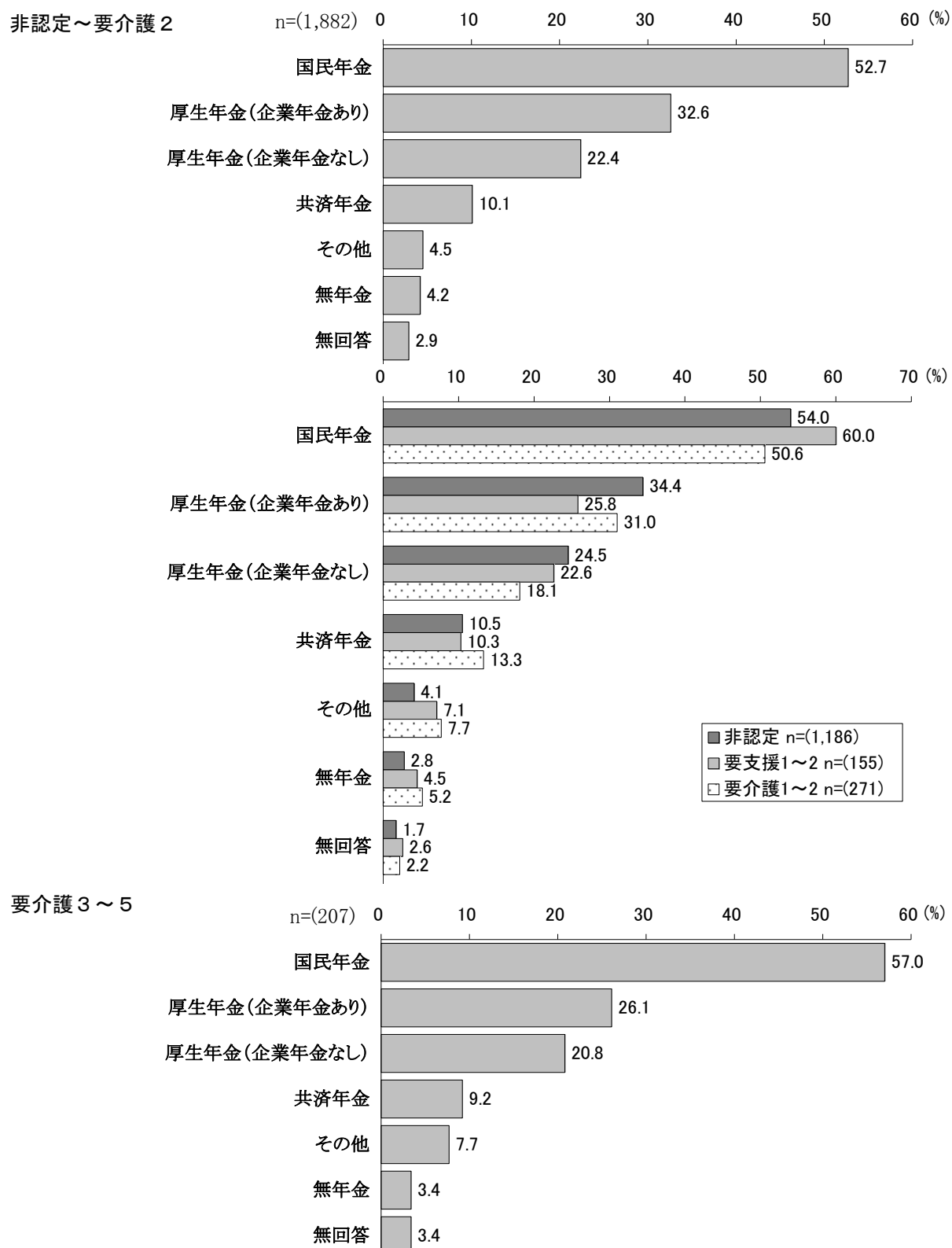
要介護3～5



介護・介助が必要になった主なきっかけは、要支援1～2では「骨折・転倒」が2割台後半で最も多く、次いで、「高齢による衰弱」「心臓病」が1割台後半、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「関節の病気（リウマチ等）」と続いています。要介護1～2でも同様に、「骨折・転倒」が2割台前半で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が約2割、「認知症」が1割台後半と続いています。要介護3～5では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「認知症」が3割前後で多く、次いで「骨折・転倒」となっています。

(14) 年金の種類

問7 年金の種類は次のどれですか。[いくつでも○] 【要介護3～5/問9】



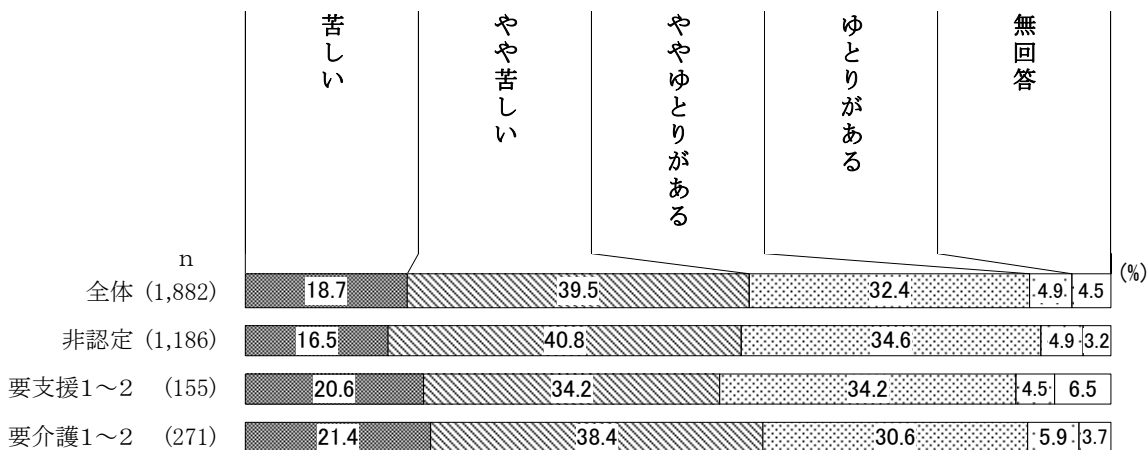
年金の種類は、非認定、要介護1～2、要介護3～5で、「国民年金」が半数を超え最も多くなっています。次いで「厚生年金（企業年金あり）」が非認定では、3割台前半、要介護1～2では3割台前半、要支援1～2と要介護3～5では2割半ば前後となっています。

(15) 経済的な暮らしの状況

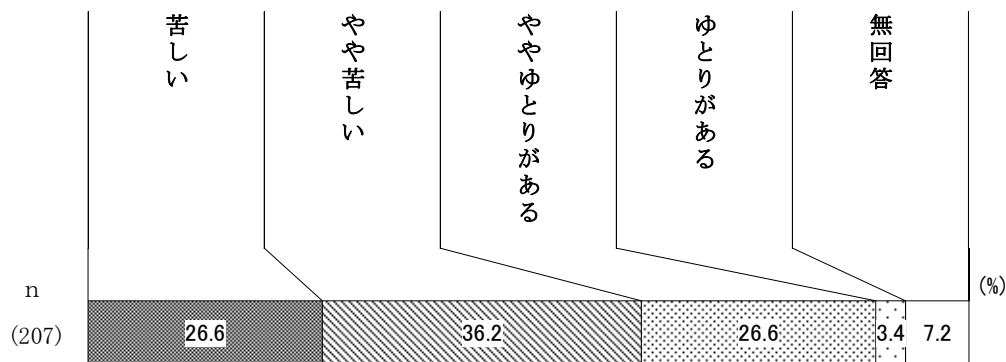
問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに○]

【要介護3～5／問10】

非認定～要介護2



要介護3～5



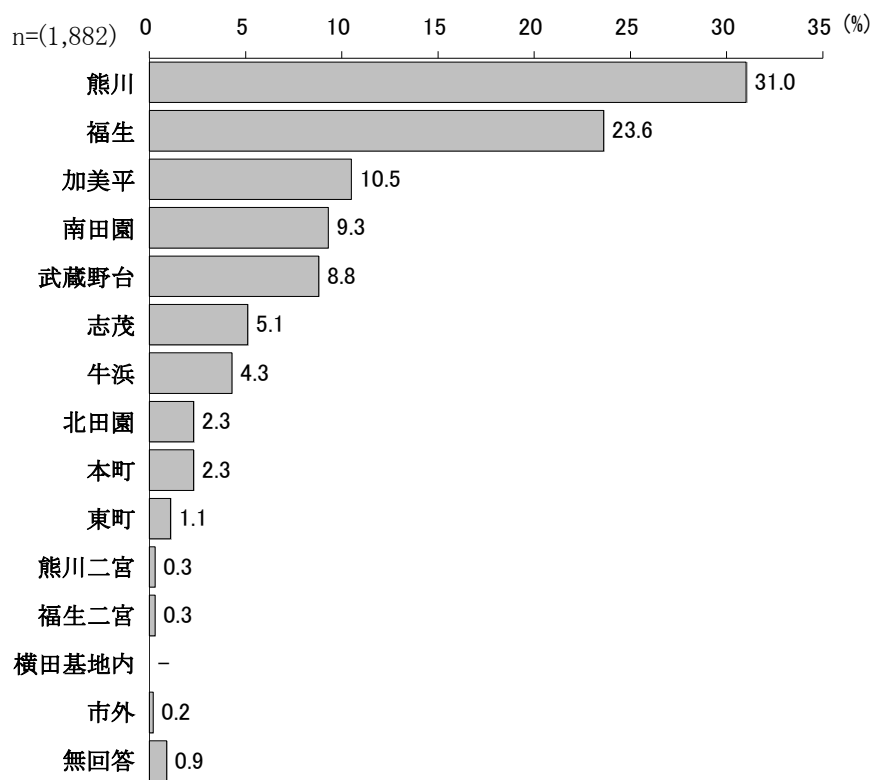
経済的な暮らしの状況については、介護度が上がるにしたがい「苦しい」の割合が増加し、要介護3～5では2割台後半となっています。「やや苦しい」は非認定が約4割、他の階層では3割台前半～後半となっています。「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた<苦しい>は、要介護3～5では6割台前半となっています。一方、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた<ゆとりがある>は非認定で約4割、要介護3～5では3割と多くなっています。

### 3. 住まいについて

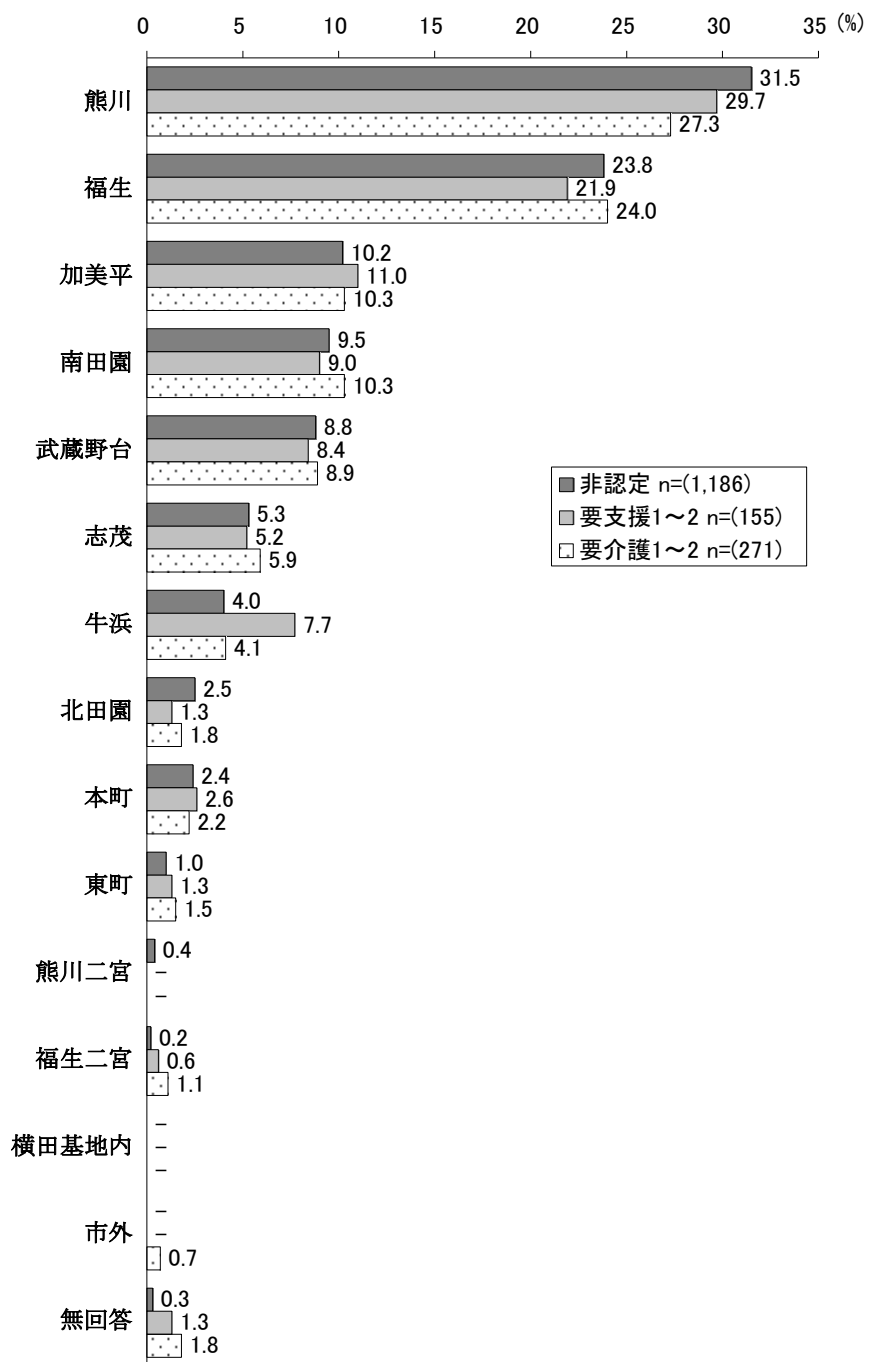
#### (1) 居住地区

問9 あなたのお住まいは、どちらですか。[1つに○] 【要介護3～5/問11】

非認定～要介護2

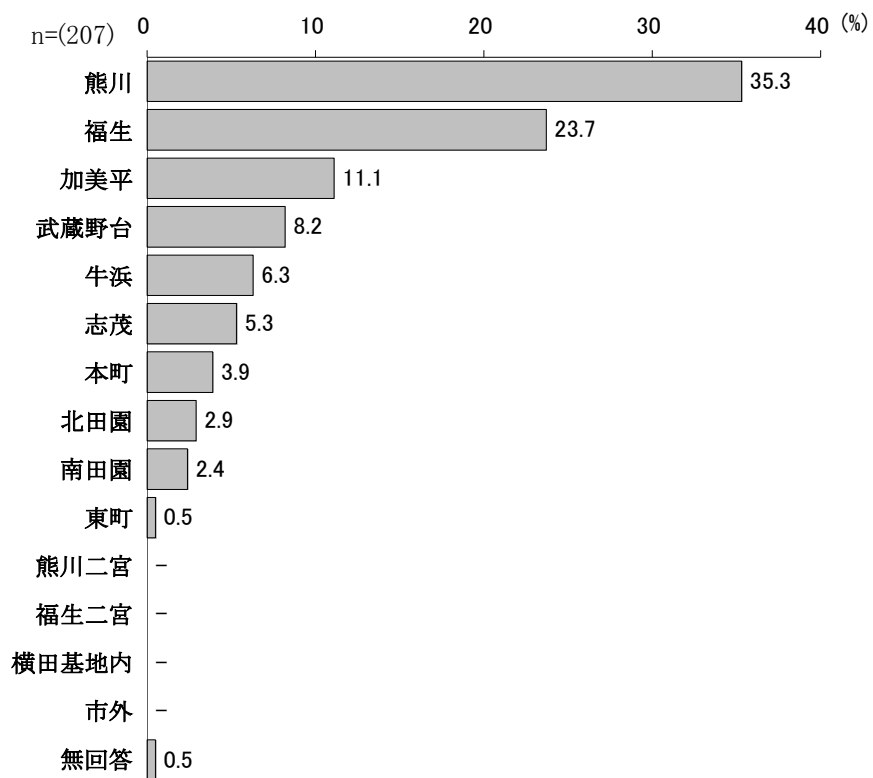


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細





要介護3～5

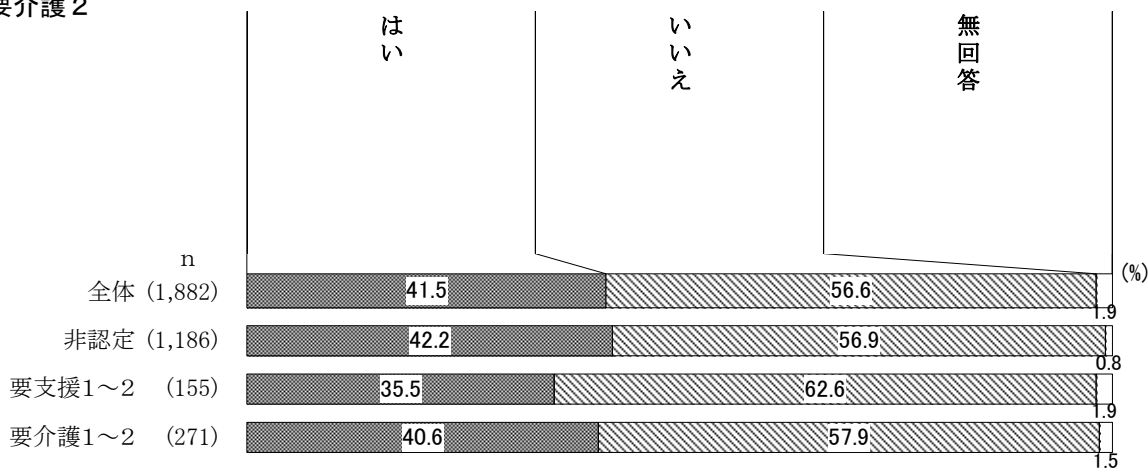


居住地区は、すべての階層で、「熊川」が最も多く、次いで「福生」となっています。

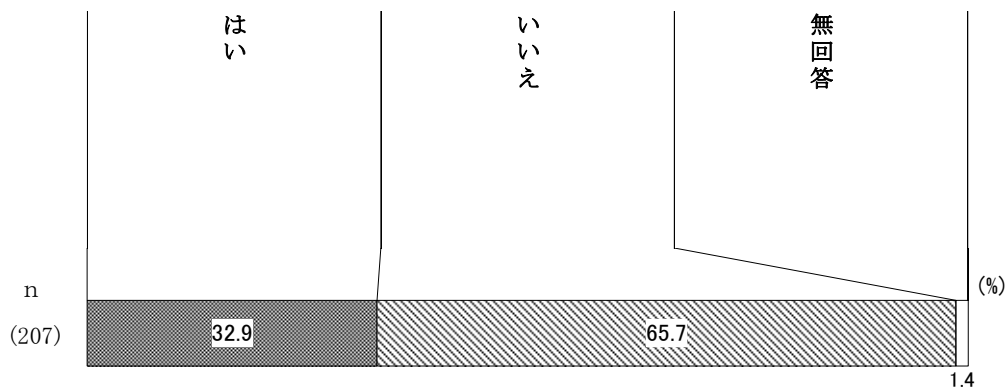
(2) 2階以上の生活場所の状況

問12 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。[1つに○]  
 【要介護3～5／問14】

非認定～要介護2



要介護3～5



主に生活する部屋が2階以上にあるかどうかを聞いたところ、「はい」は非認定と要介護1～2で4割台半ば、要介護3～5で3割台前半となっています。

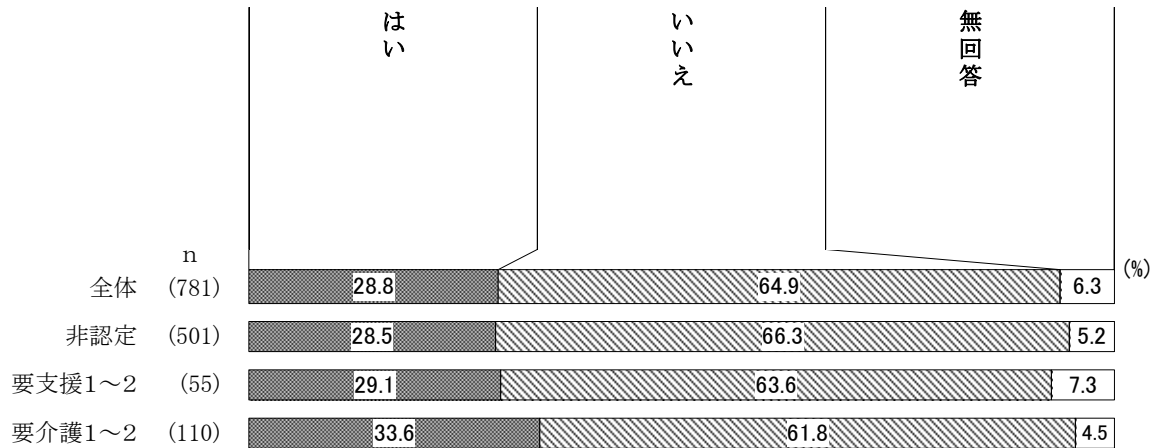
(3) エレベーターの設置状況

問12で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

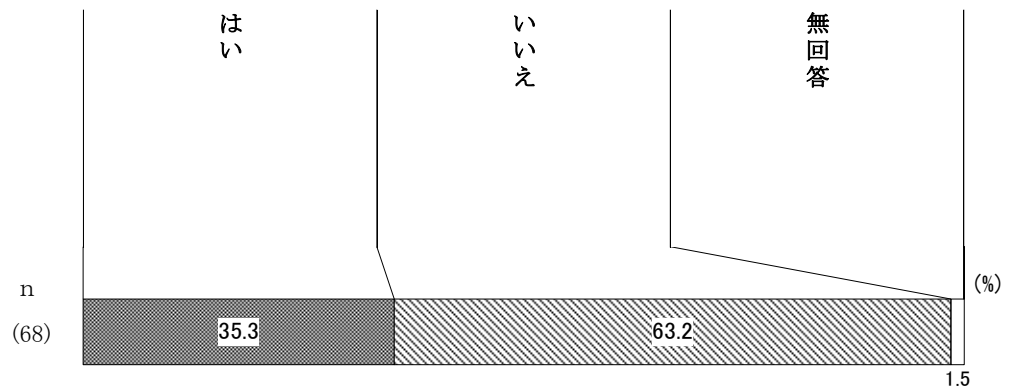
問12-1 お住まいにエレベーターは設置されていますか。[1つに○]

【要介護3～5/問14-1】

非認定～要介護2



要介護3～5



主に生活する部屋が2階以上にあると回答した方にエレベーターの設置を聞いたところ、すべての階層で「いいえ」が6割台が多く、エレベーターの設置は低い状況となっています。

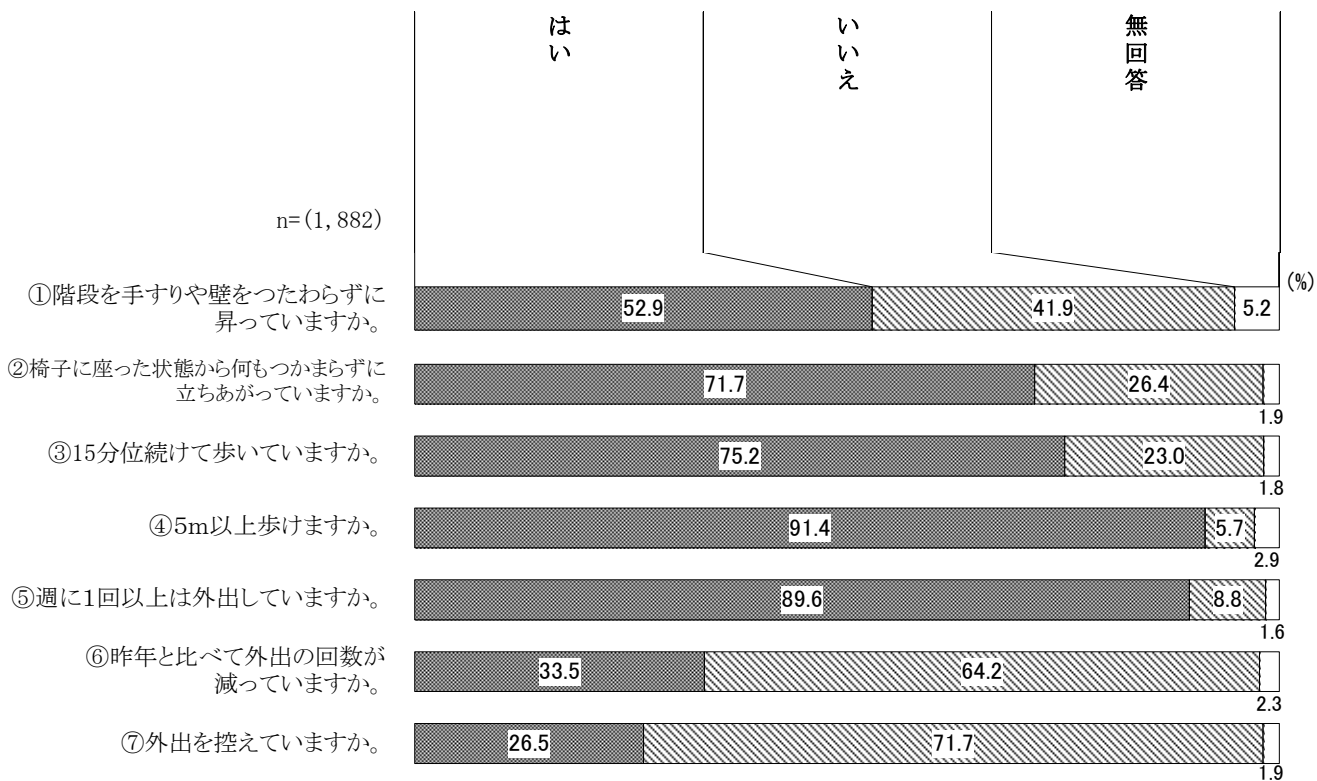
## 4. 運動や外出について

### (1) 運動や外出

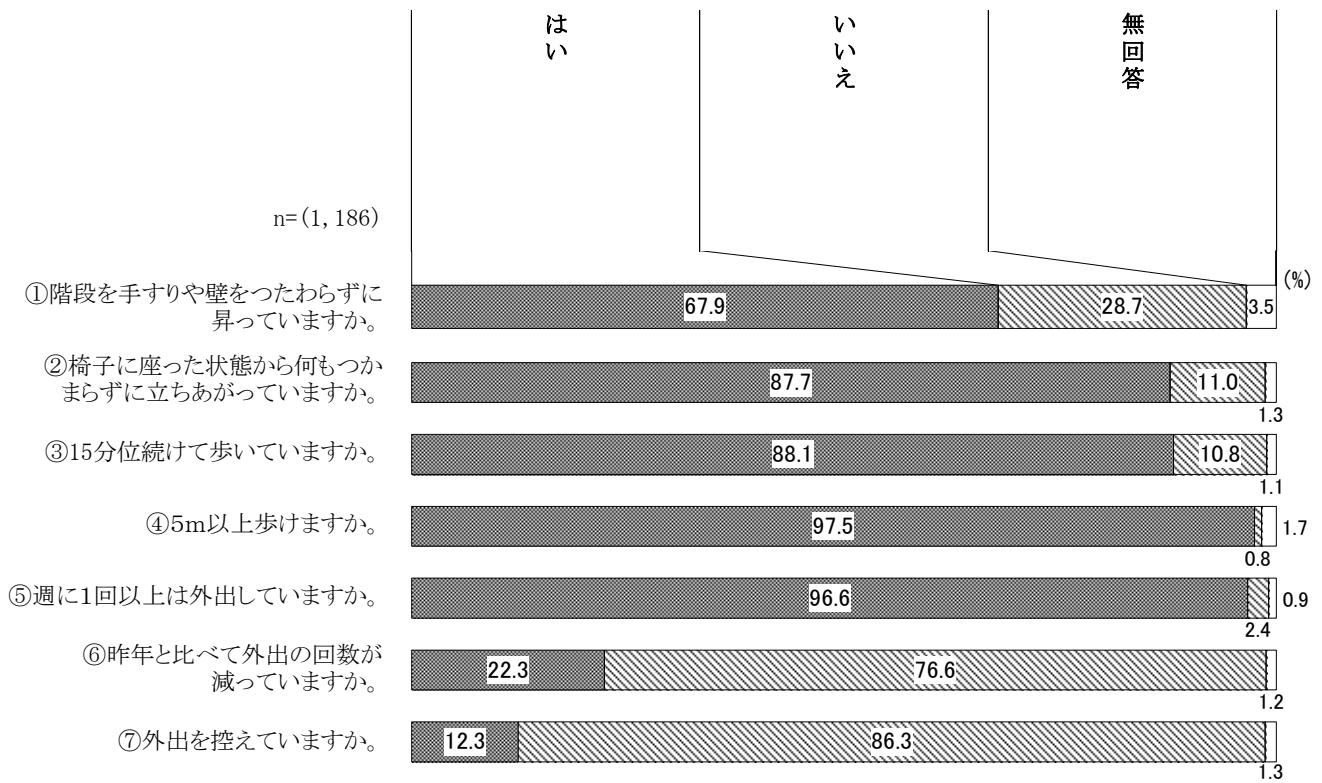
【非認定～要介護2調査のみ】

問13 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

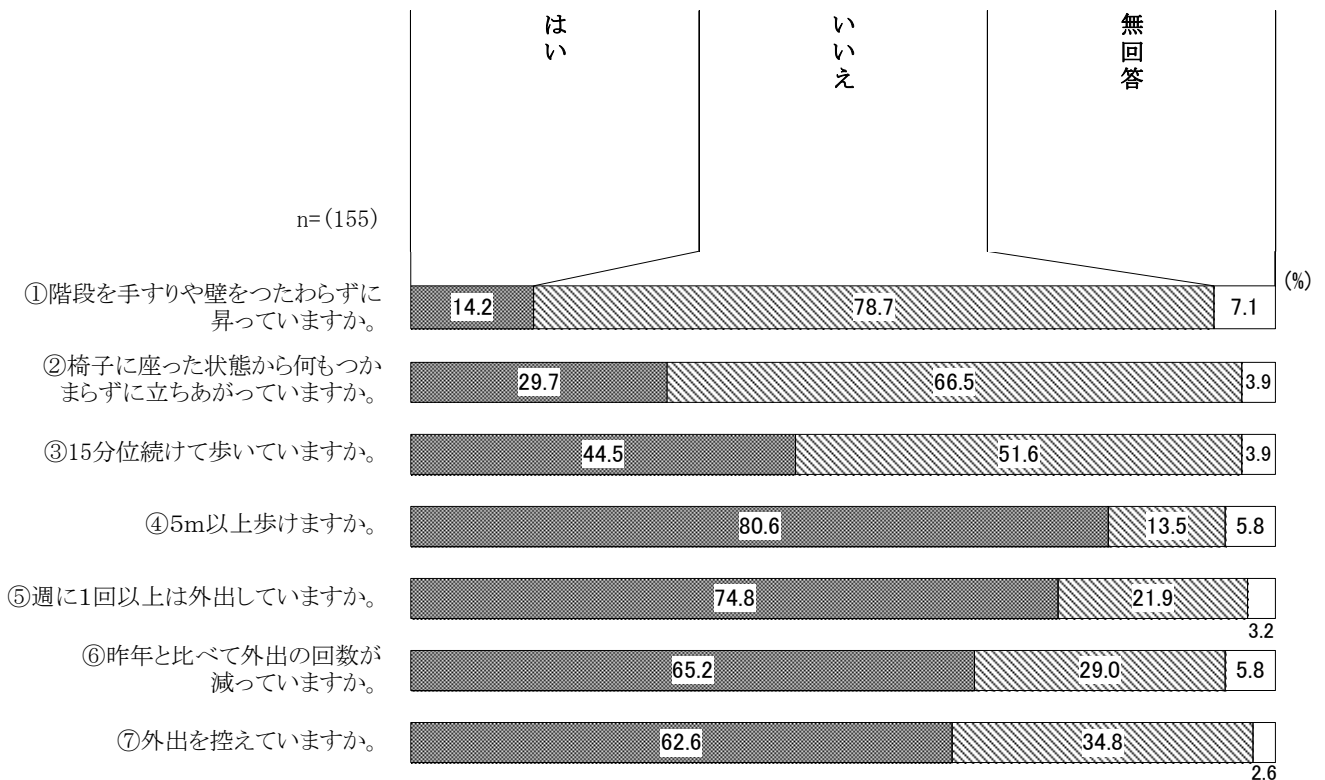
全体



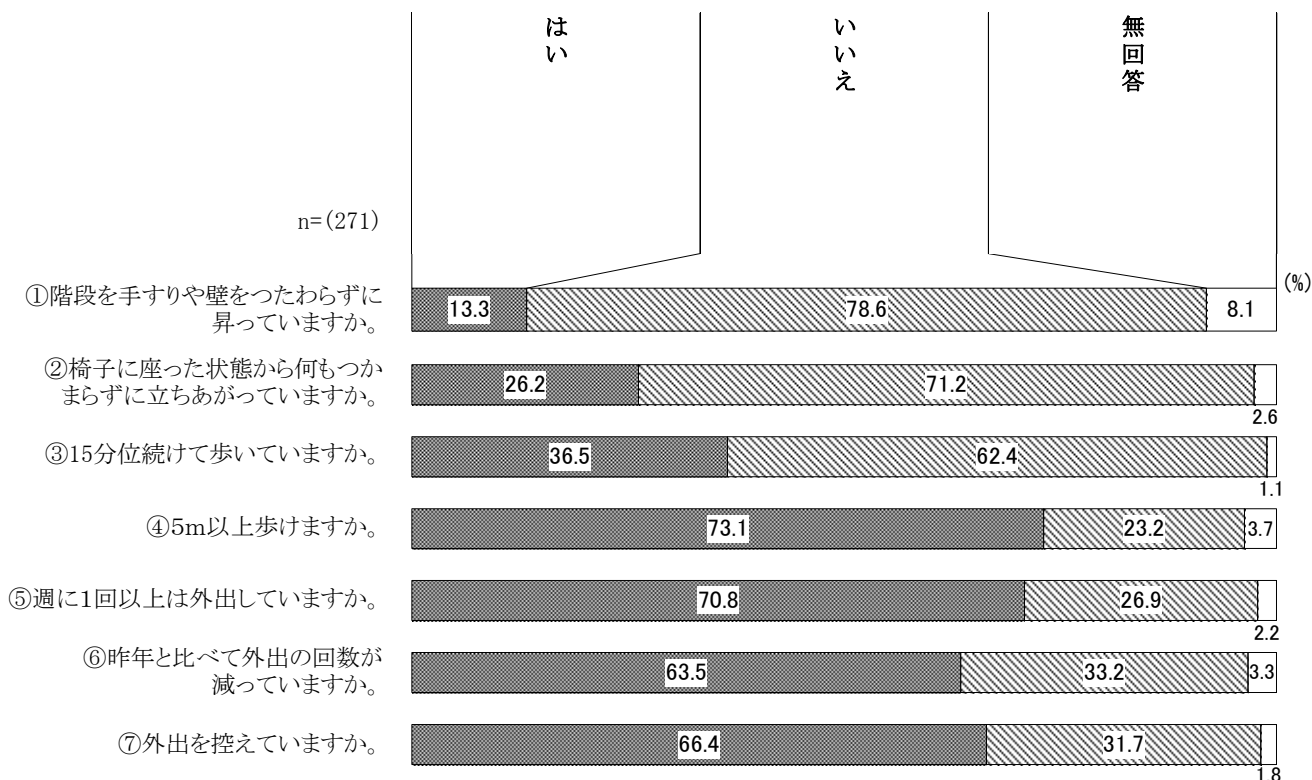
非認定



要支援1～2



要介護1～2



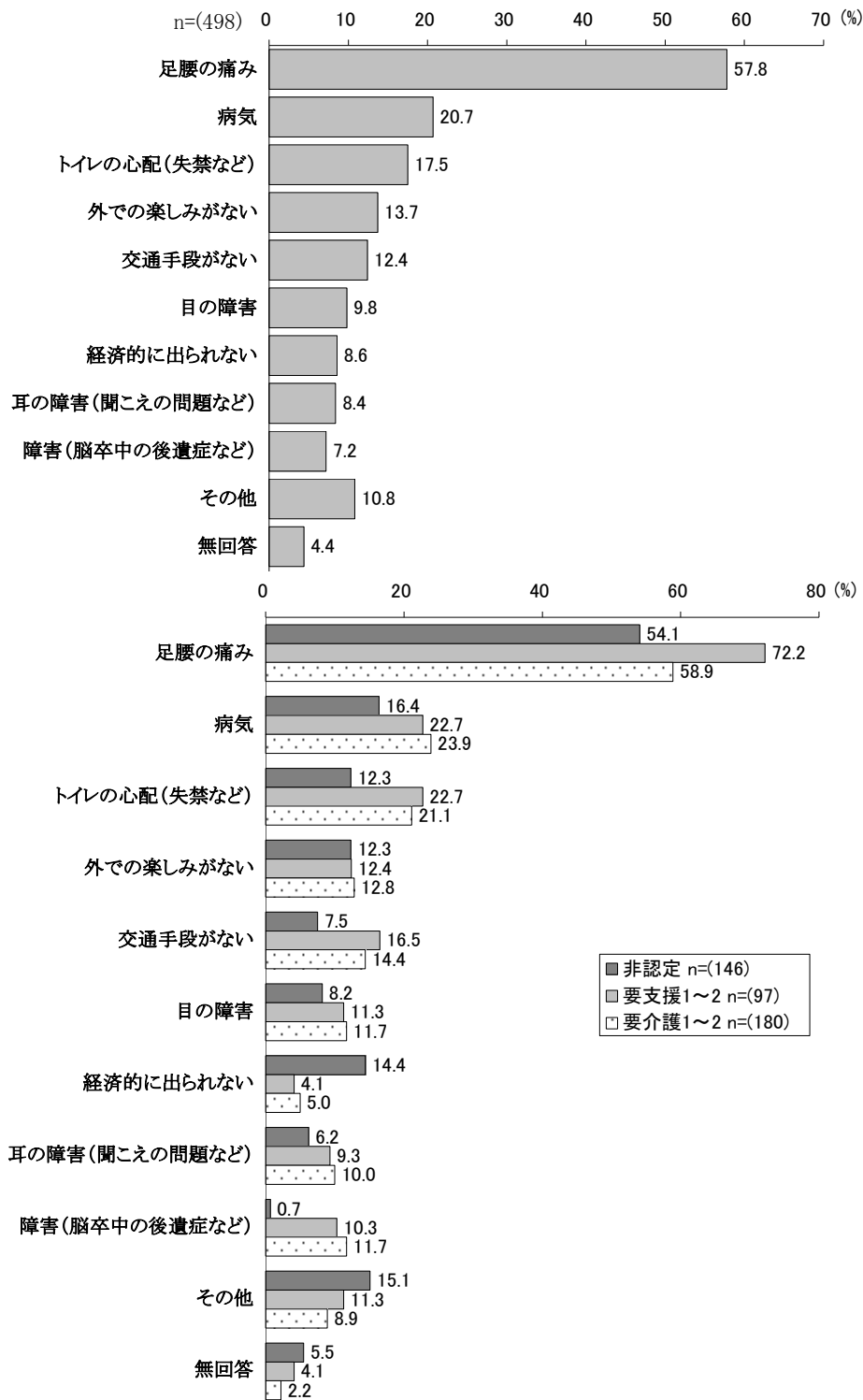
日常生活での運動や外出について聞いたところ、非認定では<階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか>が2割台後半となっていますが、それ以外の項目では、運動に関して支障のある回答は見られません。要支援1～2と要介護1～2では、運動と外出について同じような傾向ですが、介護度が上がるにしたがって、困難度も上がる傾向にあります。<椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか>は要支援1～2では「いいえ」が6割台後半、要介護1～2では、7割台前半で4.7ポイント増加しています。<15分位続けて歩いていますか>は要支援1～2では「いいえ」が5割台前半、要介護1～2では、6割台前半で10.8ポイント増加しています。

(2) 外出を控えている理由

【非認定～要介護2調査のみ】

問13⑦で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。[いくつでも○]



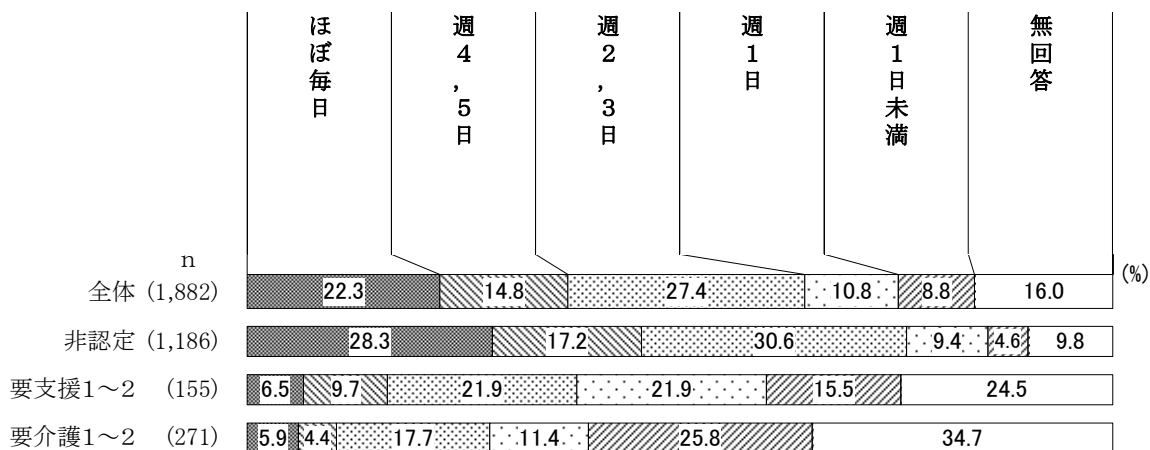
外出を控えている理由を聞いたところ、すべての階層で「足腰の痛み」が最も多く、要支援1～2では7割前半となっています。次いで「病気」「トイレの心配(失禁など)」「外での楽しみがない」「交通手段がない」と続いています。

(3) 外出する頻度

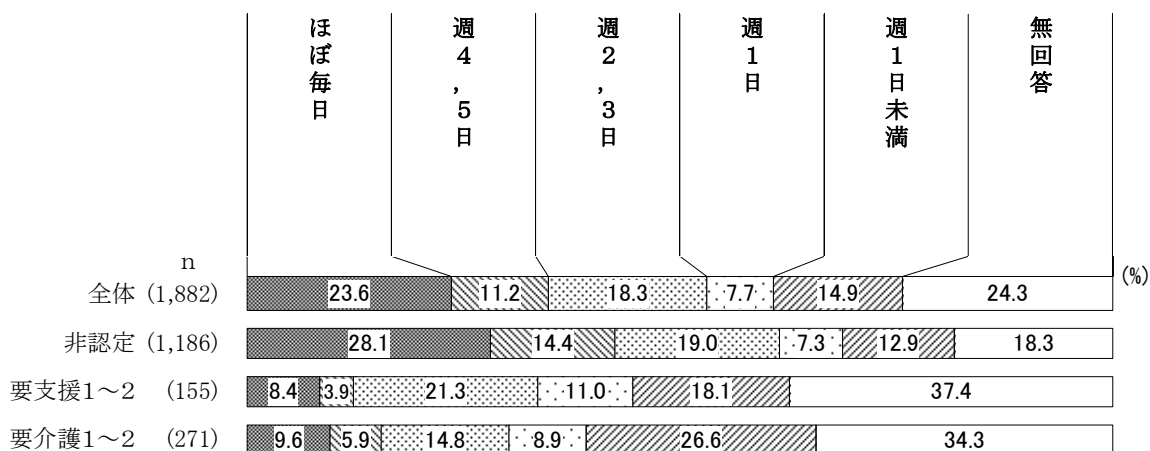
【非認定～要介護2調査のみ】

問14 外出する頻度はどのくらいですか。[それぞれ1つに○]

買物



散歩



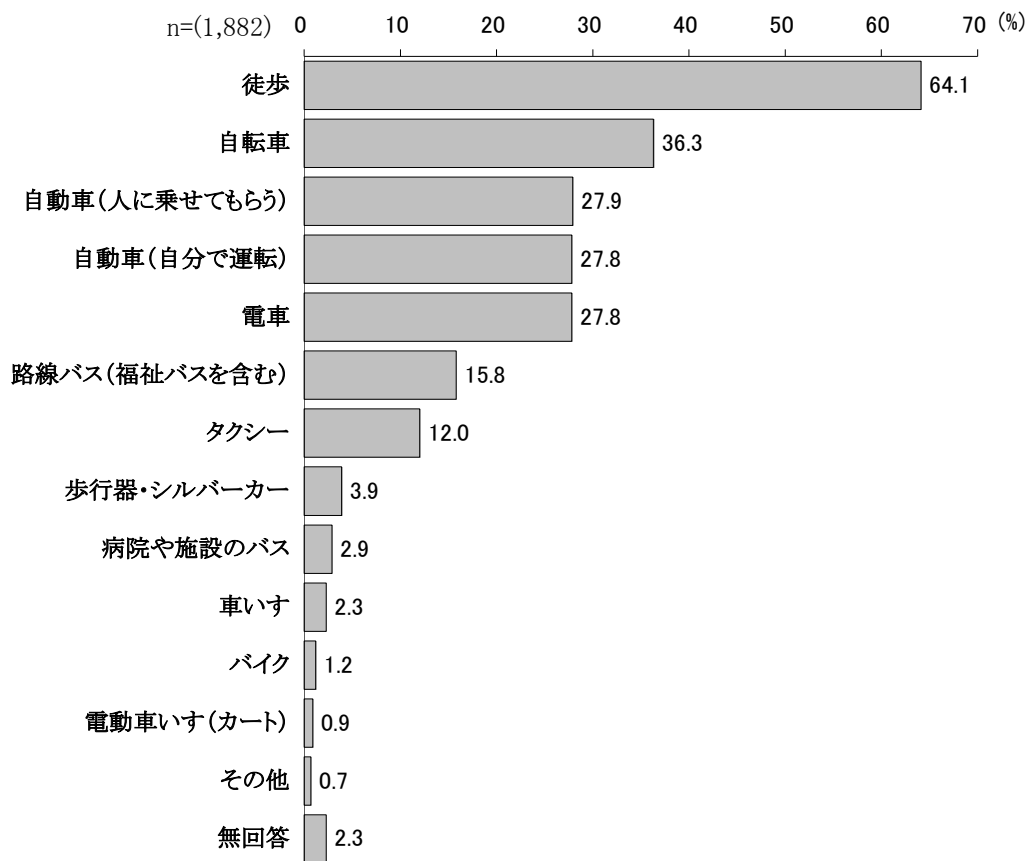
外出する頻度は、買物は非認定では、「週2、3日」が約3割で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が2割台後半となっています。要支援1～2は、「週2、3日」と「週1日」が2割台前半で多く、要介護1～2では、「週1日未満」が2割台半ばで最も多くなっています。散歩は非認定が2割台後半で最も多く、要支援1～2は「週2・3日」が2割台前半、要介護1～2は「週1日未満」が2割台後半で多くなっています。買物、散歩とも介護が上がるにしたがい、外出の回数が減少しています。



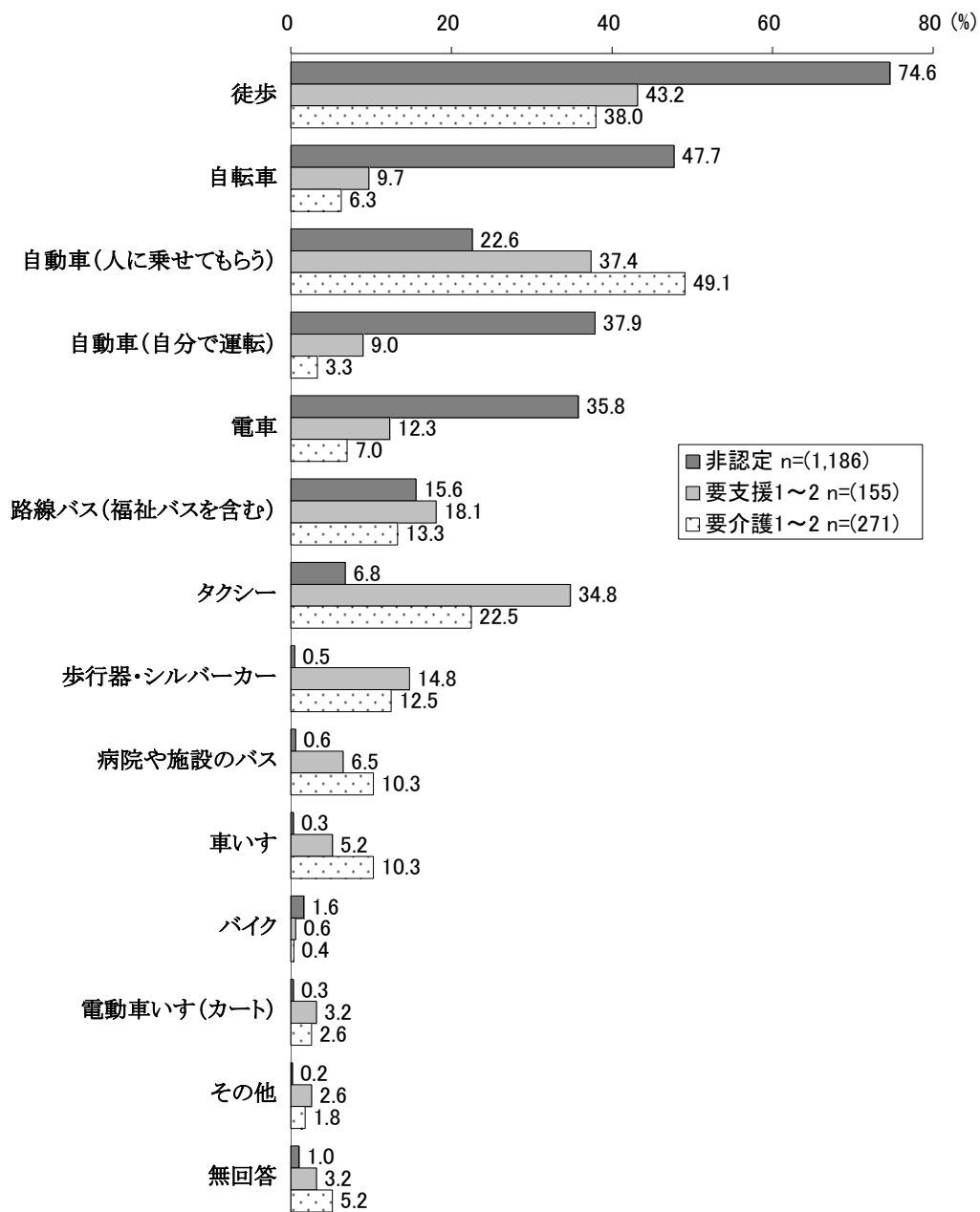
(4) 外出する際の移動手段

【非認定～要介護2調査のみ】

問15 外出する際の移動手段は何ですか。[いくつでも○]



## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



外出する際の移動手段は、非認定では「徒歩」が7割台前半で最も多く、次いで「自転車」が4割台後半、「自動車（自分で運転）」「電車」が3割台半ば～後半で続いています。要支援1～2は「徒歩」が4割台前半と最も多くなっています。次いで、「自動車（人に乗せてもらう）」が3割台後半、「タクシー」が3割台前半となっています。要介護1～2では、「自動車（人に乗せてもらう）」が約5割で最も多く、次いで「徒歩」が3割台後半となっています。

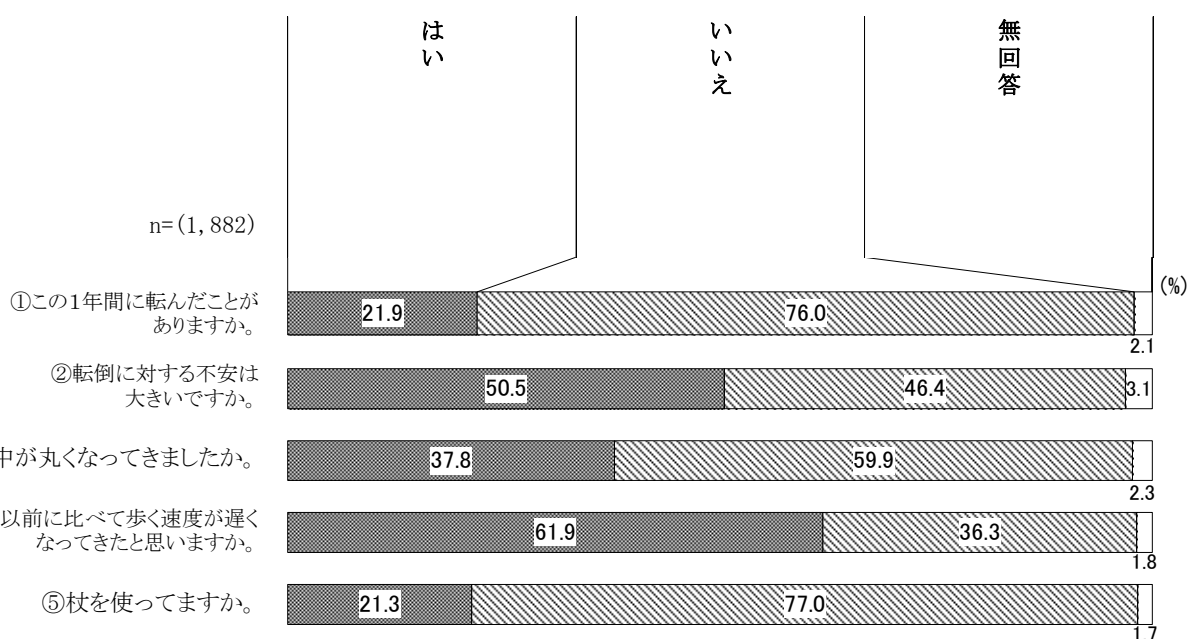
## 5. 転倒について

### (1) 転倒の不安や歩行速度等

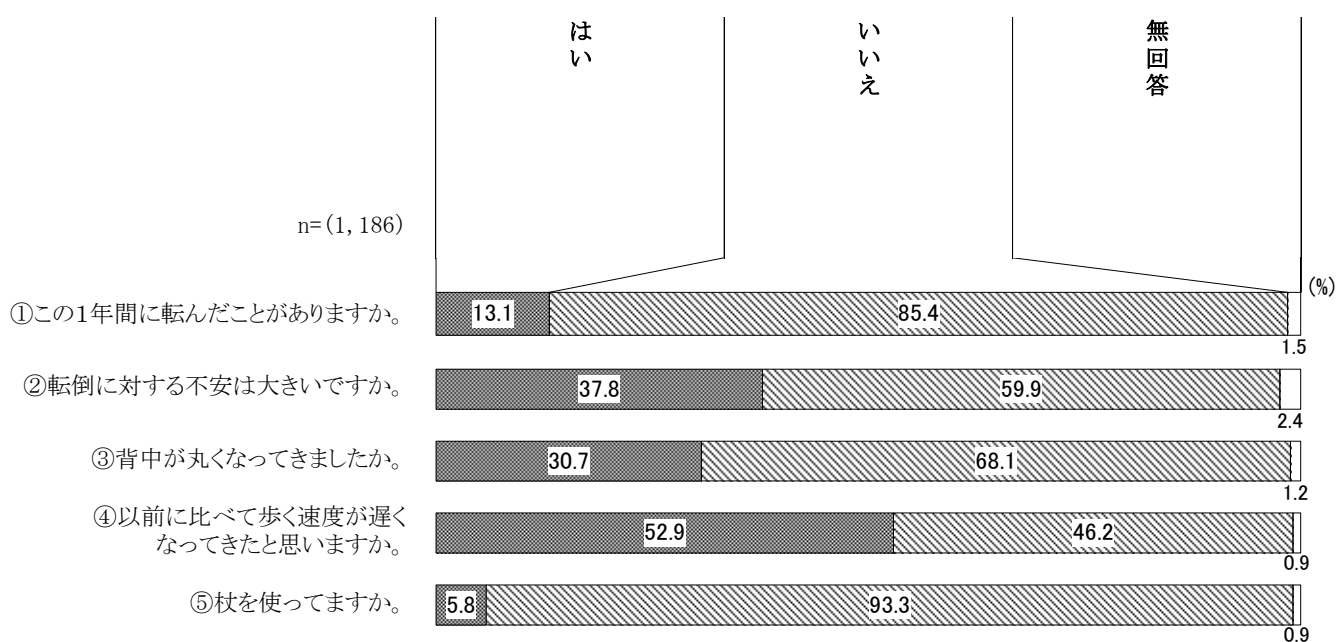
【非認定～要介護2調査のみ】

問16 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

全体

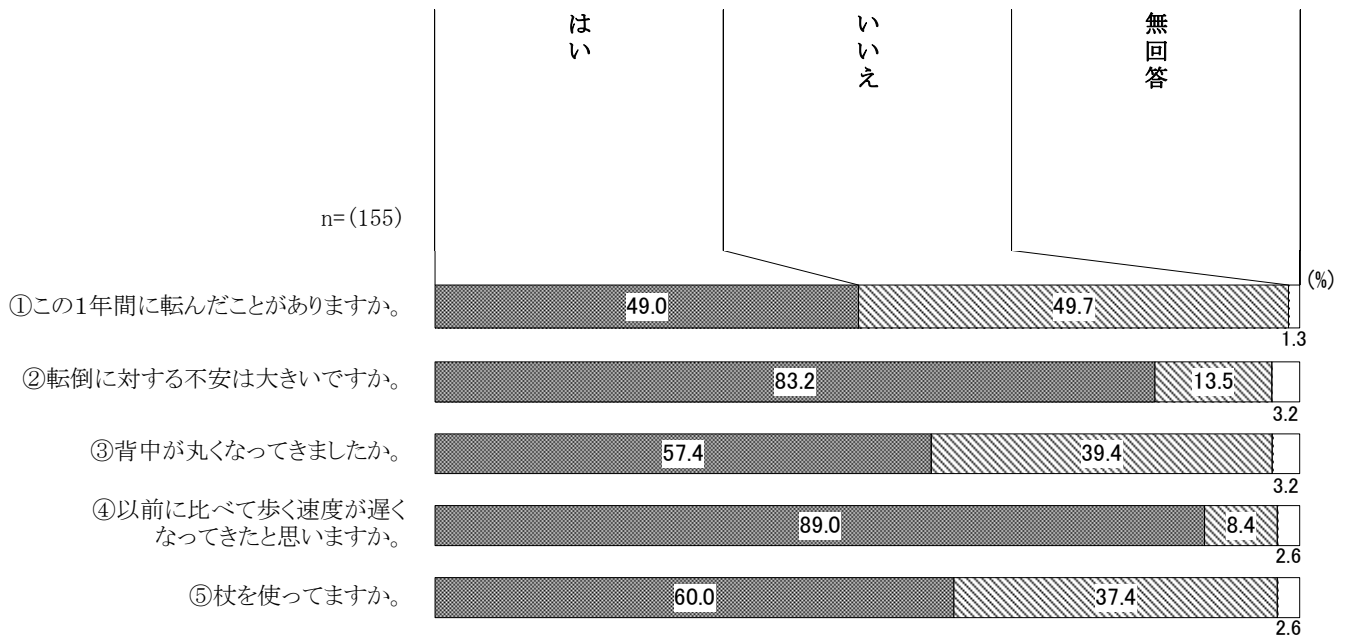


非認定

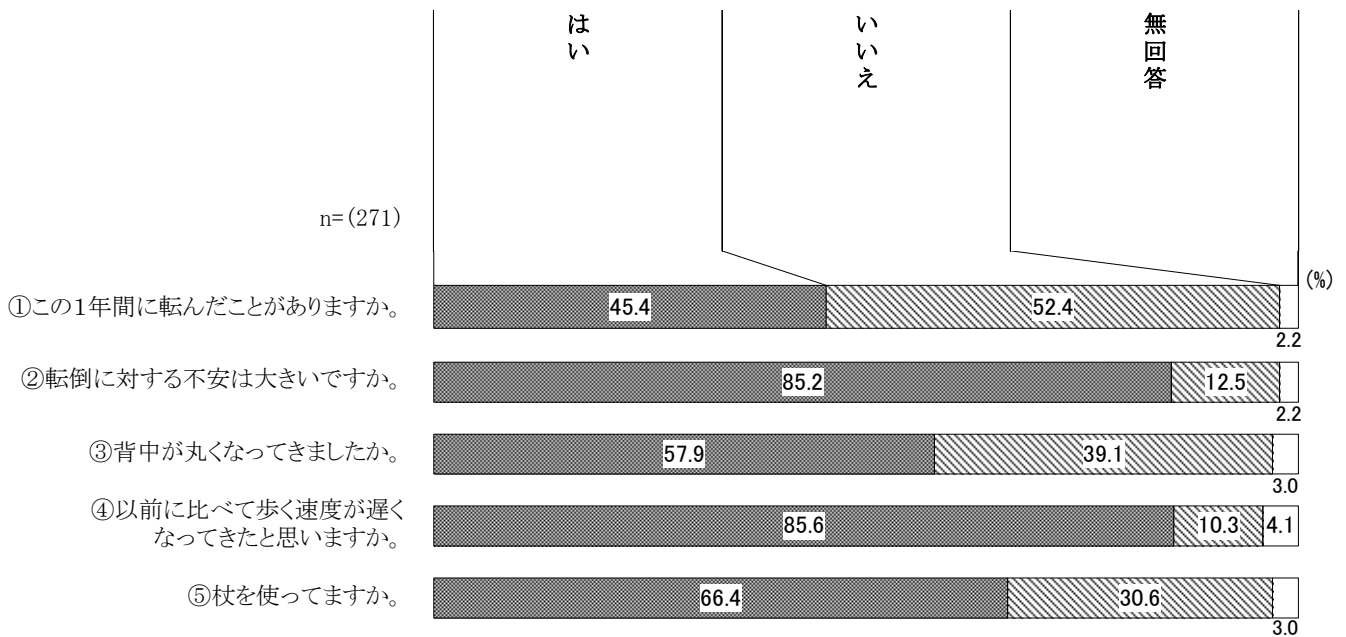


## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

### 要支援1～2



### 要介護1～2



転倒の不安や歩行速度等について、要支援1～2と要介護1～2では同じ程度の傾向となっています。＜転倒に対する不安は大きいですか＞と＜以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか＞は「はい」が8割を超え特に多くなっています。

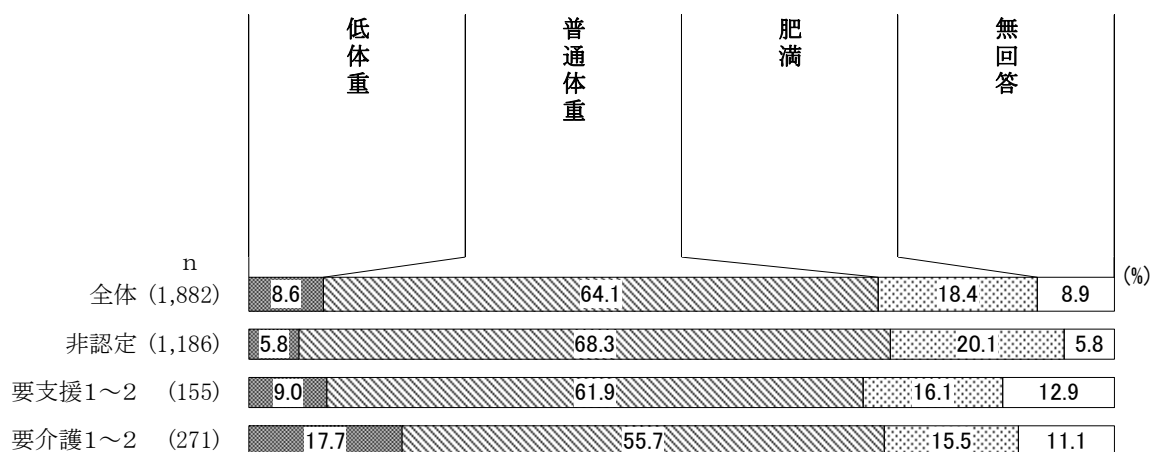
## 6. 口腔・栄養について

### (1) 身長と体重

【非認定～要介護2調査のみ】

問17 身長と体重をご記入ください。

BMIによる肥満の判定

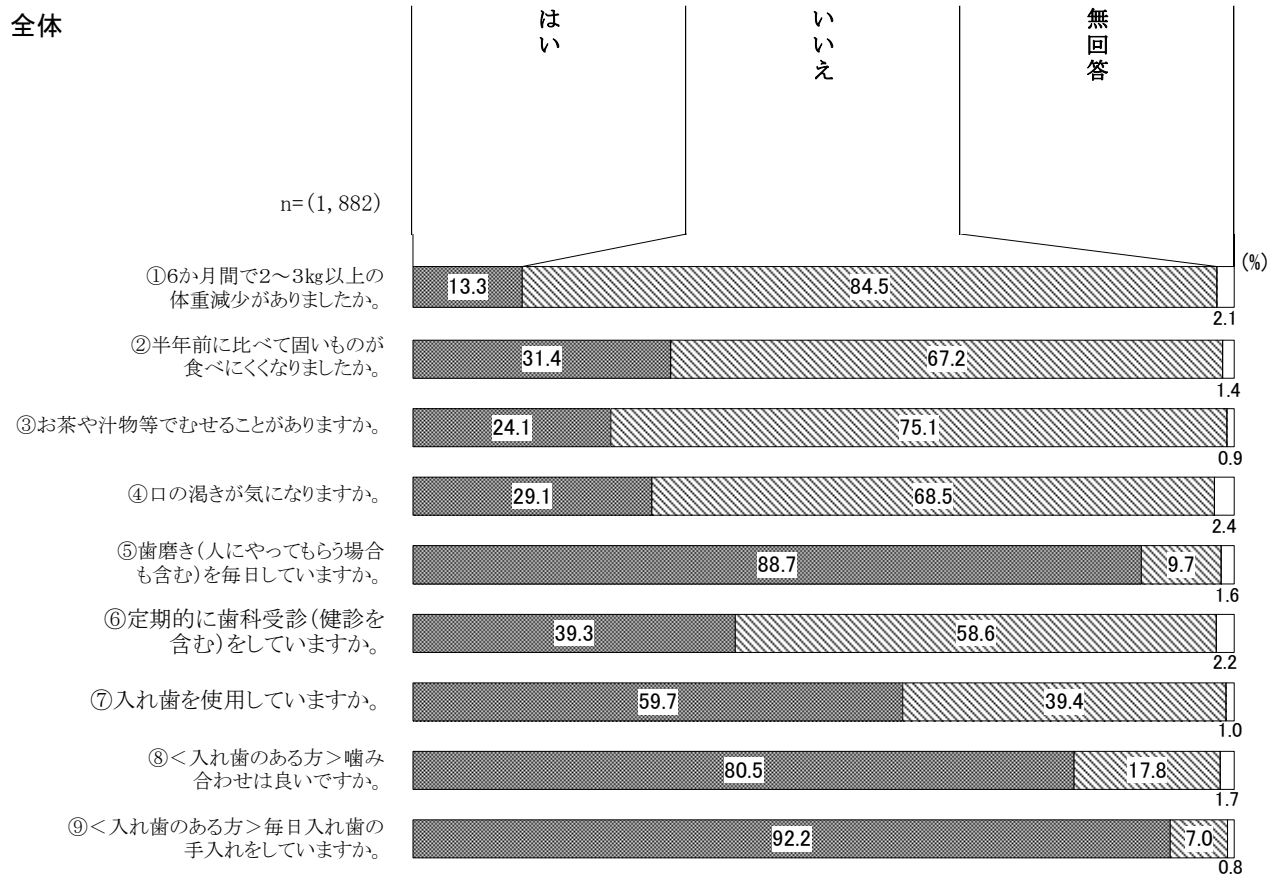


身長と体重を記入していただき、それを元にBMIによる肥満の判定をすると、すべての階層で「普通体重」が5割台半ば～6割台後半で最も多く、「低体重」は要介護1～2で1割台後半、「肥満」は非認定で約2割となっています。

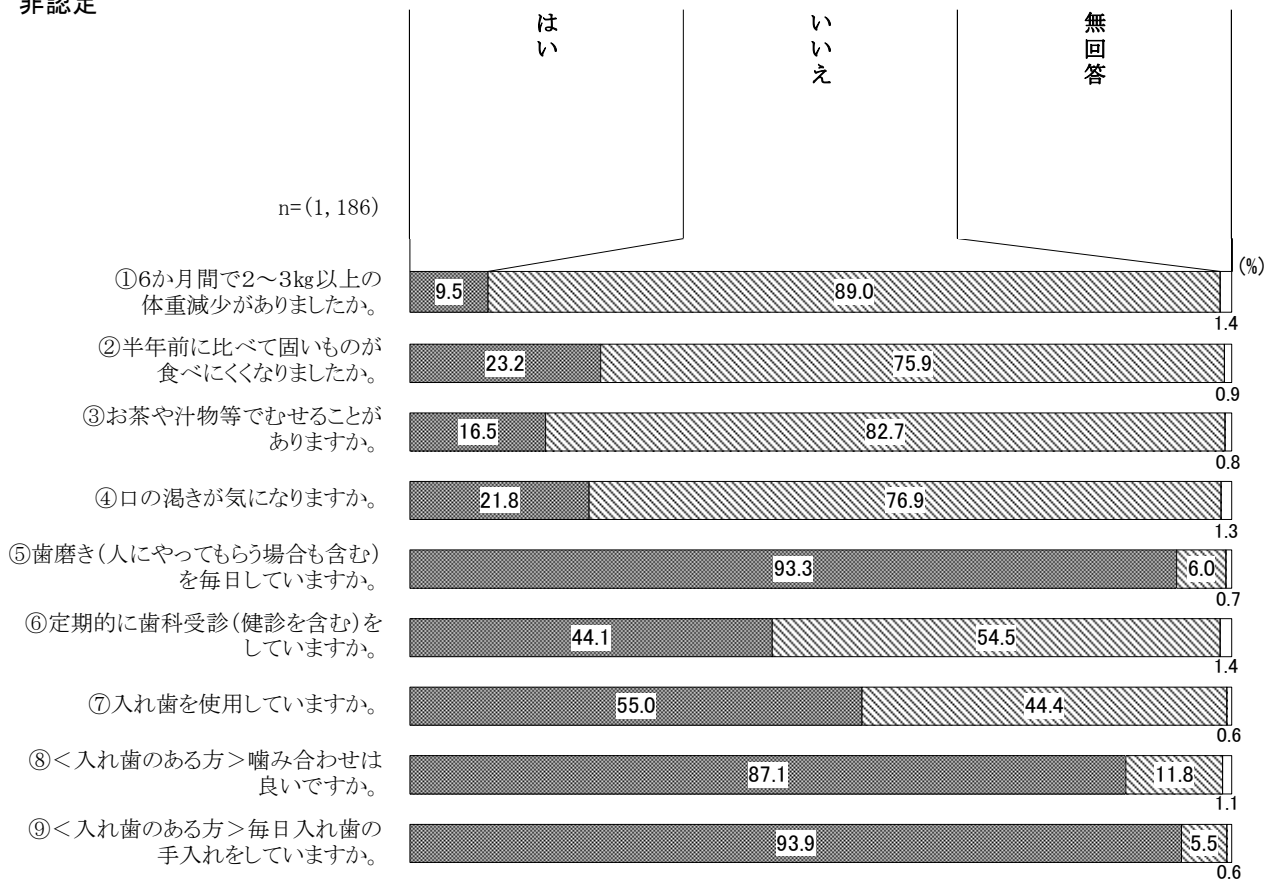
(2) 口腔・栄養の状況

【非認定～要介護2調査のみ】

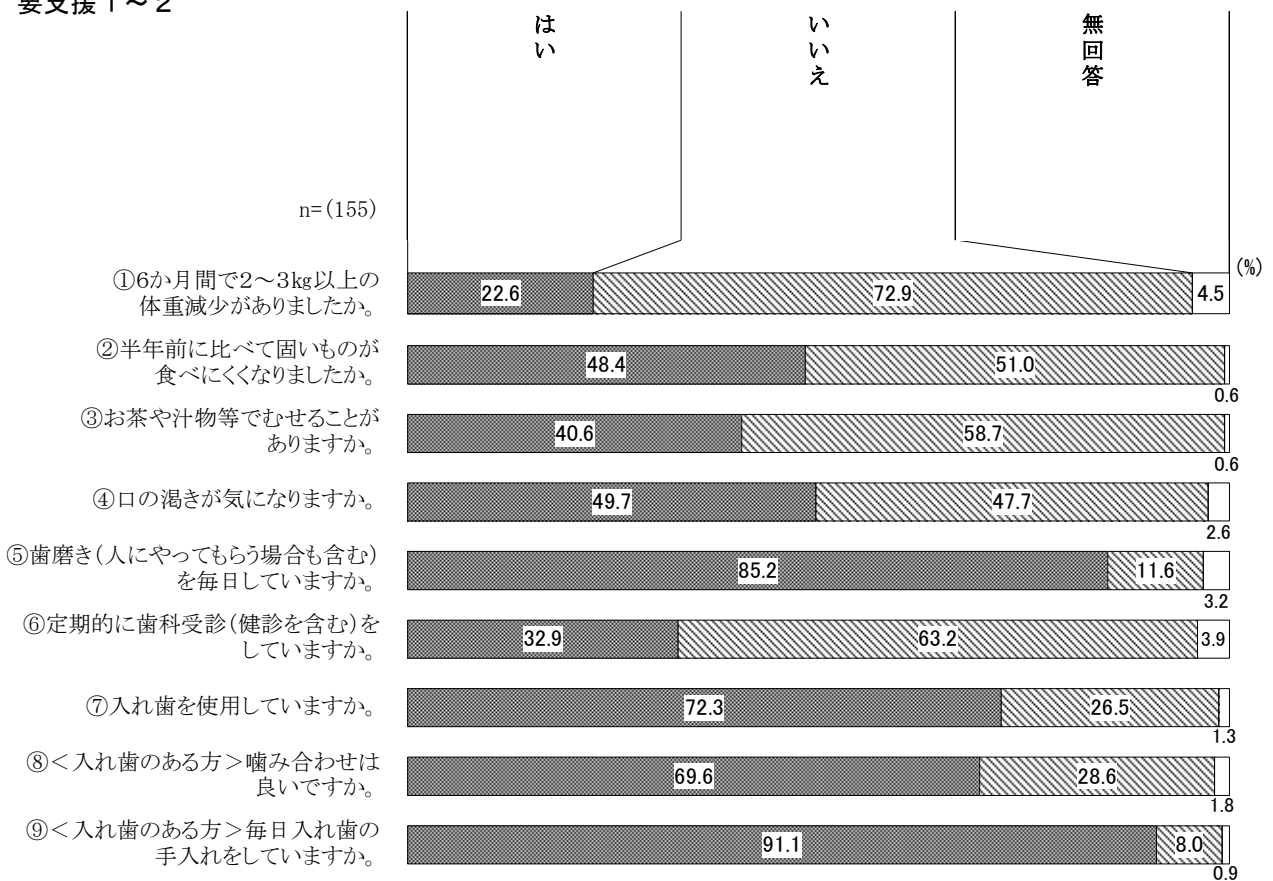
問18 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]



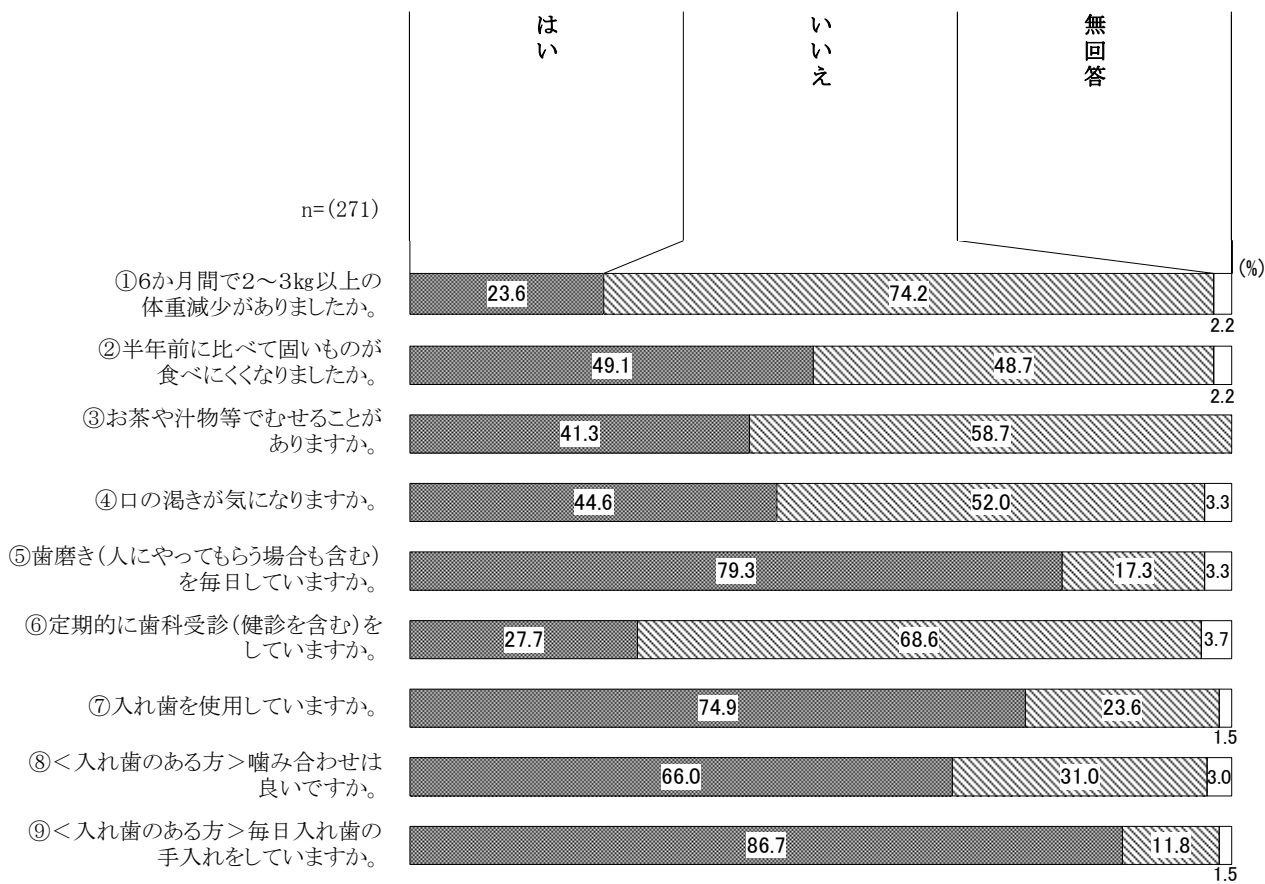
非認定



要支援1～2



要介護1～2



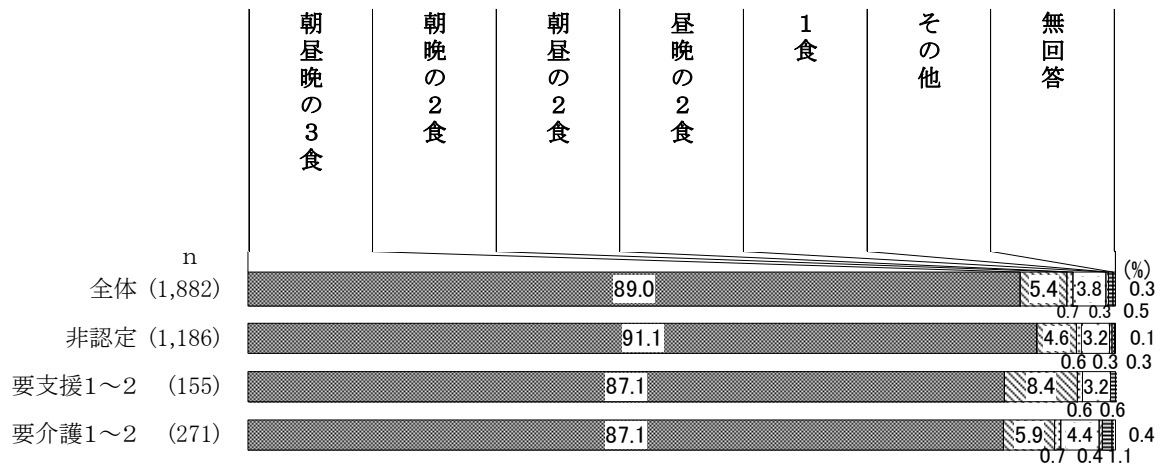
口腔・栄養については、要支援1～2と要介護1～2では同じ程度の傾向となっています。＜歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか＞と＜定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか＞は要介護1～2で「いいえ」が高くなっています。



(3) 1日の食事回数

【非認定～要介護2調査のみ】

問19 1日の食事の回数は何回ですか。[1つに○]

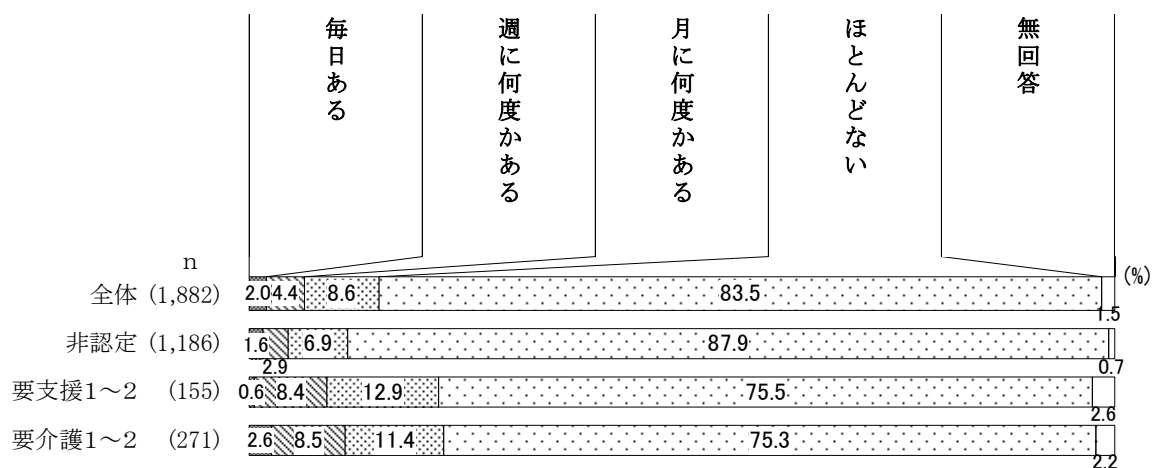


1日の食事回数は、すべての階層で9割前後が「朝昼晩の3食」と回答しています。

(4) 欠食の頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

問20 食事を抜くことがありますか。[1つに○]

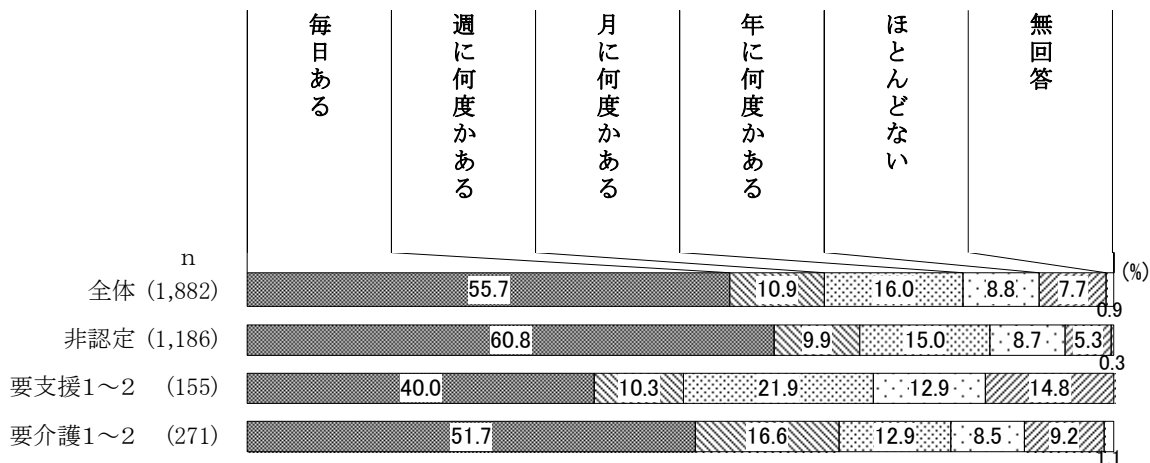


食事を抜くことがあるかを聞いたところ、すべての階層で「ほとんどない」が7割台半ばを超え最も多く、「月に何度かある」が要支援1～2と要介護1～2で1割台前半となっています。

(5) 食事をとる機会の有無

【非認定～要介護2調査のみ】

問21 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。[1つに○]



自分一人でなく、誰かと食事をとる機会については、非認定の約6割が「毎日ある」と回答し、要介護1～2では5割台前半、要支援1～2では4割が「毎日ある」と回答しています。「月に何度かある」は要支援1～2で2割第前半となっています。

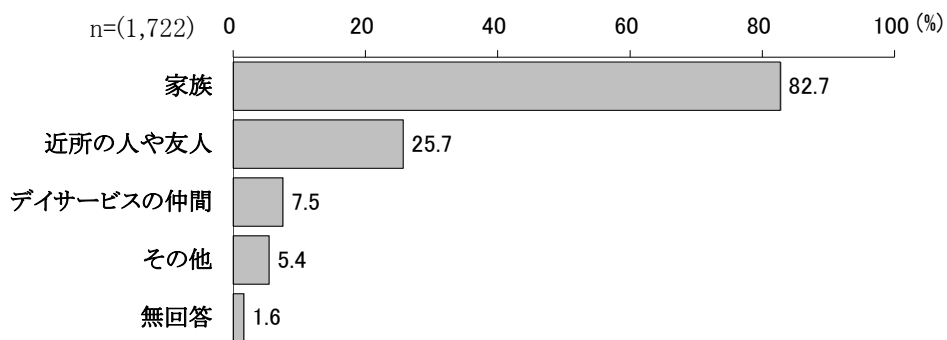
(6) 食事をとる機会がある方の続柄

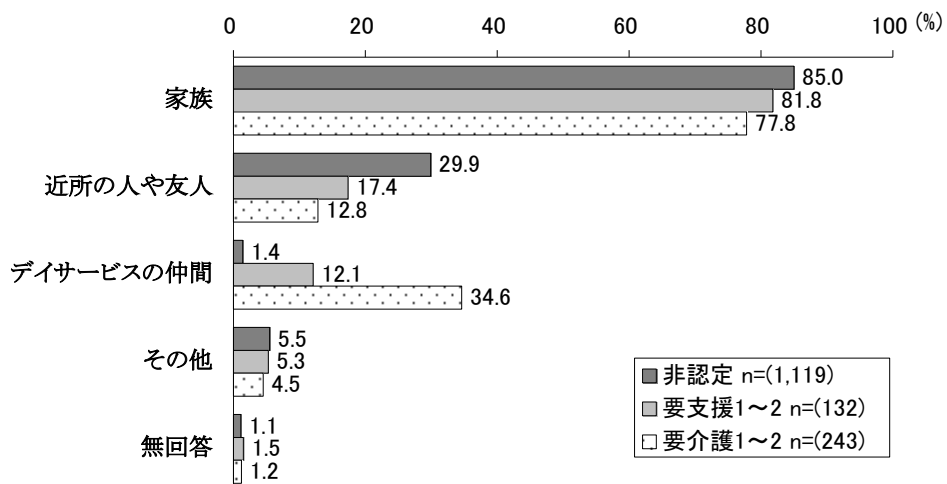
【非認定～要介護2調査のみ】

問21で、どなたかと食事をとる機会がある方におたずねします。

問21-1 食事をとる人はどなたですか。[いくつでも○]

全体





食事をともにする人は、すべての階層で「家族」が7割台後半～8割台半ばと最も多く、「近所の人や友人」は非認定が約3割、要支援1～2は1割台後半と続いています。要介護1～2では、「デイサービスの仲間」が3割台前半と「家族」に次いで多くなっています。

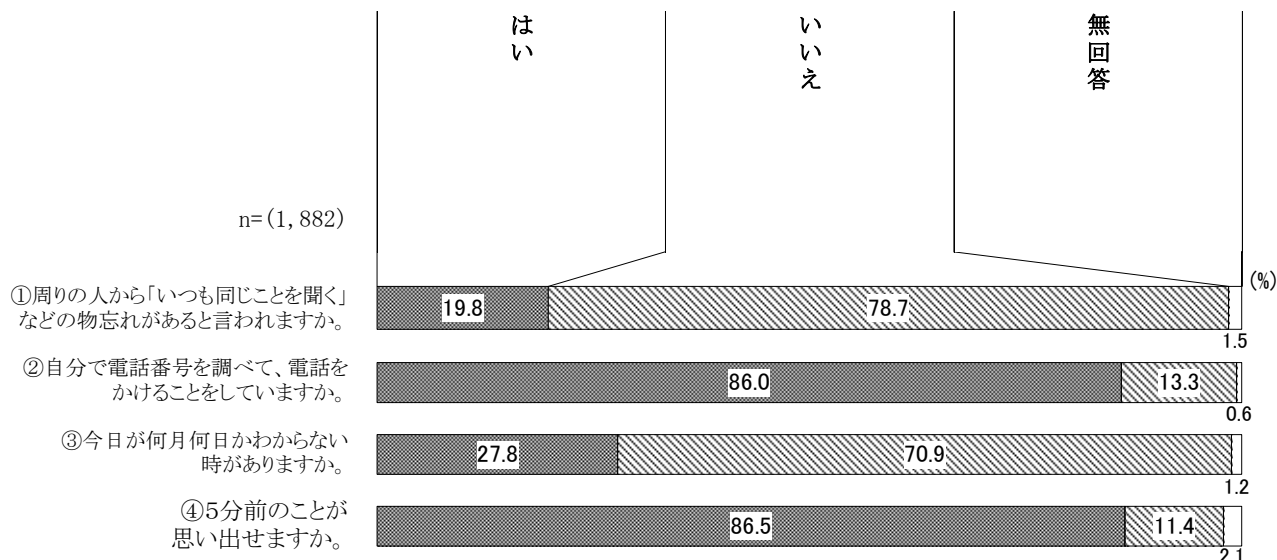
## 7. 物忘れについて

### (1) もの忘れ

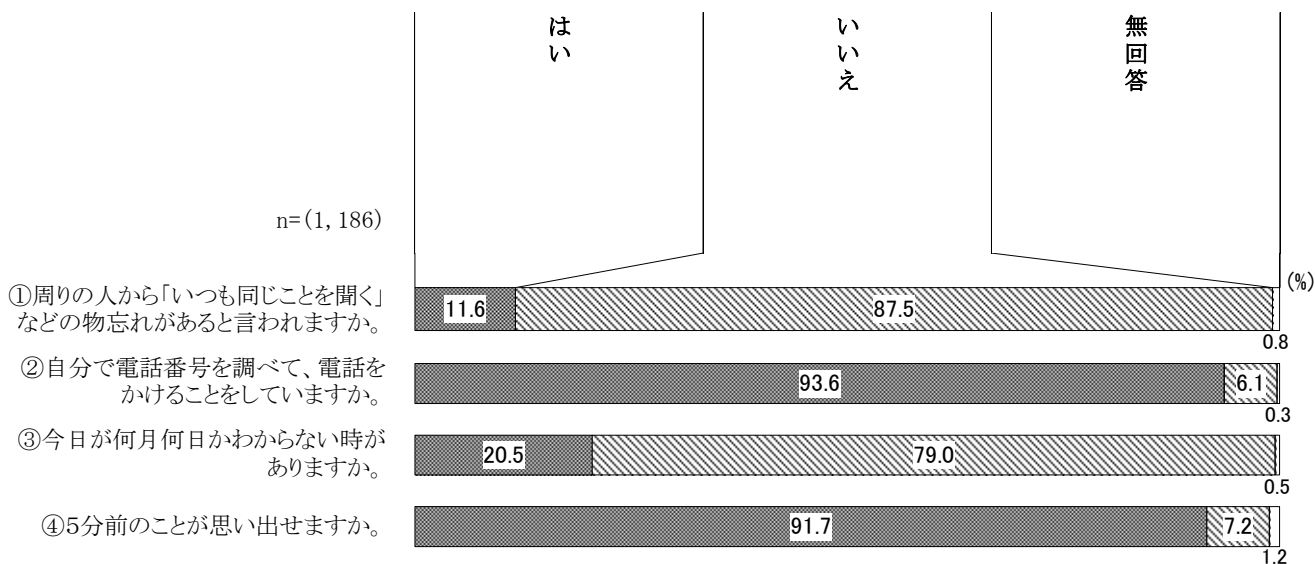
【非認定～要介護2調査のみ】

問22 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

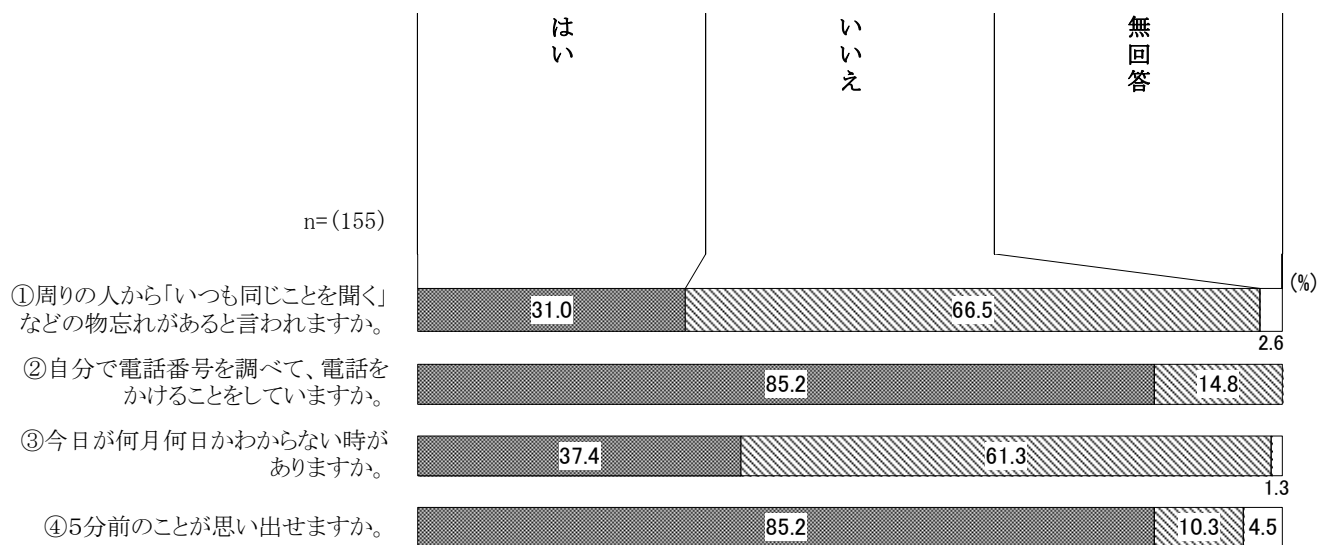
全体



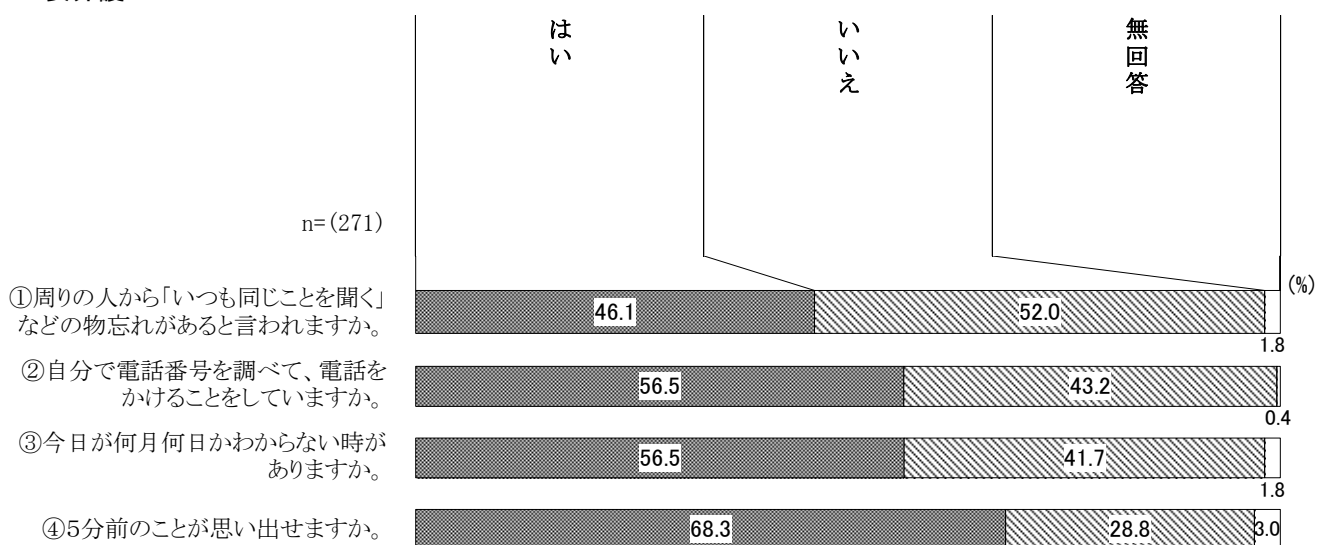
非認定



要支援1～2



要介護1～2

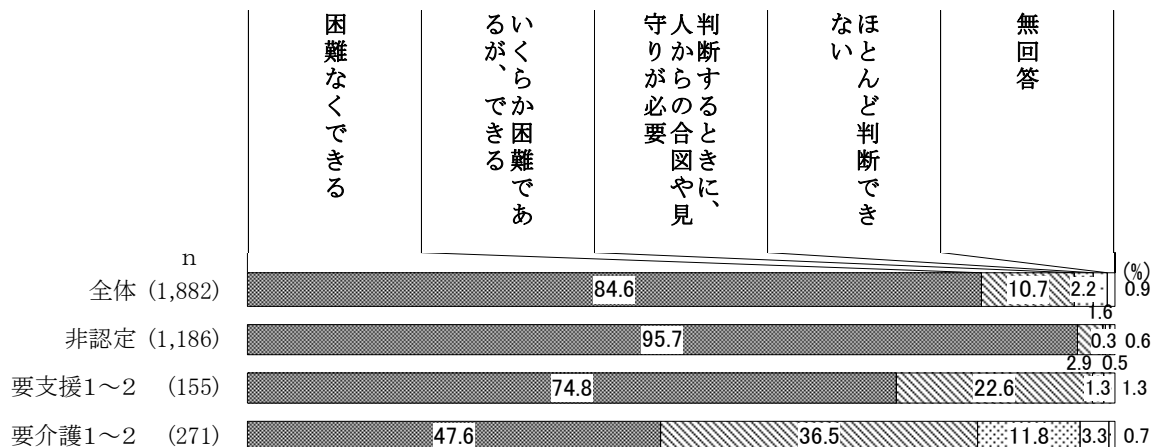


<周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか>は、「はい」は非認定では1割台前半ですが、要支援1～2では3割台前半、要介護1～2では4割台後半に増加しています。<自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか>は、「はい」は非認定が9割台前半、要支援1～2が8割台半ばで大差がありませんが、要介護1～2では、5割台後半と減少しています。<今日が何月何日かわからない時がありますか>は「はい」が非認定では約2割、要支援1～2では3割台後半、要介護1～2では5割台後半と増加しています。<5分前のことが思い出せますか>は、「はい」が非認定で9割台前半、要支援1～2で8割台半ば、要介護1～2では6割台後半と減少しています。

(2) 活動の判断能力

【非認定～要介護2調査のみ】

問23 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。[1つに○]

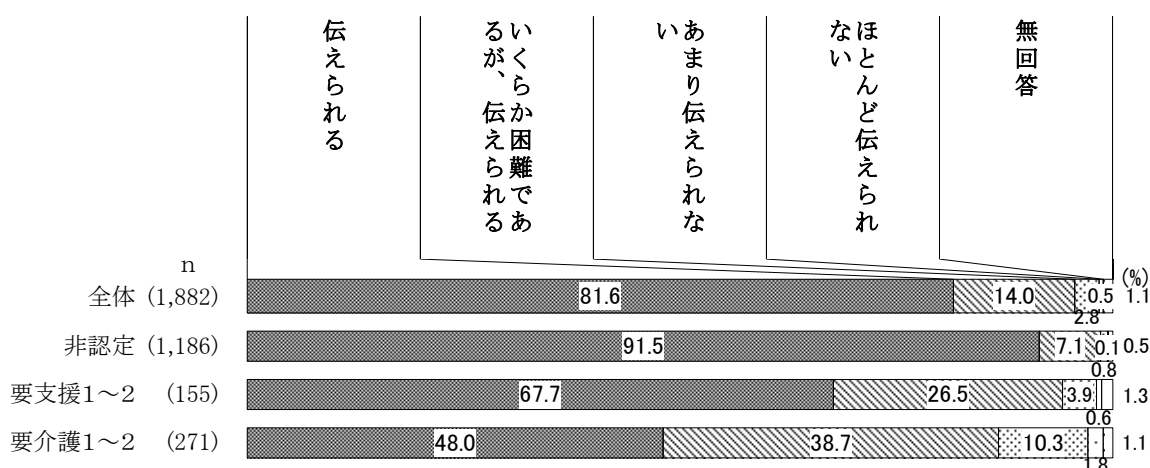


その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が非認定では9割台半ば、要支援1～2は7割台前半、要介護1～2では4割台後半と減少しています。「いくらか困難であるが、できる」は要介護1～2で3割台後半となっています。

(3) 意思伝達能力

【非認定～要介護2調査のみ】

問24 人に自分の考えをうまく伝えられますか。[1つに○]



人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」は介護度が上がるにしたがい減少し、要支援1～2で6割台後半、要介護1～2では4割台後半となっています。

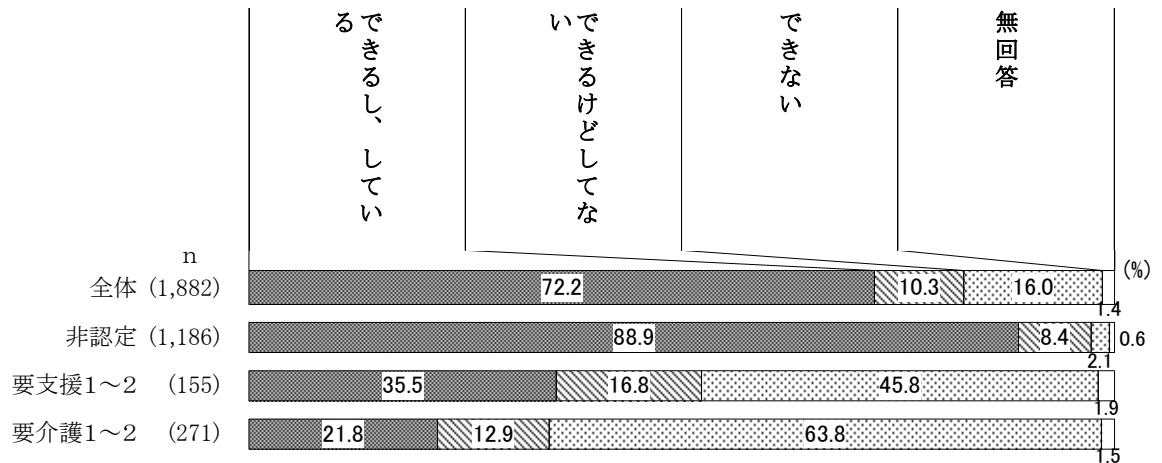
## 8. 日常生活について

### (1) 日常生活のさまざまな行動について

【非認定～要介護2調査のみ】

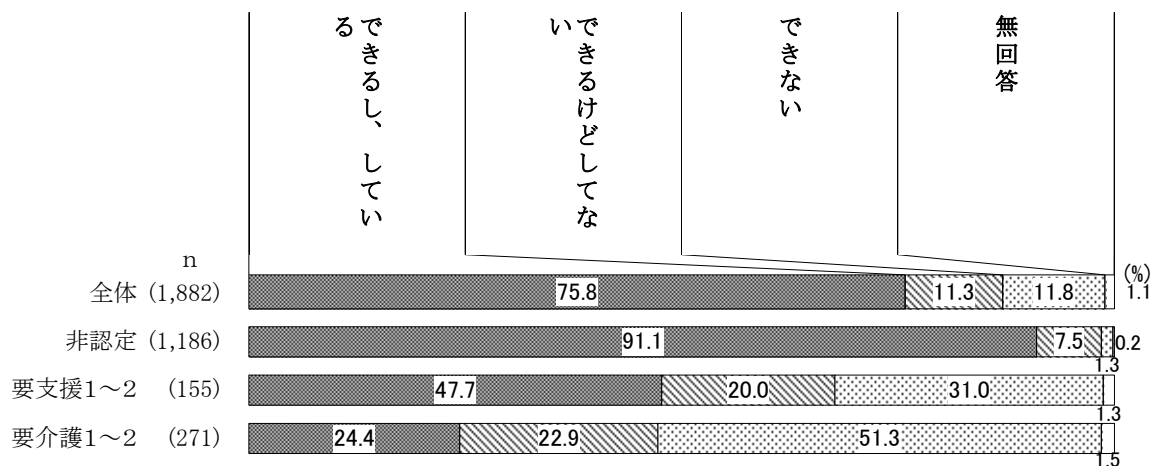
問25 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

#### ①一人で外出



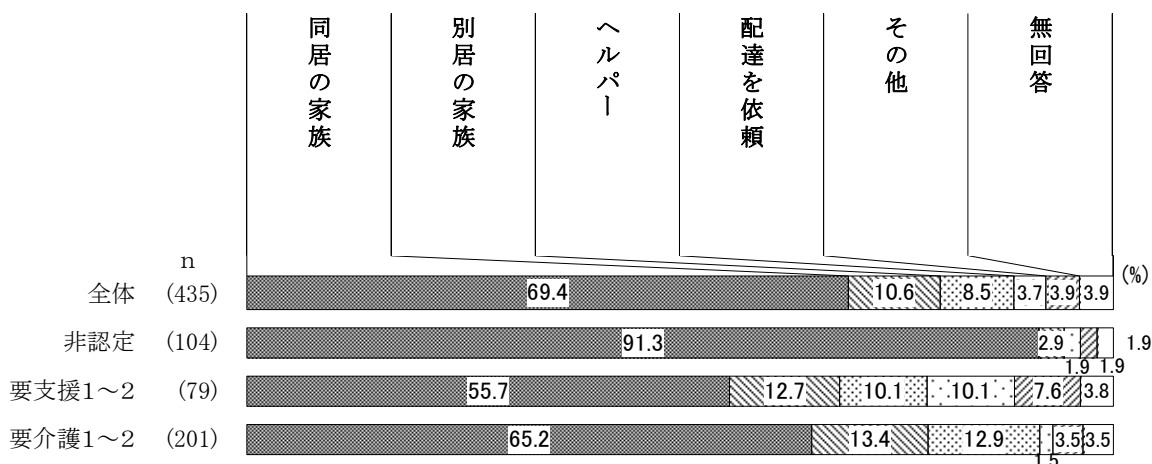
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）については、要支援1～2では「できるし、している」は3割台半ば、要介護1～2では2割台前半、「できない」は要支援1～2で4割台半ば、要介護1～2では6割台前半となっています。

#### ②日用品の買い物



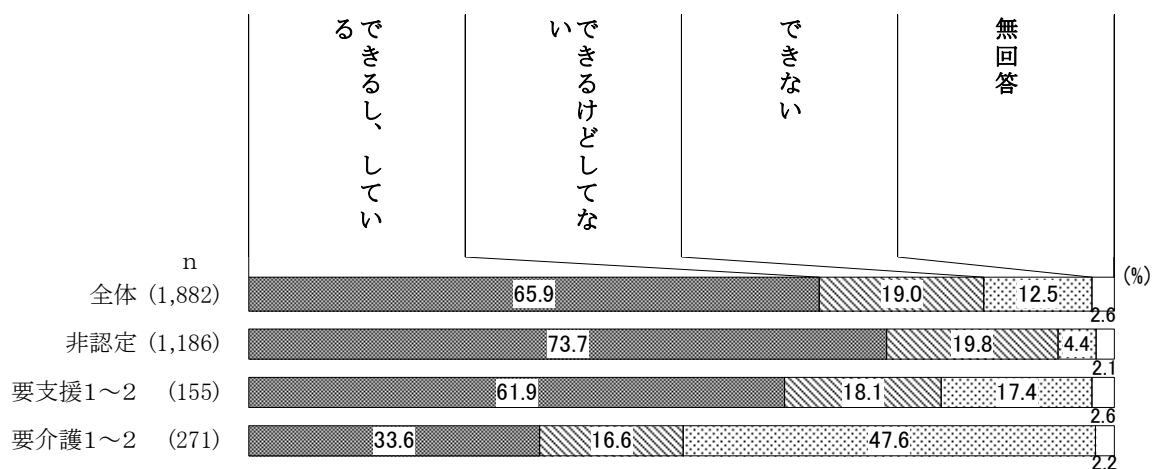
日用品の買い物については、「できるし、している」は要支援1～2が4割台後半、要介護1～2では2割台前半と減少しています。「できるけどしてない」は要支援1～2、要介護1～2とも2割台となっています。「できない」は要支援1～2で3割台前半、要介護1～2では5割台前半と増加しています。

②-1 日用品の買い物を主にしている人



日用品の買い物について「できるけどしてない」「できない」と回答した方の日用品の買い物を主にしている人は、すべての階層で「同居の家族」が最も多く、非認定では9割台前半、要支援1~2では5割台半ば、要介護1~2では6割台半ばとなっています。要支援1~2と要介護1~2では「別居の家族」「ヘルパー」が1割台となり、要支援1~2では「配達を依頼」も1割となっています。

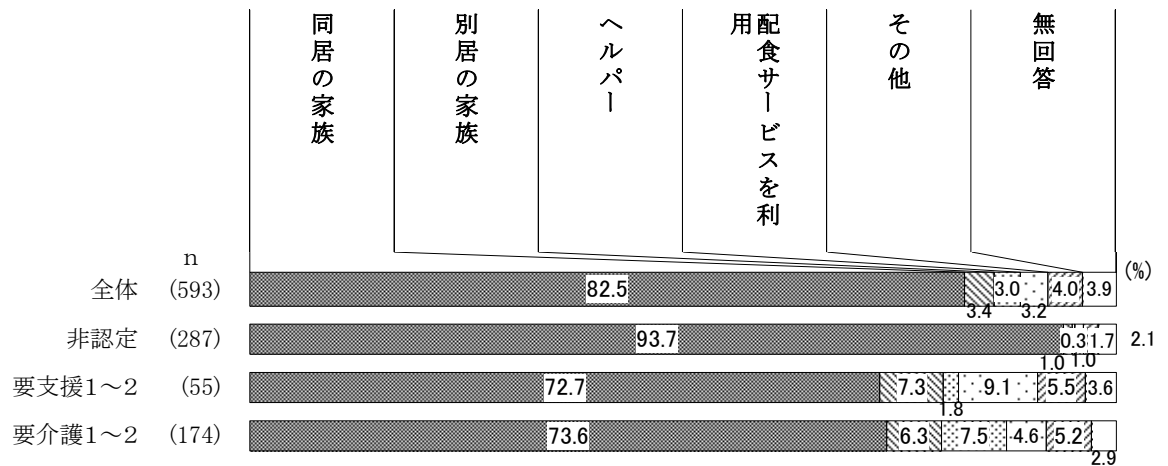
③食事の用意



自分で食事の用意をしていますかは、「できるし、している」は非認定では7割台前半、要支援1~2では6割台前半、要介護1~2では3割台前半と要支援1~2より、28.3ポイント減少しています。一方、「できない」は介護度が上がるにしたがい増加し、要介護1~2では4割台後半となっています。

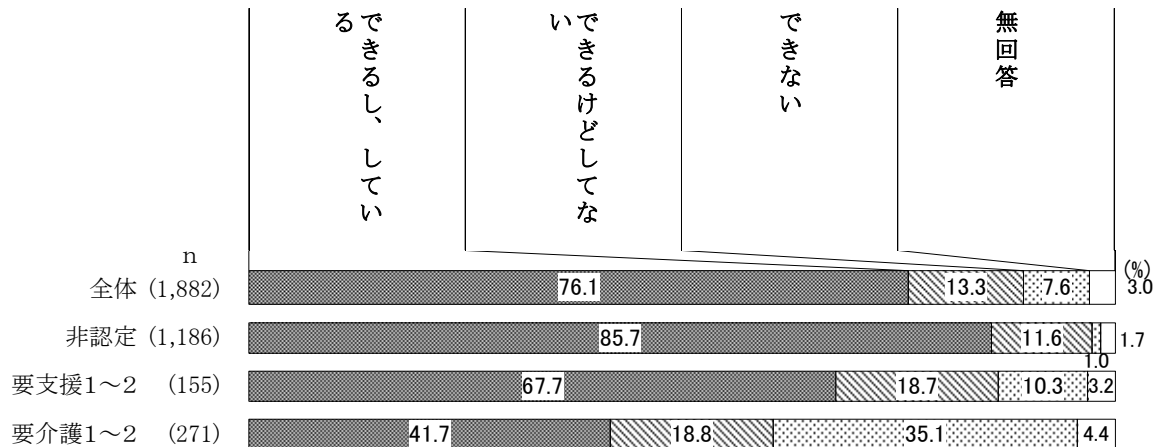


③-1 食事の用意を主にしている人



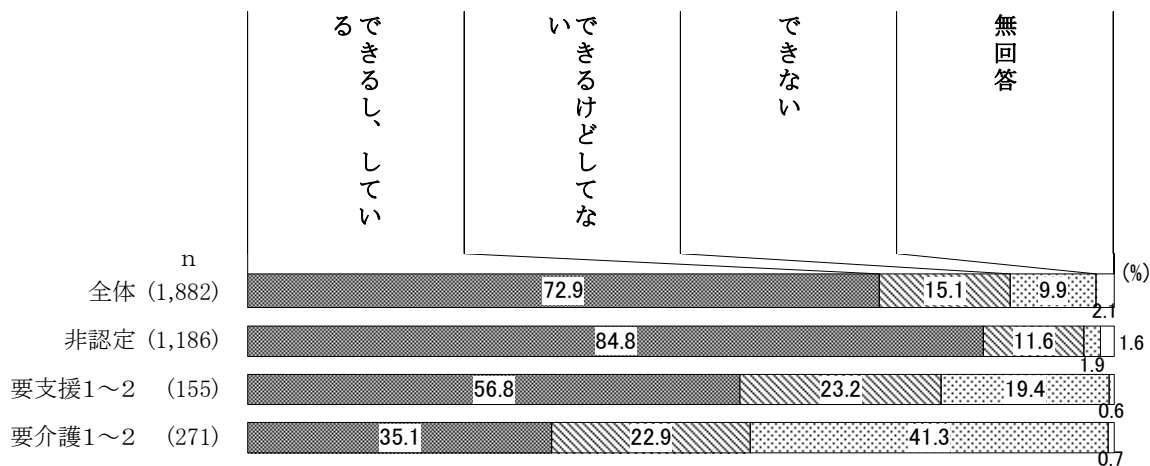
食事の用意について、「できるけどしてない」「できない」と回答した方の食事の用意を主にしている人は、すべての階層で「同居の家族」が最も多く、非認定では、9割台前半、要支援1~2と要介護1~2では7割台前半となっています。

④請求書の支払い



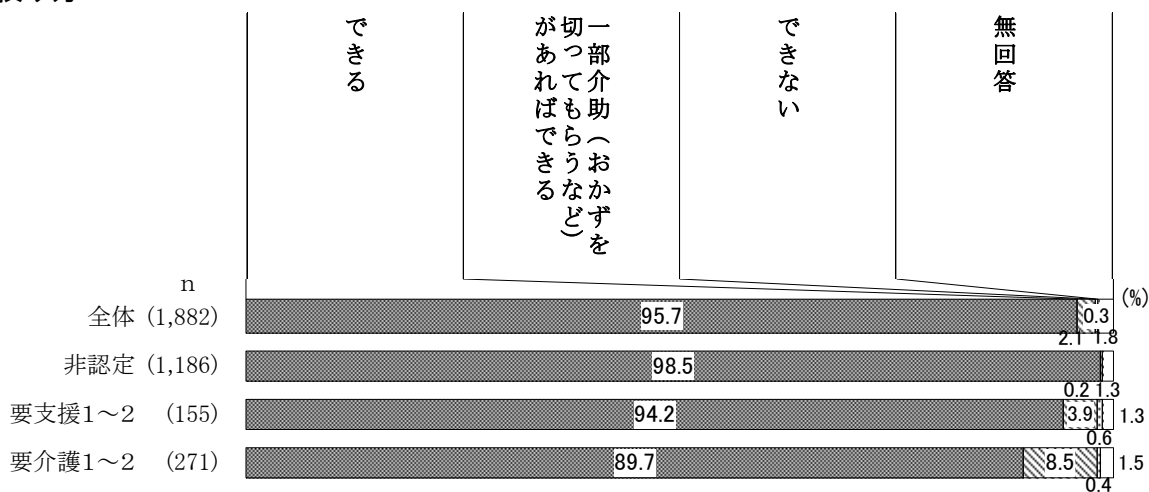
請求書の支払いについては、「できるし、している」は介護度が上がるにしたがい減少し、非認定では8割台半ば、要支援1~2では6割台後半、要介護1~2では4割台前半となっています。「できるけどしてない」は要支援1~2と要介護1~2では1割台後半となっています。一方「できない」は要介護1~2で3割台半ばと要支援1~2と比較すると3.5倍に増加しています。

⑤ 預貯金の出し入れ



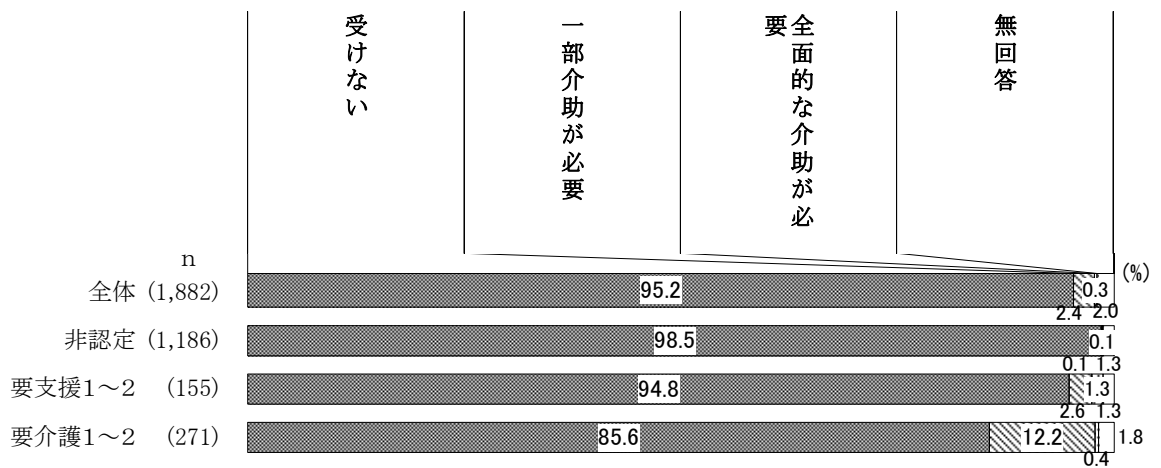
預貯金の出し入れについては、「できるし、している」は非認定で8割台前半、要支援1~2で5割台後半、要介護1~2では3割台半ばと減少しています。「できるけどしてない」は要支援1~2と要介護1~2で2割第前半となっています。「できない」は非認定が1割台前半に対して、要支援1~2では約2割、要介護1~2では4割第前半と増加しています。

⑥ 食事の摂り方



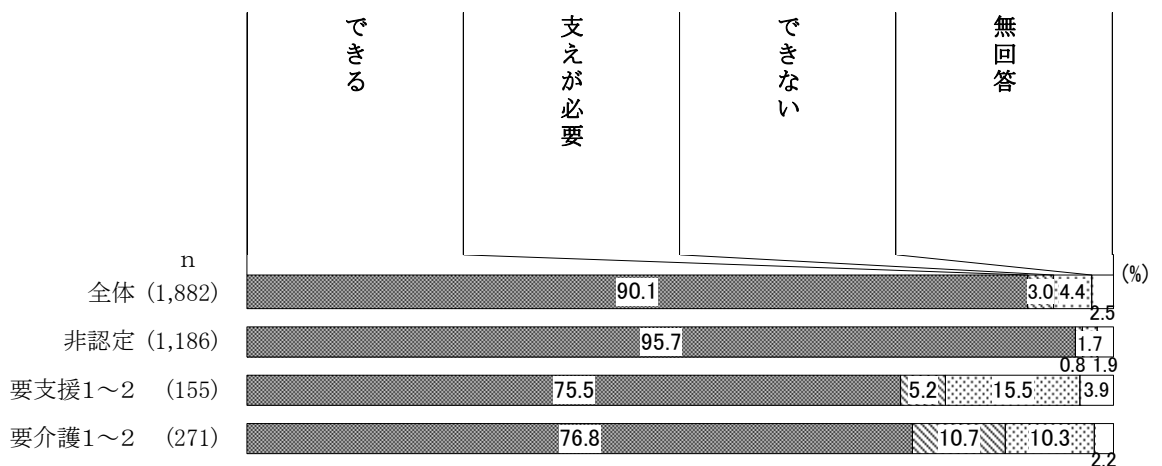
食事は自分で食べられるかは、すべての階層で「できる」の回答が多くなっています。

⑦就寝時の介助



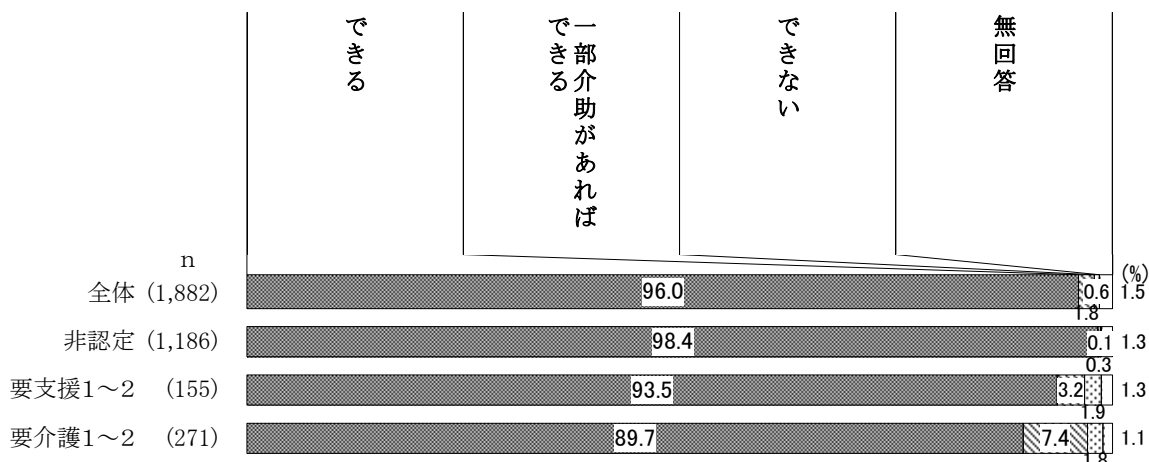
寝床に入るとき、何らかの介助を受けますかは、すべての階層で「受けない」が多くなっています。要介護1~2で「一部介助が必要」が1割台前半となっています。

⑧座っていることができるか



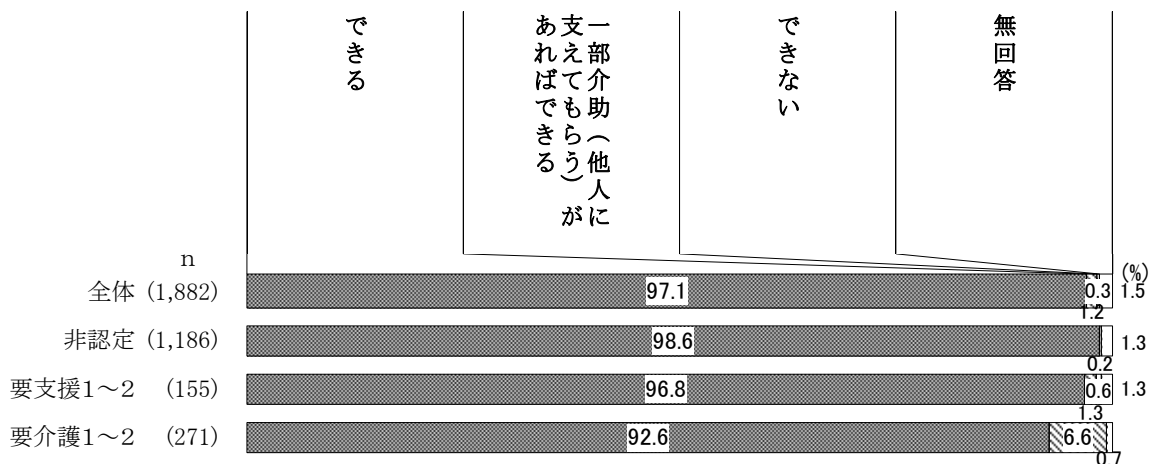
座っていることができるかは、非認定の9割台半ばが「できる」と回答し、要支援1~2と要介護1~2では7割台半ばが「できる」と回答しています。「できない」は要支援1~2で1割台半ば、要介護1~2では約1割となっています。要介護1~2では「支えが必要」も1割となっています。

⑨洗面や歯磨き



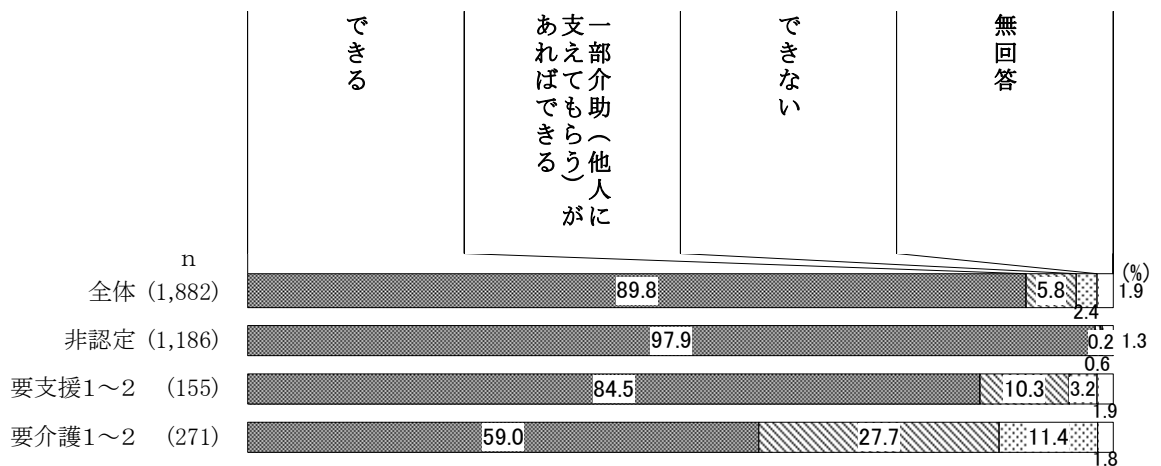
自分で洗面や歯磨きができるかは、すべての階層で「できる」が約9割以上と多くなっています。

⑩トイレ



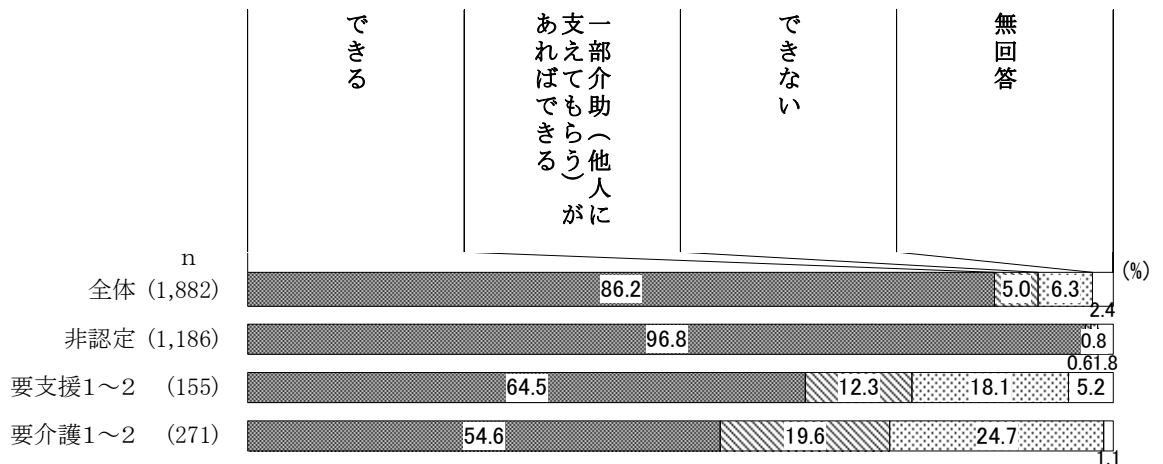
自分でトイレができるかは、すべての階層で9割以上が「できる」と回答しています。

⑪入浴



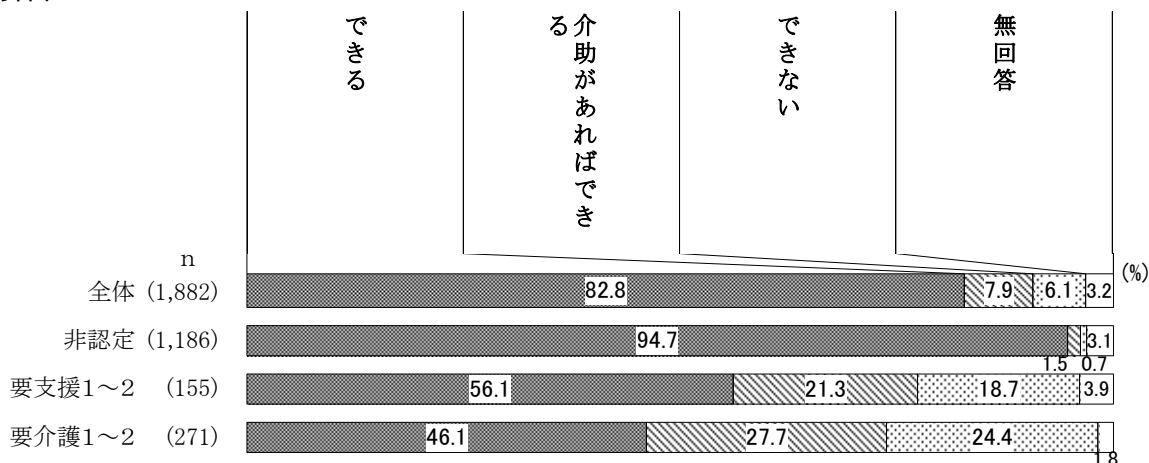
自分で入浴ができるかは、非認定では9割台後半が「できる」と回答し、要支援1～2では8割台前半、要介護1～2では約6割が「できる」と回答しています。「一部介助（他人支えてもらう）があればできる」は要支援1～2で1割、要介護1～2で2割台後半であり、「できない」は要支援1～2と要介護1～2で1割となっています。

⑫50m以上の歩行



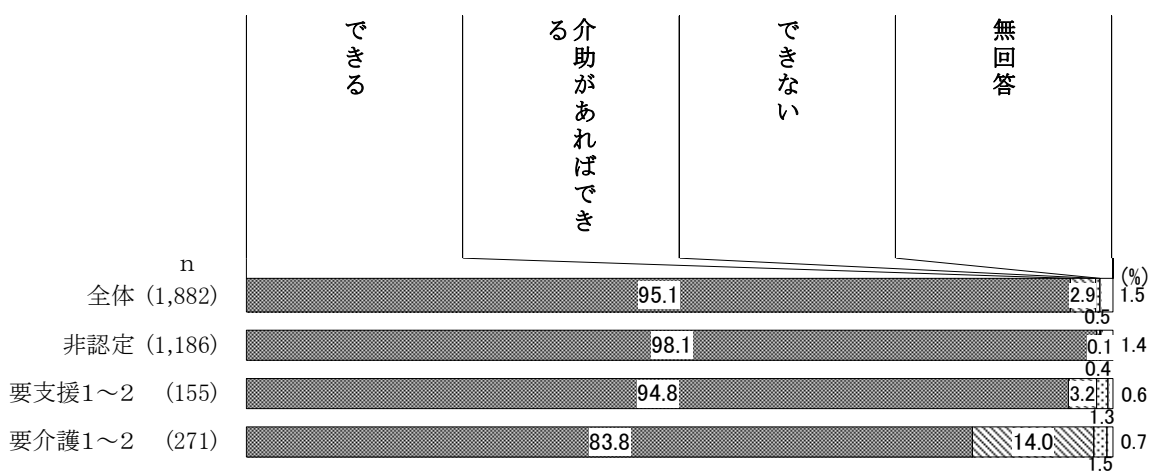
50m以上歩けるかは、非認定では9割台後半が「できる」と回答し、要支援1～2では6割台前半、要介護1～2では5割台前半となっています。「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が要支援1～2で1割台前半、要介護1～2で約2割となっています。一方、「できない」は要支援1～2で1割台後半、要介護1～2で2割台前半と増加しています。

⑬階段の昇降



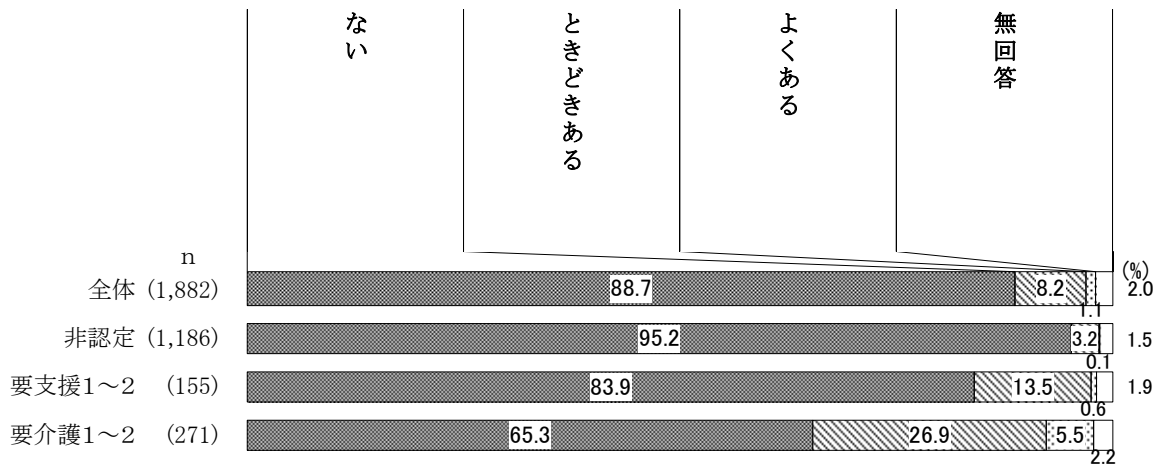
階段を昇り降りできるかは非認定の9割台前半が「できる」と回答し、要支援1~2では5割台後半に減少、要介護1~2ではさらに4割台後半に減少しています。「介助があればできる」は要支援1~2で2割台前半、要介護1~2で2割台後半となっています。一方、「できない」は要支援1~2で1割台後半、要介護1~2で2割台前半と増加しています。

⑭着替え



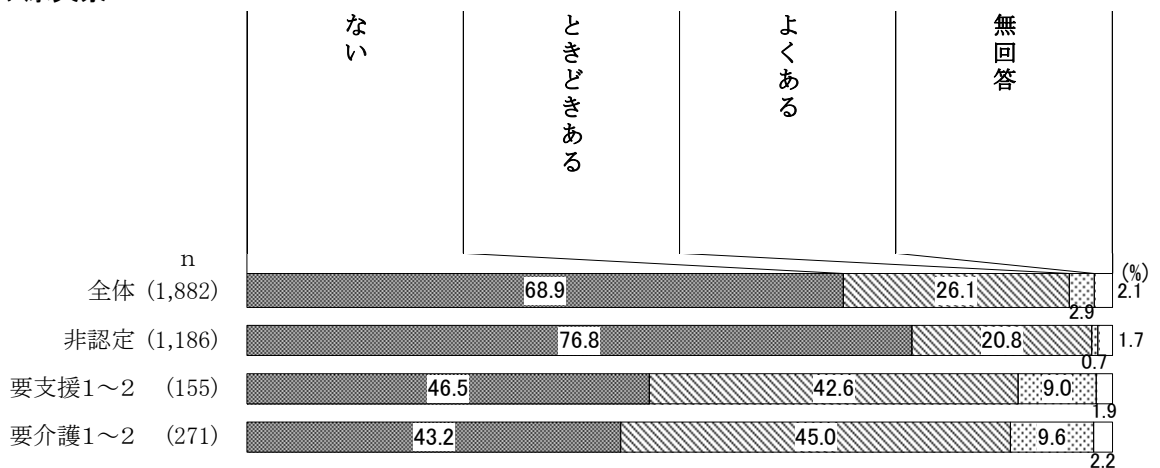
自分で着替えができるかは、すべての階層で「できる」が最も多く、非認定と要支援1~2では9割を超え、要介護1~2では8割台前半となっています。「できない」は要介護1~2で1割台前半となっています。

⑮大便の失敗



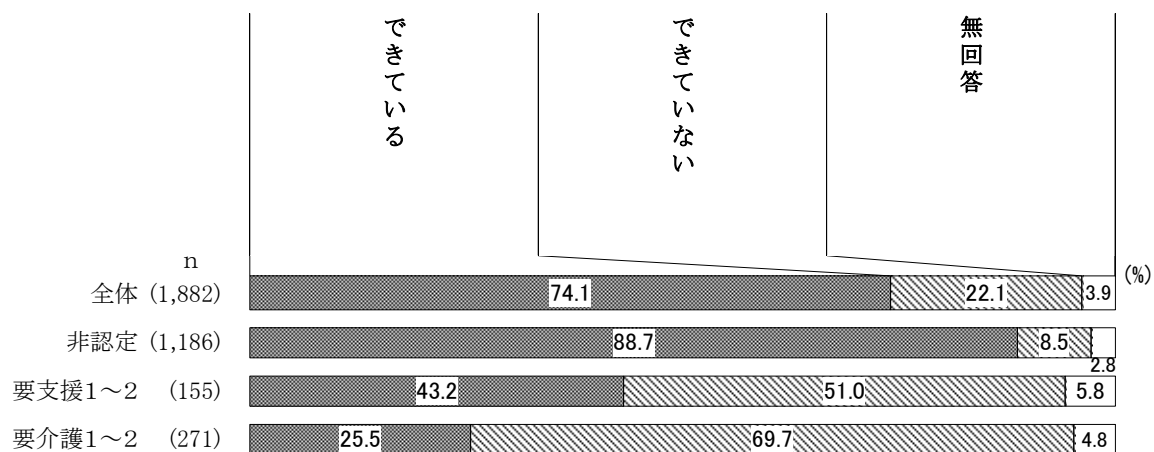
大便の失敗があるかは、非認定で9割台半ば、要支援1～2は8割台前半、要介護1～2で6割台半ばが「ない」と回答しています。「ときどきある」は要支援1～2で1割台前半、要介護1～2で2割台後半となっています。

⑯尿もれや尿失禁



尿もれや尿失禁があるかは、非認定の7割台後半が「ない」と回答しています。介護度が上がるにしたがい「ときどきある」の割合が増加しており、要支援1～2では4割台前半、要介護1～2では4割台半ばとなっています。

⑰家事全般



家事全般ができていないのは、非認定の8割後半が「できていない」と回答していますが、要支援1～2では約半分の4割前半、要介護1～2ではさらに減少し2割台半ばとなっています。「できていない」は要支援1～2で約半数、要介護1～2で約7割と増加しています。

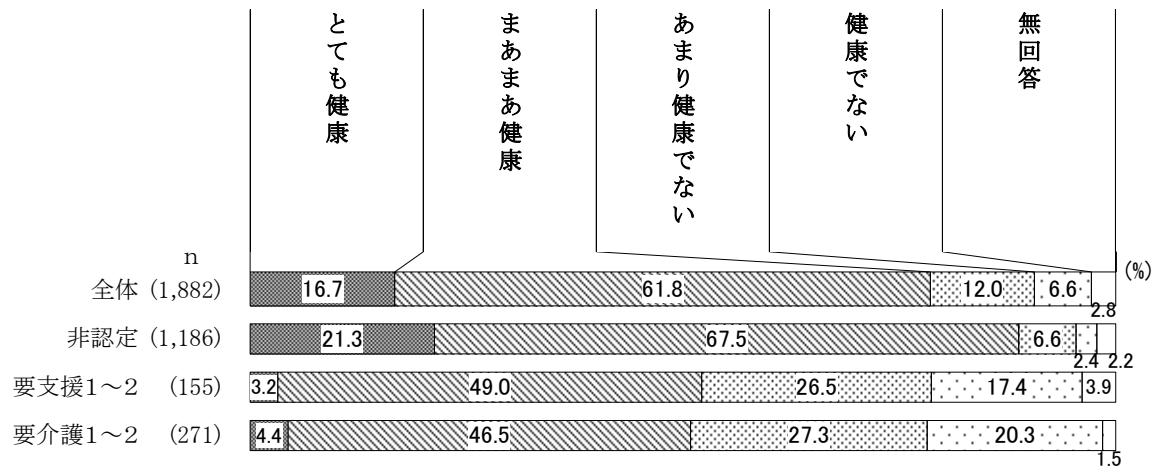


## 9. 健康づくり、医療と介護予防について

### (1) 主観的健康感

【非認定～要介護2調査のみ】

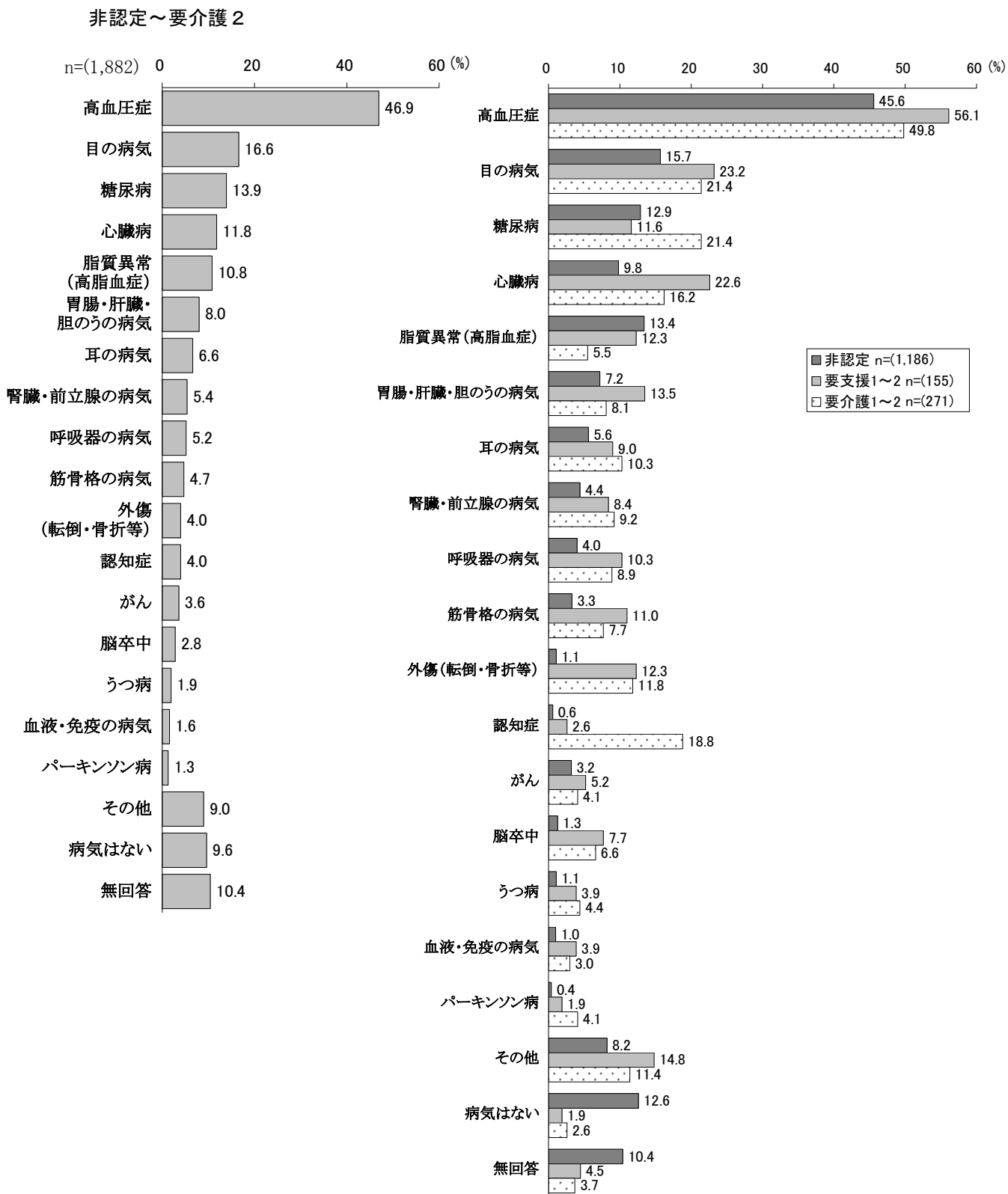
問26 普段、ご自分で健康だと思いますか。[1つに○]

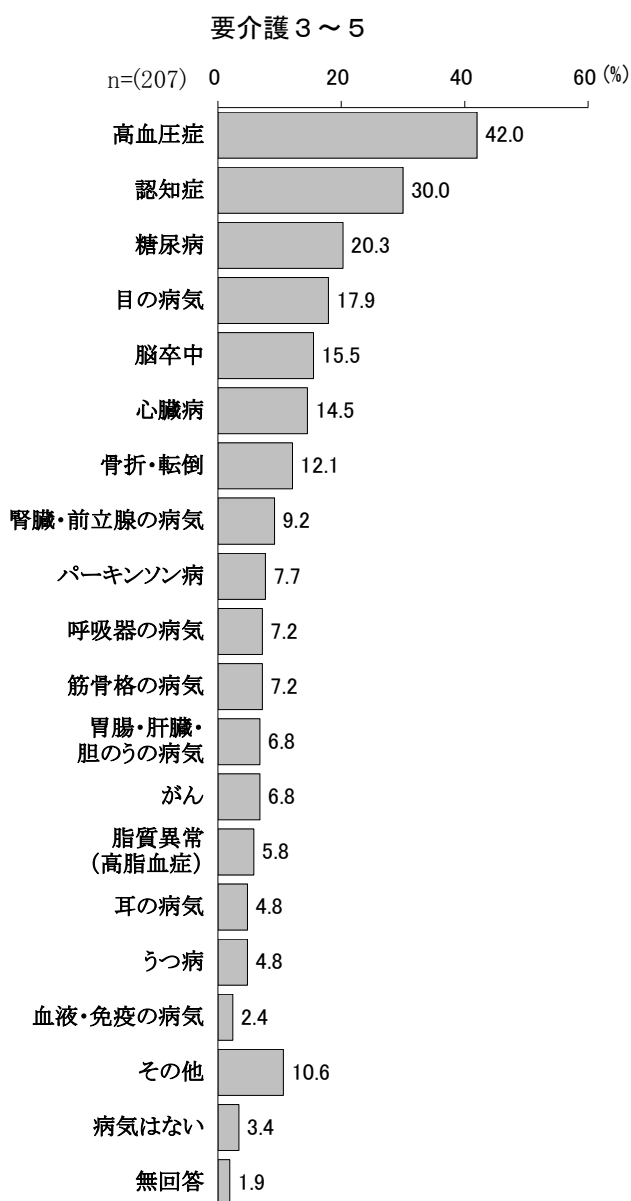


普段の自分の健康状態については、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた<健康>は非認定では8割台後半となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では、5割台前半となっています。一方、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた<健康でない>は、要支援1～2と要介護1～2で4割台となっています。

(2) 治療中の病気の種類

問27 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[いくつでも○]  
 【要介護3～5／問8】



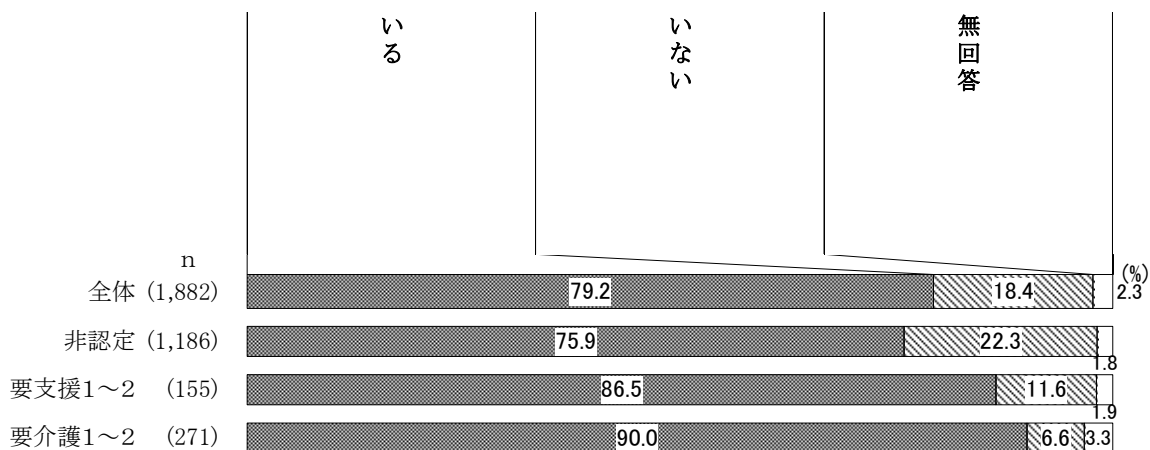


治療中の病気については、非認定、要支援1～2、要介護1～2で「高血圧症」が最も多くなっています。非認定では「高血圧症」が4割台半ば、次いで「目の病気」「脂質異常（高脂血症）」「糖尿病」と続いています。要支援1～2は、「高血圧症」が5割台半ば、次いで「目の病気」「心臓病」となっています。要介護1～2では、「高血圧」が約5割、次いで「糖尿病」「認知症」となっています。要介護3～5では、「高血圧症」が4割台前半、「認知症」が3割、「糖尿病」が2割となっています。介護度が上がるにしたがい、治療中の病気として「認知症」の割合が増加しています。

(3) かかりつけ医の有無

【非認定～要介護2調査のみ】

問28 あなたには、健康や病気のことを気軽に相談できるような身近な主治医（かかりつけ医）はいますか。[1つに○]

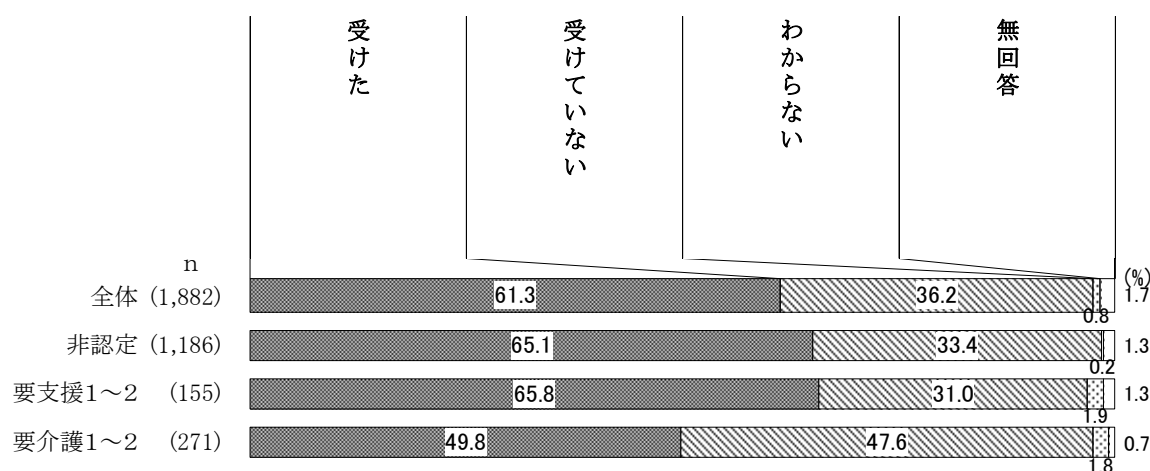


かかりつけ医については、「いる」は介護度が上がるにしたがい増加し、非認定では7割台半ばですが、要支援1～2で8割台後半、要介護1～2で9割となっています。

(4) 健康診査の受診状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問29 あなたは、この1年間に福生市の健康診査を受けましたか。[1つに○]

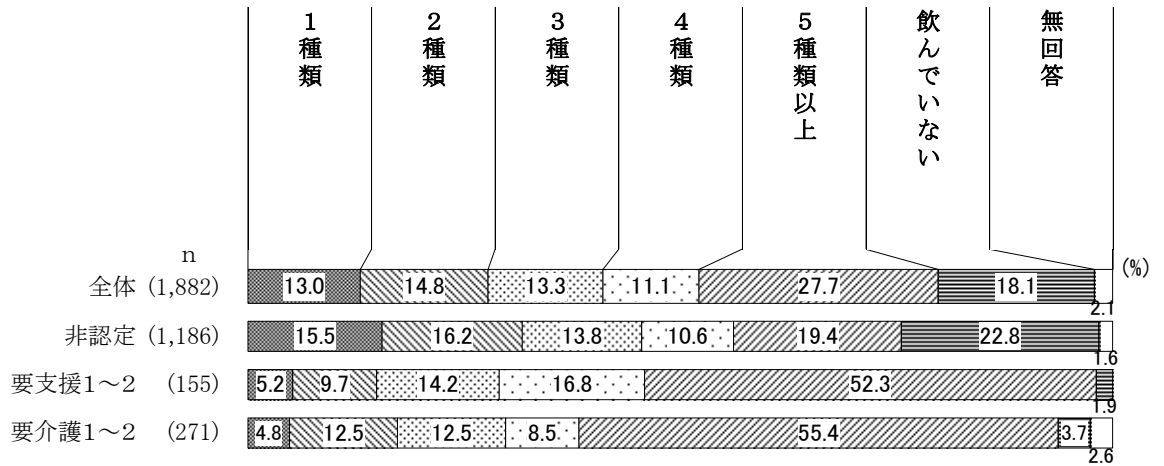


福生市の健康診査の受診の有無は、非認定と要支援1～2では「受けた」が6割台なかば、要介護1～2で約5割となっています。一方、「受けていない」は非認定と要支援1～2では3割台前半ですが、要介護1～2では4割台後半となっています。

(5) 処方薬の種類

【非認定～要介護2調査のみ】

問30 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。[1つに○]



医師の処方した薬を何種類飲んでいるかは、介護度が上がるにしたがい種類が増加し「5種類以上」が要支援1～2では5割前半、要介護1～2で5割台半ばとなっています。一方、「飲んでいない」は非認定で2割前半となっています。

(6) 通院状況

【非認定～要介護2調査のみ】

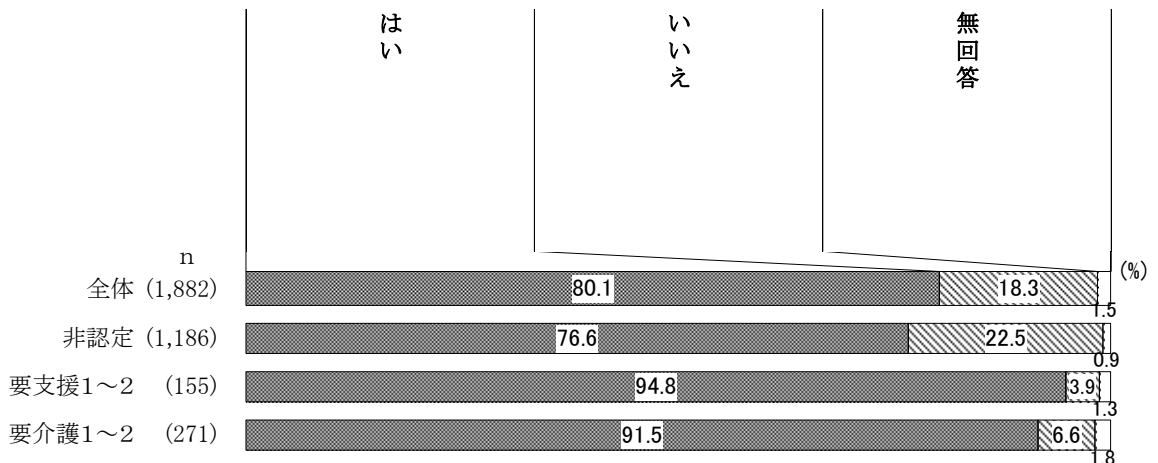
問31 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。[1つに○]

問31で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

問31-1 通院している頻度は次のどれですか。[1つに○]

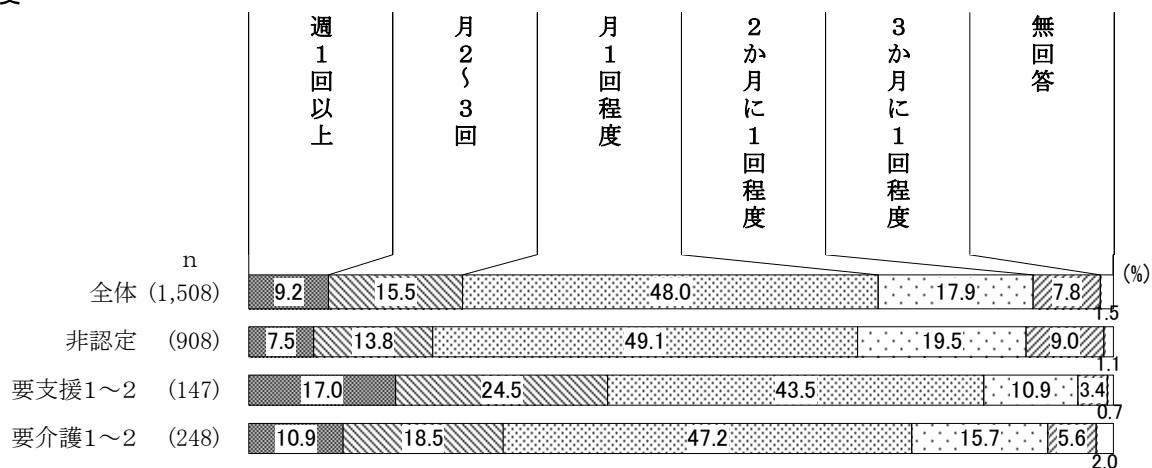
問31-2 通院に介助が必要ですか。[1つに○]

①通院状況



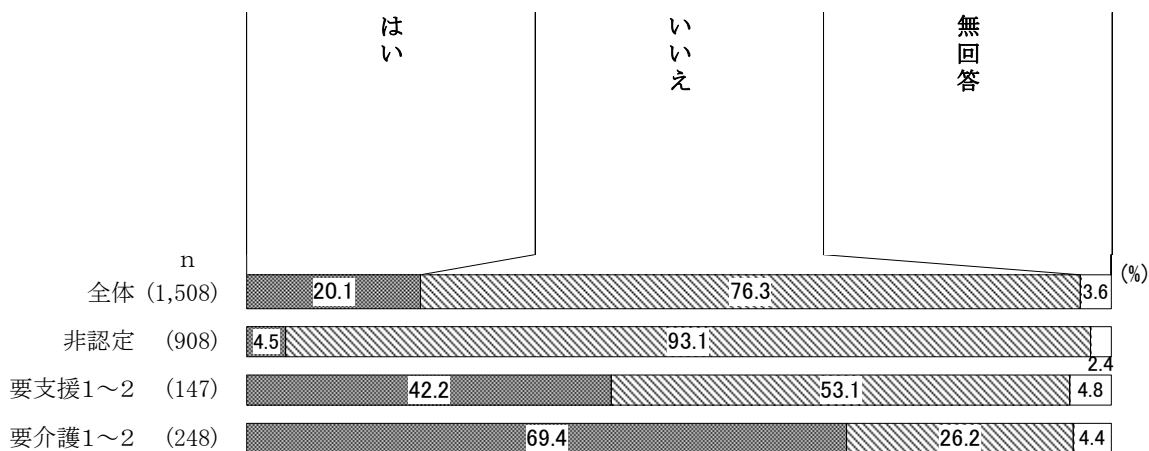
通院状況については、要支援1～2と要介護1～2で「はい」が9割を超えています。

②通院頻度



通院頻度は、非認定、介護度を問わず「月1回程度」が最も多く、非認定では約5割、要支援1〜2で4割前半、要介護1〜2で4割台後半となっています。「月2〜3回」は要支援1〜2で2割台前半、要介護1〜2で1割台後半となっています。「週1回以上」は要支援1〜2で1割台後半で多くなっています。

③通院時の介助の必要性

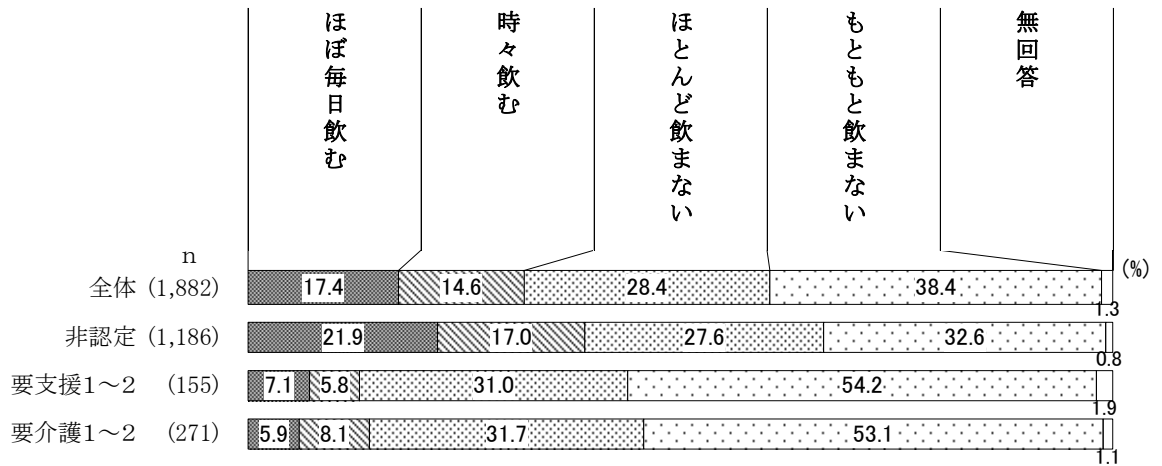


通院時の介助の必要性は、「はい」が要支援1〜2で4割台前半、要介護1〜2で約7割と増加しています。

(7) 飲酒頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

問32 お酒は飲みますか。[1つに○]

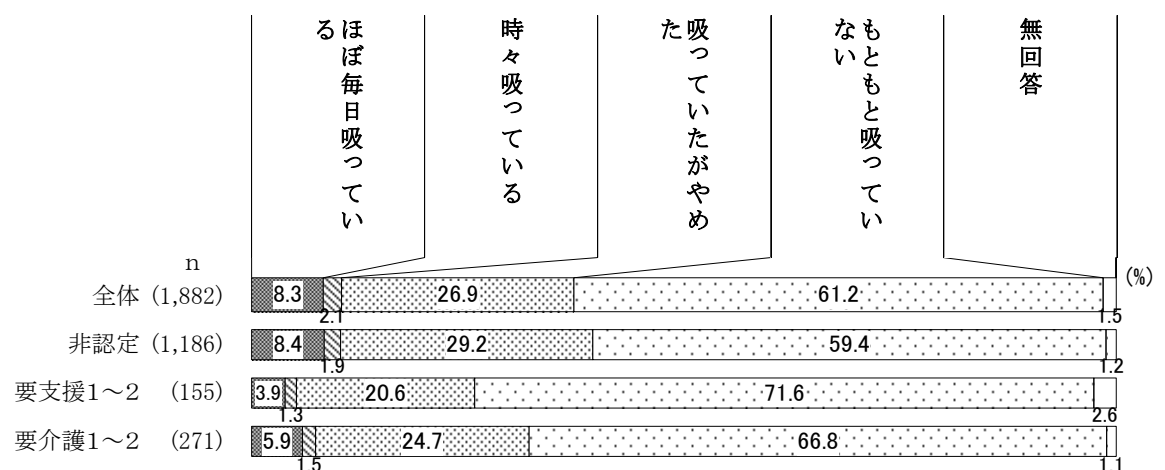


飲酒の頻度は、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた＜飲む＞は、非認定では3割台後半となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では1割台前半に減少しています。「ほとんど飲まない」は非認定で2割台後半、要支援1～2と要介護1～2では3割台前半となっています。「もともと飲まない」は、要支援1～2と要介護1～2でそれぞれ5割台前半となっています。

(8) 喫煙状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問33 タバコは吸っていますか。[1つに○]



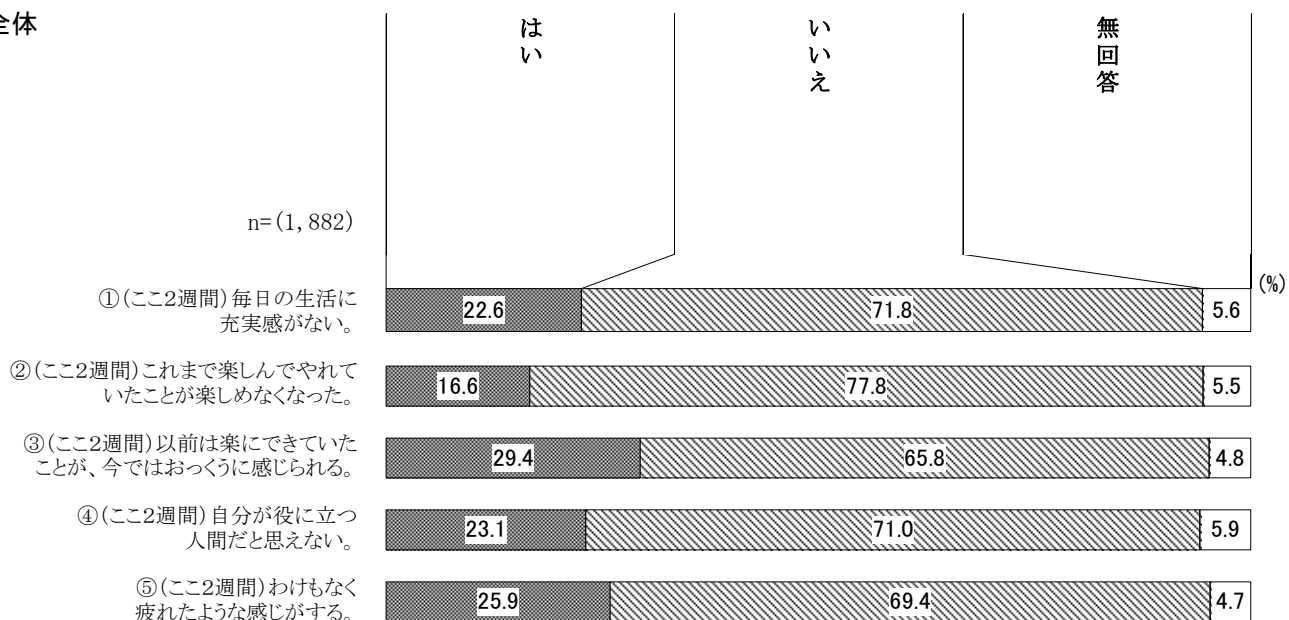
喫煙状況は、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた＜吸っている＞は非認定で約1割にとどまり、「吸っていたがやめた」は非認定で約3割、要支援1～2と要介護1～2では2割台となっています。「もともと吸っていない」は非認定と要介護1～2で最も多い回答となっています。

(9) こころの状況

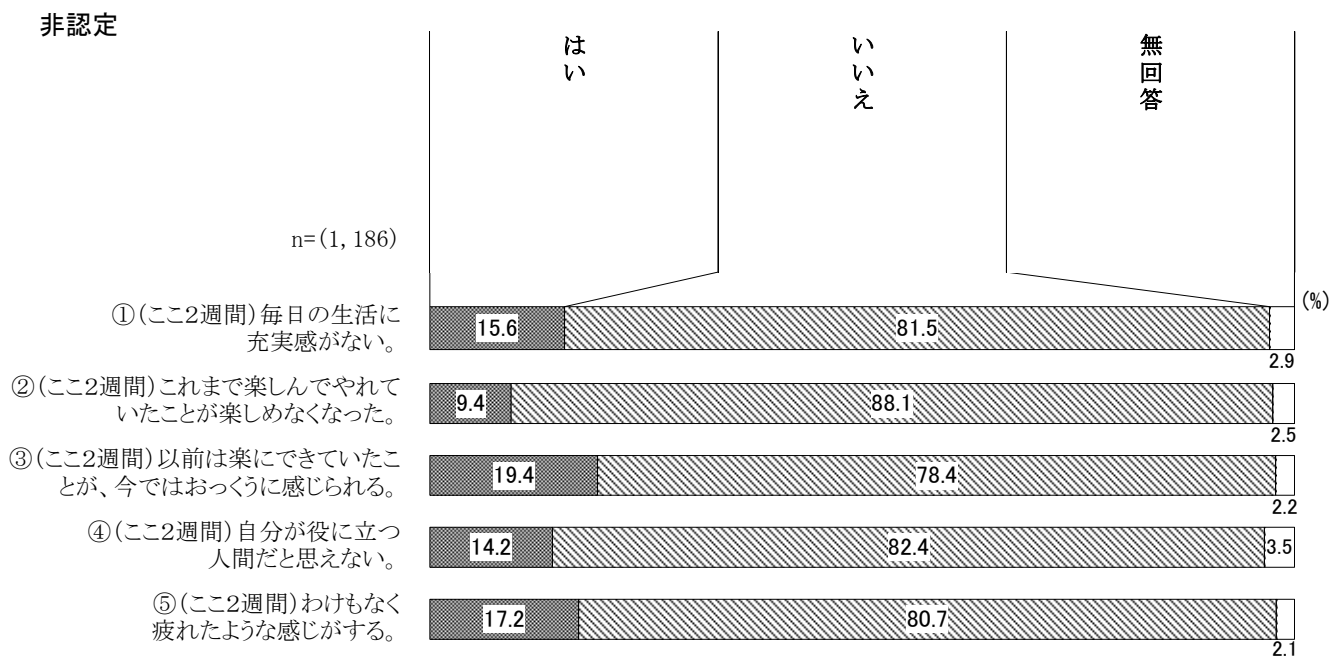
【非認定～要介護2調査のみ】

問34 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

全体

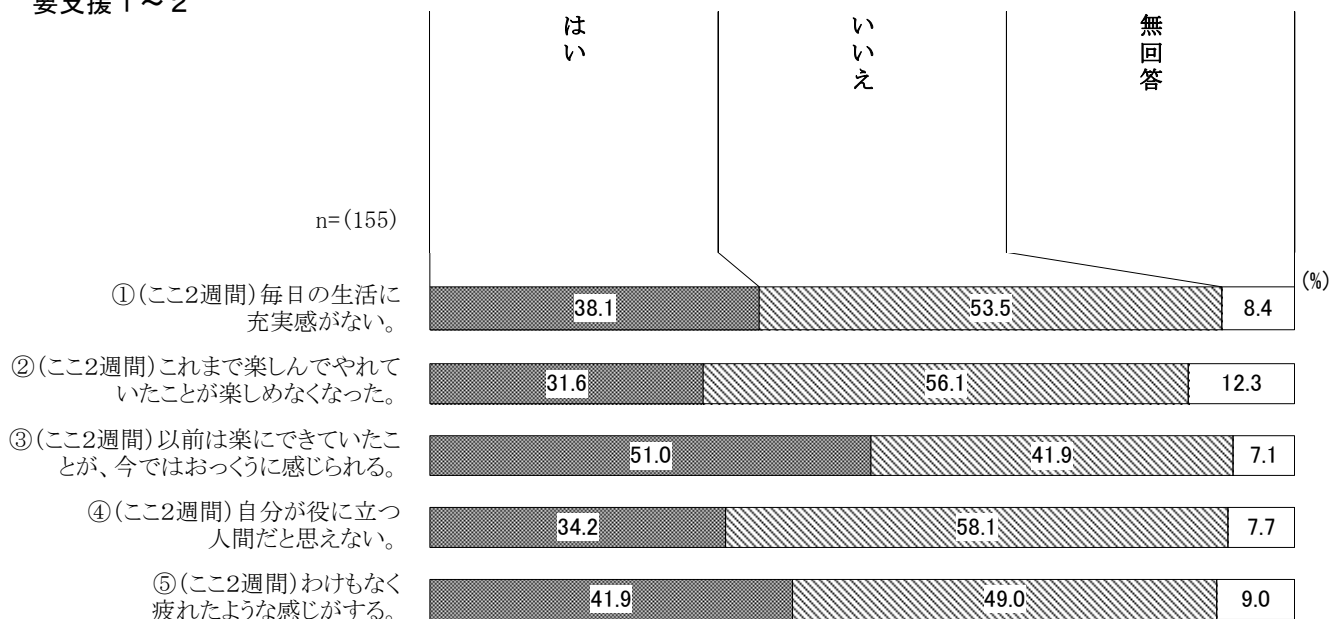


非認定

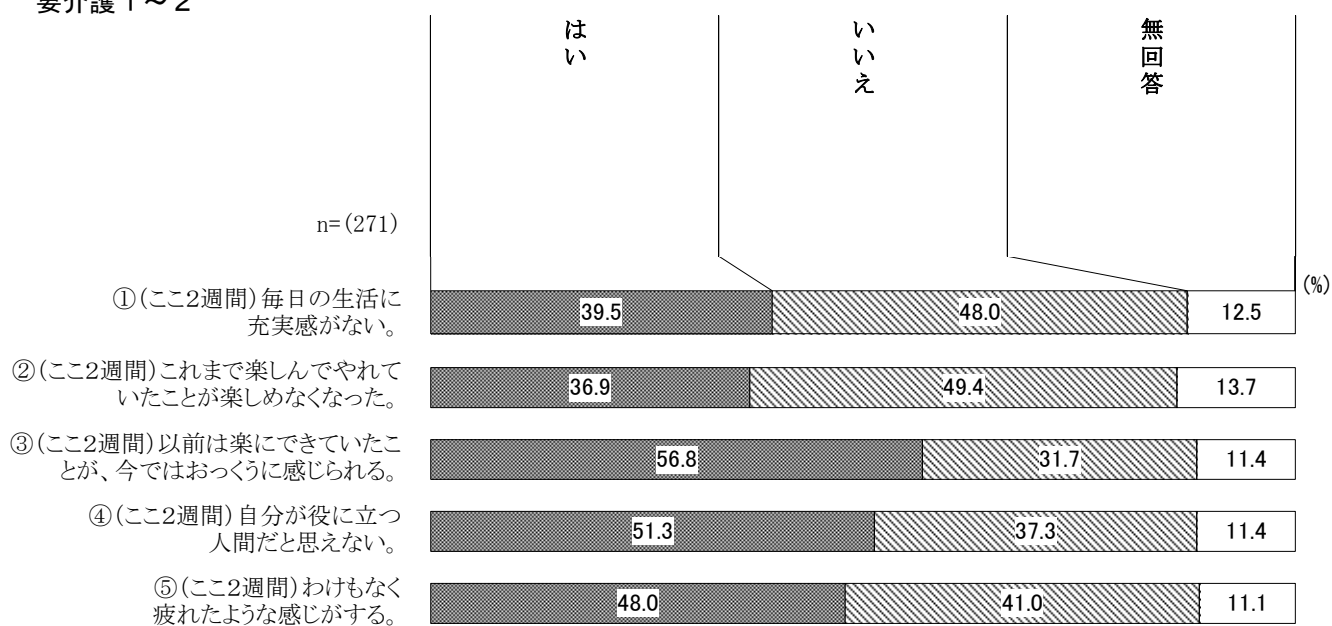




要支援1～2



要介護1～2



ここ2週間のこころの状況については、すべての項目で介護度が上がるにしたい「はい」の割合が増加しています。＜毎日の生活に充実感がない＞は、非認定では1割台半ば、要支援1～2と要介護1～2は3割台後半となっています。＜これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった＞は非認定では「はい」が1割未満ですが、要支援1～2と要介護1～2では、3割台となっています。＜以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる＞は非認定では「はい」が約2割となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では、「はい」が5割台に増加しています。＜自分が役に立つ人間だと思えない＞は非認定では「はい」が1割台前半、要支援1～2では3割台前半、要介護1～2では5割台前半と増加しています。＜わけもなく疲れたような感じがする＞は非認定で「はい」が1割台後半、要支援1～2で4割台前半、要介護1～2で4割台後半となっています。

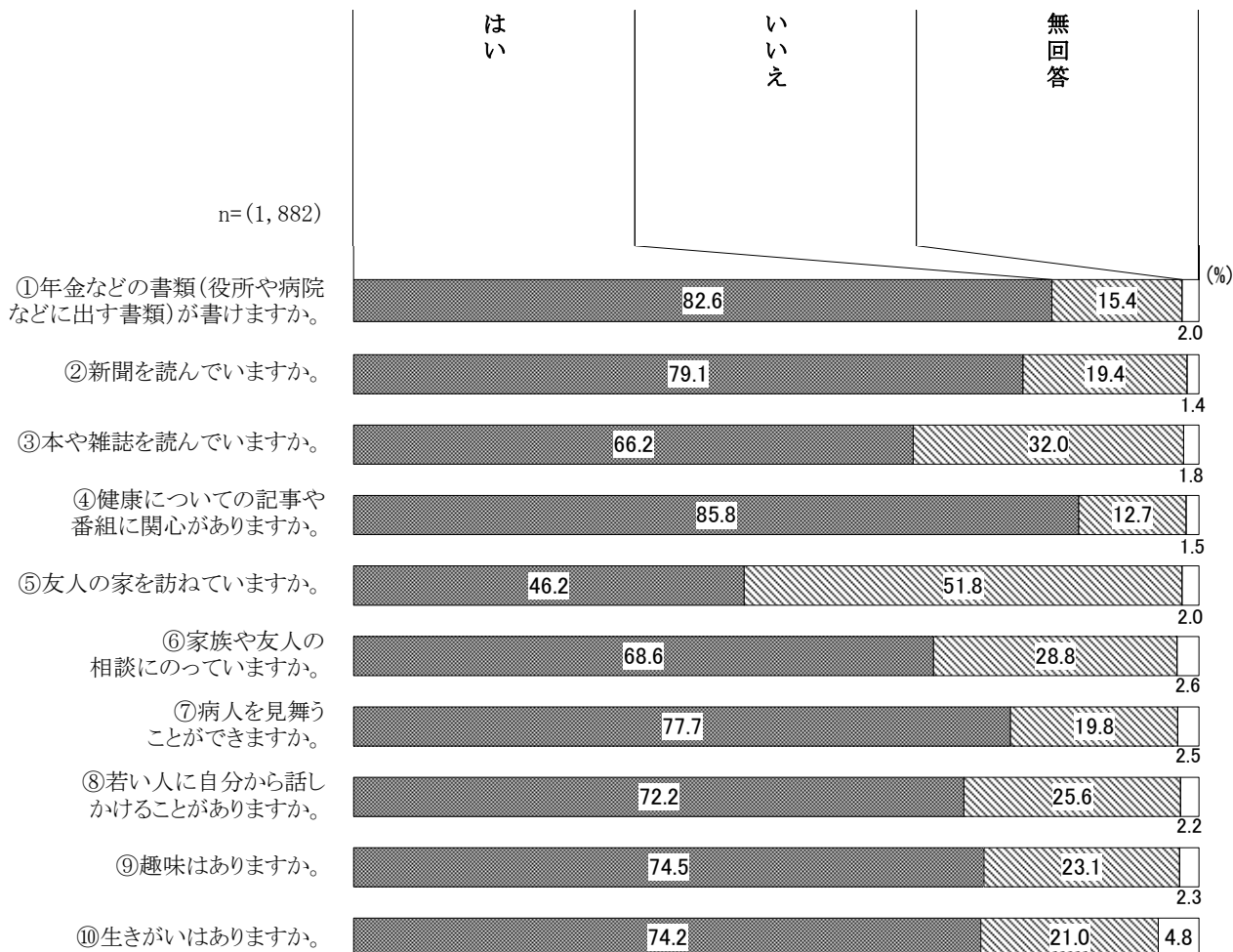
## 10. 社会参加と日ごろの活動について

### (1) 社会参加と日ごろの活動

【非認定～要介護2調査のみ】

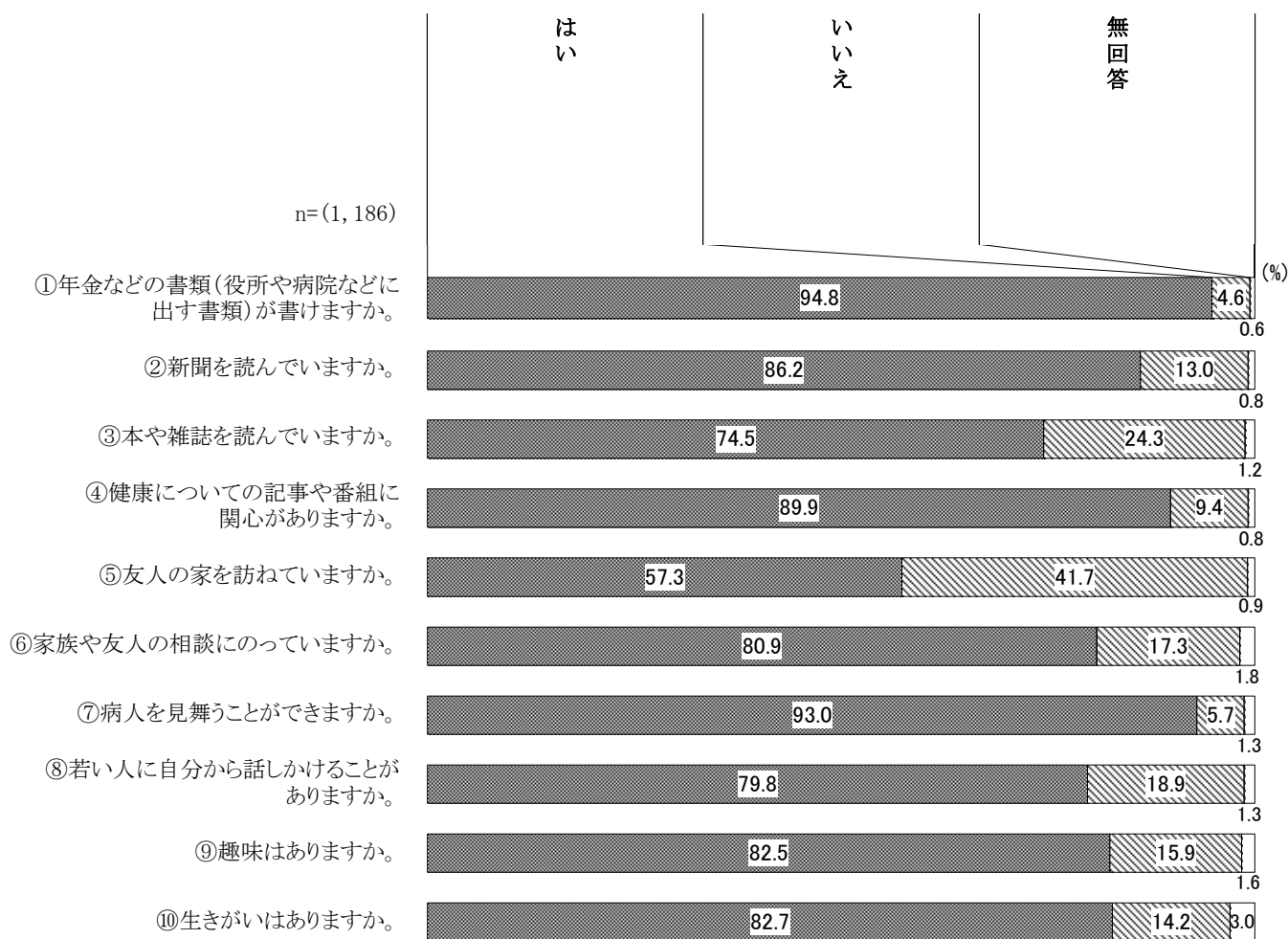
問35 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

全体



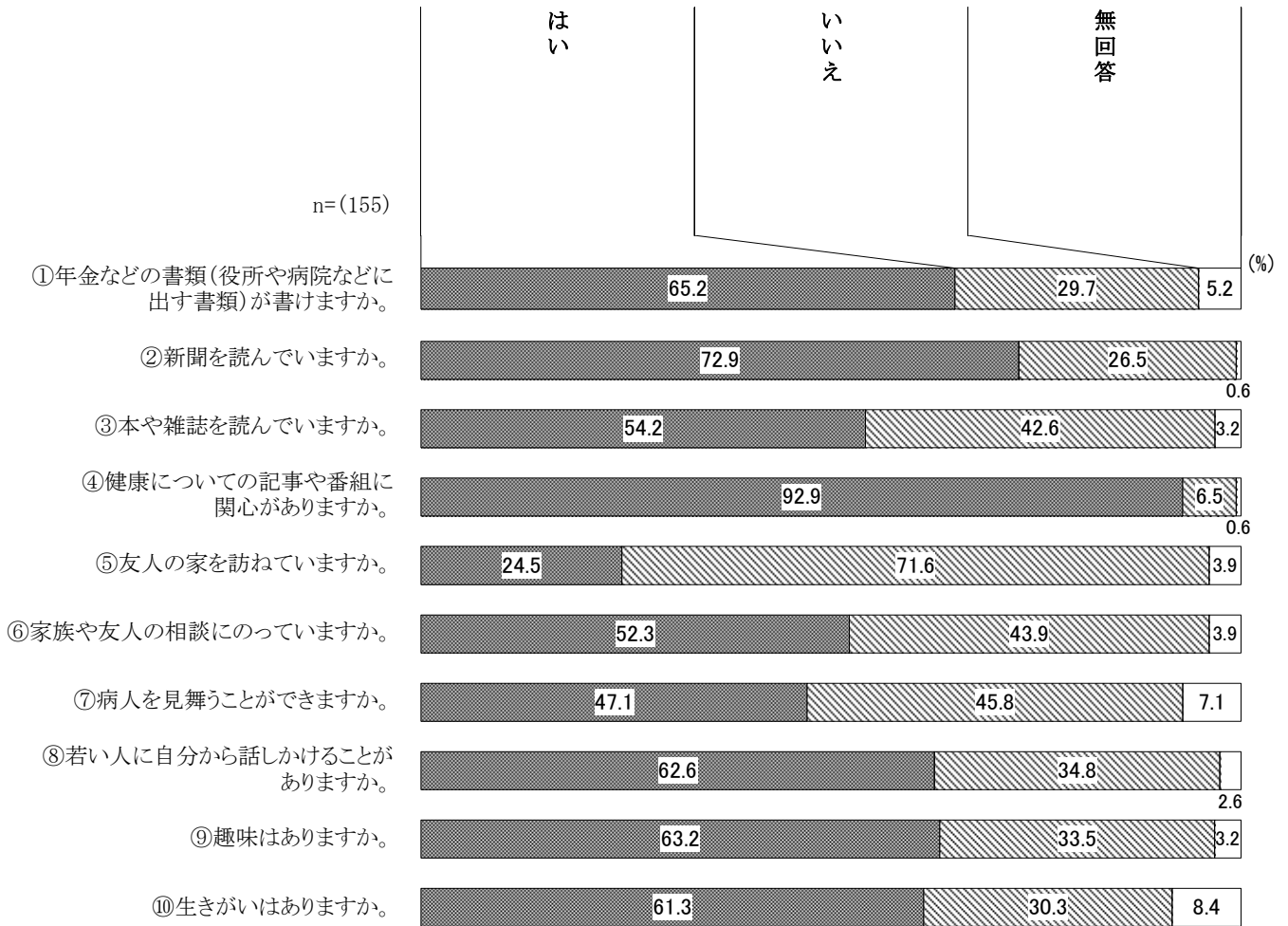
非認定

n=(1,186)

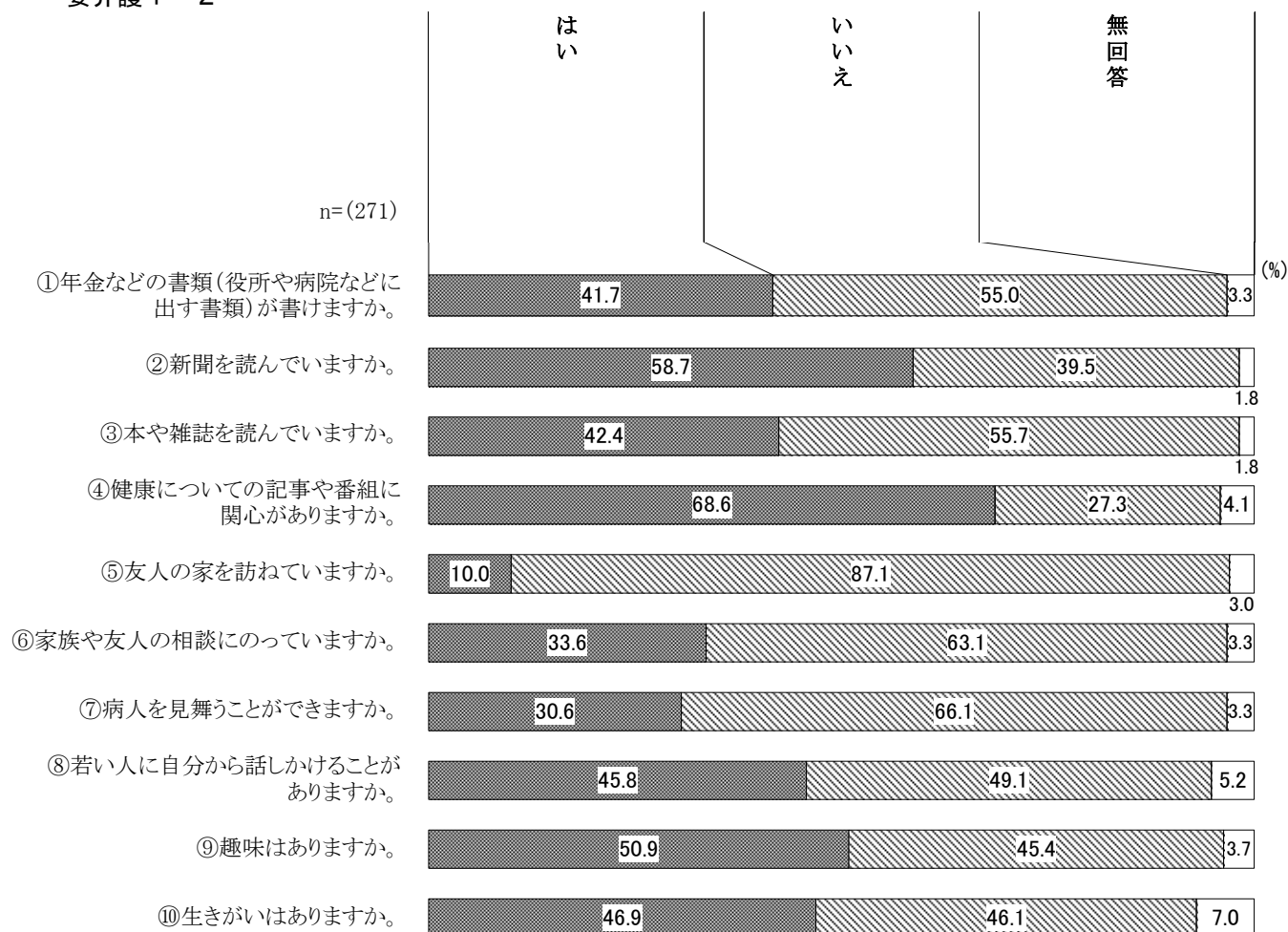


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

要支援1～2



## 要介護1～2



社会参加と日頃の活動については、非認定では、＜友人の家を訪ねていますか＞を除いてすべての項目で「はい」が7割台前半から9割台前半と多くなっています。＜健康についての記事や番組に関心がありますか＞は非認定では「はい」が約9割、要支援1～2では9割台前半と多く、要介護1～2では6割台後半と減少していますが、他の項目と比較すると「はい」が高い割合となっています。＜友人の家を訪ねていますか＞は、非認定では「はい」が5割台後半、要支援1～2では約半分の2割台前半、要介護1～2では、1割となっています。それ以外の活動については、介護度が上がるにしたいが、「はい」の割合が減少しており、＜家族や友人の相談にのっていますか＞は、非認定では約8割ですが、要支援1～2では5割台前半、要介護1～2で3割台前半となっています。＜病人を見舞うことができますか＞は、非認定では「はい」が9割台前半、要支援1～2で4割台後半、要介護1～2で約3割と減少しています。

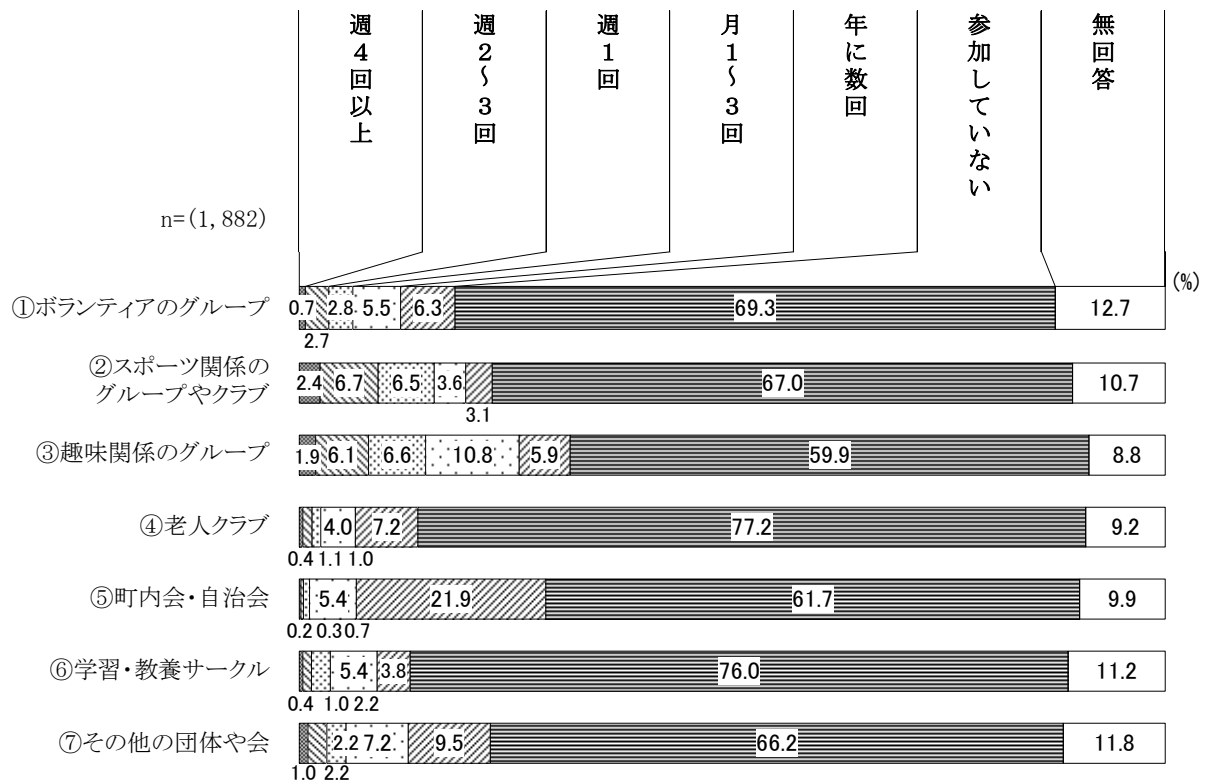
(2) 地域活動の参加頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

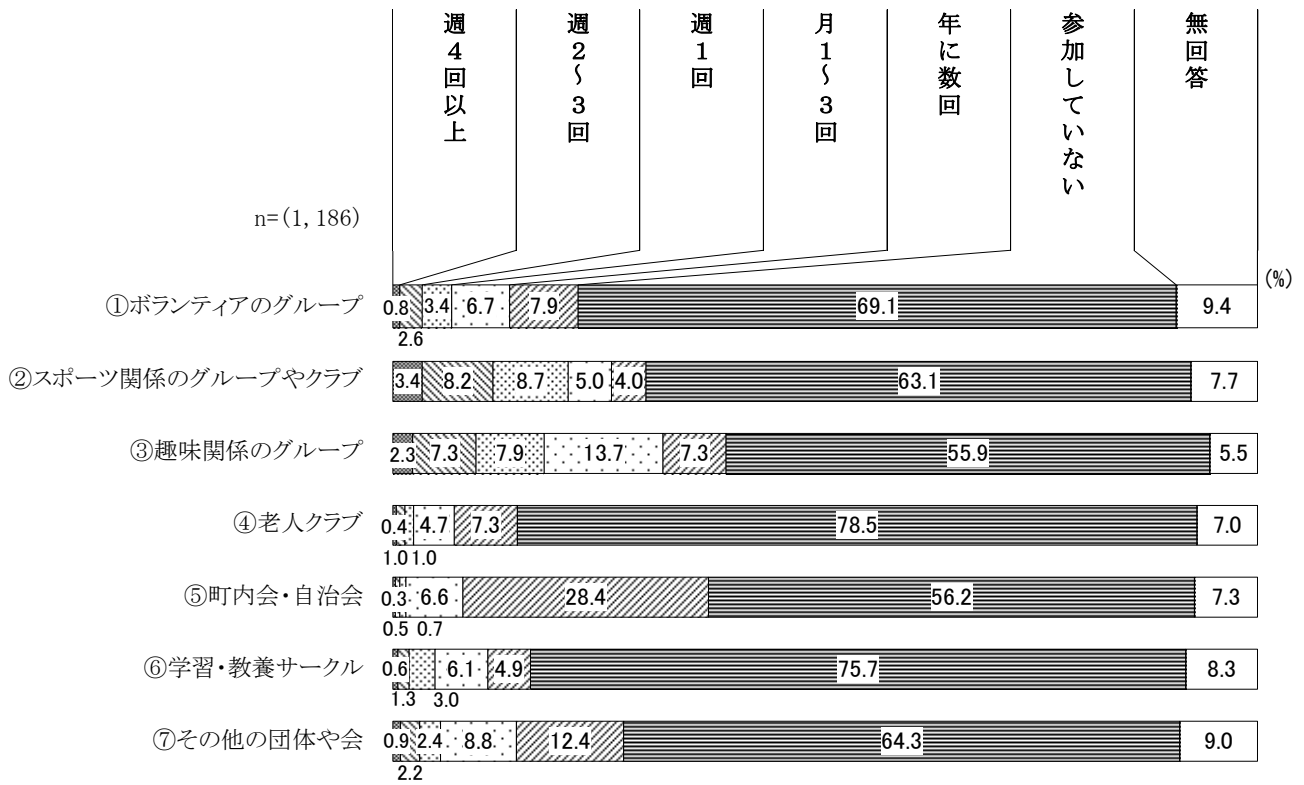
問36 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

[それぞれ1つに○]

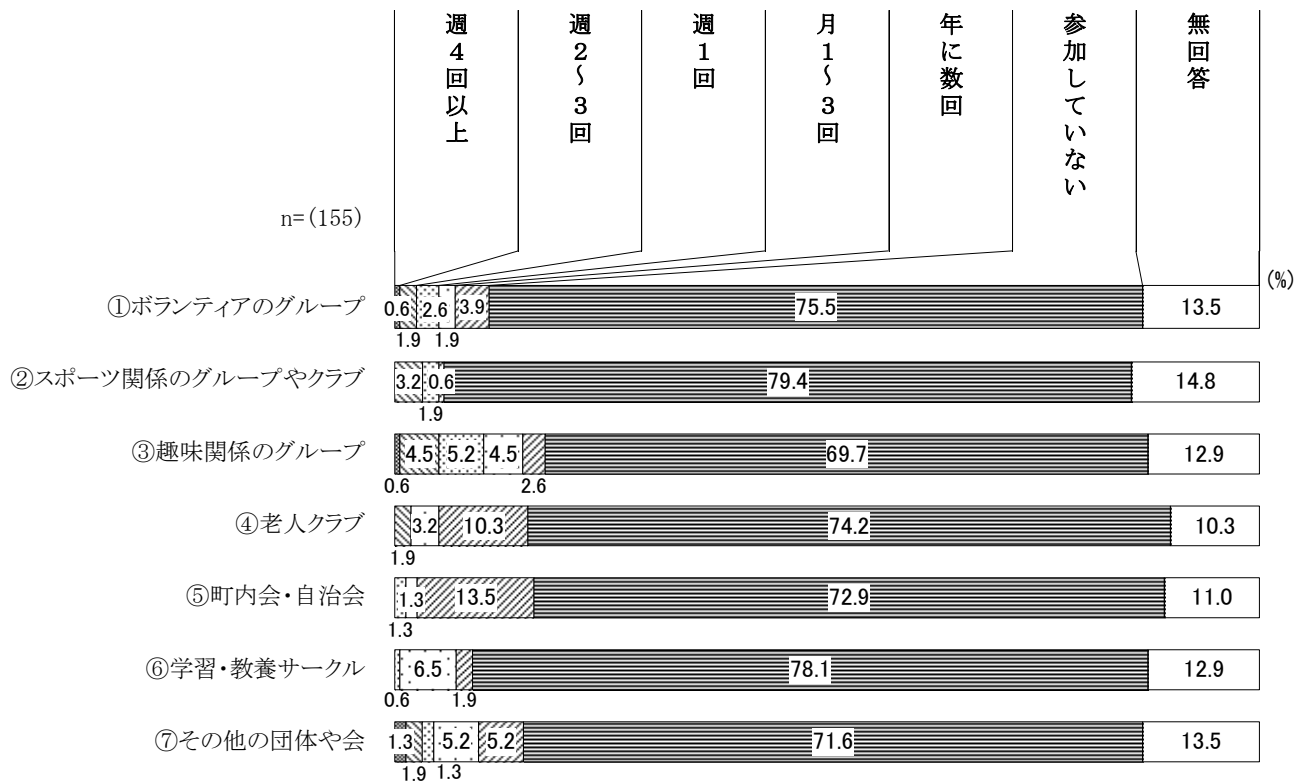
全体



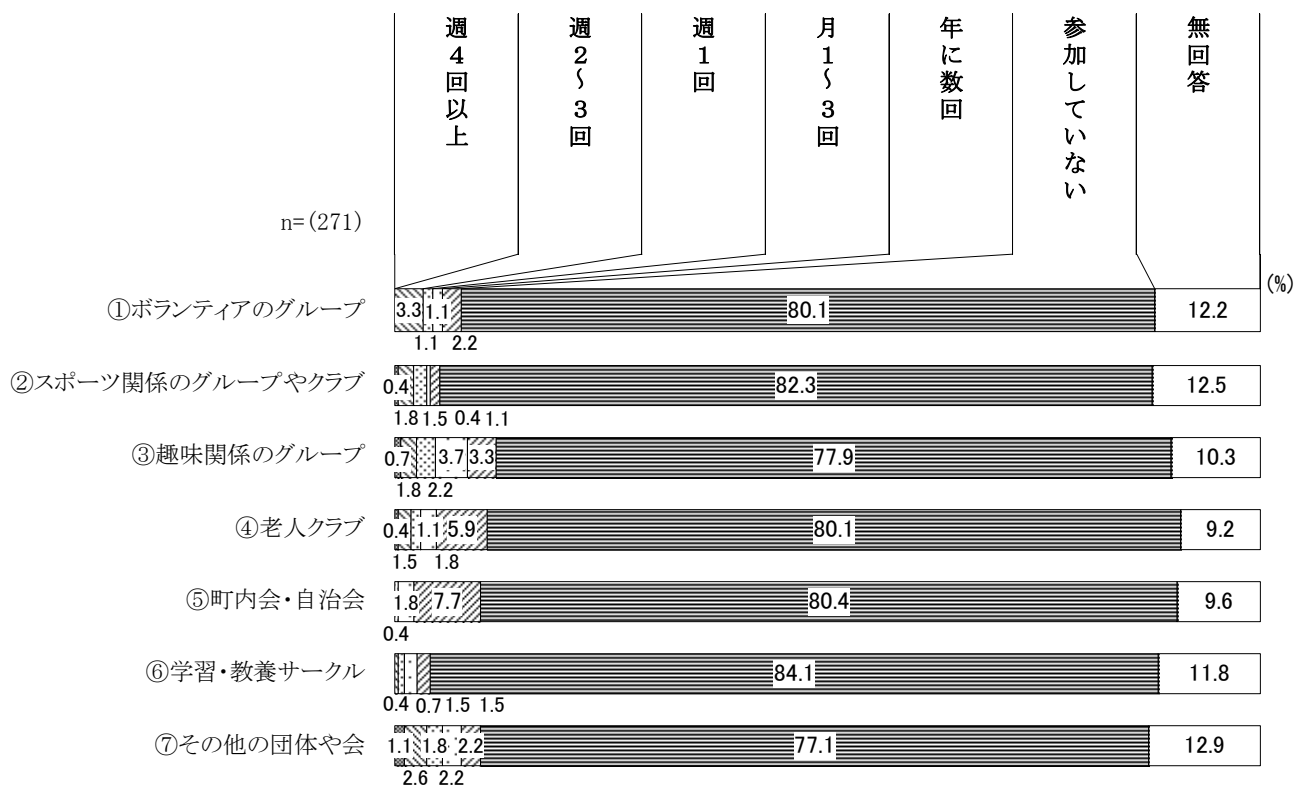
非認定



要支援1〜2



要介護1～2



地域活動については、いずれの活動も非認定、要介護1～2で「参加していない」が多くなっています。参加している活動では、＜町内会・自治会＞は非認定で「年に数回」が2割台後半、要支援1～2で1割台前半となっています。＜老人クラブ＞は要支援1～2で「年に数回」が約1割、＜その他の団体や会＞は非認定で「年に数回」が1割台前半となっています。＜趣味関係のグループ＞は、非認定で「月に1～3回」が1割台前半となっています。要介護1～2では、すべての活動で「参加していない」が8割前後となっています。

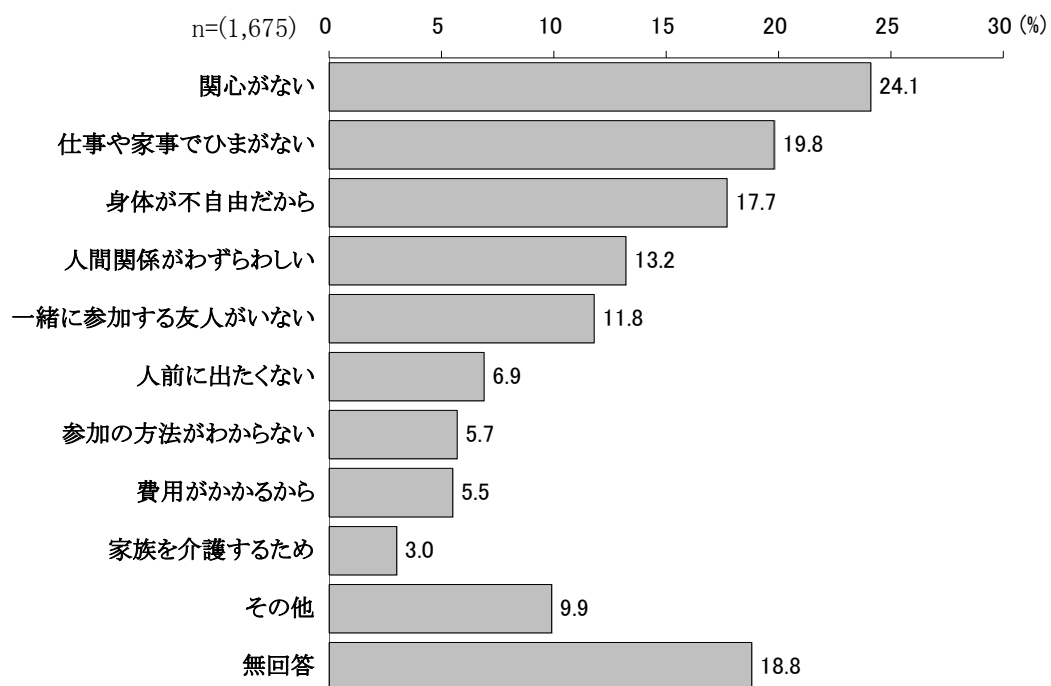


(3) 地域活動の未参加理由

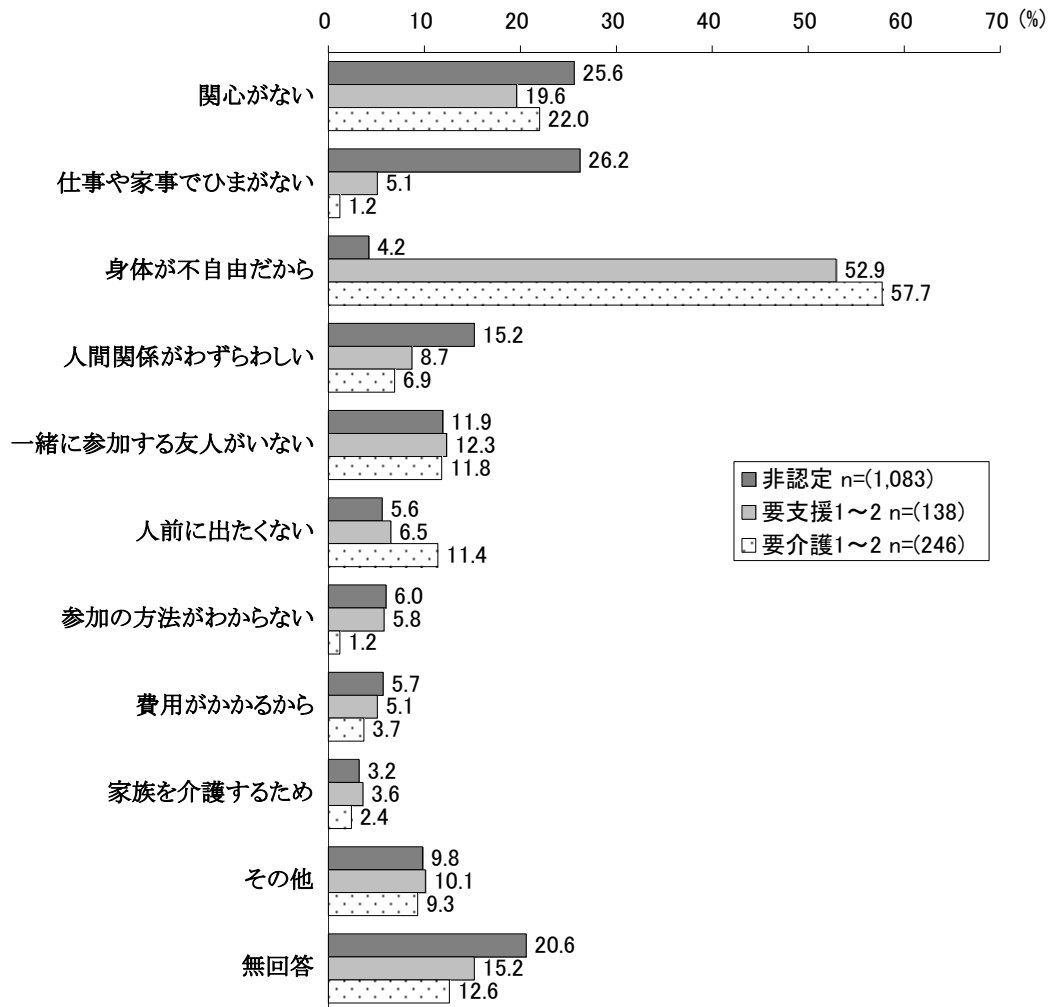
【非認定～要介護2調査のみ】

問36の①～⑦で、ひとつでも「6. 参加していない」と答えた方におたずねします。

問36-1 参加していない理由は、何ですか。[いくつでも○]



## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



地域活動に参加していない理由は、非認定では「関心がない」が2割台前半で最も多く、次いで「仕事や家事でひまがない」が2割台後半となっています。要支援1～2と要介護1～2は「身体が不自由だから」が5割台で最も多く、次いで「関心がない」となっています。

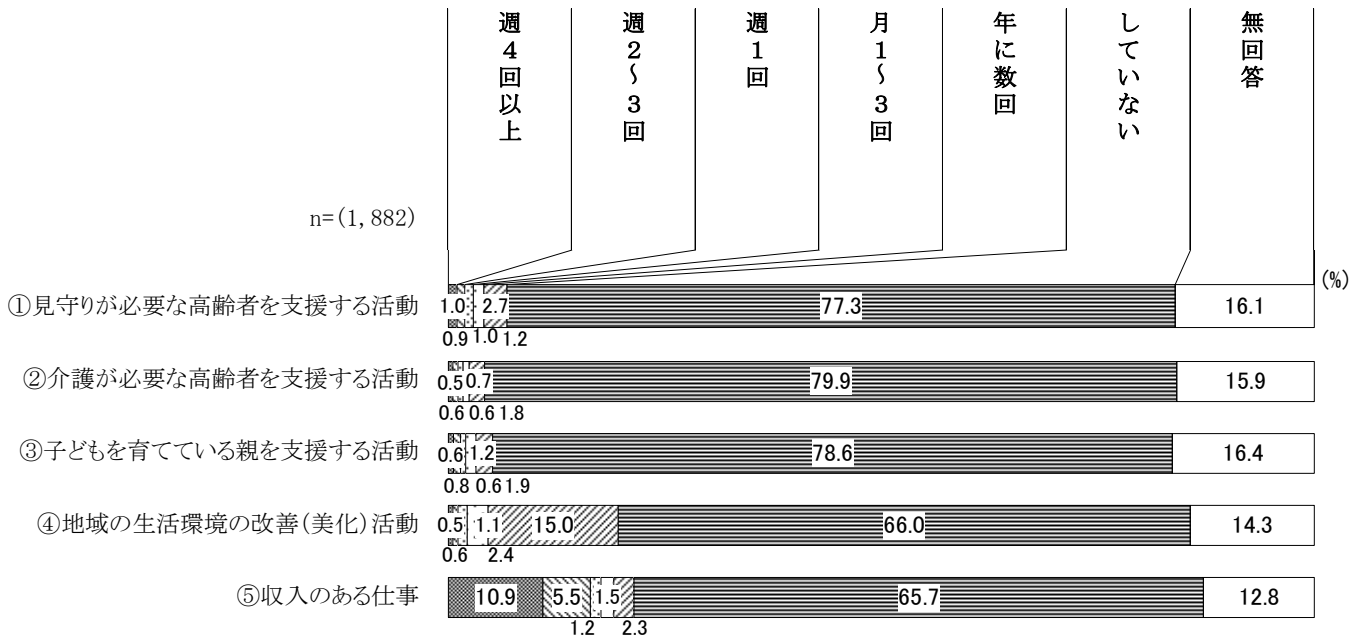
(4) 社会参加活動や仕事の頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

問37 次のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。[いくつでも○]

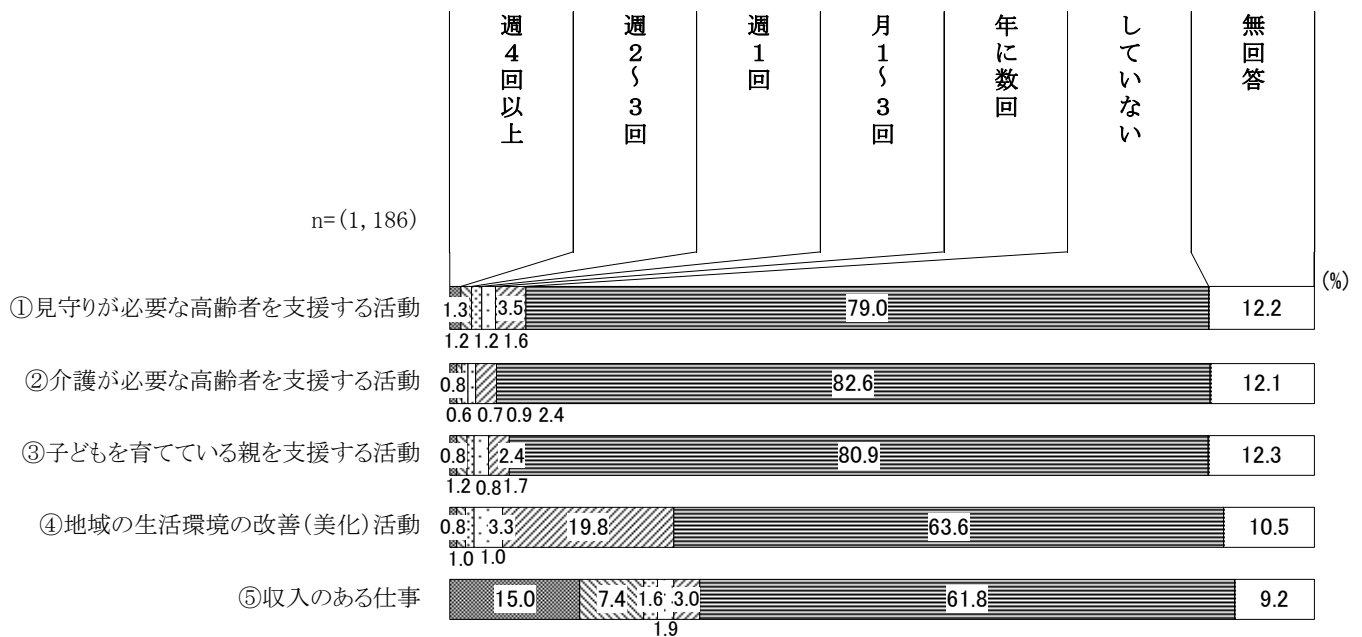
全体

n=(1,882)



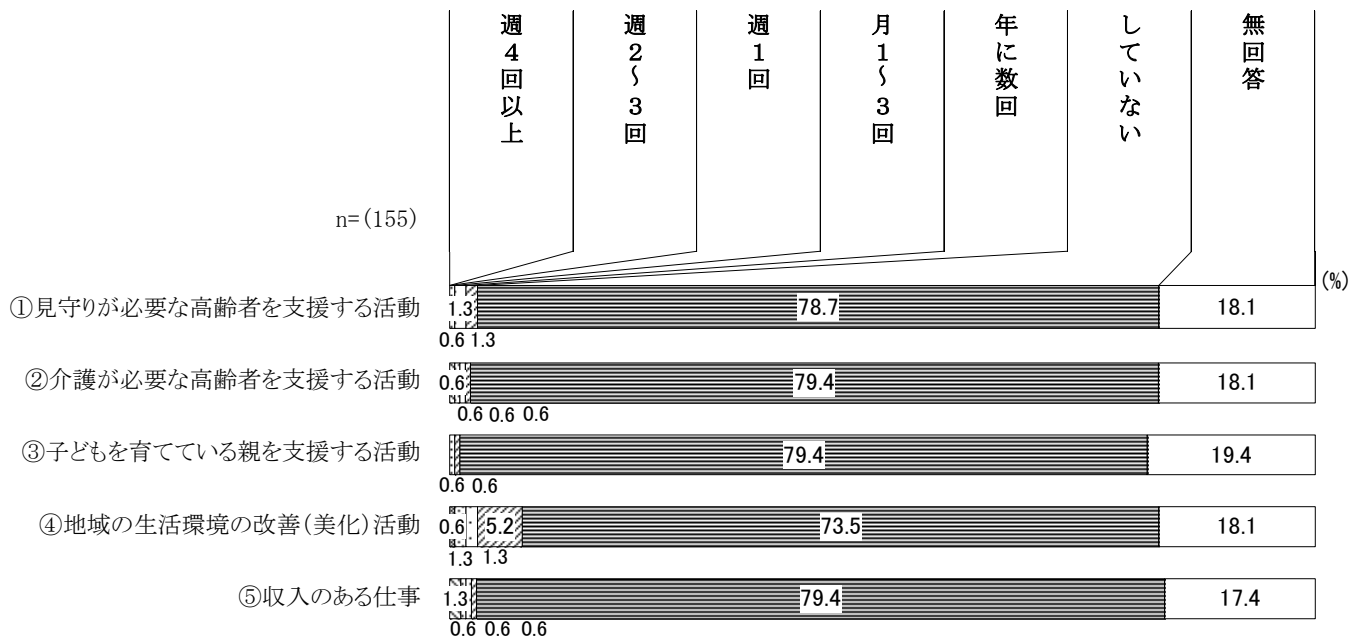
非認定

n=(1,186)

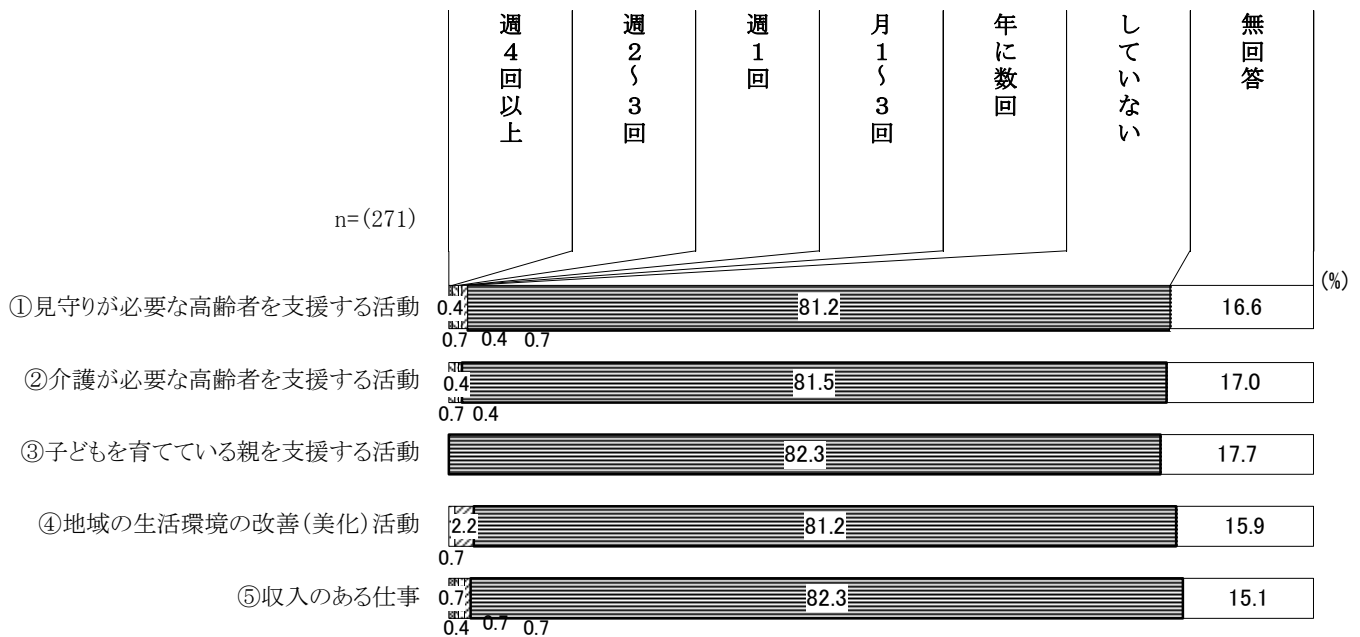


## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

### 要支援 1～2



### 要介護 1～2



社会参加活動や仕事の頻度については、非認定では、＜地域の生活環境の改善（美化）活動＞が「年に数回」が約2割、＜収入のある仕事＞が「週4日以上」が1割台半ばとなっています。

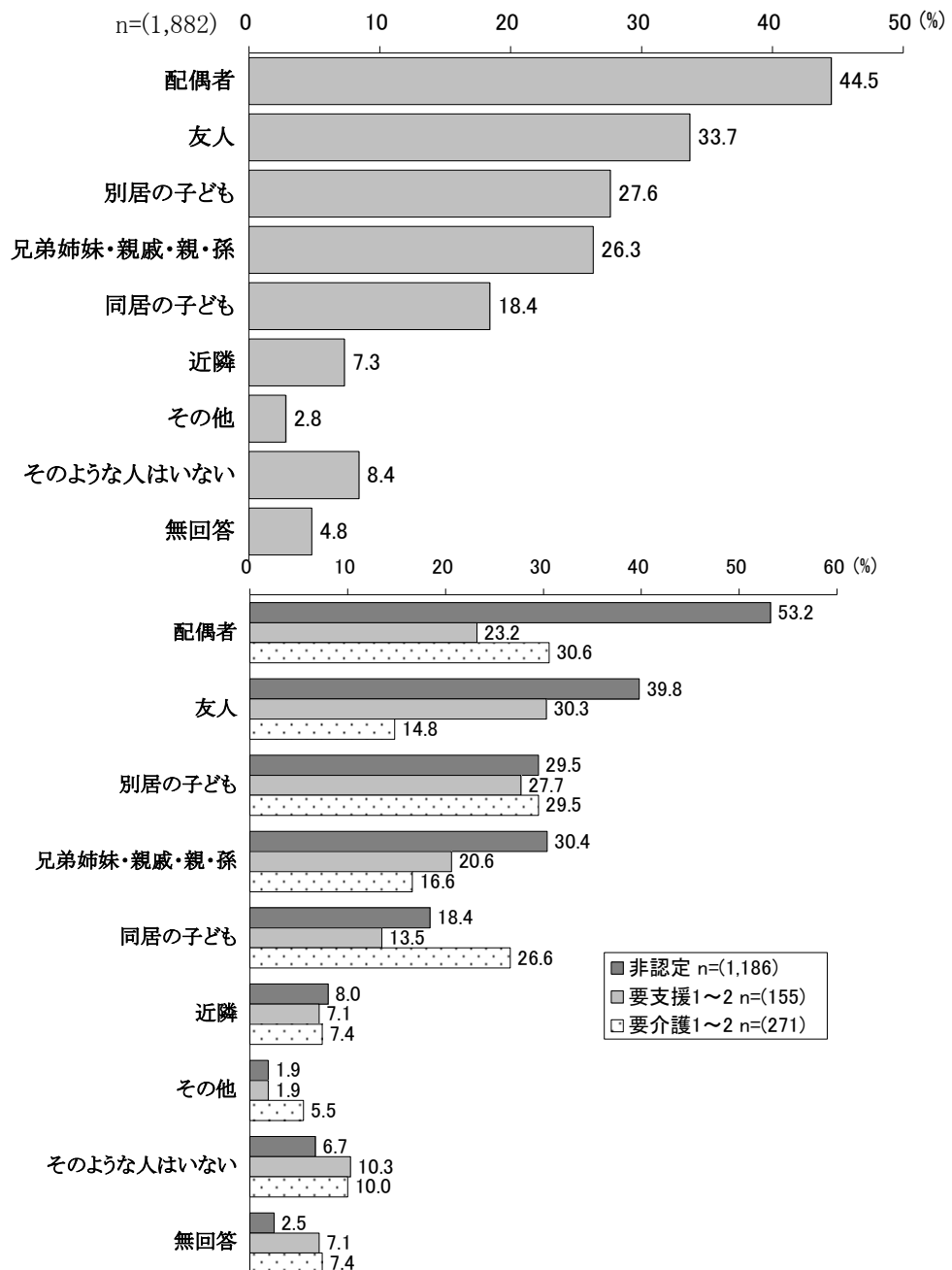
(5) たすけあいの状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問38 あなたとまわりの人の「たすけあい」について、あてはまるすべてに○をつけてください。[それぞれいくつでも○]

①心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

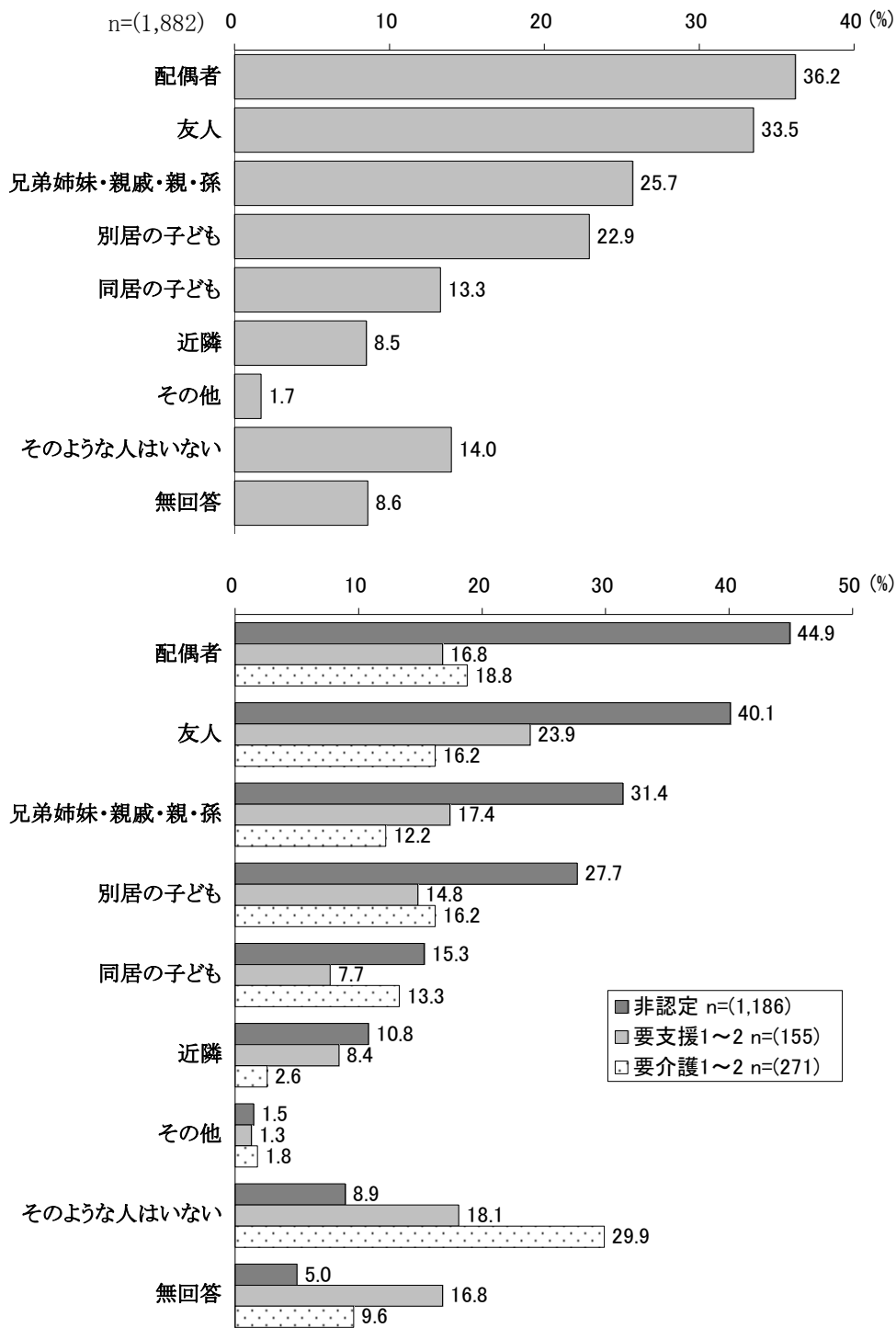
全体



心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、非認定では「配偶者」が5割台前半で最も多く、次いで「友人」が約4割となっています。要支援1～2では、「友人」が約3割、「別居の子ども」「配偶者」と続いています。要介護1～2では、「配偶者」「別居の子ども」がそれぞれ約3割、「同居の子ども」と続いています。

②心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

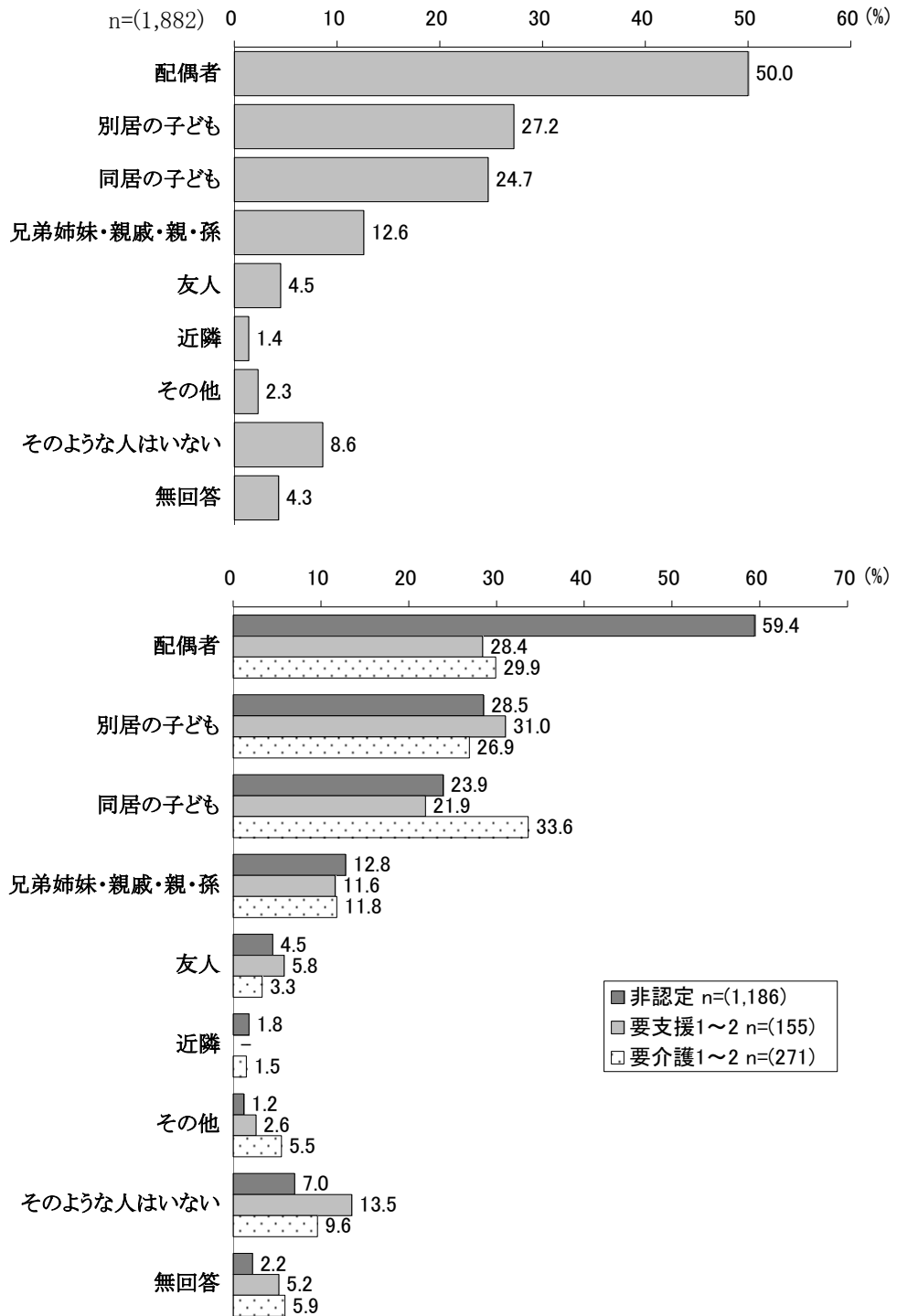
全体



心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、非認定では「配偶者」「友人」が4割台、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と続き、要支援1～2では、「友人」が2割台前半、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「配偶者」と続き、要介護1～2では、「配偶者」「友人」「別居の子ども」となっています。一方、「そのような人はいない」は要介護1～2で約3割、要支援1～2で1割台後半となっています。

③病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

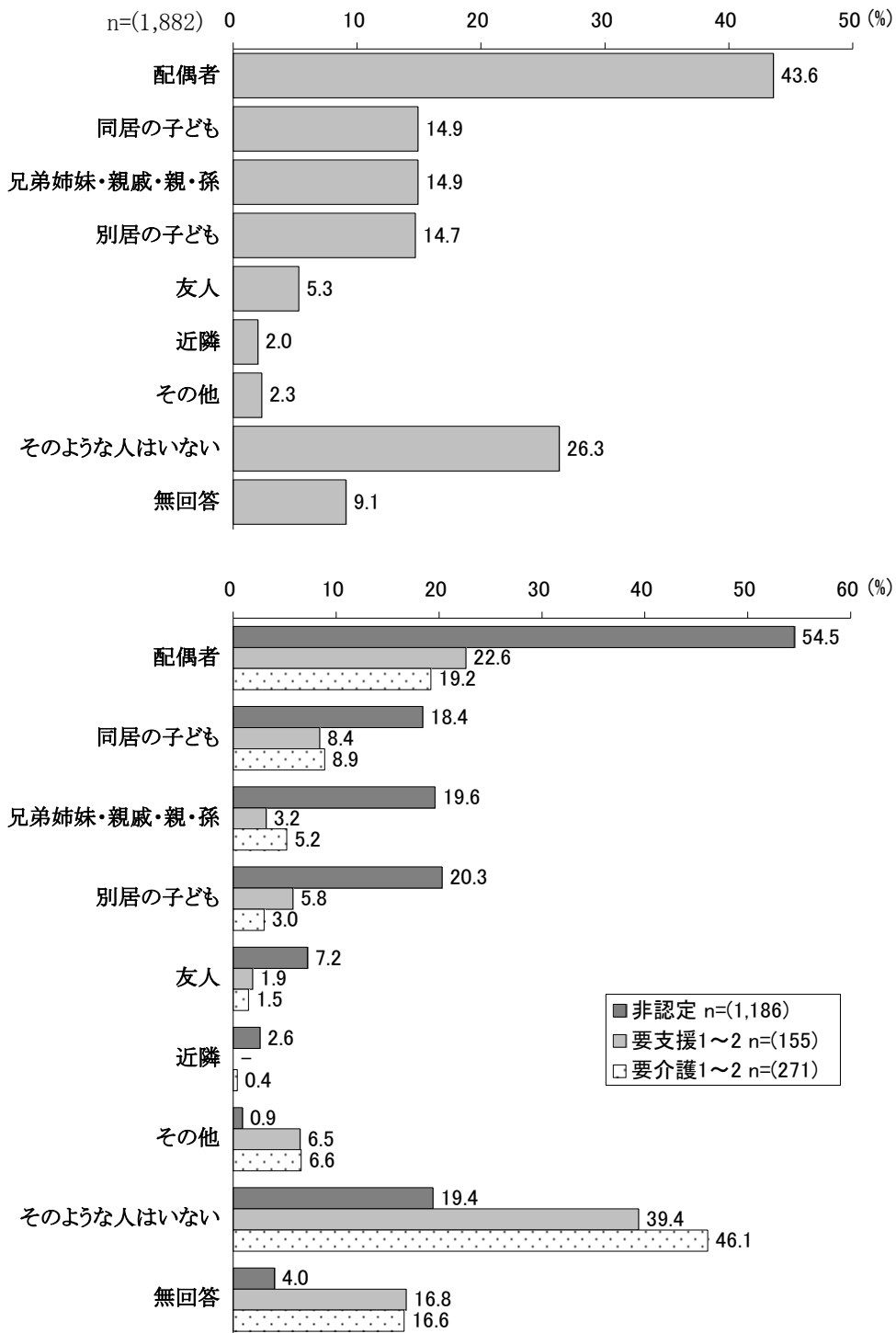
全体



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、非認定では「配偶者」が約6割で最も多く、次いで「別居の子ども」「同居の子ども」となっています。要支援1~2は、「別居の子ども」が3割台前半、「配偶者」「同居の子ども」と続いています。要介護1~2は、「同居の子ども」が3割台前半、「配偶者」「別居の子ども」と続いています。一方、「そのような人はいない」は要支援1~2で1割台前半、要介護1~2と非認定では1割未満となっています。

④あなたが看病や世話をしあける人

全体



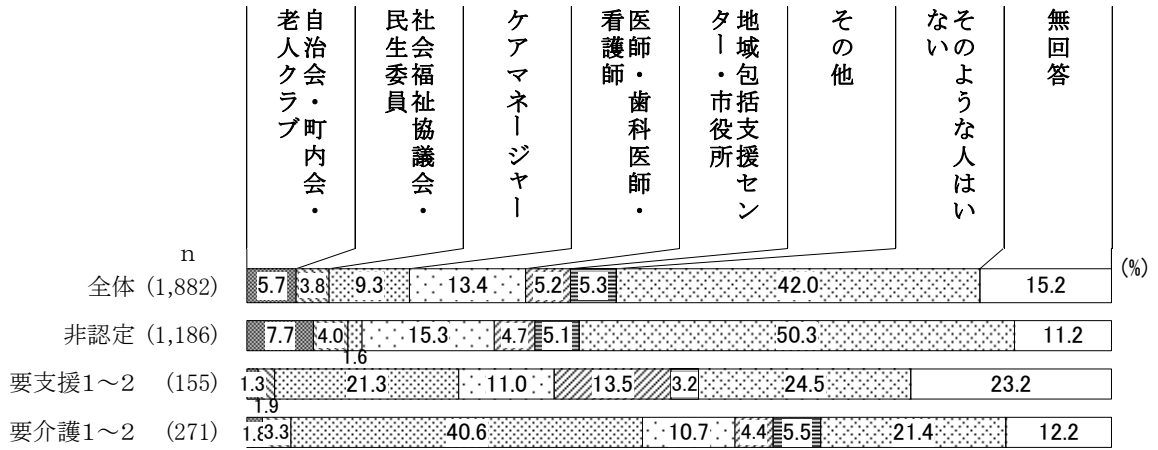
あなたが看病や世話をしあける人は、非認定では「配偶者」が5割台前半で最も多く、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」と続いています。要支援1~2と要介護1~2も「配偶者」が最も多く、2割前後となっています。一方、「そのような人はいない」は要介護1~2で4割台後半、要支援1~2で約4割となっています。



(6) 相談相手

【非認定～要介護2調査のみ】

問39 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。[1つに○]



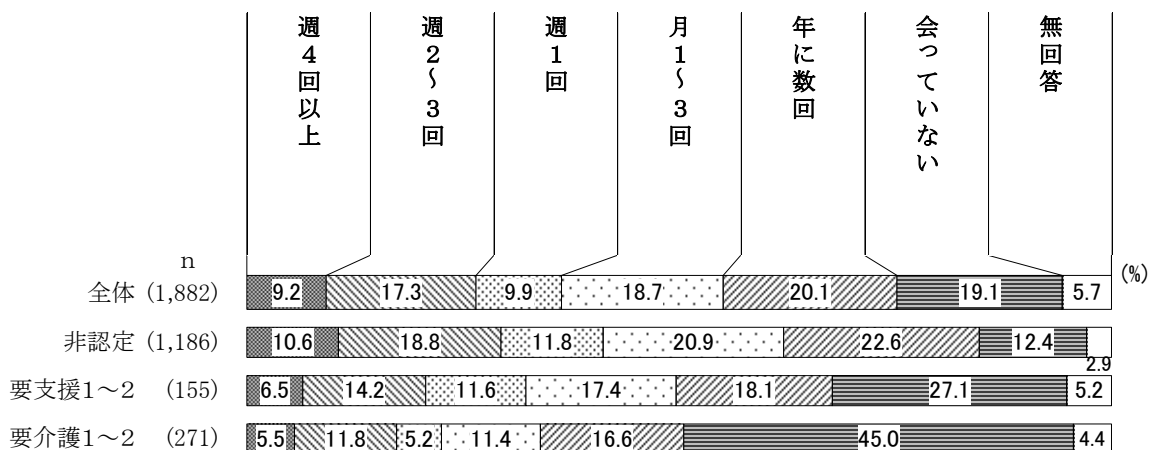
家族や友人・知人以外の相談相手については、「ケアマネージャー」が要支援1～2で2割前半、要介護1～2では約4割となっています。非認定では「医師・歯科医師・看護師」が1割台半ばです。一方、「そのような人はいない」が非認定では約5割となっています。

(7) 友人関係

【非認定～要介護2調査のみ】

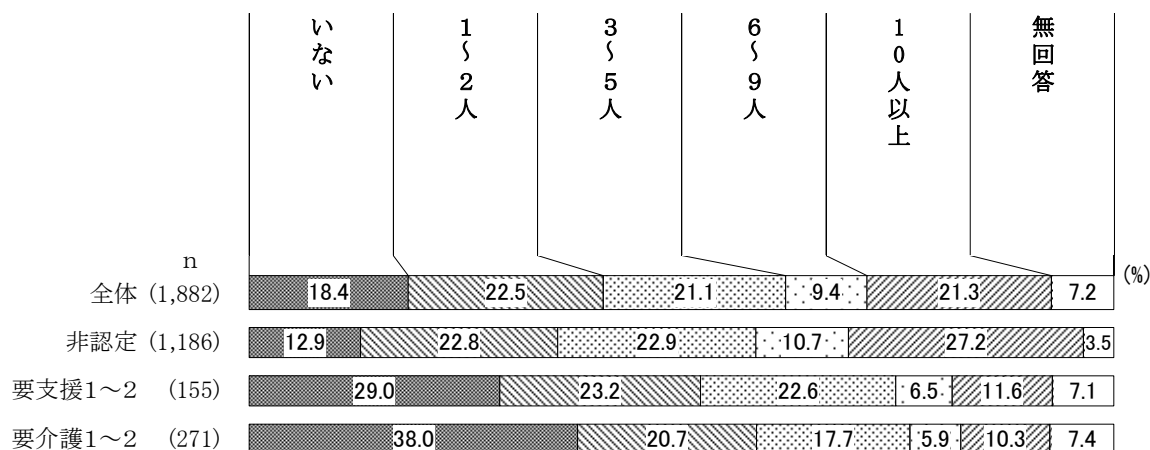
問40 友人関係についてあてはまるものに○をつけてください。

①友人・知人と会う頻度



友人・知人と会う頻度は、介護度が上がるにしたがい会う回数は減少し、「会っていない」の割合が増加しています。

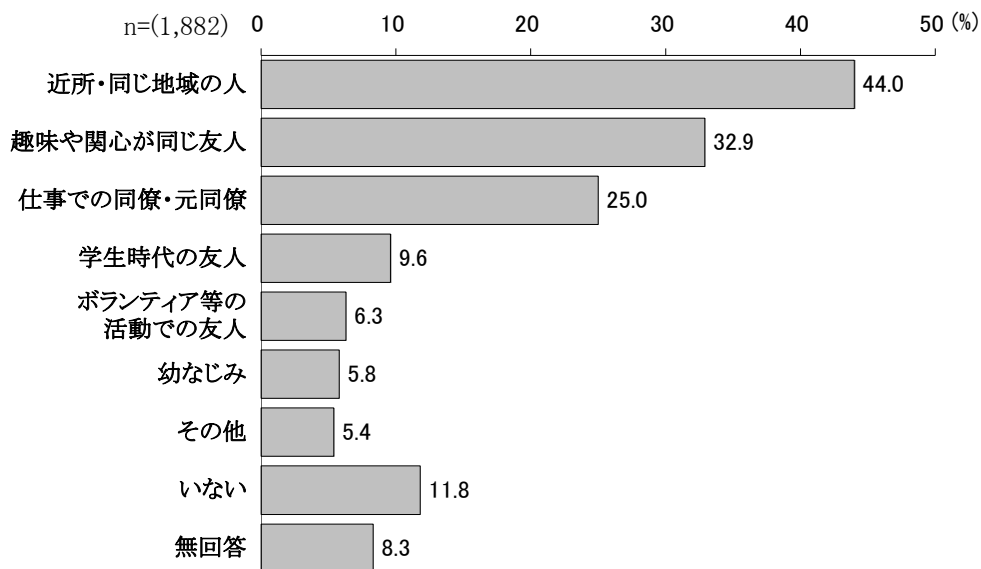
②この1か月に会った友人・知人の人数

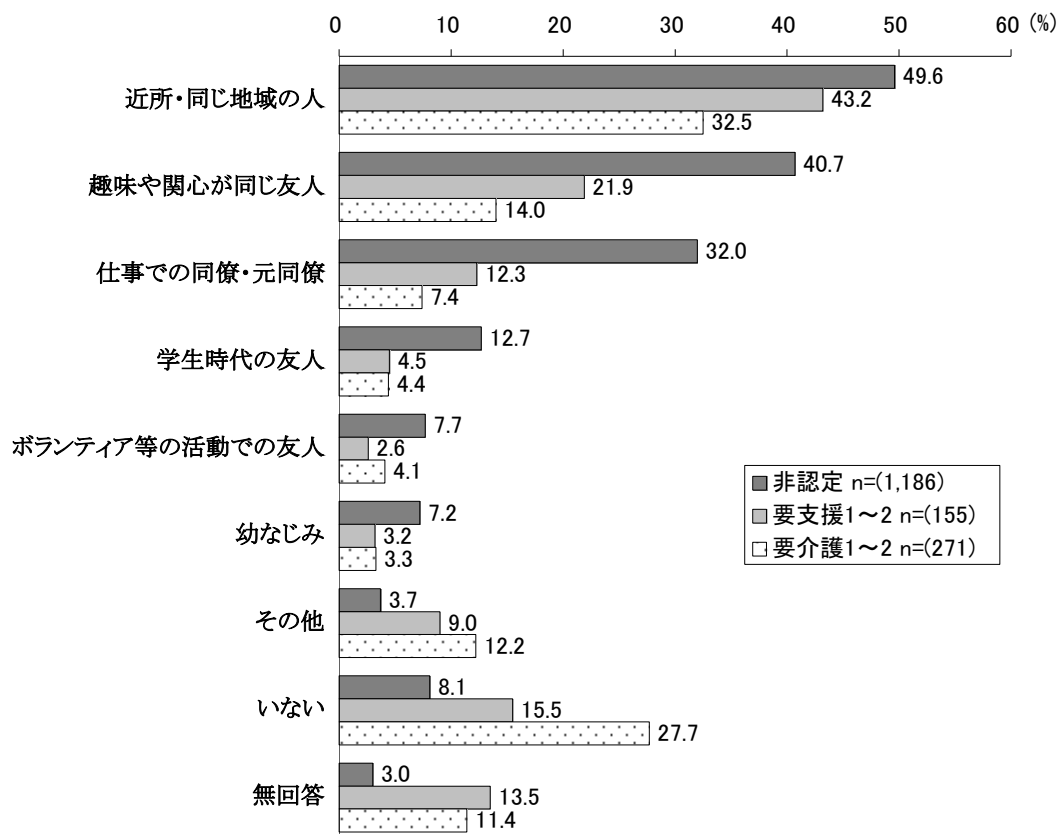


この1か月に会った友人・知人の人数は、介護度が上がるにしたがい人数は減少し、「いない」の割合が増加しています。

③よく会う友人・知人の関係

全体





よく会う友人・知人は、非認定、要介護1～2で「近所・同じ地域の人」が最も多く、非認定では約5割、要支援1～2で4割台前半、要介護1～2は3割台前半となっています。次いで「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」と続いています。一方、よく会う友人・知人が「いない」は要介護1～2で2割台後半、要支援1～2で1割台半ばとなっています。

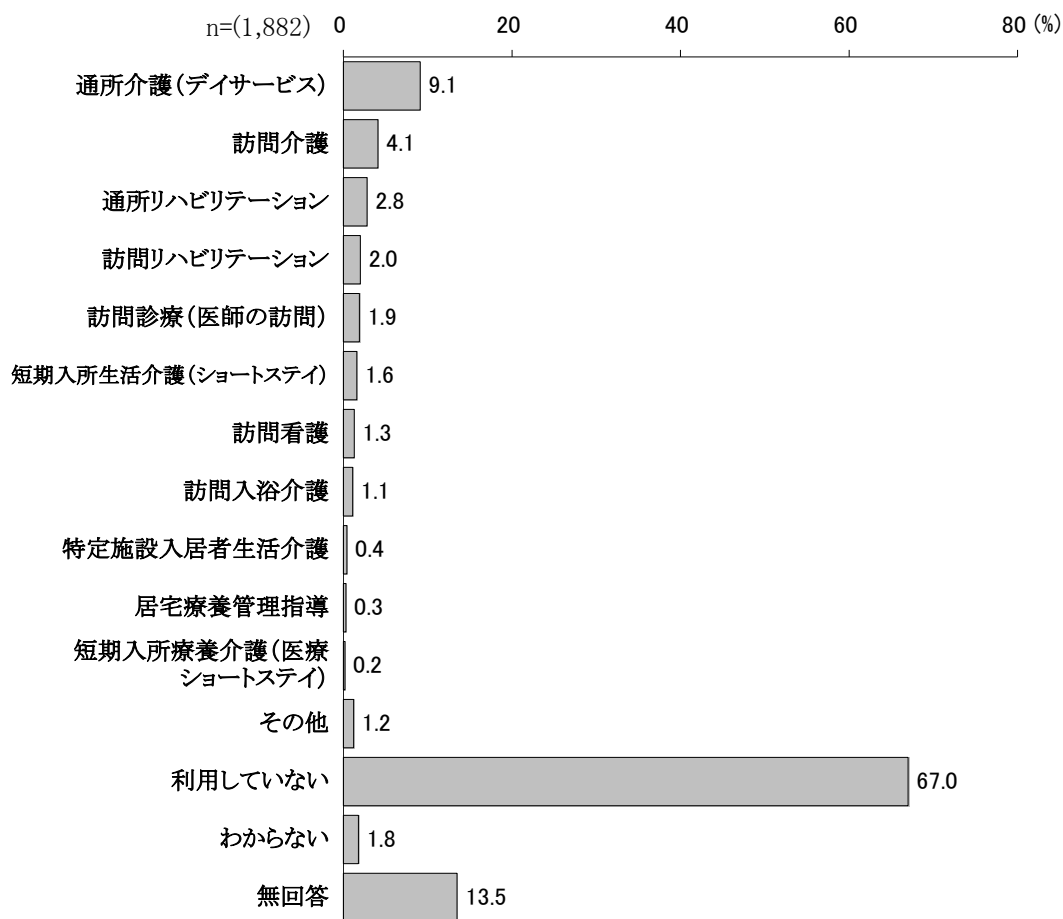
## 11. 介護保険について

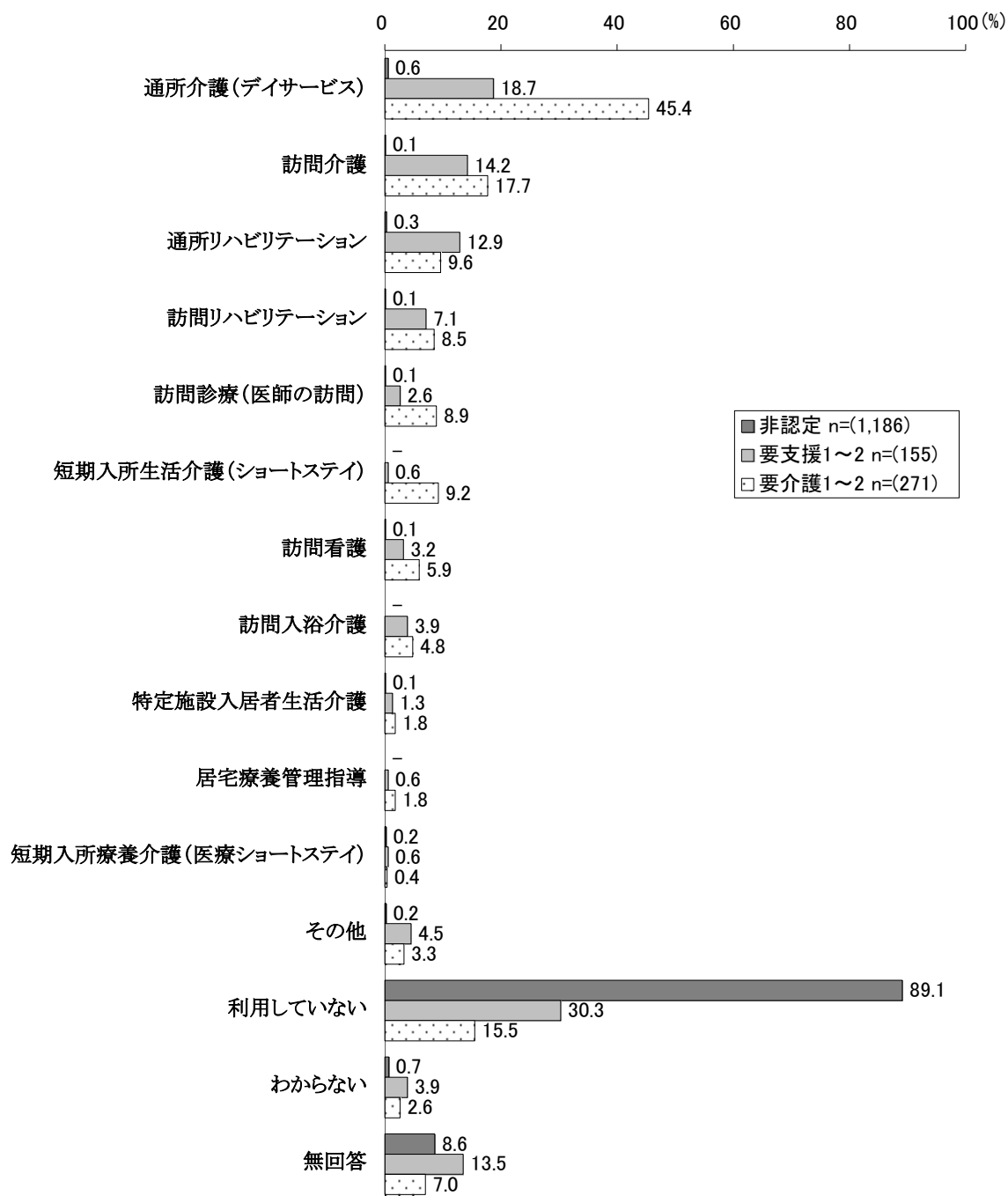
### (1) 居宅サービスの利用状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問42 次の居宅サービスを利用していますか。[いくつでも○]

全体



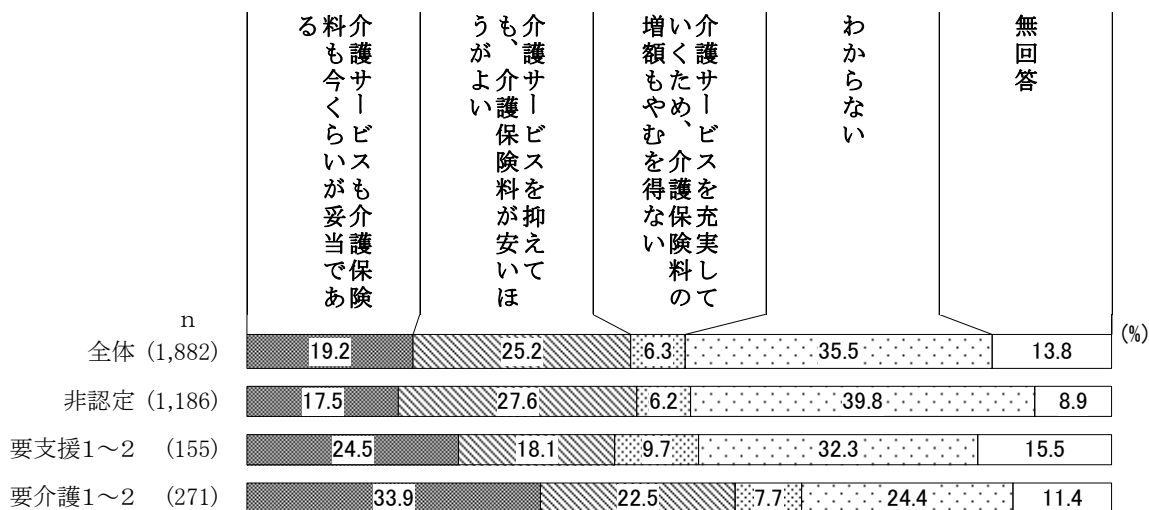


居宅サービスの利用状況は、要介護1～2では「通所介護（デイサービス）」が4割台半ばで最も多く、次いで「訪問介護」が1割台後半となっています。要支援1～2でも、「通所介護（デイサービス）」が1割台後半で最も多く、次いで「訪問介護」「通所リハビリテーション」が1割台前半となっています。

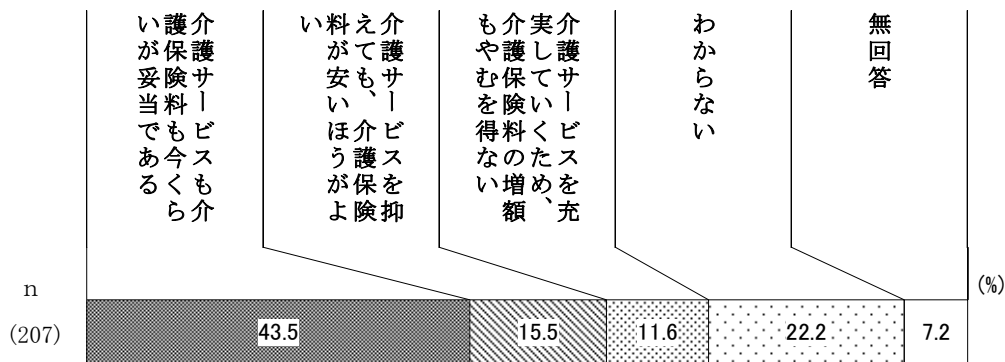
(2) 介護サービスと介護保険料に対する考え

問43 介護サービスと介護保険料についておたずねします。介護サービスの供給量等に基づいて介護保険料が設定されますが、あなたの考えにもっとも近いものは次のうちどれですか。[1つに○]  
【要介護3～5／問20】

非認定～要介護2



要介護3～5



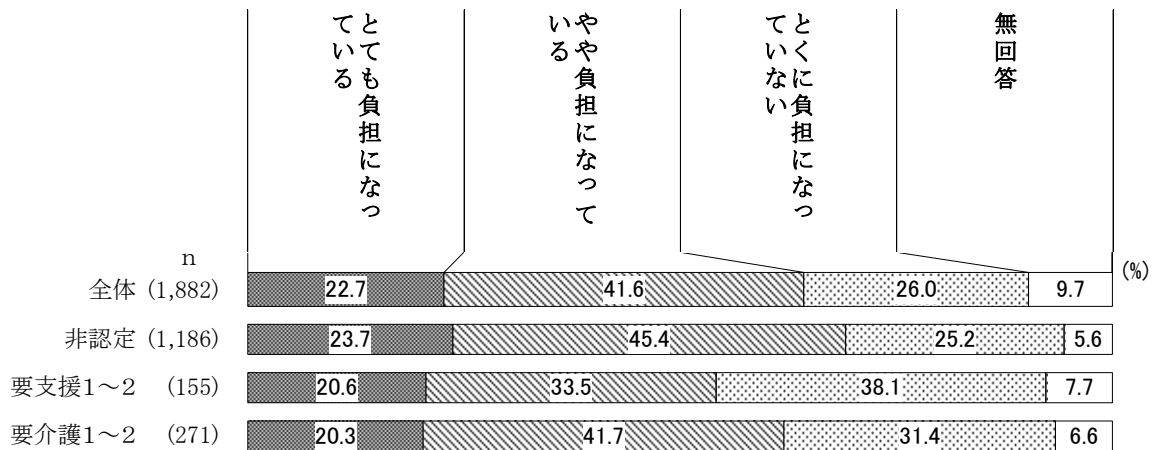
介護サービスと介護保険料については、「介護サービスも介護保険料も今くらいが妥当である」が要支援1～2で2割台前半、要介護1～2では3割台前半、要介護3～5では4割台前半と特に多くなっています。「介護サービスを抑えても、介護保険料が安いほうがよい」は非認定で2割台後半、「介護サービスを充実していくため、介護保険料の増額もやむを得ない」は要介護3～5で1割台前半と比較的多くなっています。

(3) 介護保険料の家計負担感

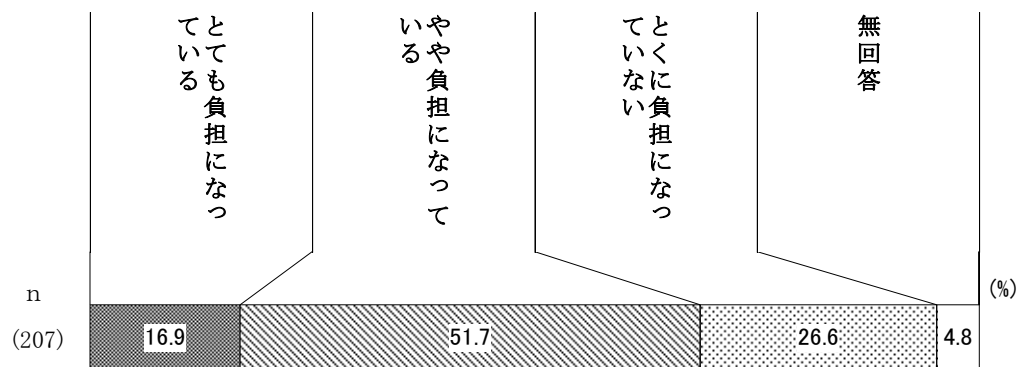
問44 現在あなたが支払っている介護保険料は、あなたの家計にとって負担になっていますか。[1つに○]

【要介護3～5／問21】

非認定～要介護2



要介護3～5

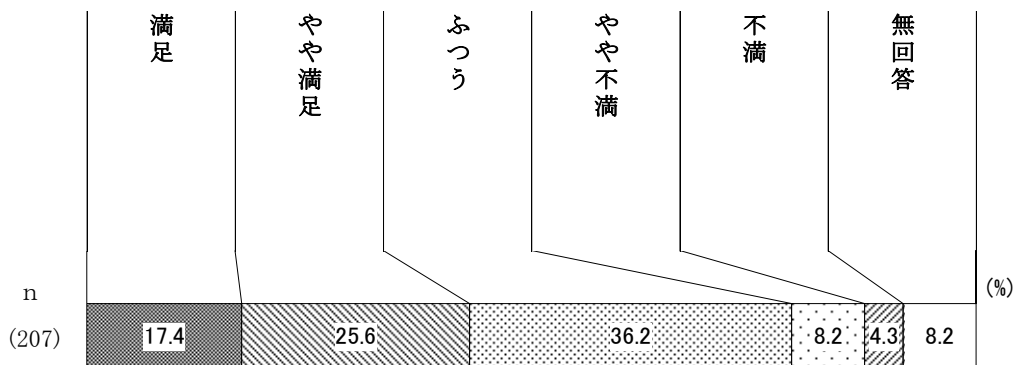


介護保険料が家計の負担となっているかについては、「とても負担になっている」と「やや負担になっている」を合わせた<負担になっている>は、非認定が約7割と最も多く、次いで要介護3～5の6割台後半、要介護1～2では6割台前半、要支援1～2が5割台前半となっており、非認定で負担感が多くなっています。一方、「とくに負担になっていない」は要支援1～2で3割台後半となっています。

(4) 介護保険サービス全般の満足度

【要介護3～5調査のみ】

問15 あなたは、介護保険サービス全般について満足していますか。[1つに○]

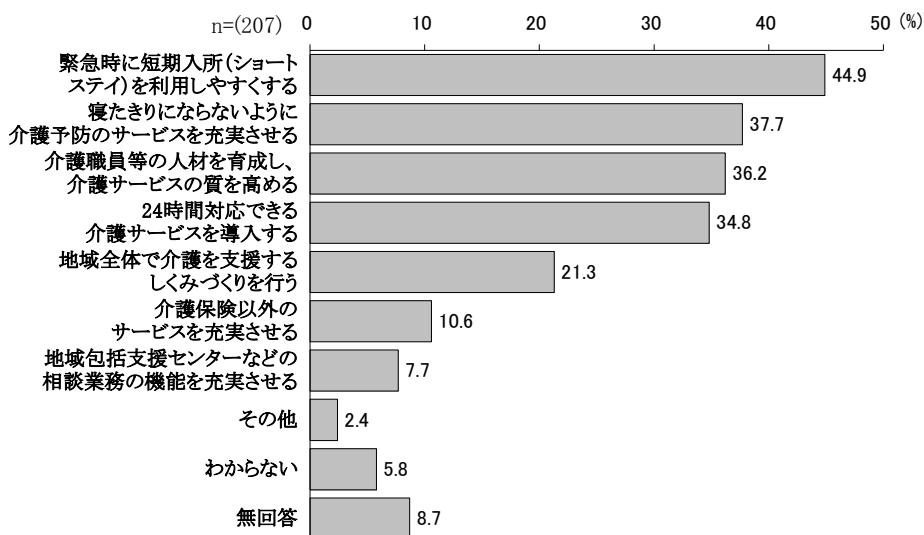


介護保険サービス全般についての満足度は、「ふつう」が3割台半ばを超え、最も多くなっています。次に「やや満足」「満足」の順に続き、これらを合わせた<満足>は4割台前半となっています。

(5) 介護保険サービスの充実に必要なこと

【要介護3～5調査のみ】

問16 「介護保険サービス」をより充実させるために、あなたが必要と思うことは次のうちどれですか。[3つまで○]



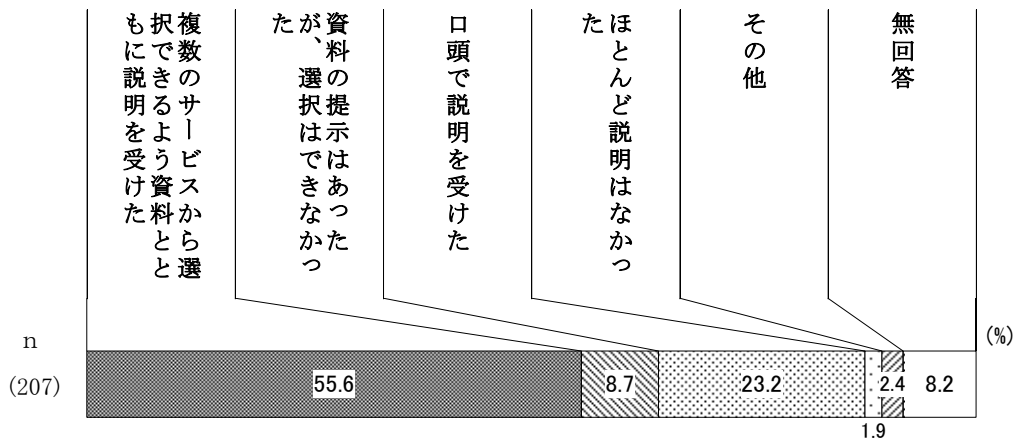
介護保険サービスをより充実させるために必要なことについては、「緊急時に短期入所（ショートステイ）を利用しやすくする」が4割台半ばで最も多くなっています。次に「寝たきりにならないように介護予防のサービスを充実させる」「介護職員等の人材を育成し、介護サービスの質を高める」「24時間対応できる介護サービスを導入する」が3割台で続いています。また、「地域全体で介護を支援するしくみづくりを行う」は2割強となっています。



(6) ケアプラン作成にあたっての説明状況

【要介護3～5調査のみ】

問17 ケアマネジャーはケアプラン作成に当たり、本人又は家族の方に、サービスの種類・内容・利用料などの説明を十分してくれましたか。[1つに○]

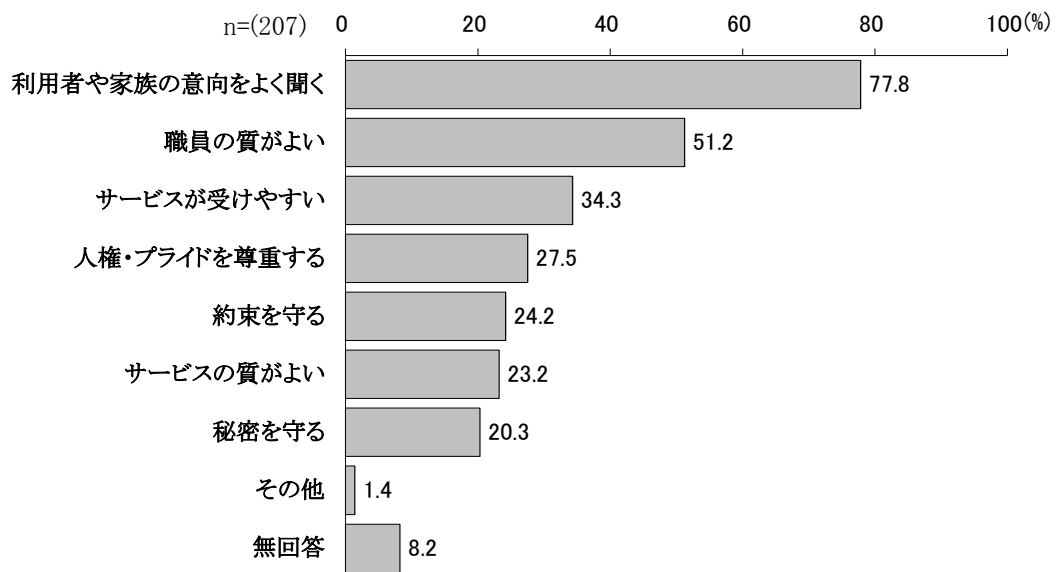


ケアプラン作成に当たってのケアマネジャーから本人又は家族へのサービスの種類・内容・利用料などの説明の有無は、「複数のサービスから選択できるように資料とともに説明を受けた」が5割台半ば、「口頭で説明を受けた」が2割台前半でこれらを合わせると、＜受けた＞は7割台後半となっています。また、「資料の提示はあつたが選択はできなかった」が8.7%となっています。

(7) 介護サービス事業者の評価

【要介護3～5調査のみ】

問18 あなたが介護サービス事業者を評価する点はどんなことですか。[いくつでも○]

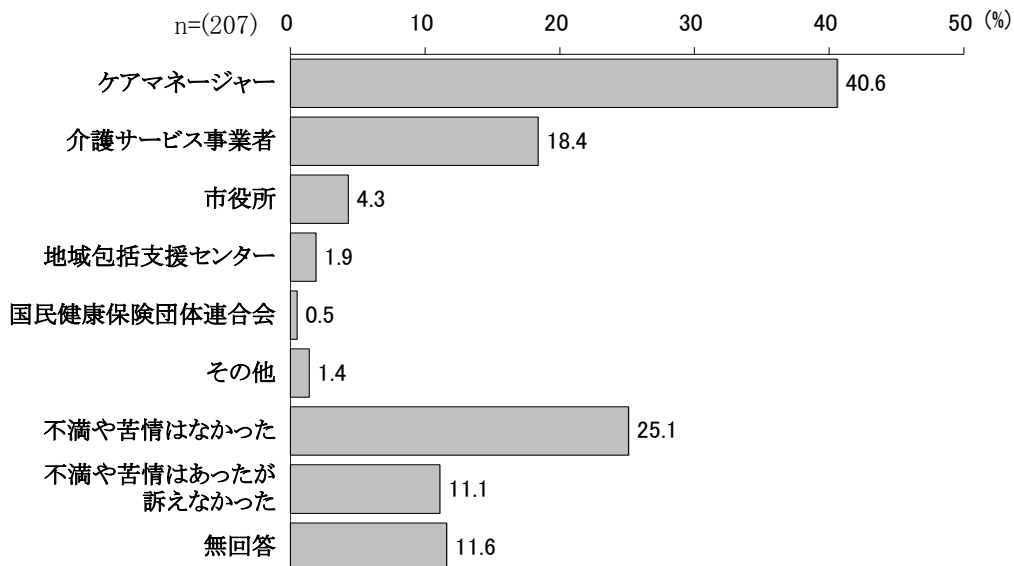


介護サービス事業者を評価する点は、「利用者や家族の意向をよく聞く」が7割台後半で最も多く、次いで「職員の質がよい」が5割台前半、「サービスが受けやすい」「人権・プライドを尊重する」と続いています。

(8) サービスに不満や苦情がある場合の訴え先

【要介護3～5調査のみ】

問19 介護サービス事業者の提供するサービスに不満や苦情がある場合に、誰に不満や苦情を訴えましたか。[いくつでも○]



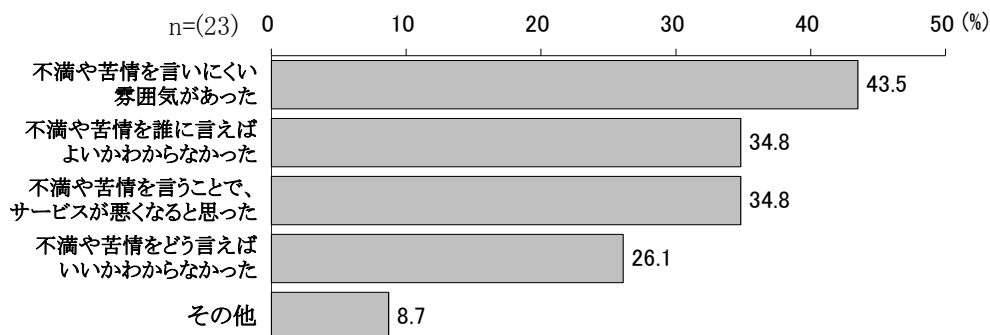
介護サービス事業者の提供するサービスに不満や苦情がある場合の不満や苦情の訴え先は「ケアマネージャー」が約4割で最も多く、次いで「介護サービス事業者」が1割台後半、「不満や苦情はあったが訴えなかった」が1割台前半となっています。一方、2割台半ばが「不満や苦情はなかった」と回答しています。

(9) サービスに不満や苦情がある場合に訴えなかった理由

【要介護3～5調査のみ】

問19で「2. 不満や苦情はあったが訴えなかった」と答えた方におたずねします。

問19-1 不満を訴えなかった理由はなんですか。[いくつでも○]



サービスに不満や苦情があったが訴えなかったと回答した方の理由は、「不満や苦情を言いにくい雰囲気があった」が4割台前半で最も多く、「不満や苦情を誰に言えばよいかわからなかった」「不満や苦情を言うことで、サービスが悪くなると思った」が3割台半ばで続いています。

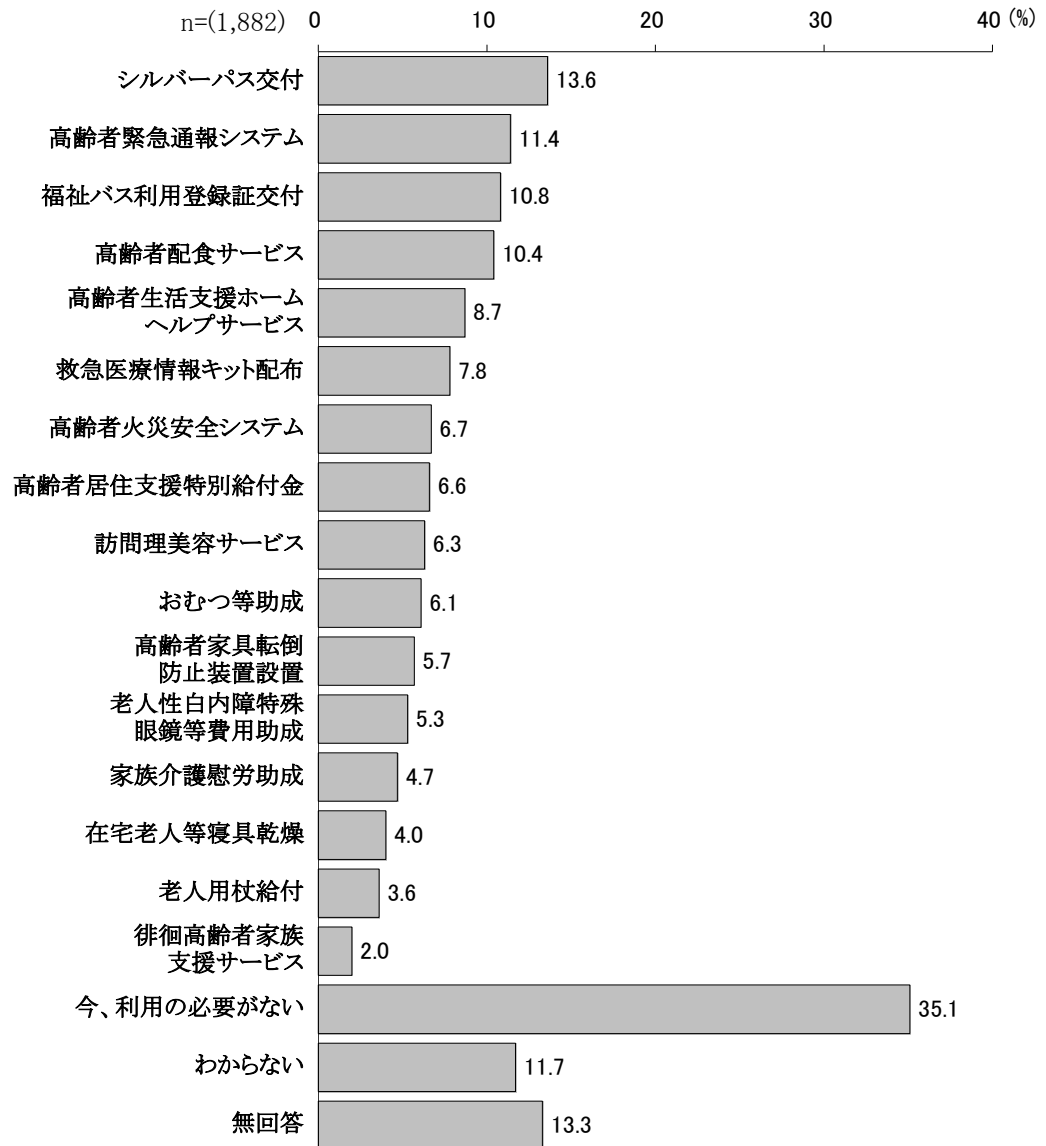
## 12. 高齢者施策について

### (1) 高齢者福祉の在宅サービスの利用希望

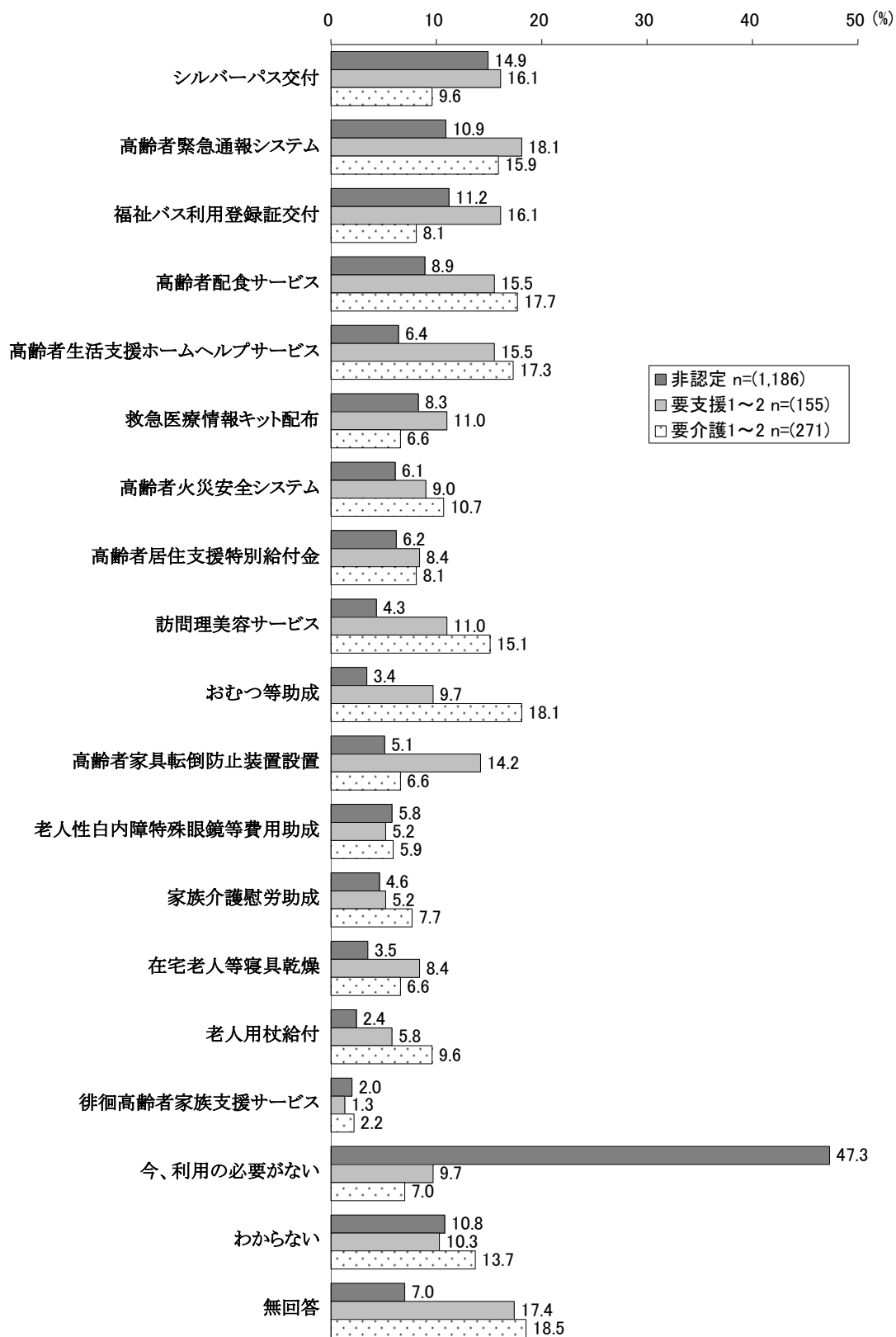
【非認定～要介護2調査のみ】

問45 福生市では介護保険制度以外に次のような高齢者のための在宅サービスを実施していますが、利用したいものはどれですか。[いくつでも○]

全体



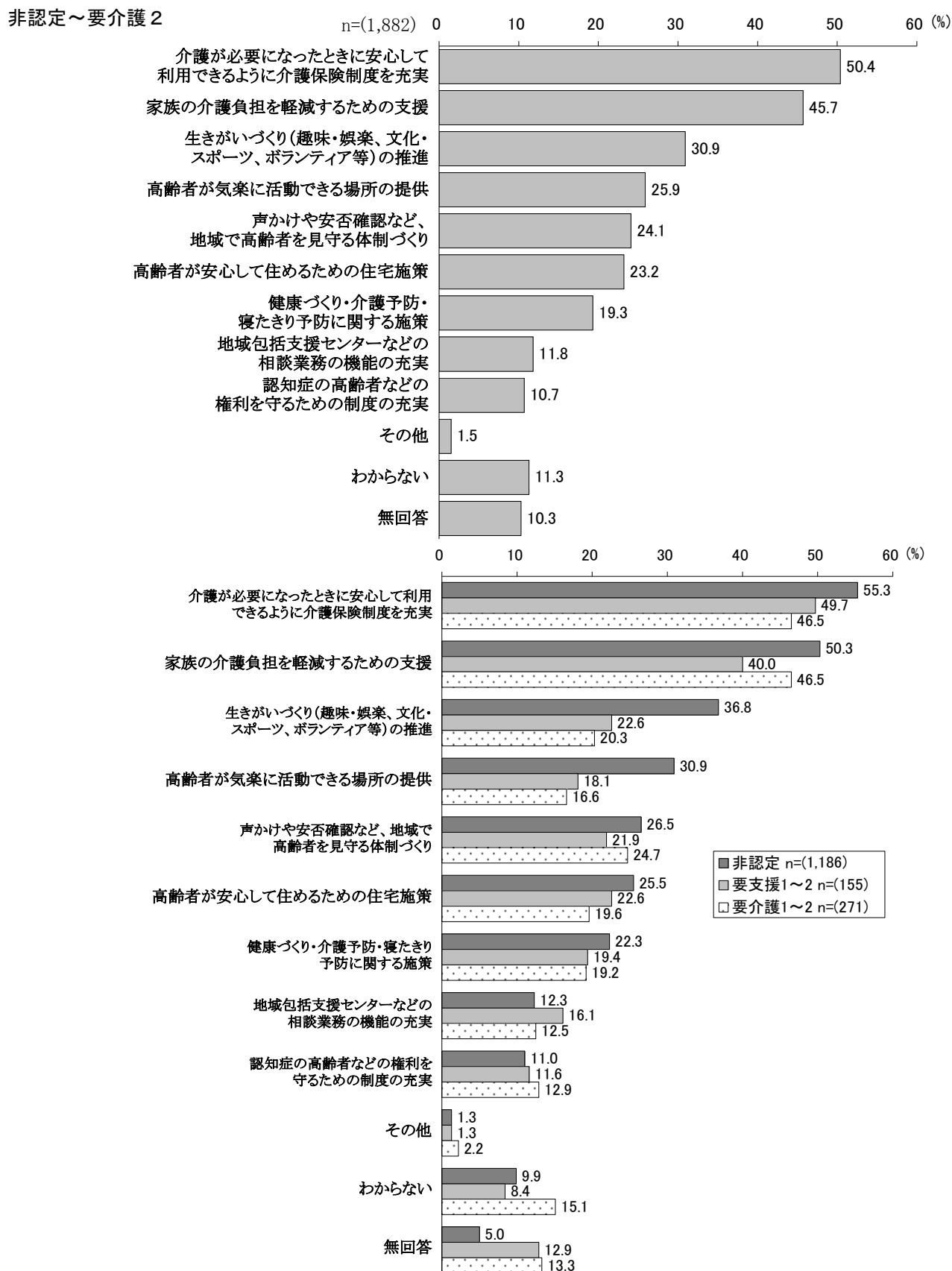
## 第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



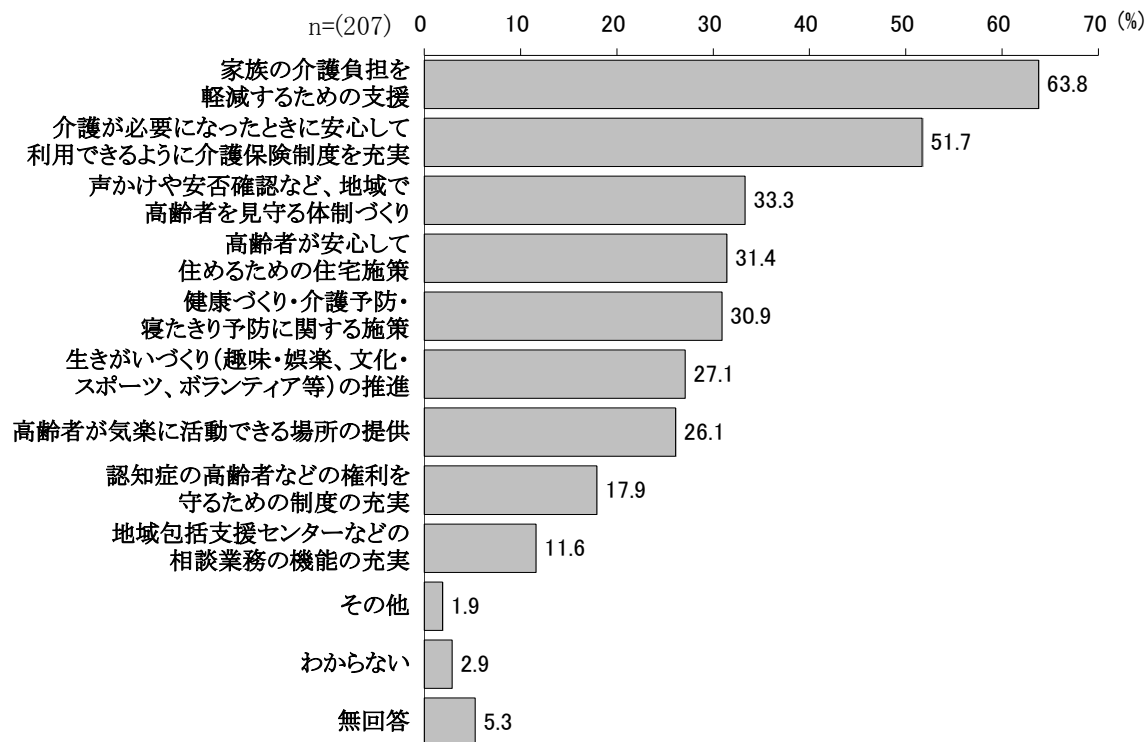
介護保険制度以外の高齢者のための在宅サービスで利用したいサービスは、要支援1～2では、「高齢者緊急通報システム」「シルバーパス交付」「福祉バス利用登録証交付」「高齢者配食サービス」「高齢者ホームヘルプサービス」の割合が多く、要介護1～2では、「おむつ等助成」「高齢者配食サービス」「高齢者生活支援ホームヘルプサービス」と続いています。一方、非認定の4割台後半の方が「今、利用の必要がない」と回答しています。

(2) 高齢者福祉の充実のために必要なこと

問46 高齢者福祉がより充実するために、あなたが必要と思うことは次のうちどれですか。  
 [いくつでも○] 【要介護3～5/問22】



要介護3～5



高齢者福祉がより充実するために必要なことについては、非認定、要支援1～2では「介護が必要になったときに安心して利用できるように介護保険制度を充実」が約5割～5割台半ばで最も多く、要介護1～2では「介護が必要になったときに安心して利用できるように介護保険制度を充実」と「家族の介護負担を軽減するための支援」がともに4割台後半となっています。要介護3～5では、「家族の介護負担を軽減するための支援」が6割台前半で最も多く、次いで「家族の介護負担を軽減するための支援」が5割台前半となっています。非認定では、「生きがいがづくり（趣味・娯楽、文化・スポーツ、ボランティア等）の推進」が3割台後半、「高齢者が気軽に活動できる場所の提供」と続いています。要支援1～2では、「生きがいがづくり（趣味・娯楽、文化・スポーツ、ボランティア等）の推進」「高齢者が安心して住めるための住宅施策」が続いており、要介護1～2では、「声かけや安否確認など、地域で高齢者を見守る体制づくり」「高齢者が安心して住めるための住宅施策」と続いています。

## 第3章 障害者生活実態調査結果の詳細

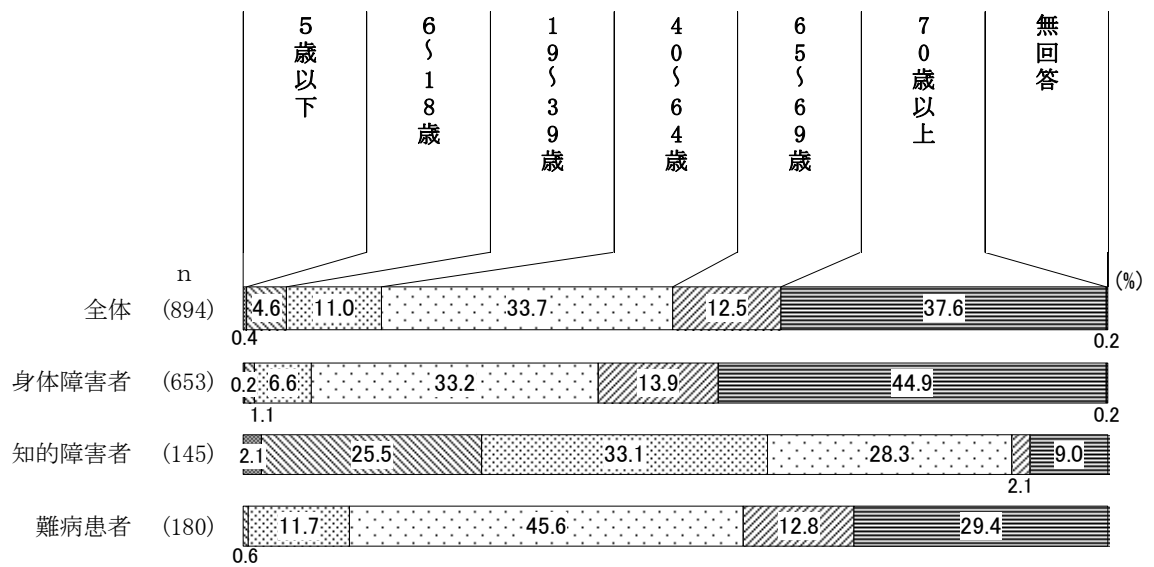




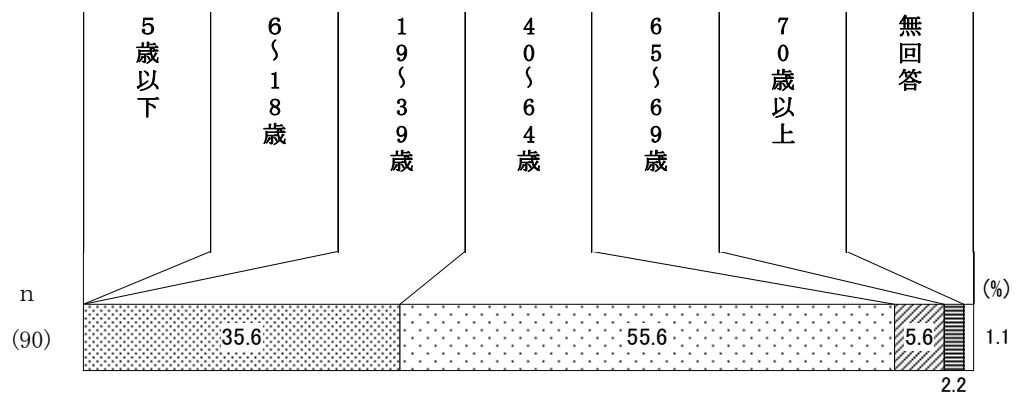
# 1. 基本属性

## (1) 年齢

身体・知的・難病

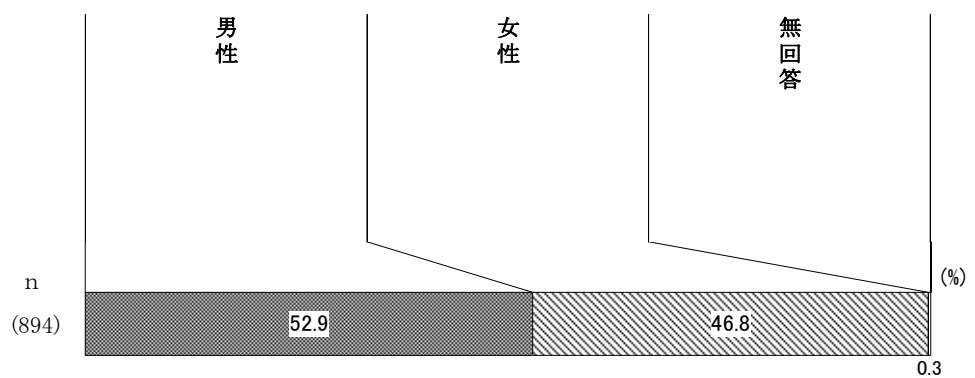


精神

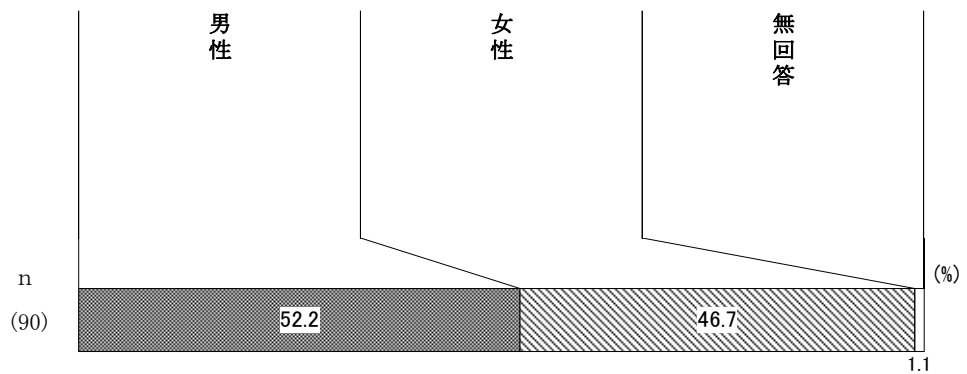


## (2) 性別

身体・知的・難病

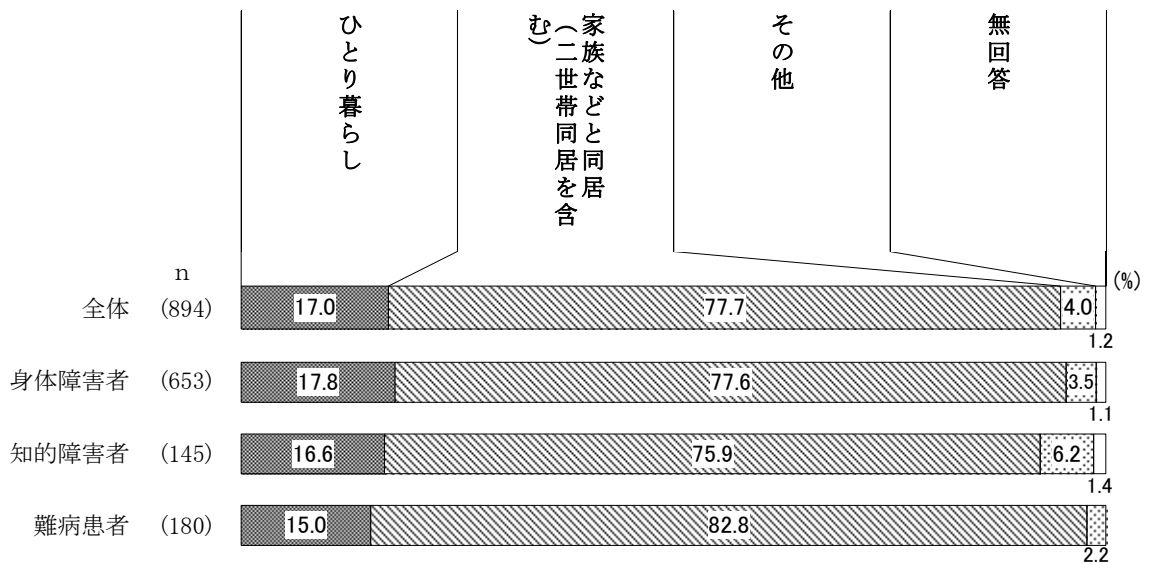


精神

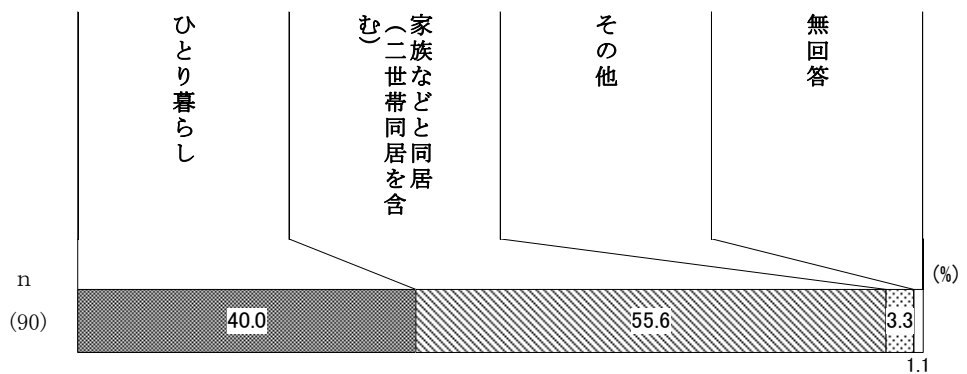


(3) 家族構成

身体・知的・難病



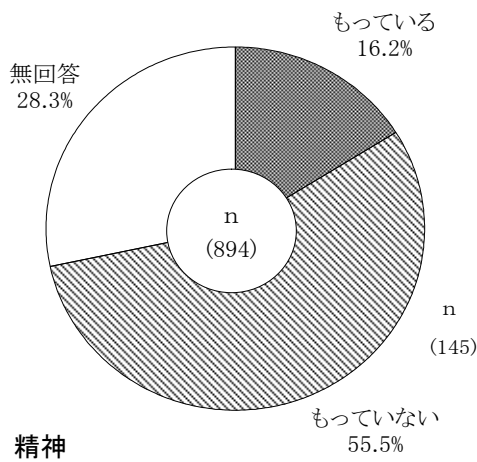
精神



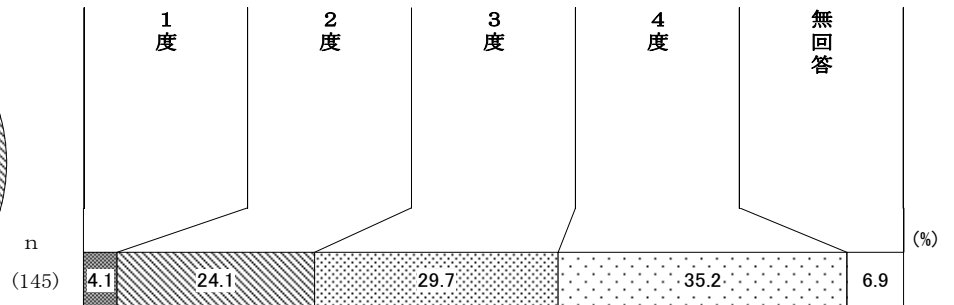
(4) 愛の手帳の有無、度数

身体・知的・難病

【愛の手帳の有無】

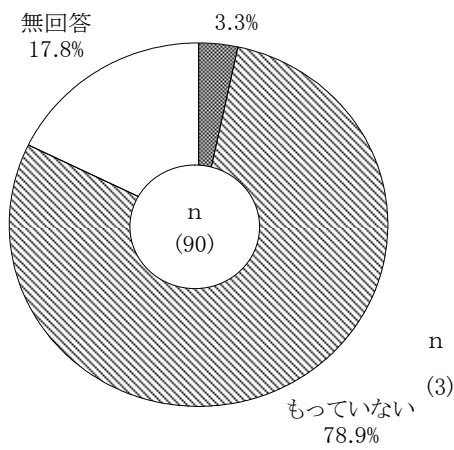


【度数】

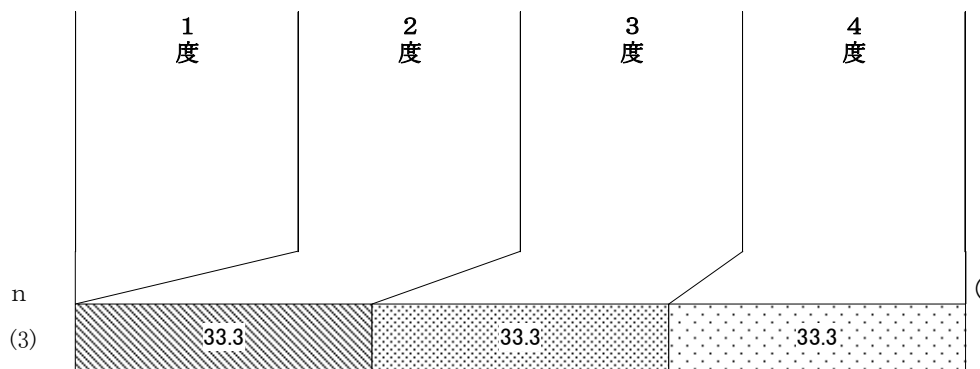


精神

【愛の手帳の有無】



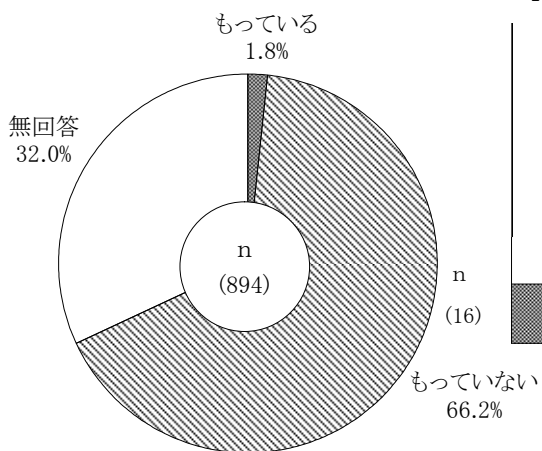
【度数】



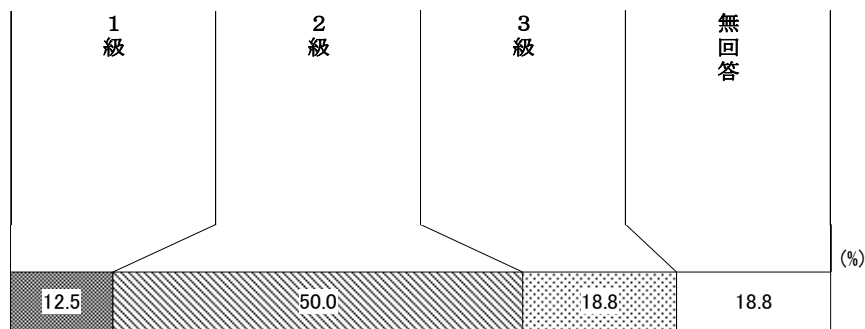
(5) 精神保健福祉手帳の有無、等級

身体・知的・難病

【精神保健福祉手帳の有無】

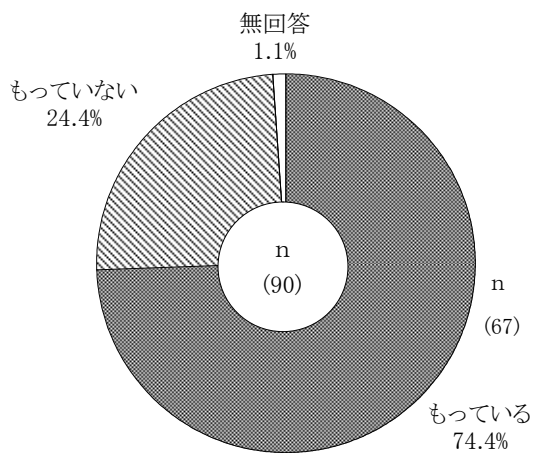


【級数】

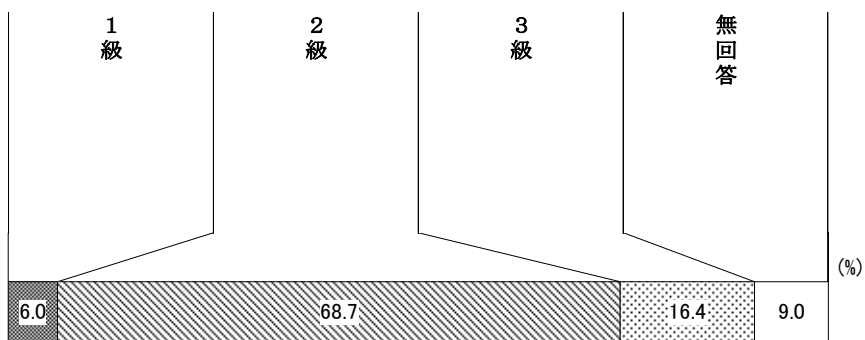


精神

【精神保健福祉手帳の有無】



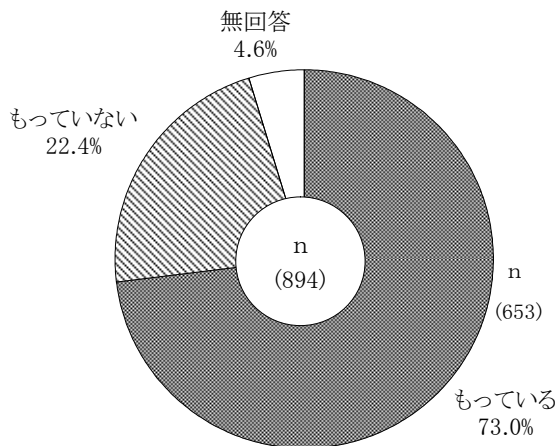
【級数】



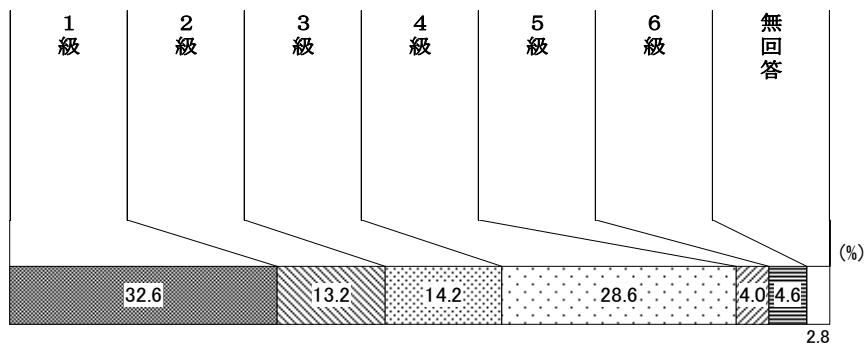
(6) 身体障害者手帳の有無、等級

身体・知的・難病

【身体障害者手帳の有無】

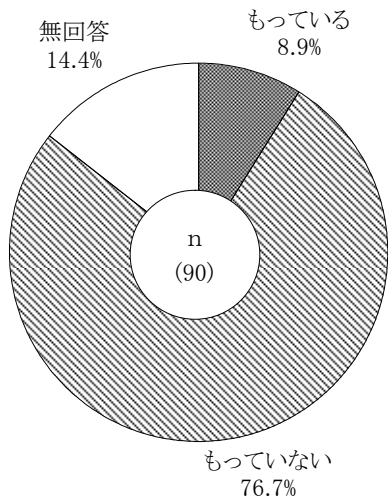


【級数】

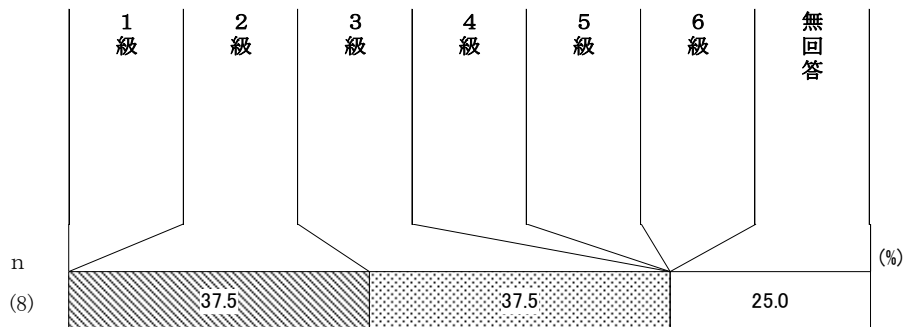


精神

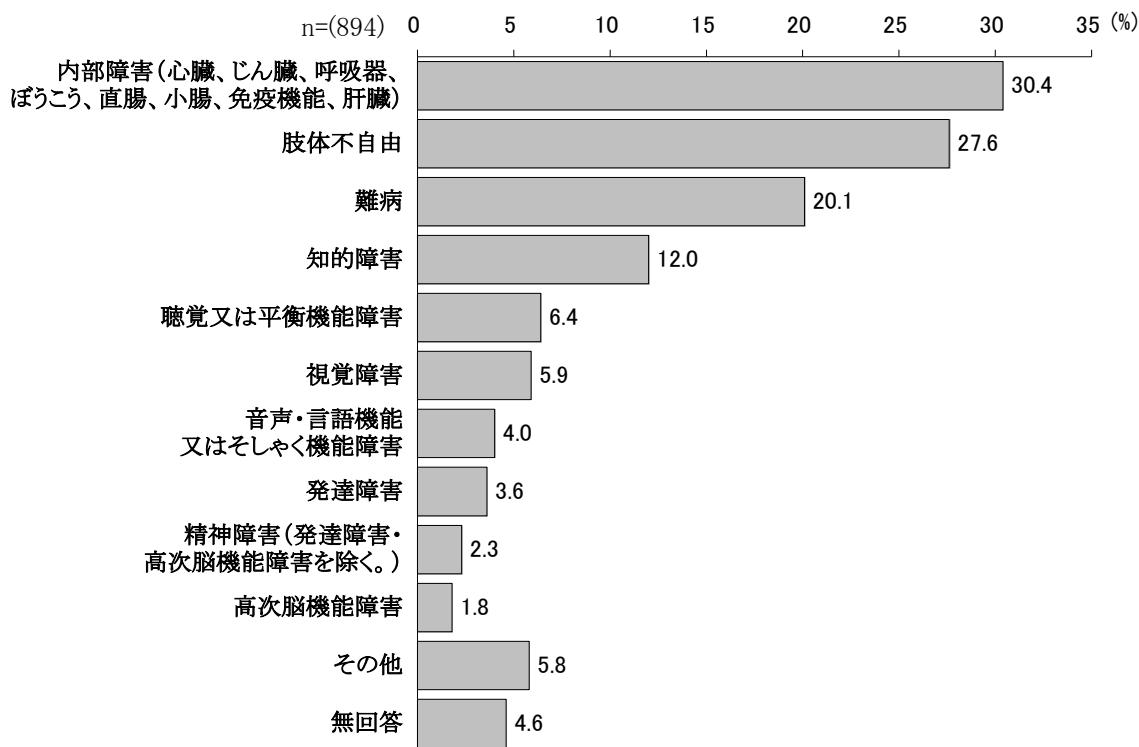
【身体障害者手帳の有無】



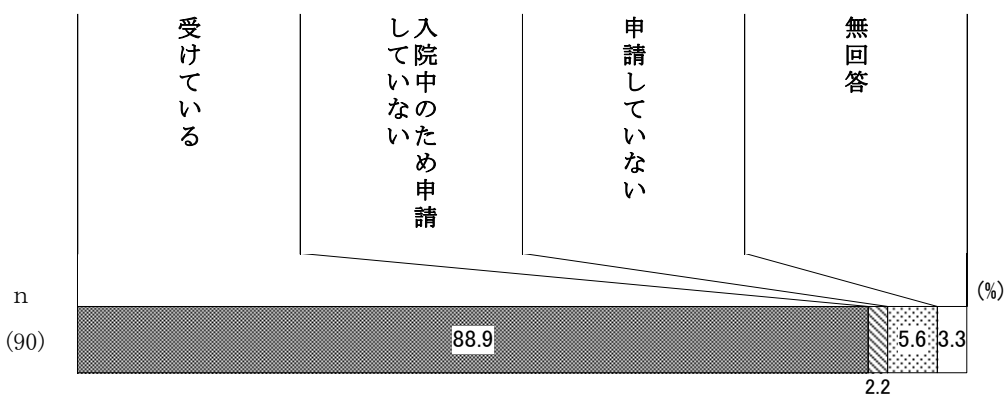
【級数】



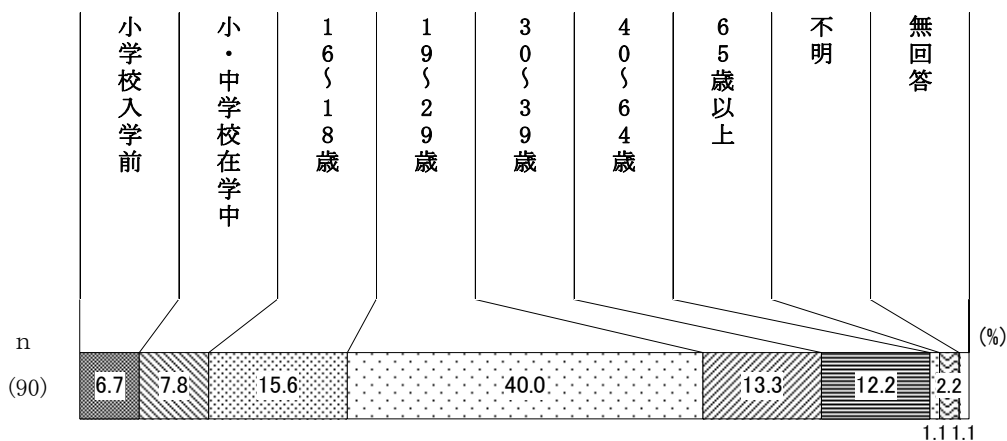
(7) 障害の種類【身体・知的・難病調査のみ】



(8) 自立支援医療費助成を受けているか【精神疾患等調査のみ】



(9) 具合が悪くなった年齢【精神疾患等調査のみ】

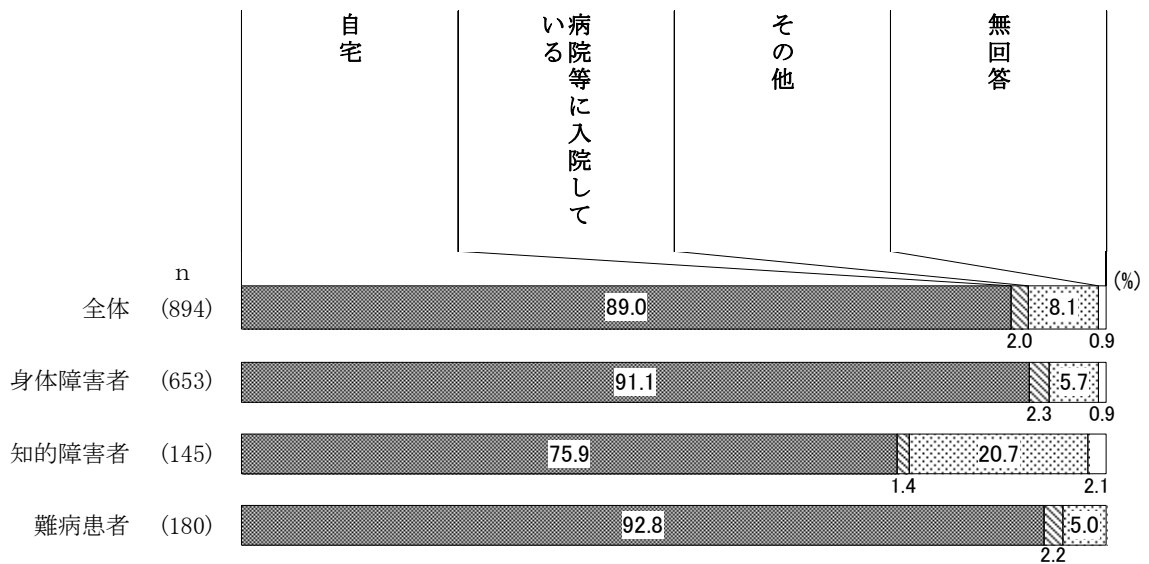


## 2. 生活の状況

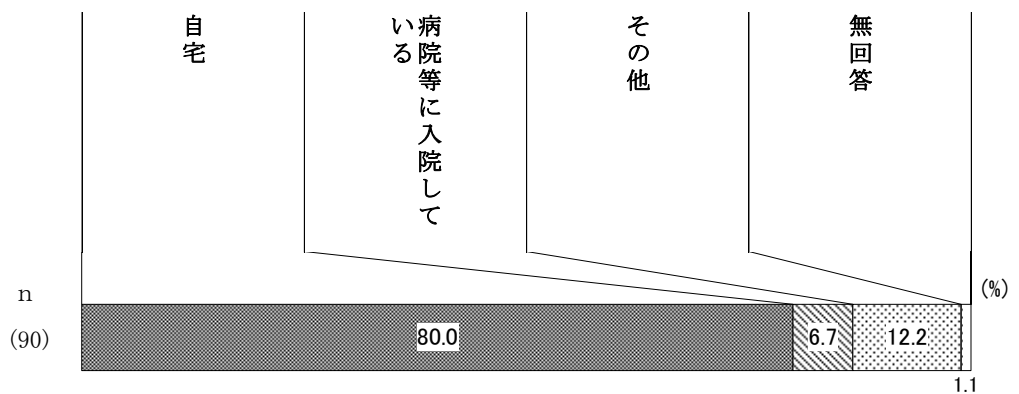
### (1) 現在の居場所

問1 あなた（あて名ご本人）は、現在どちらで生活していますか。[1つに〇]

#### 身体・知的・難病



#### 精神

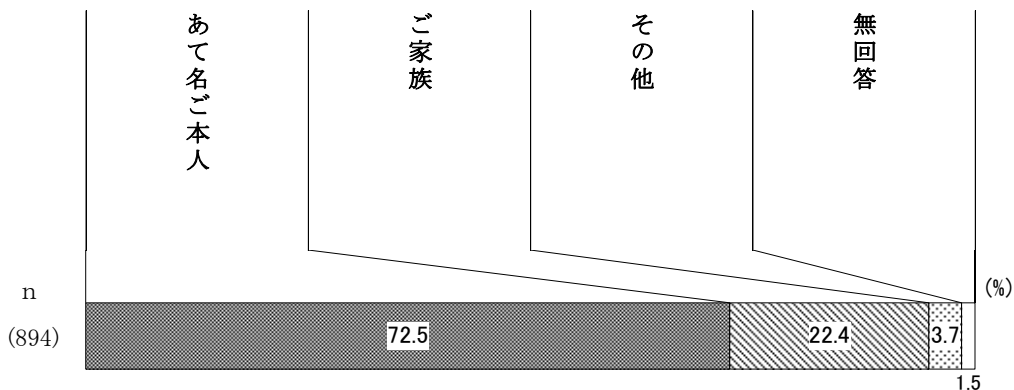


現在の居場所は、身体・難病では「自宅」が9割以上、知的障害者で「その他」が2割となっています。精神障害者では「自宅」が最も多く8割、「病院等に入院している」は6.7%となっています。

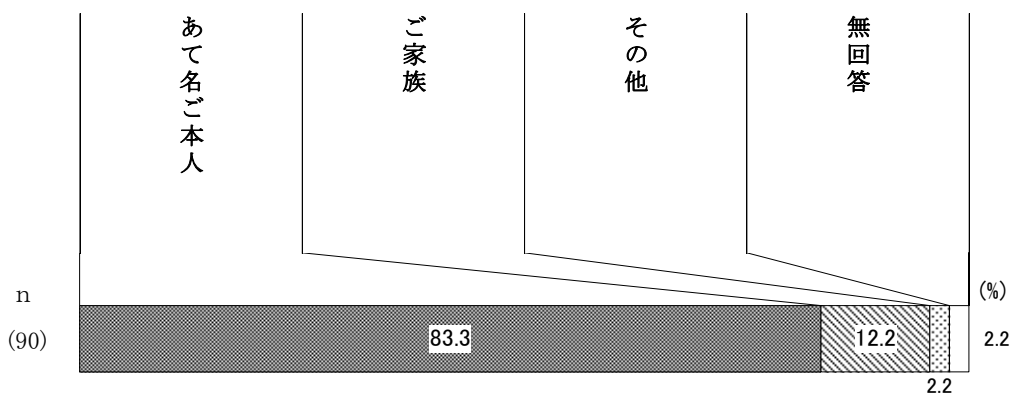
(2) 記入者

問2 この調査票はどなたがご記入されますか。[1つに○]

身体・知的・難病



精神



調査票の記入者は、身体・知的障害者・難病患者は「あて名ご本人」が7割台前半、「ご家族」が2割台前半となっています。精神障害者は「あて名ご本人」が8割台前半、「ご家族」が1割台前半となっています。

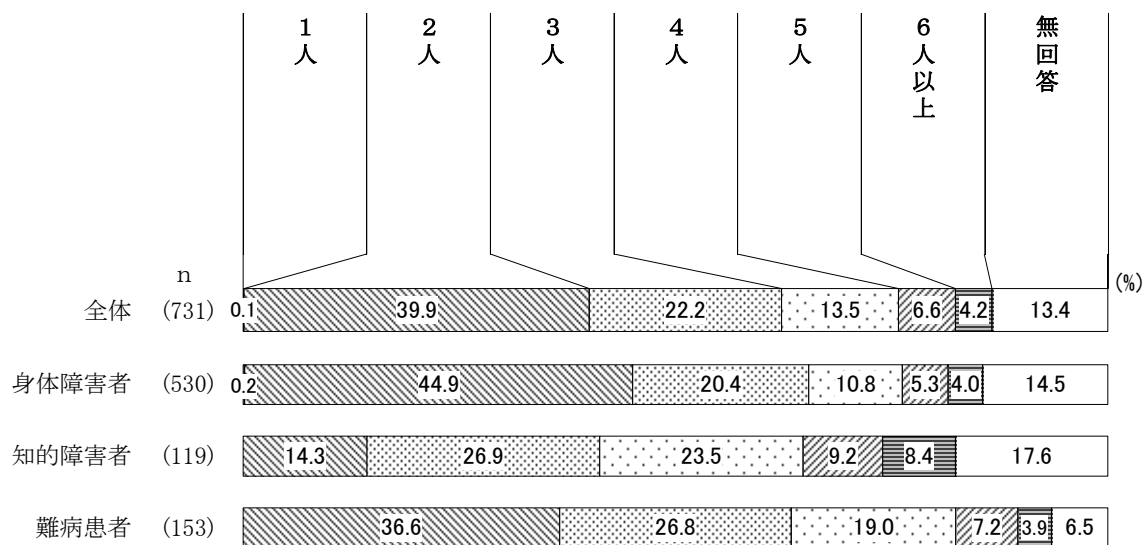


(3) 同居人数

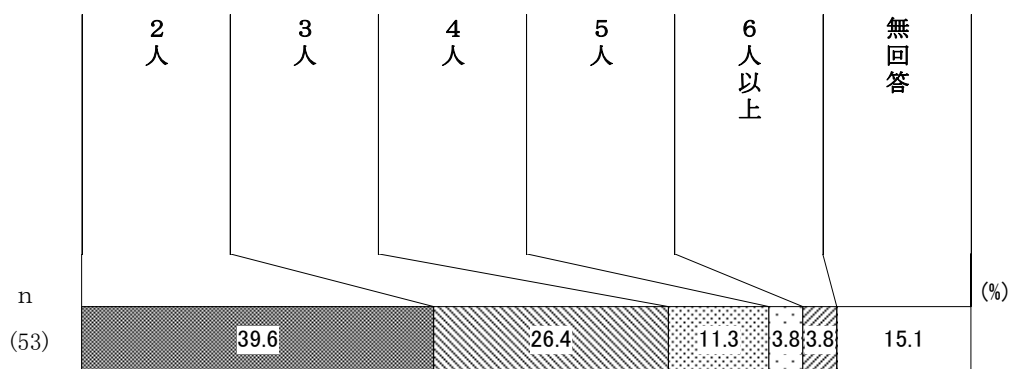
問5で「1.ひとり暮らし」以外に答えた方におたずねします。

問5-1 ご自分を含めて、何人で暮らしていますか。[人数を記入]

身体・知的・難病



精神

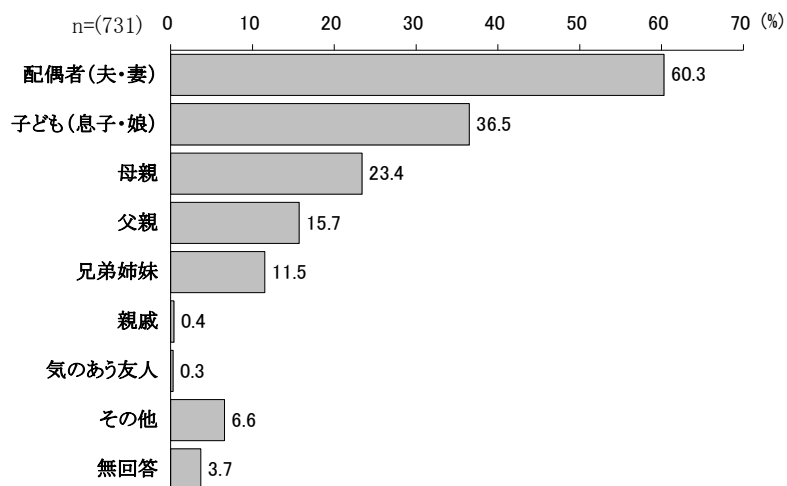


同居人数は、身体・難病は「2人」が4割前後と最も多く、次いで「3人」「4人」と続いています。知的障害者では「3人」「4人」が2割台で比較的高くなっています。精神障害者は「2人」が約4割と最も多く、次いで「3人」が2割台後半、「4人」が1割が続いています。

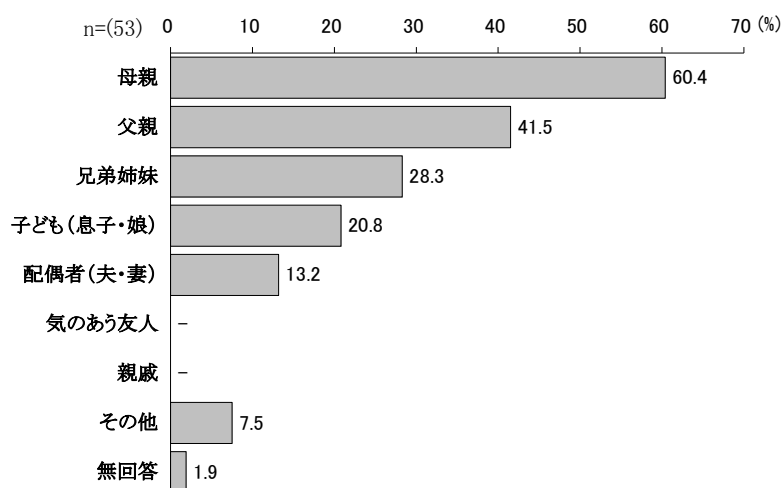
(4) 同居者の続柄

問5-2 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

身体・知的・難病



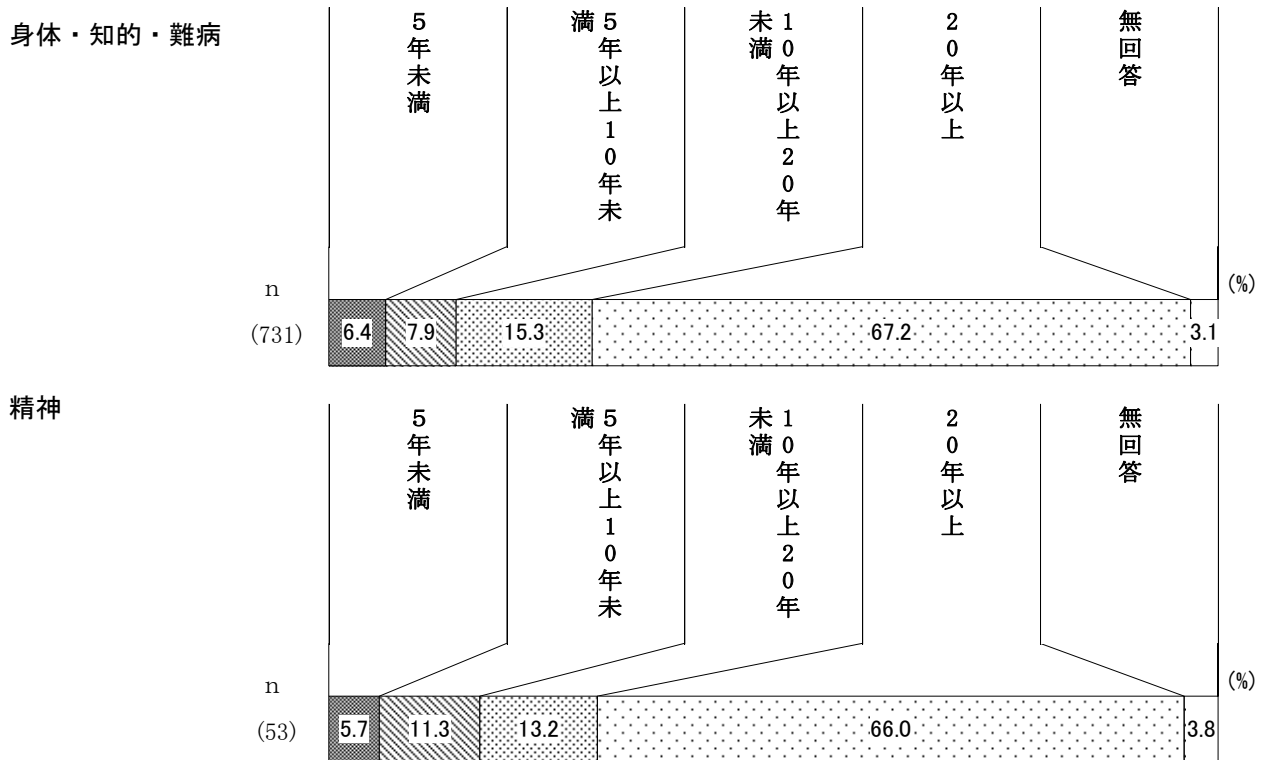
精神



同居者は、身体・知的・難病は「配偶者(夫・妻)」が約6割で最も多く、「子ども(息子・娘)」が3割台後半、「母親」が2割台前半と続いています。精神障害者は「母親」が約6割で最も多く、次いで「父親」が4割台前半、「兄弟姉妹」が2割台後半となっています。

(5) 居住年数

問5-3 福生市での居住年数は次のどれですか。[1つに○]

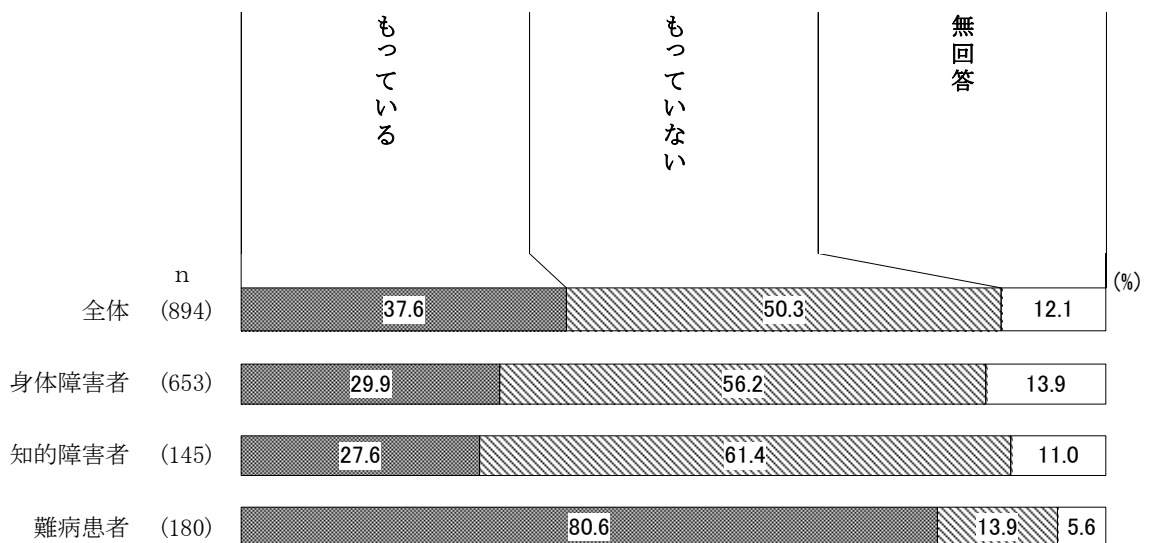


福生市での居住年数は、身体・知的・難病は「20年以上」が6割台後半と最も多く、「10年以上20年未満」が1割台半ば、「5年以上10年未満」と続いています。精神障害者も同様に、「20年以上」が6割台後半と最も多く、「10年以上20年未満」が1割台前半、「5年以上10年未満」と続いています。

(6) ④医療券の有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問6-(4) ④医療券をお持ちですか。[1つに○]



④医療券の有無は、「持っている」は難病患者で8割、身体・知的で2割台後半となっています。

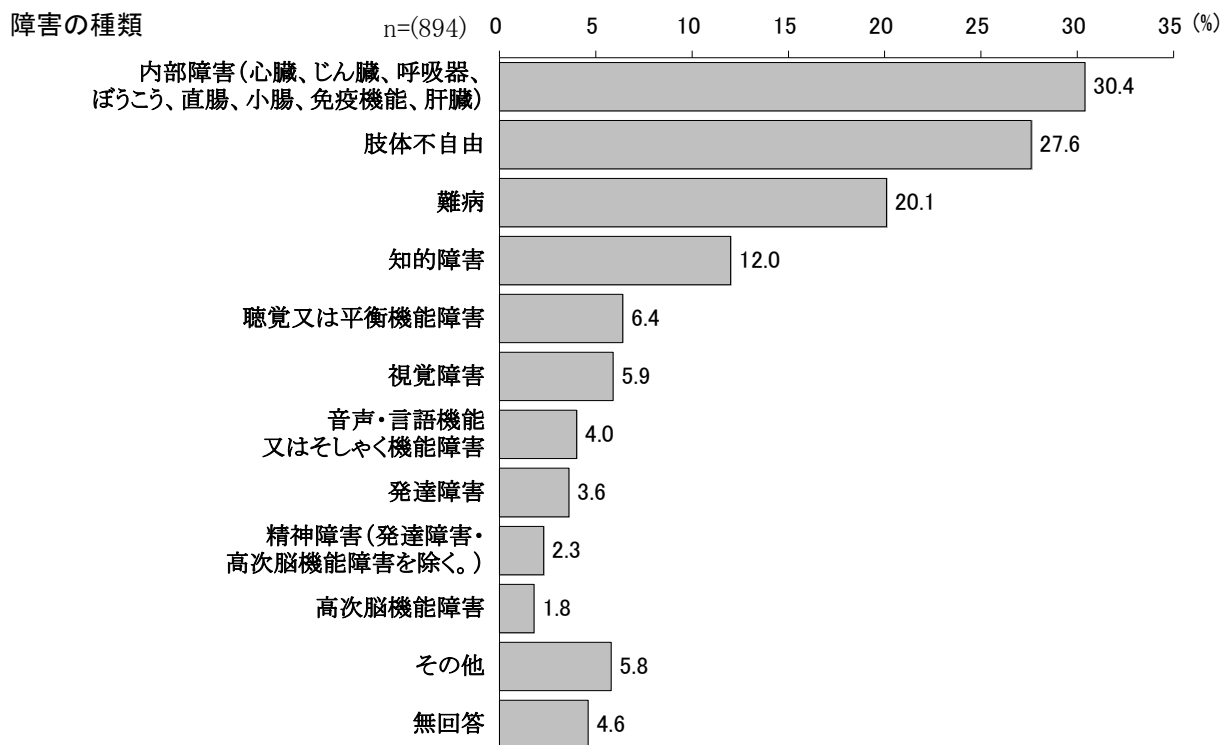
(7) 障害の種類と難病の内容

【身体・知的・難病調査のみ】

問7 障害の種類についておたずねします。[いくつでも○]

問7で「10. 難病」と答えた方におたずねします。

問7-1 り患されている疾病はどれですか。別紙「難病一覧」より1～130までの番号をご記入ください。



障害の種類は、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が約3割で最も多く、次いで「肢体不自由」が2割台後半、「難病」「知的障害」と続いています。

難病の内容

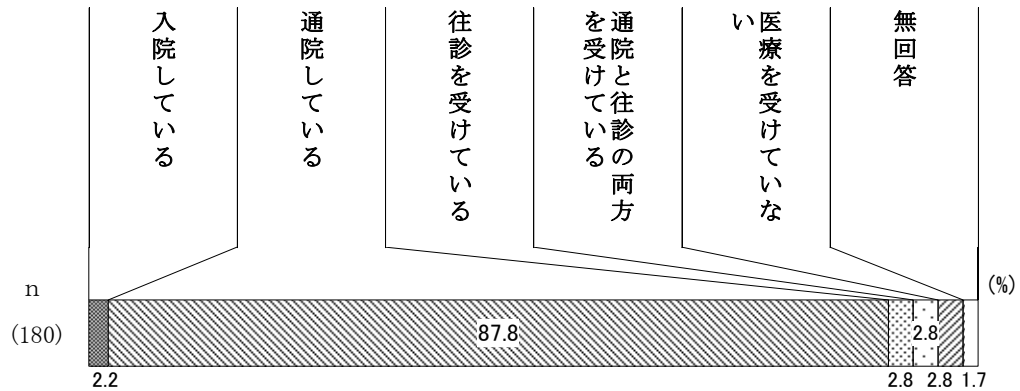
難病と回答のあった180件の主な病名は下記のとおりです。

潰瘍性大腸炎	27
全身性エリテマトーデス	12
関節リウマチ	9
網膜色素変性症	9
強皮症	8
原発性胆汁性肝硬変	8
自己免疫性肝炎	7
脊髄小脳変性症	7
パーキンソン病	7
IgA 腎症	6
クローン病	5
大動脈炎症候群	5

(8) 疾病のために医療を受けている状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問7-2 疾病のために、現在、継続的に医療を受けていますか。[1つに○]

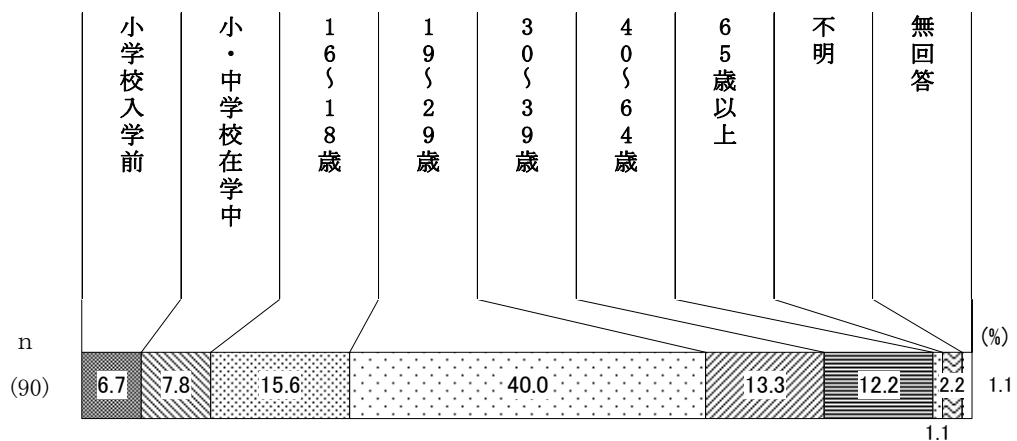


疾病のために現在、継続的に医療を受けているかについては、8割後半が「通院している」と回答しています。

(9) 初めて具合が悪くなった年齢

【精神疾患等調査のみ】

問9 初めて具合が悪くなったのは、何歳ごろでしたか。[1つに○]

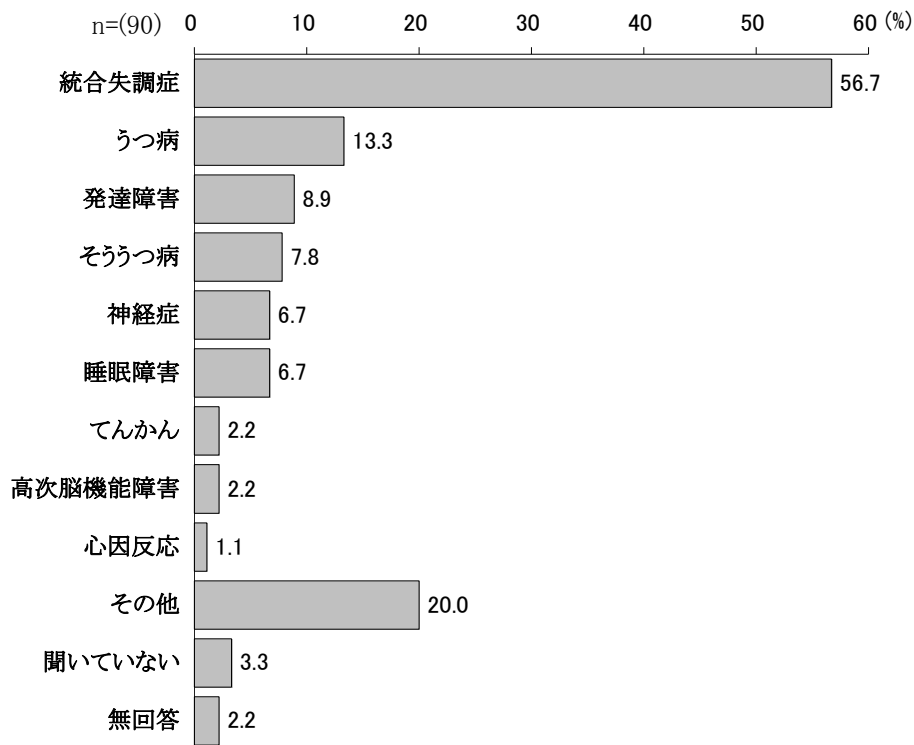


初めて具合が悪くなった年齢は、「19～29歳」が4割で最も多く、「16～18歳」が1割台半ば、「30～39歳」「40～64歳」が1割台前半、「小・中学校在学中」「小学校入学前」が1割未満で続いています。

(10) 病名

【精神疾患等調査のみ】

問10 あなたは病名について、主治医からどのように聞いていますか。[いくつでも○]

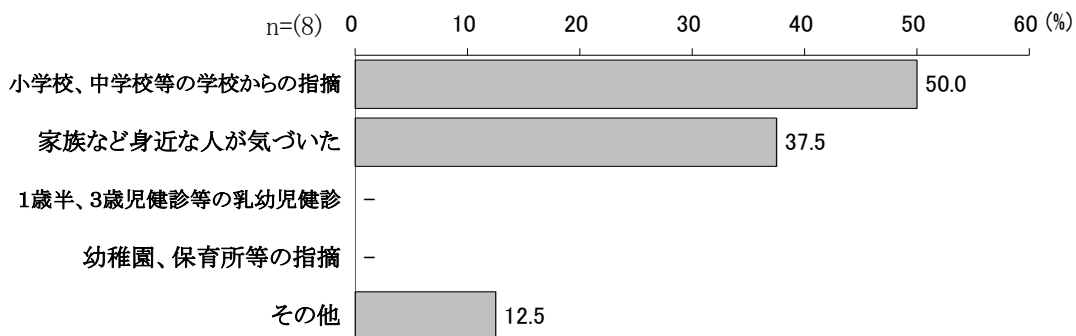


主治医から聞いている病名は、「統合失調症」が5割台後半で最も多く、次いで「うつ病」「発達障害」「そううつ病」「神経症」「睡眠障害」と続いています。

(11) 発達障害がわかったきっかけ

【精神疾患等調査のみ】

問10で「8. 発達障害」と答えた方におたずねします。問10-1 発達障害がわかったきっかけはどれですか。[いくつでも○]



※基数が少ないため参考にとどめる。

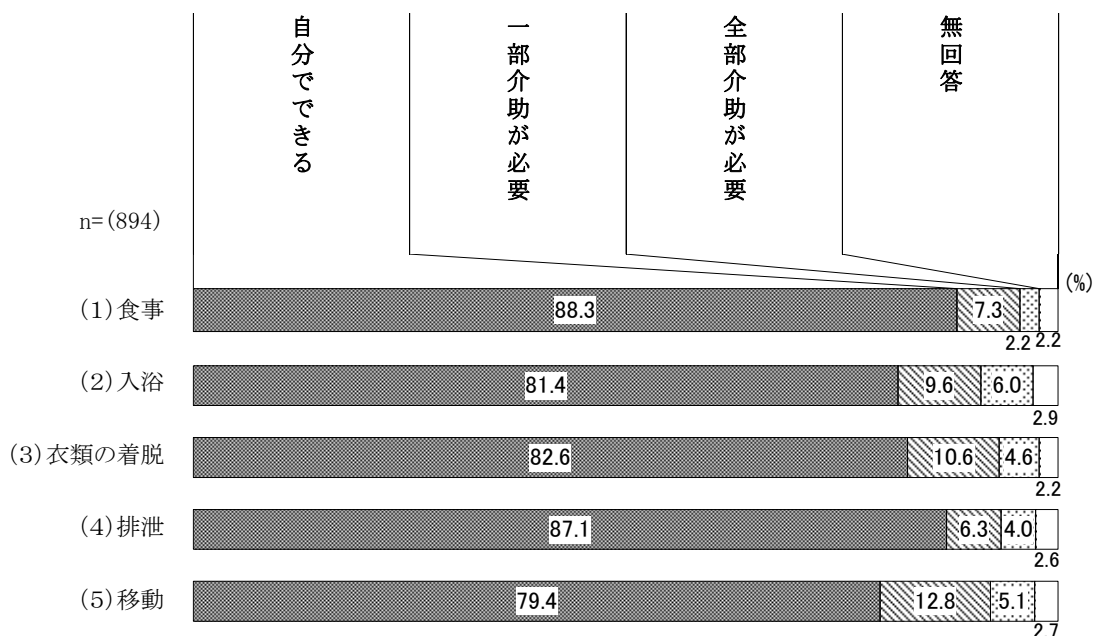
### 3. 日常生活について

#### (1) 家の中の動作

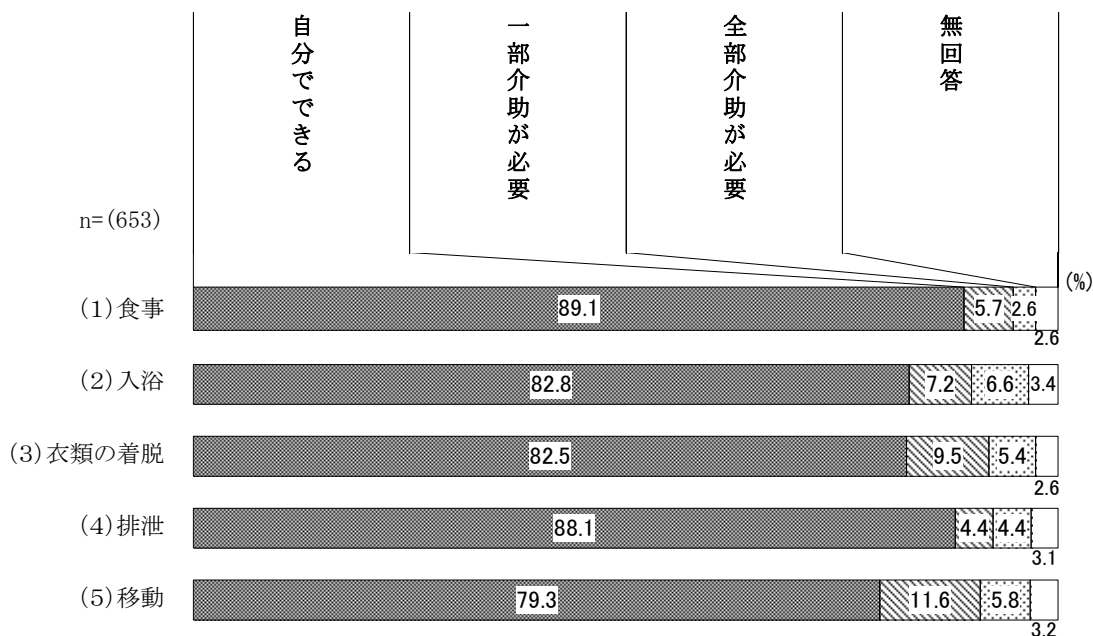
【身体・知的・難病調査のみ】

問8 家の中の次の動作についておたずねします。[それぞれ1つに○]

全体

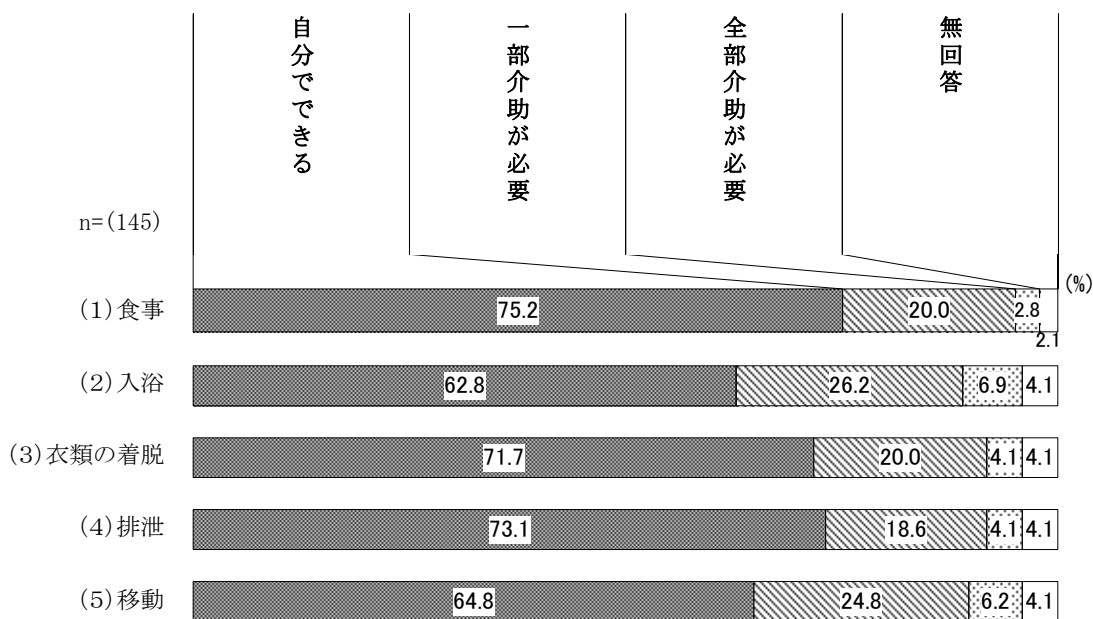


身体障害者



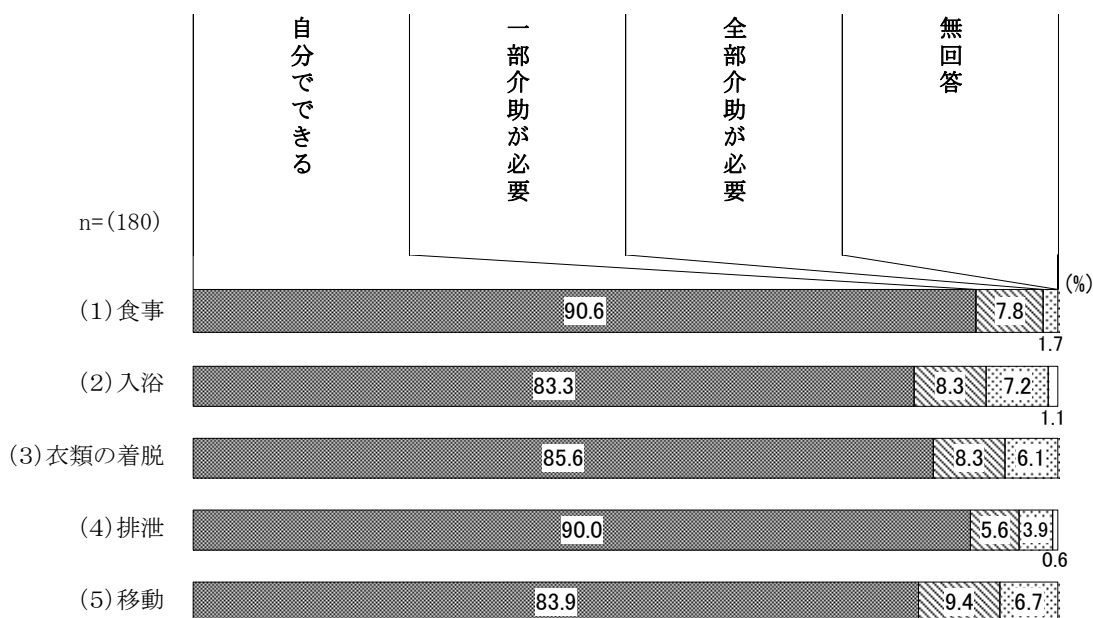
家の中の動作は、身体障害者では、すべての動作について、8割前後が「自分でできる」と回答しており、「一部介助が必要」は＜移動＞が1割台前半、＜衣類の着脱＞が約1割となっています。

知的障害者



家の中での動作は、知的障害者では、＜食事＞＜衣類の着脱＞＜排泄＞について、7割以上が「自分でできる」と回答しています。「一部介助が必要」は＜入浴＞＜移動＞＜衣類の着脱＞が2割台となっています。

難病患者



家の中での動作は、難病患者では、すべての動作で8割以上が「自分でできる」と回答しています。「一部介助が必要」は＜移動＞が1割近くとなっています。

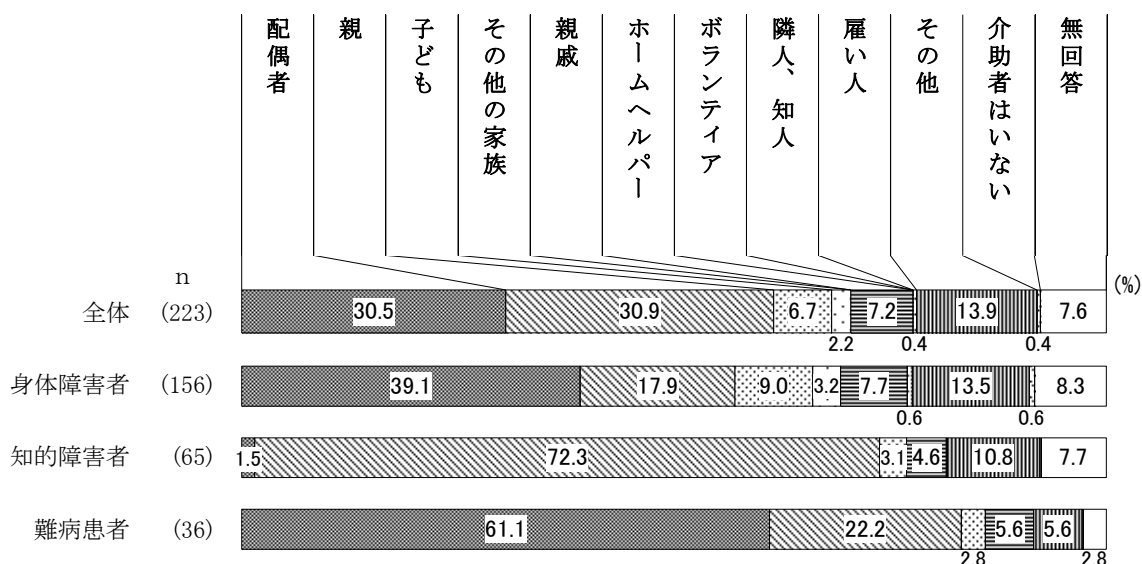


(2) 主な介助者

【身体・知的・難病調査のみ】

問8のいずれかで一部介助または全部介助が必要と答えた方におたずねします。

問8-1 主な介助者は誰ですか。[1つに○]

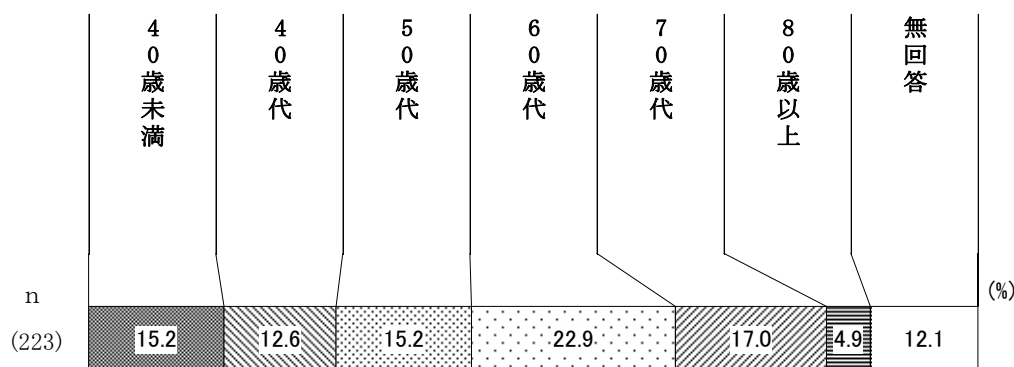


一部介助または全部介助が必要と答えた方の主な介助者は、「配偶者」が難病患者では6割、身体障害者では3割台後半となっています。知的障害者では、「親」が7割台前半を占めています。

(3) 主な介助者の年齢

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-2 主な介助者の年齢は、どれですか。[1つに○]

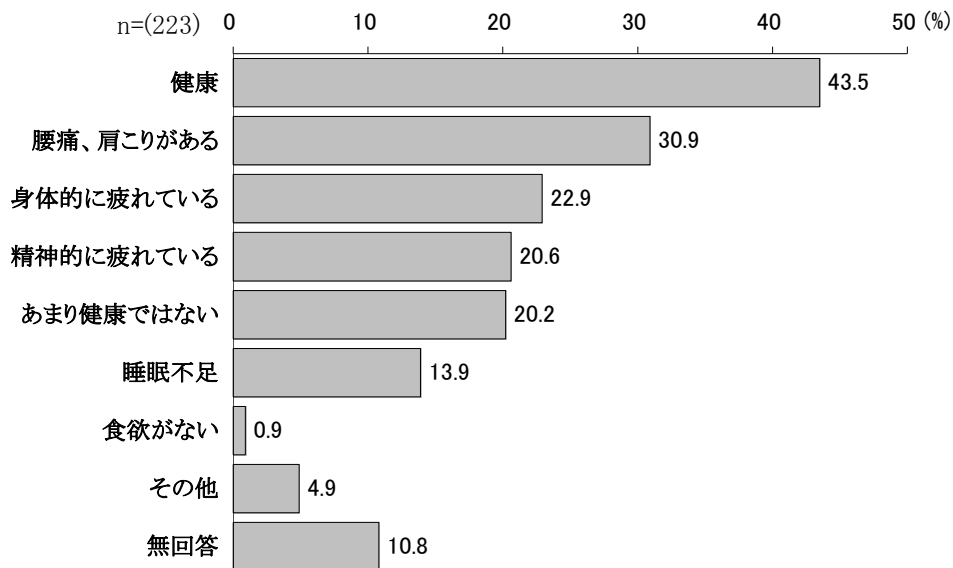


主な介助者の年齢は、「60歳台」が2割台前、「70歳台」が1割台後半、「40歳未満」「50歳台」「40歳台」と続いています。

(4) 主な介助者の健康状態

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-3 主な介助者の健康状態は、どれですか。[いくつでも○]

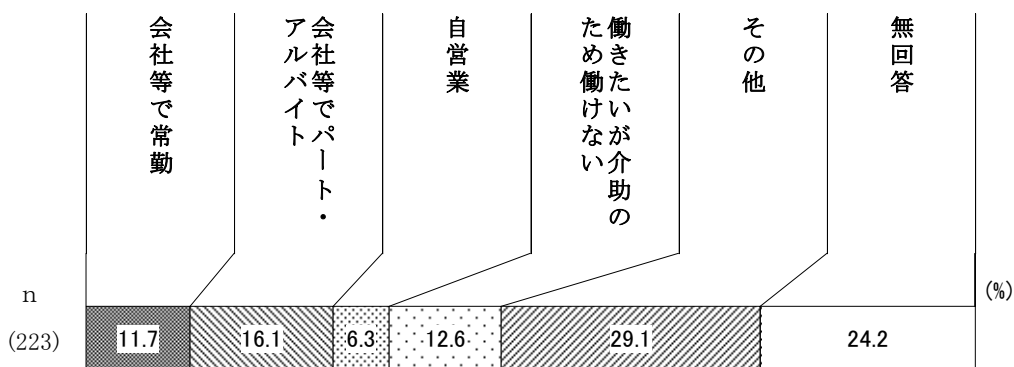


主な介護者の健康状態は、「健康」が4割前半と最も多く、次いで「腰痛、肩こりがある」が約3割、「身体的に疲れている」「精神的に疲れている」「あまり健康ではない」が2割前半で続いています。

(5) 主な介助者の就労状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-4 主な介助者の就労状況は、どれですか。[1つに○]

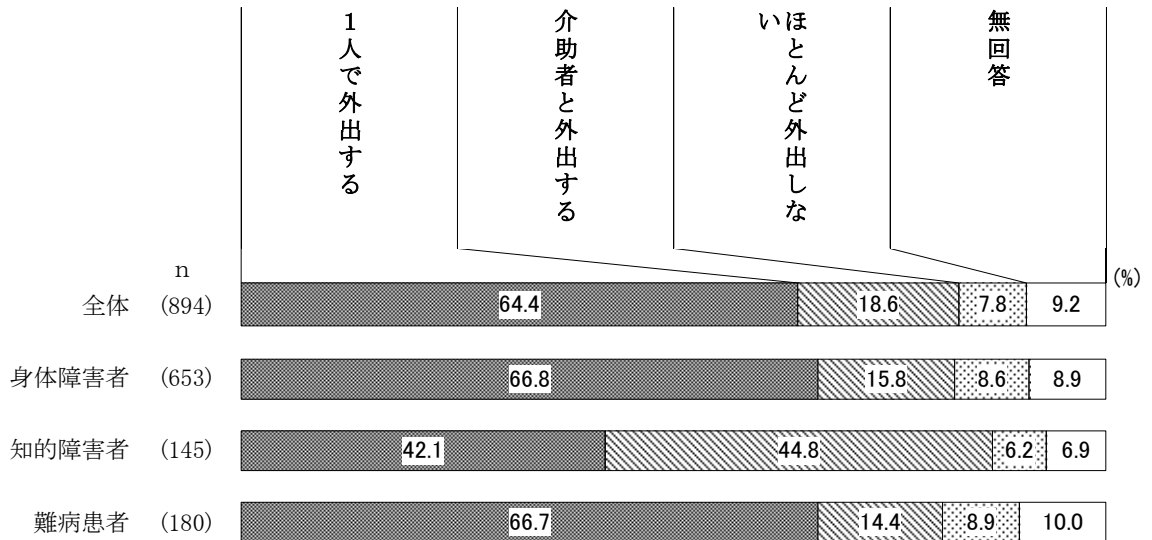


主な介助者の就労状況は、「会社等で常勤」が1割前半、「会社等でパート・アルバイト」が1割台後半でこれらを合わせた＜会社等で働いている＞は2割台後半となっています。また、「自営業」は6.3%で1割未満となっています。一方、1割前半が「働きたいが介助のため働けない」と回答しています。

(6) 買い物や趣味、遊び、散歩などのための外出状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問9 買い物や趣味、遊び、散歩などで家から外出されますか。(通学、通院、通勤、施設に通うことは除きます。)[1つに○]

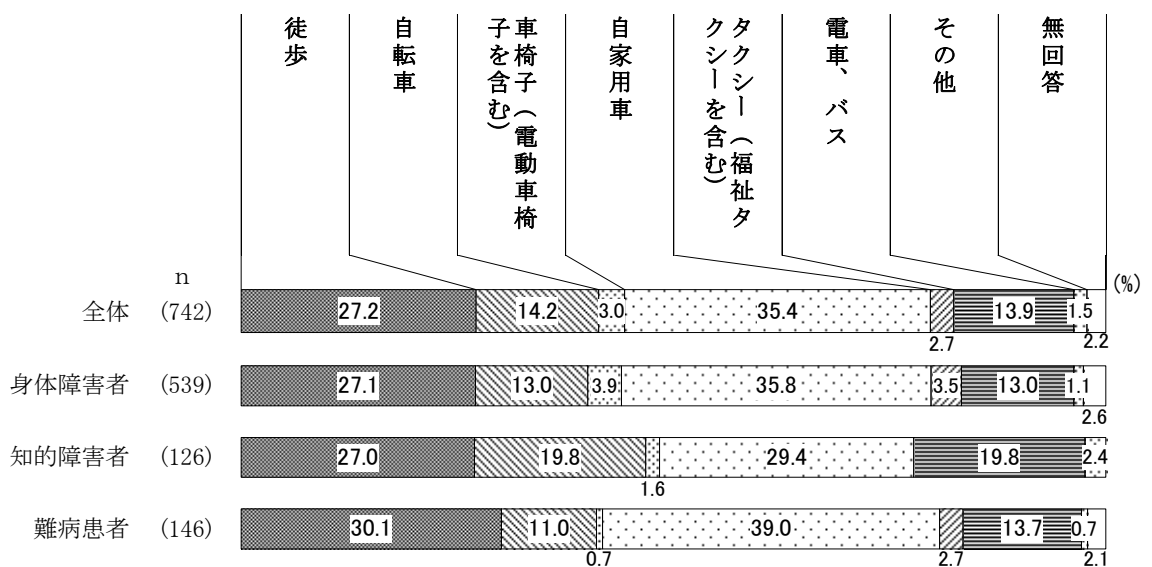


買い物や趣味、遊び、散歩などで家からの外出は、「1人で外出する」が身体・難病で6割台半ばとなっています。「介助者と外出する」は知的障害者で4割台半ばです。

(7) 外出時に最も多い移動方法

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「1. 1人で外出する」または「2. 介助者と外出する」と答えた方におたずねします  
問9-1 外出する最も多い方法は何ですか。[1つに○]

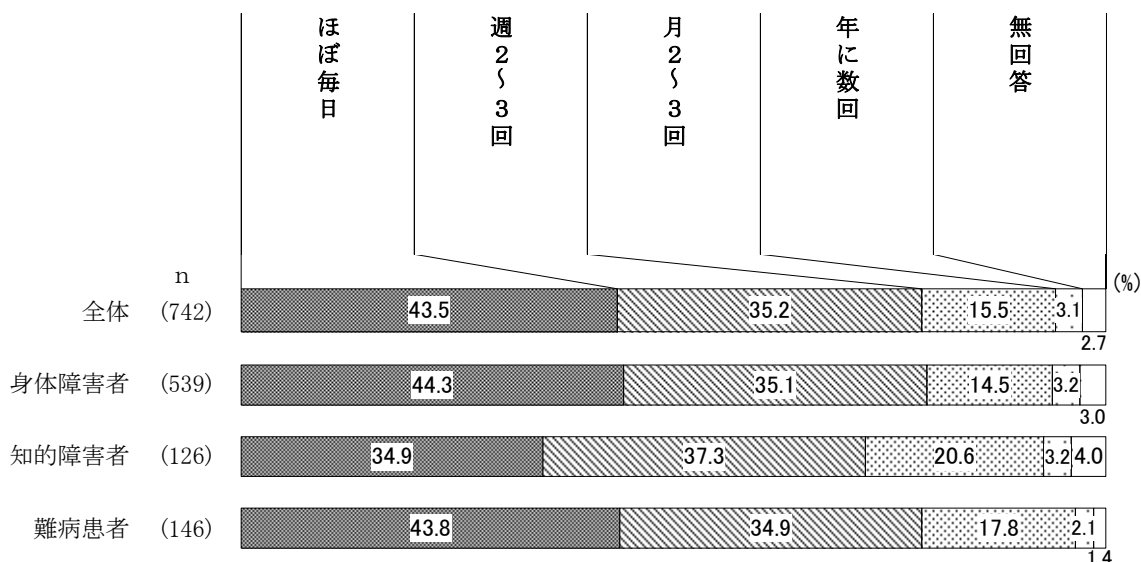


外出時の最も多い移動方法は、「自家用車」が難病患者で3割台後半と比較的高く、「徒歩」は2割台後半から3割台となっています。

(8) 外出の回数

【身体・知的・難病調査のみ】

問9-2 外出の回数はどのくらいですか。[1つに○]

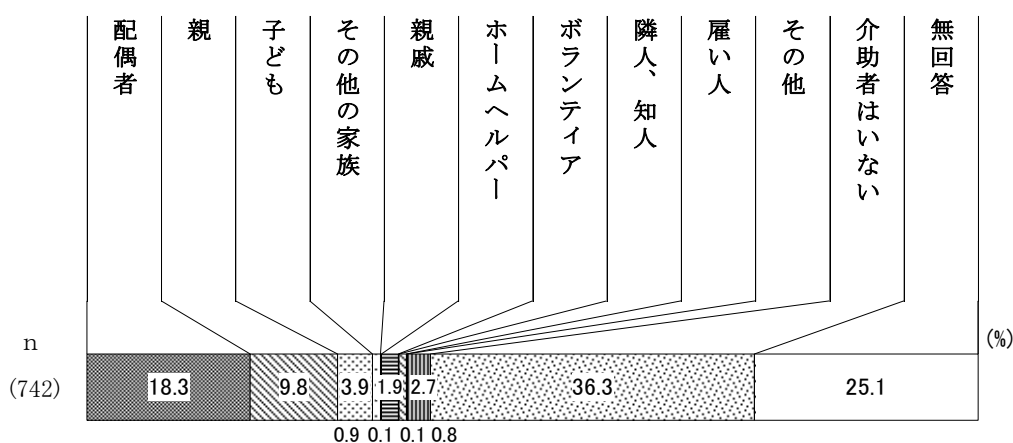


外出の回数は、「ほぼ毎日」が身体・難病で4割台前半、次いで「週2~3日」が3割台半ばで続いています。知的障害者では、「月2~3回」が2割と比較的高くなっています。

(9) 外出する時の主な介助者

【身体・知的・難病調査のみ】

問9-3 外出するときの主な介助者は誰ですか。[1つに○]



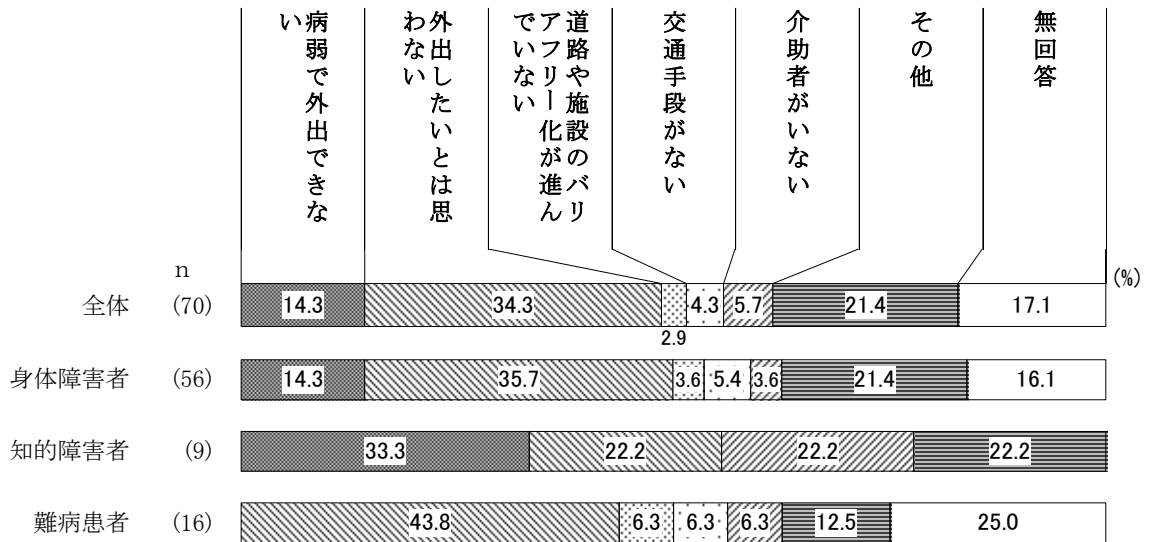
外出するときの主な介助者は、「配偶者」が1割台後半、「親」が約1割となっています。一方、3割台後半が「介助者はいない」と回答しています。

(10) 外出しない理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「3. ほとんど外出しない」と答えた方におたずねします。

問9-4 外出しない理由は何ですか。[1つに○]



問9で「ほとんど外出しない」と回答した方の理由は、身体障害者で「外出したいとは思わない」が3割台半ばで最も多く、「病弱で外出できない」が1割台前半と続いています。

(11) 外出について

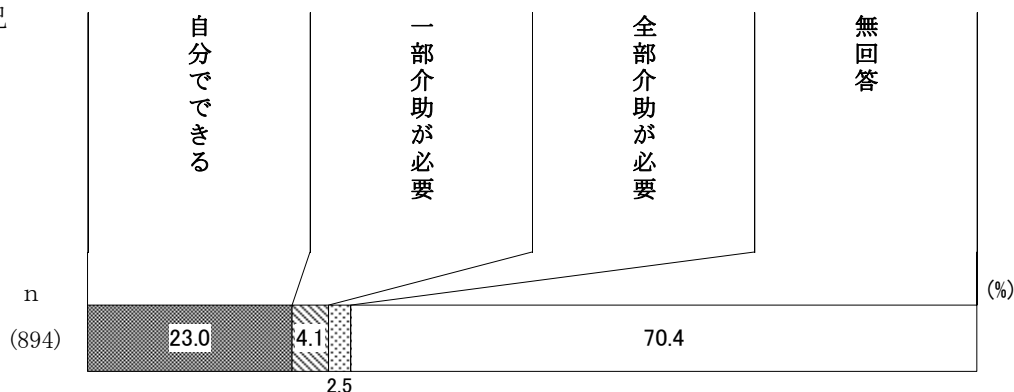
【身体・知的・難病調査のみ】

問10 次の(1)～(4)までの外出についてお答えください。

(1) 通学 (2) 通院 (3) 通勤 (4) 施設通所 [それぞれ1つに○]

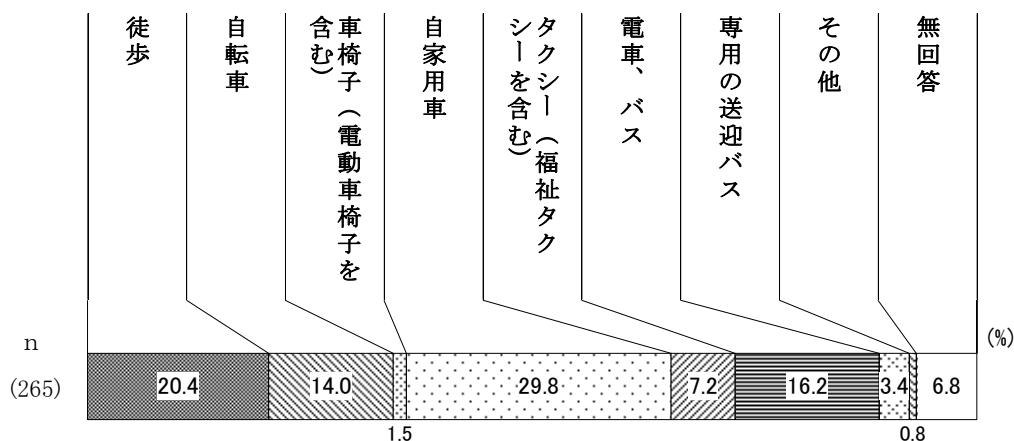
(1) 通学

ア 外出の状況



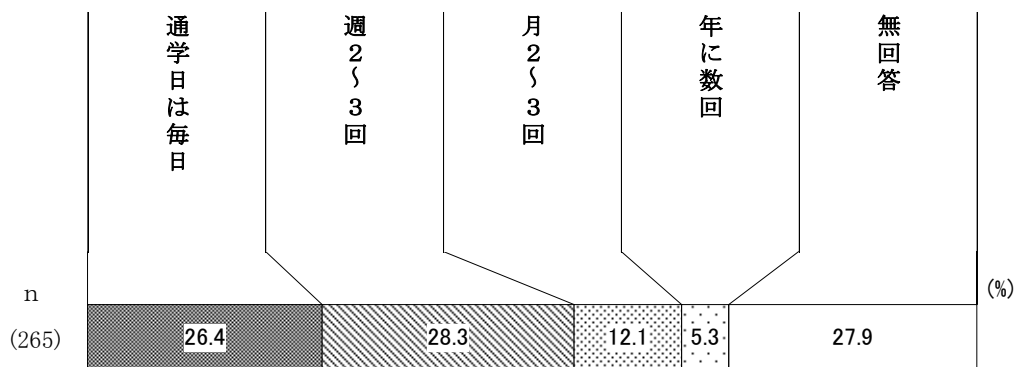
通学は「自分で行ける」が2割台前半となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が約3割、「徒歩」が約2割、「電車・バス」が1割台後半、「自転車」と続いています。

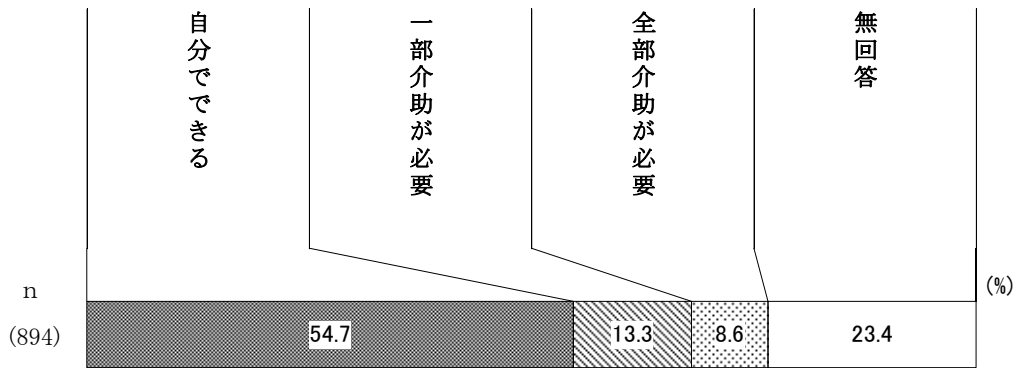
ウ 外出回数



外出の回数は、「週2～3回」「通学日は毎日」が2割台後半、「月2～3回」が1割台前半と続いています。

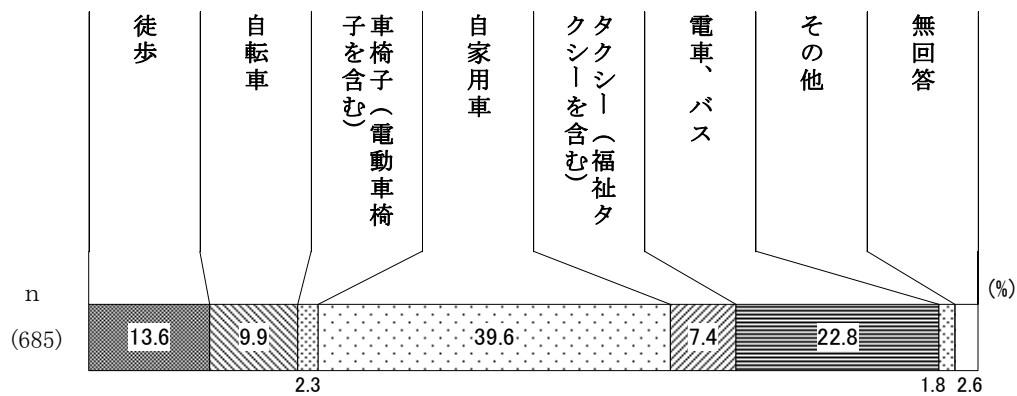
(2) 通院

ア 外出の状況



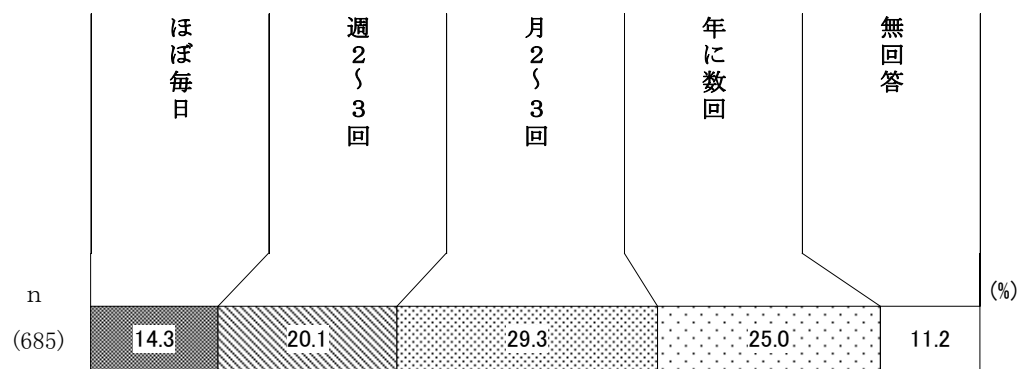
通院は、「自分で行ける」5割台前半、「一部介助が必要」が1割台前半、「介助が必要」が8.6%となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が約4割で最も多く、次いで「電車・バス」が2割台前半、「徒歩」「自転車」と続いています。

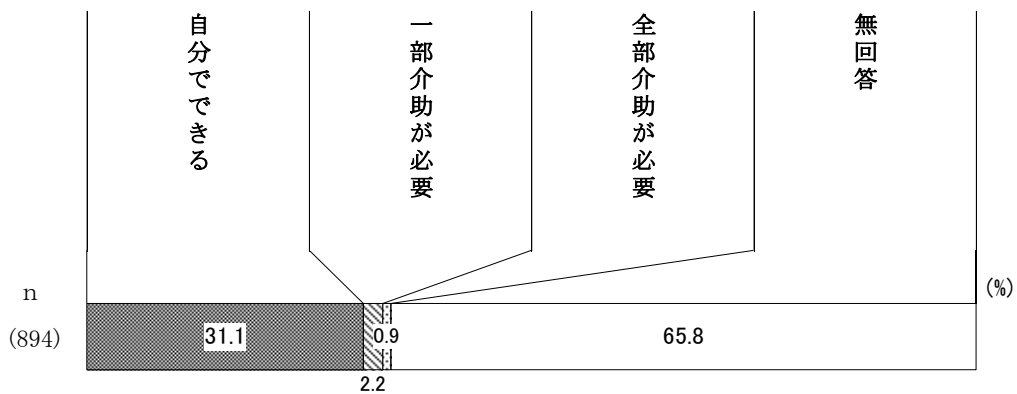
ウ 外出回数



外出の回数は、「月2〜3回」が約3割、「年に数回」が2割台半ば、「週に2〜3回」が約2割、「ほぼ毎日」が1割台前半となっています。

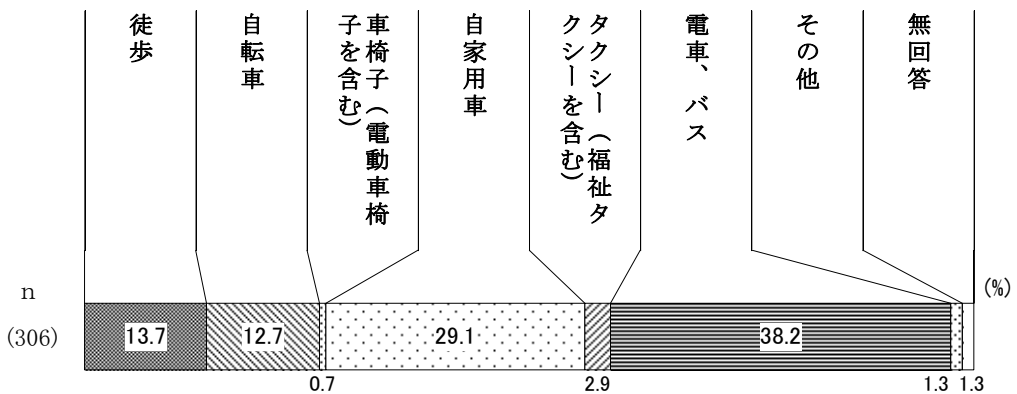
(3) 通勤

ア 外出の状況



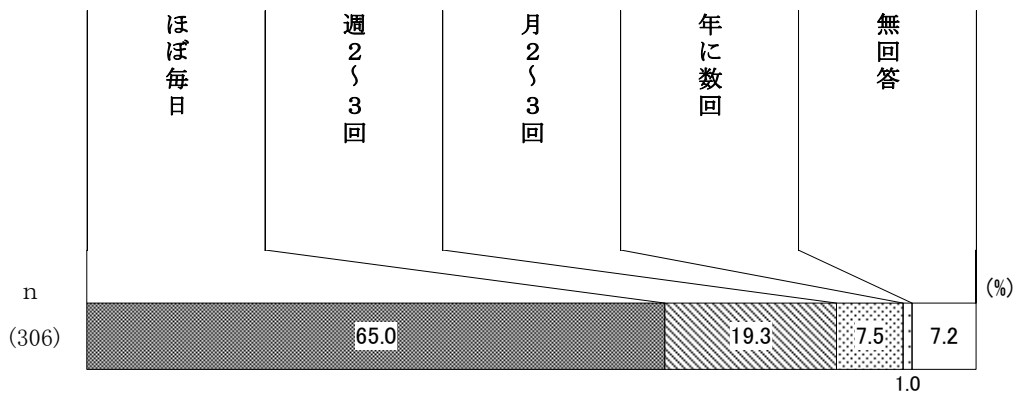
通勤は、3割台前半が「自分でできる」と回答しています。

イ 交通手段



交通手段は、「電車、バス」が3割台後半、「自家用車」が約3割、「徒歩」「自転車」が1割台前半で続いています。

ウ 外出回数

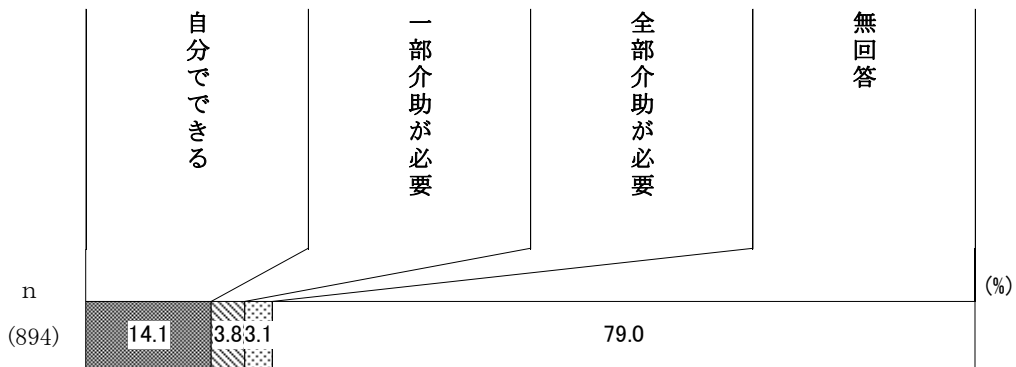


外出の回数は、6割台半ばが「ほぼ毎日」と回答し、「週2〜3回」は約2割となっています。



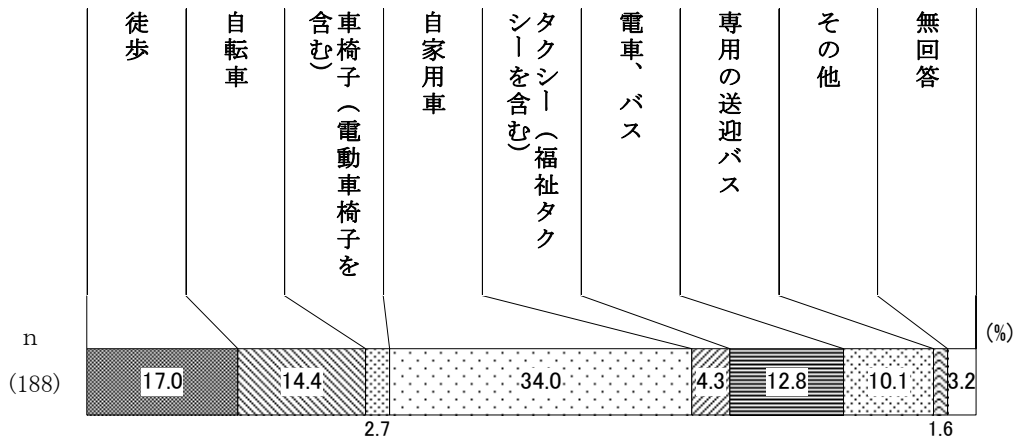
(4) 施設通所

ア 外出の状況



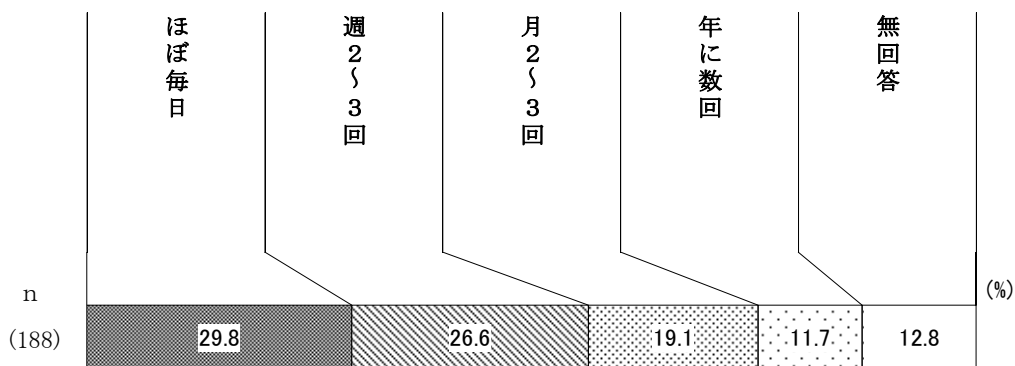
施設通所は、「自分で行ける」は1割台前半となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が3割台前半、「徒歩」が1割台後半、「自転車」「電車、バス」が1割台前半で続いています。

ウ 外出回数

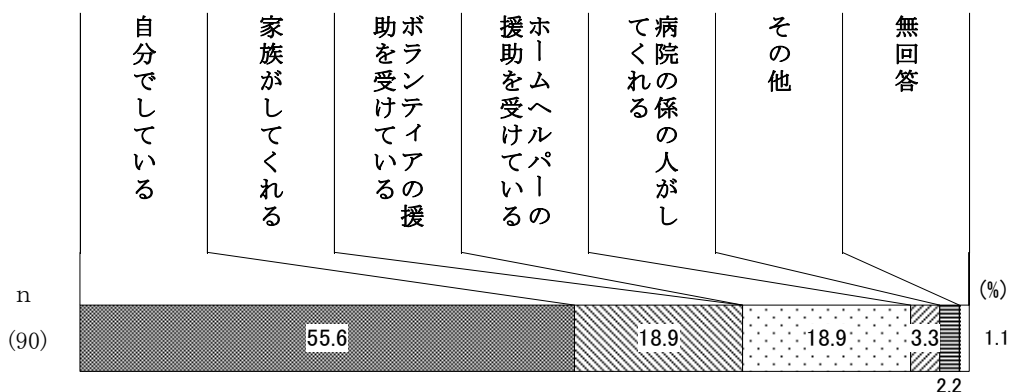


外出回数は、「ほぼ毎日」が約3割、「週2~3日」が2割台後半、「月2~3回」が約2割と続いています。

(12) 部屋の掃除や整理整頓の状況

【精神疾患等調査のみ】

問11 あなたは部屋の掃除や整理整頓をどうしていますか。[1つに○]

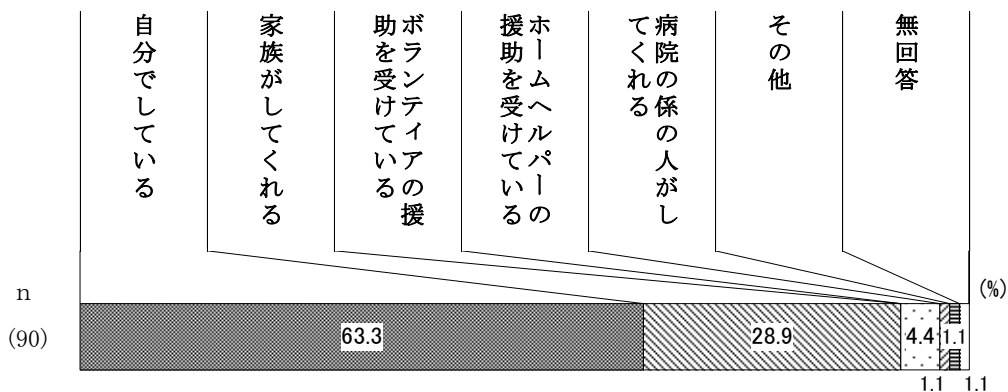


部屋の掃除や整理整頓は、「自分でしている」が5割台半ば、「家族がしてくれる」「ホームヘルパーの援助を受けている」がそれぞれ1割台後半となっています。

(13) 衣類の洗濯の状況

【精神疾患等調査のみ】

問12 あなたは衣類の洗濯をどうしていますか。[1つに○]

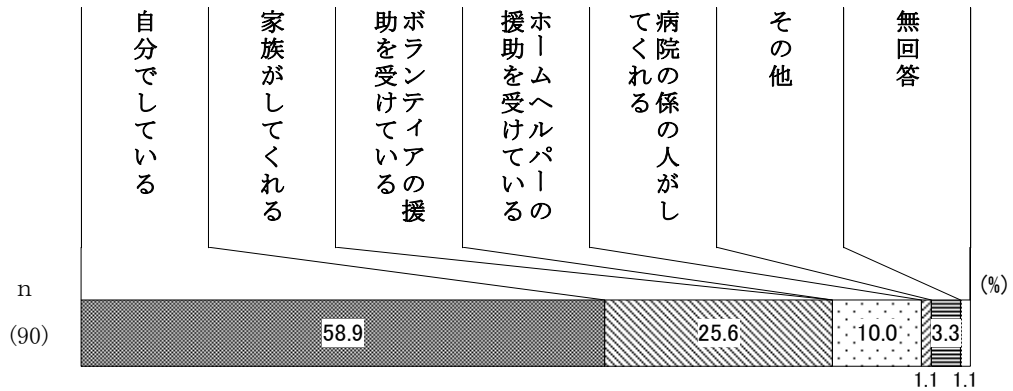


衣類の洗濯は、6割台前半が「自分でしている」と回答し、「家族がしてくれる」が2割台後半となっています。

(14) 日常の買い物の状況

【精神疾患等調査のみ】

問13 あなたは日常の買い物をどうしていますか。[1つに○]

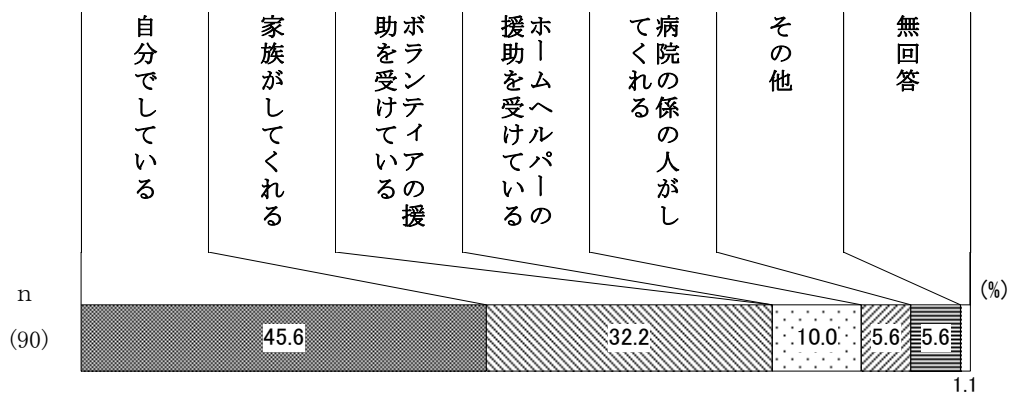


日常の買い物については、「自分でしている」が5割台後半で最も多く、次いで「家族がしてくれる」が2割台半ば、「ホームヘルパーの援助を受けている」が1割となっています。

(15) 食事の支度等の状況

【精神疾患等調査のみ】

問14 あなたは食事の支度等をどうしていますか。[1つに○]

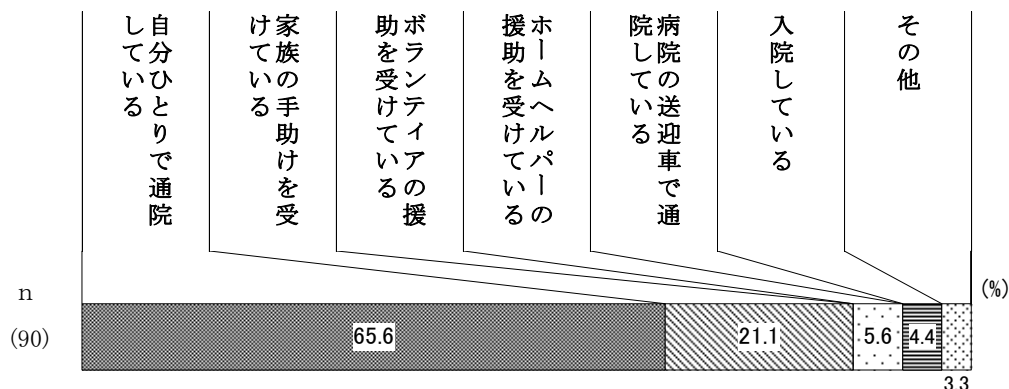


食事の支度等については、「自分でしている」が4割台半ば、「家族がしてくれる」が3割台前半、「ホームヘルパーの援助を受けている」が1割となっています。

(16) 通院の状況

【精神疾患等調査のみ】

問15 あなたは通院をどうしていますか。[1つに○]

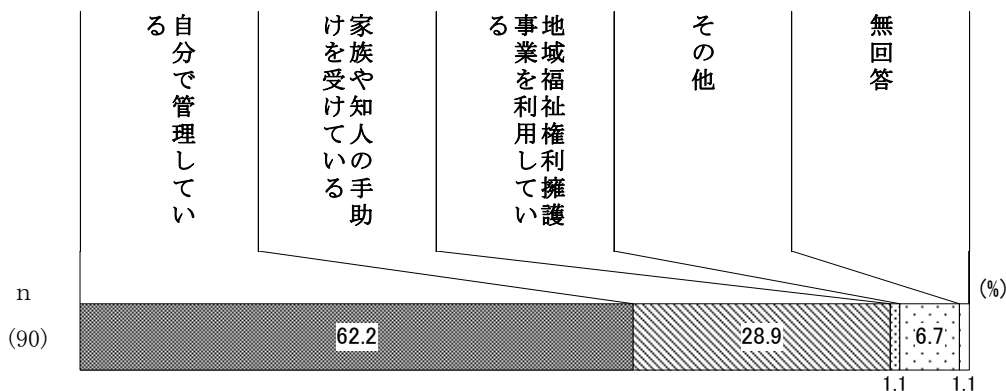


通院については、6割台半ばが「自分ひとりで通院している」と回答し、「家族の手助けを受けている」が2割台前半、「ホームヘルパーの援助を受けている」「入院している」がそれぞれ1割未満となっています。

(17) お金の管理の状況

【精神疾患等調査のみ】

問16 あなたはお金の管理をどうしていますか。[1つに○]

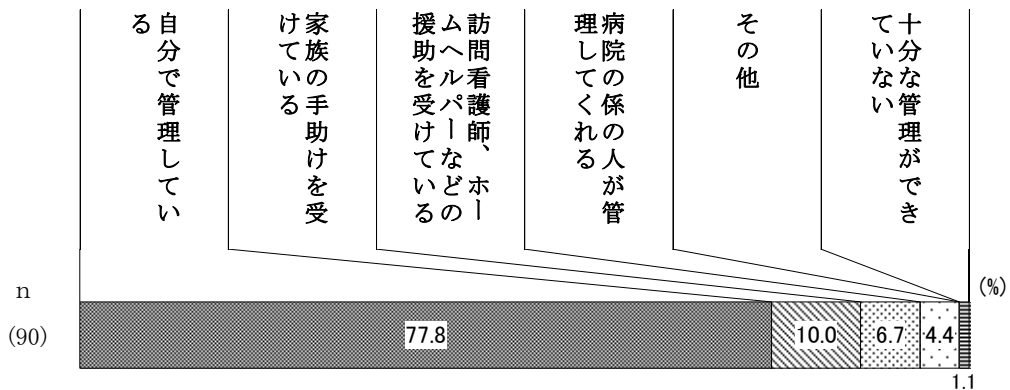


お金の管理については、「自分で管理している」が6割台前半で最も多く、次いで「家族や知人の手助けを受けている」が2割台後半となっています。

(18) 服薬の管理の状況

【精神疾患等調査のみ】

問17 あなたは服薬の管理をどうしていますか。[1つに○]

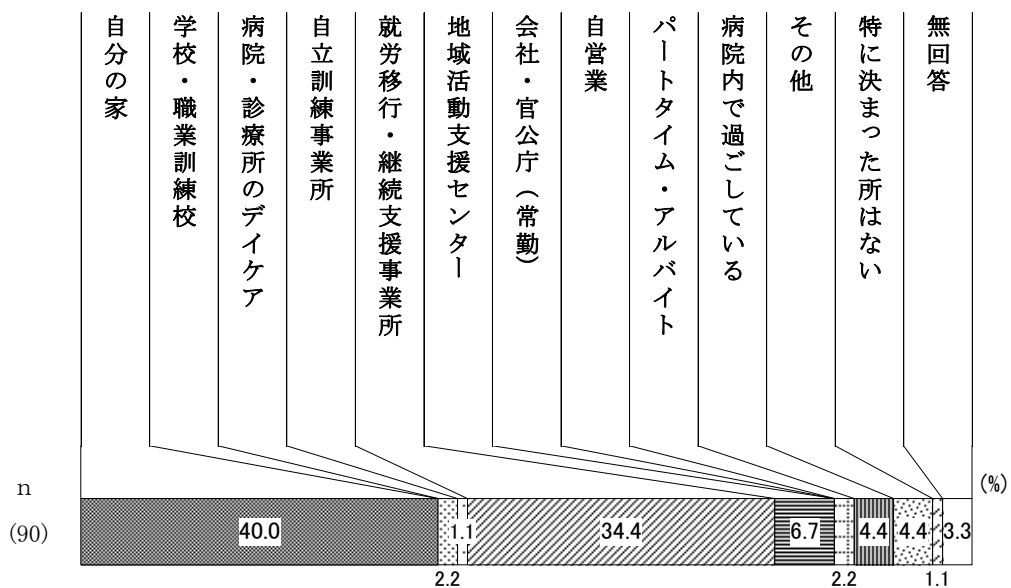


服薬の管理については、7割台後半が「自分で管理している」と回答し、「家族の手助けを受けている」が1割、「訪問看護師、ホームヘルパーなどの援助を受けている」が1割未満となっています。

(19) 平日（月～金）の昼間の過ごし方

【精神疾患等調査のみ】

問18 あなたは平日（月～金）の昼間、主にどこで過ごしていますか。[1つに○]

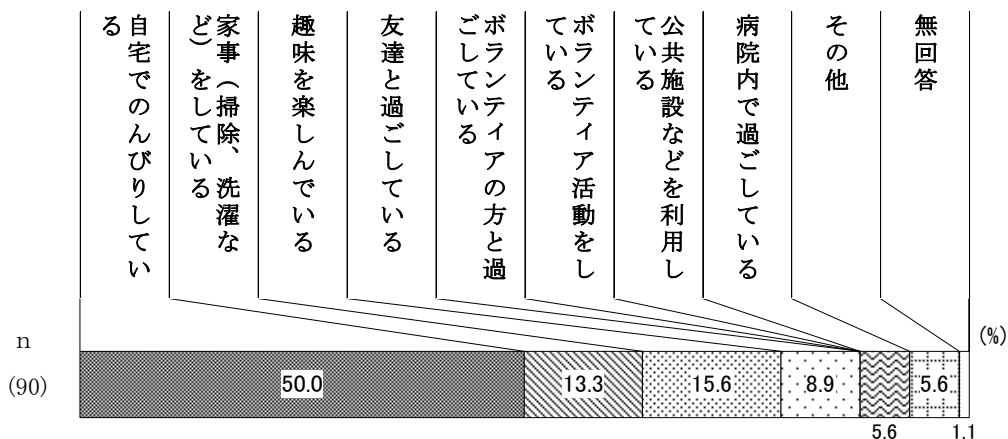


平日（月～金）の昼間、主に過ごしているのは、「自分の家」が4割で最も多く、次いで「就労移行・継続支援事業所」が3割台前半となっています。

(20) 日曜日や休日の過ごし方

【精神疾患等調査のみ】

問19 あなたは、日曜日や休日は、どのように過ごしていることが多いですか。[1つに○]

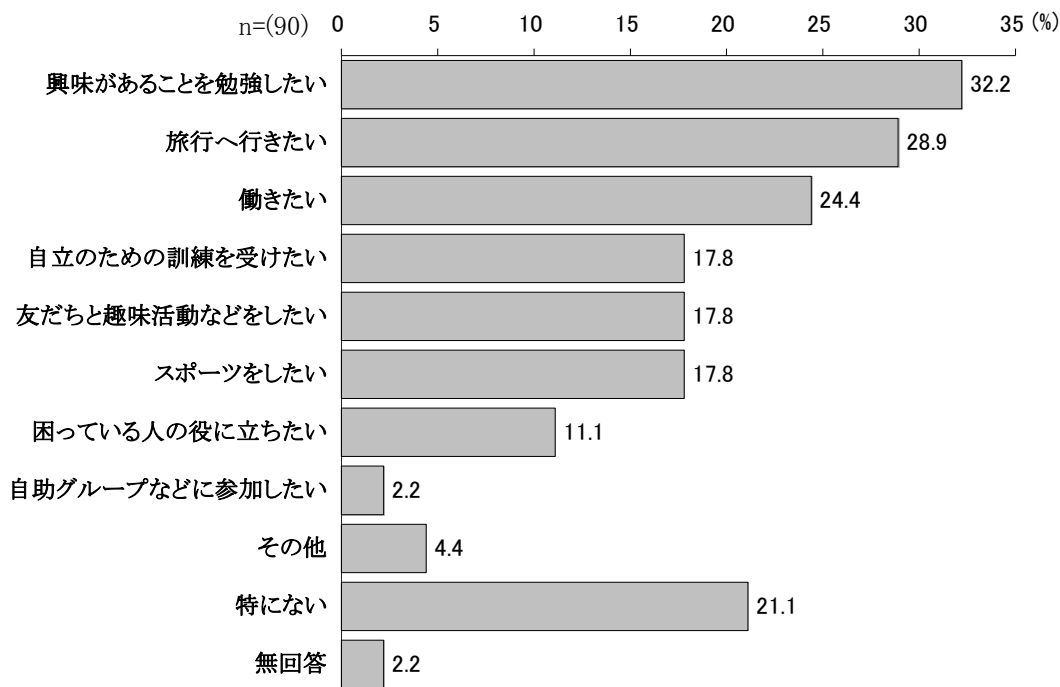


日曜日や休日の過ごし方は、「自宅でのんびりしている」が5割、「趣味を楽しんでいる」が1割台半ば、「家事（掃除、洗濯など）をしている」が1割台前半ば、「友達と過ごしている」と続いています。

(21) 今、特にしたいと思っていること

【精神疾患等調査のみ】

問20 あなたが今、特にしたいと思っていることは何ですか。[いくつでも○]

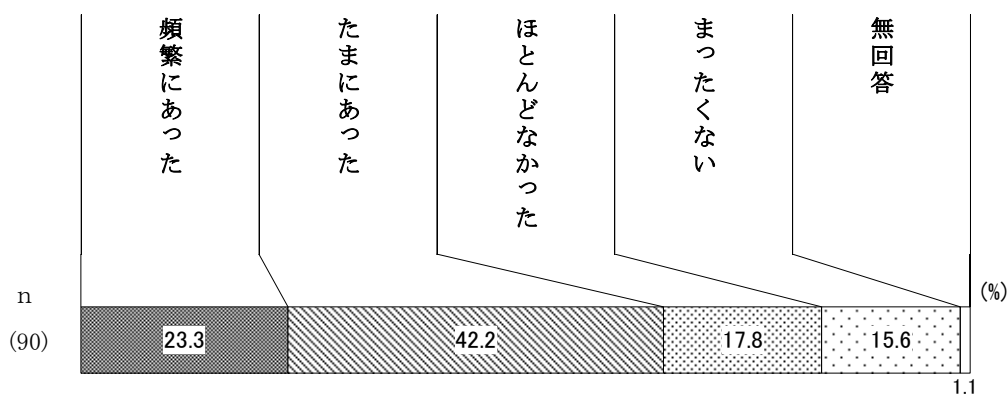


今、特にしたいと思っていることは、「興味があることを勉強したい」が3割台前半で最も多く、次いで「旅行へ行きたい」が2割台後半、「働きたい」が2割台前半で続いています。一方、「特にない」が2割台前半となっています。

(22) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じたこと

【精神疾患等調査のみ】

問21 あなたはこれまでの生活の中で、自分の病気のことなどが原因でイヤな思いをさせられたり、不利益をこうむったと感じたことはありますか。[1つに○]



今までの生活の中で、病気のことなどが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じたことについては、「たまにあった」が4割台前半、「頻繁にあった」が2割台前半で、これらを合わせた<あった>は、6割台半ばで半数を超えています。一方、「ほとんどなかった」「まったくない」を合わせた<なかった>は、3割台前半となっています。

(23) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じた内容

【精神疾患等調査のみ】

問21で「1. 頻繁にあった」または「2. たまにあった」と答えた方におたずねします。

問21-1 さしつかえなければ、その内容についてご記入ください。[自由記入]

記入された主な内容は次のとおりである。

- ・言語障害があり、なかなか言葉が伝わらないので、困ります。
- ・通常の日常生活がむずかしい。お金がかかる（病気の為）。旅行に行けない。
- ・自分の特性を理解してもらえず、適切な指導を受けられなかった。
- ・変な目でみられているような気がした。
- ・一般の人とは違うようなあつかいを受けたと少し感じた。
- ・何か事件がおきた時、犯人扱いされたり病気のせいでつらい目にあった。
- ・仲間に入れない、仲間外れにされる。いじめにあった。
- ・家族とケンカ
- ・原因不明のため病院で他を紹介され見放された感があった。
- ・就労の時に差別をうけました。

## 4. 健康・医療について

### (1) 現在お医者さんにかかっているか

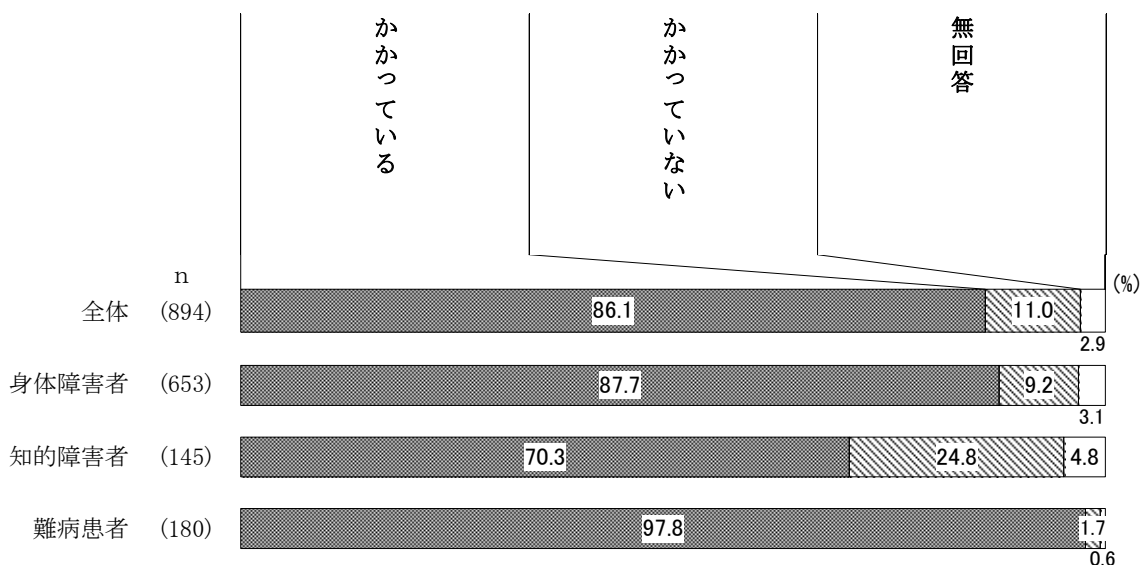
【身体・知的・難病調査】

問11 あなたは、現在お医者さんにかかっていますか。[1つに○]

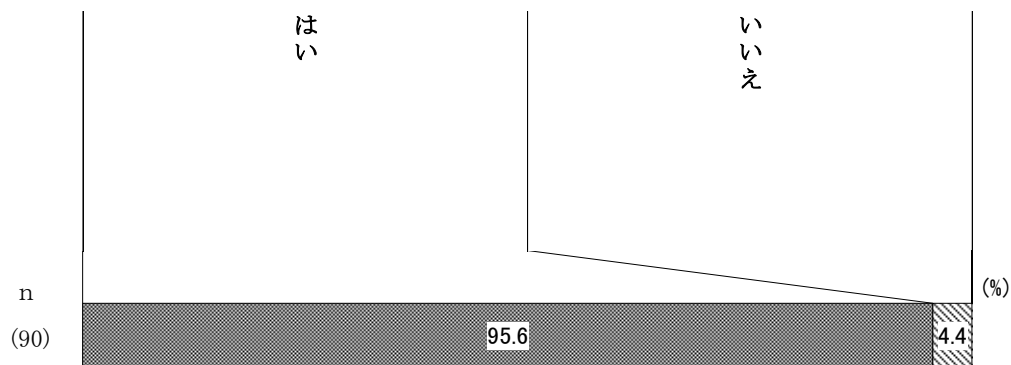
【精神疾患等調査】

問22 あなたは現在、精神神経科・心療内科のお医者さんにかかっていますか。[1つに○]

#### 身体・知的・難病



#### 精神



現在お医者さんにかかっているかについては、「かかっている」は難病患者で9割台後半、身体障害者で8割台後半となっています。知的障害者では、「かかっていない」が2割台前半となっています。精神障害者では、「はい」が9割台半ばで精神神経科・心療内科のお医者さんにかかっていると回答しています。



(2) ひと月の通院または往診の回数

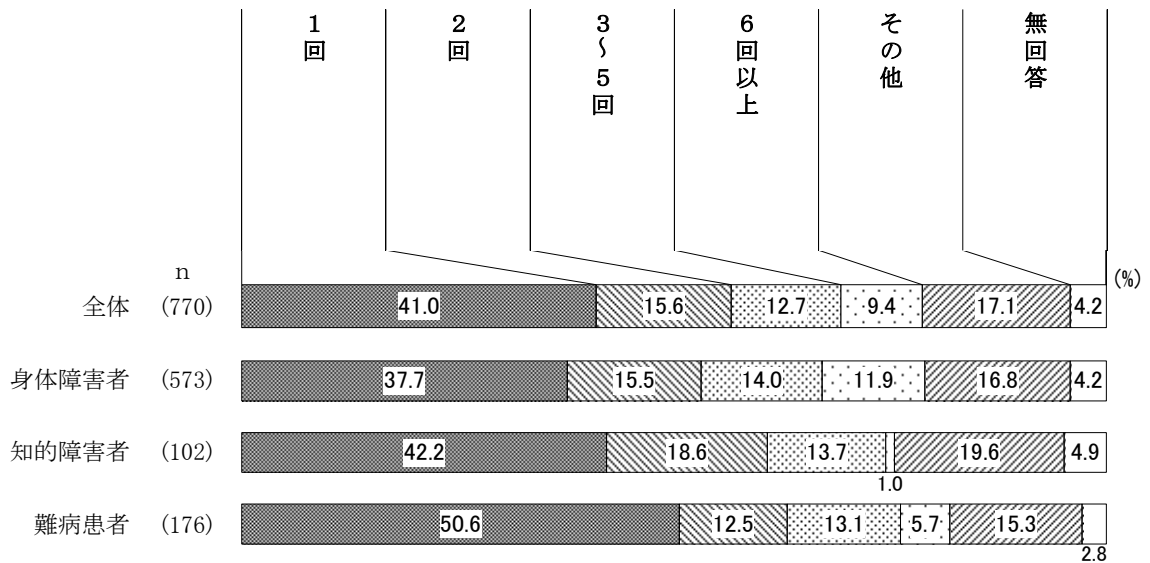
【身体・知的・難病調査】

問11で「1. かかっている」と答えた方におたずねします。

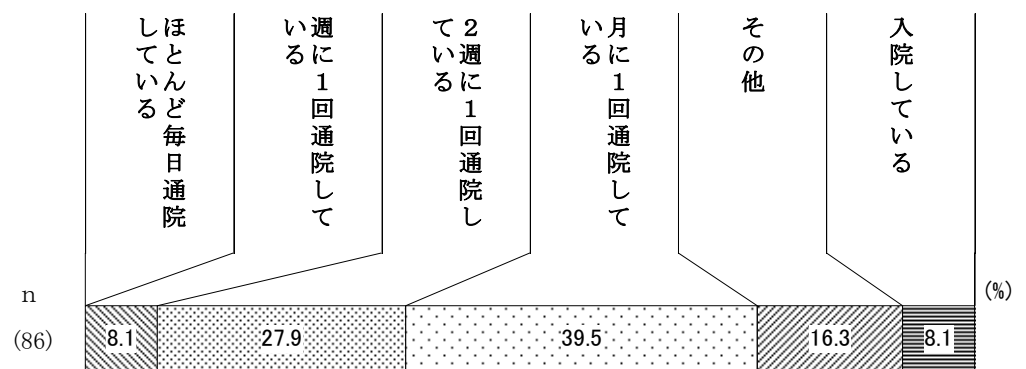
問11-1 ひと月の通院または往診の回数はどのくらいですか。[1つに〇]

【精神／問22、22-1】

身体・知的・難病



精神

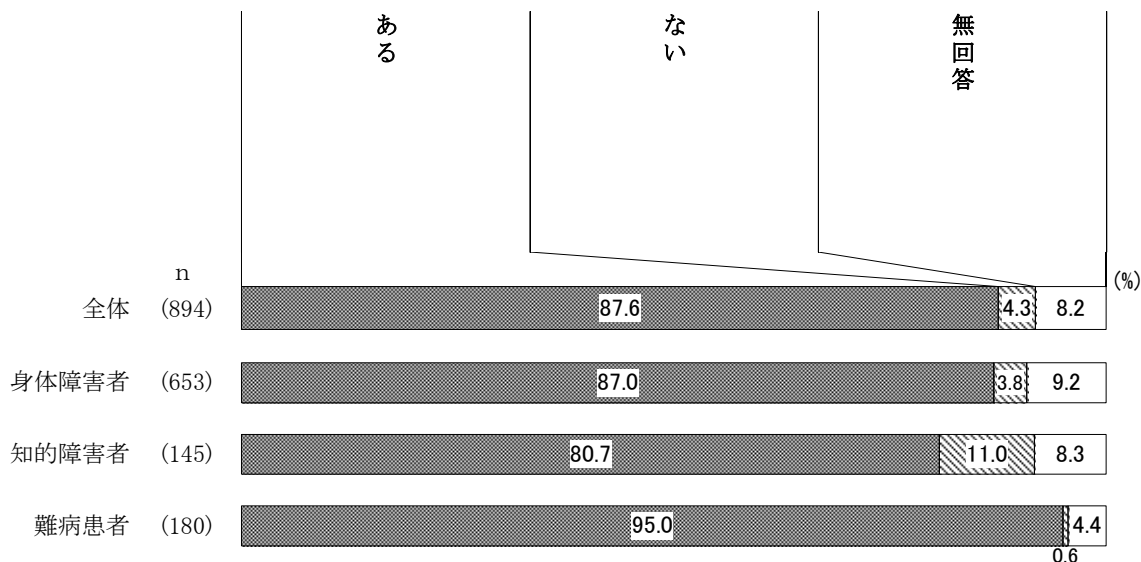


ひと月の通院または往診の回数は、難病患者で「1回」が5割、知的障害者で4割台前半、身体障害者で3割台後半となっています。「2回」、「3～5回」はいずれも1割台です。精神障害者では、「月に1回通院している」が約4割で最も多く、次いで「2週に1回通院している」が2割台後半で続いています。

(3) かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）の有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問12 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。[1つに○]



かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）の有無については、8割以上が「ある」と回答しています。

(4) 医療について困っていること、要望

【身体・知的・難病調査】

問13 医療について（歯科も含め）困ったことや要望がありましたらお聞かせください。

【精神疾患等調査】

問23 薬や病院などで困っていることがありましたら、ご記入ください。

記入された内容は次のとおりである。

【身体・知的・難病調査】

- ・病院の対応に不満がある
- ・障害に対する専門的知識のある医師・病院が少ない・ない
- ・障害児・発達障害児への配慮が足りない・専門的知識が足りない
- ・医療費、薬代、交通費等経済的な不安がある
- ・混んでいる・待ち時間が長い
- ・通院に支障がある
- ・病院内の設備の不備・バリアフリー化されていない
- ・呼ばれても聞こえない
- ・症状を伝えられない
- ・医療・医療機関に関する情報が少ない・ない

【精神疾患等調査】

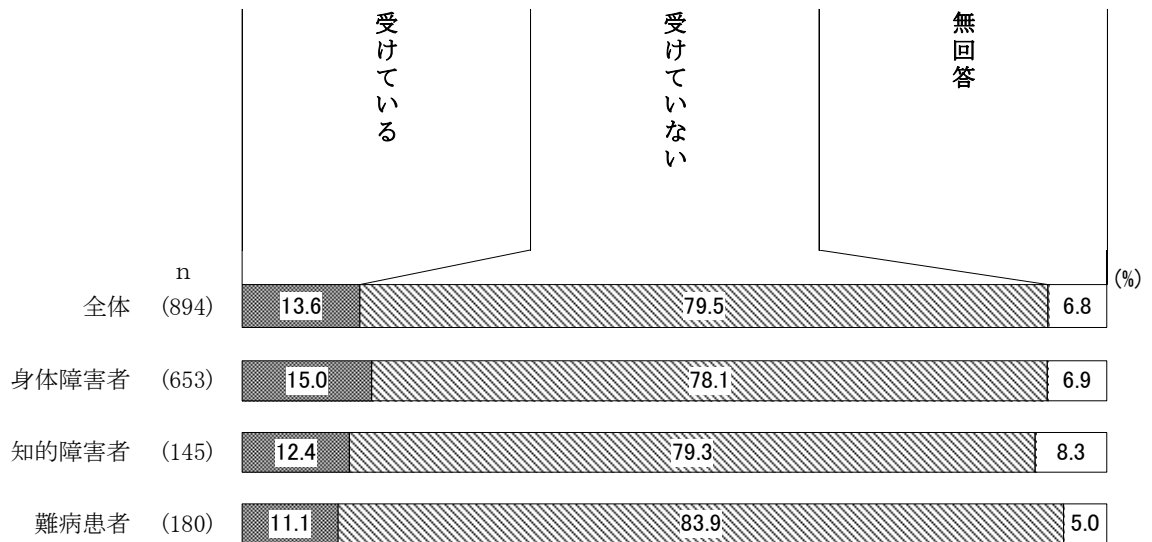
- ・病院が遠い
- ・病院が混んでいる・待ち時間が長い
- ・病院でいやな思いをする
- ・医師とのコミュニケーションが難しい
- ・薬の量が多い・量を減らしたい
- ・薬局の待ち時間が長い
- ・薬があわない、副作用が出る・体調が悪くなる
- ・体調・症状が変わりやすい
- ・睡眠に影響が出る

(5) 身体機能低下の防止や機能向上のための機能訓練の状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問14 あなたは、身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていますか。

[1つに〇]



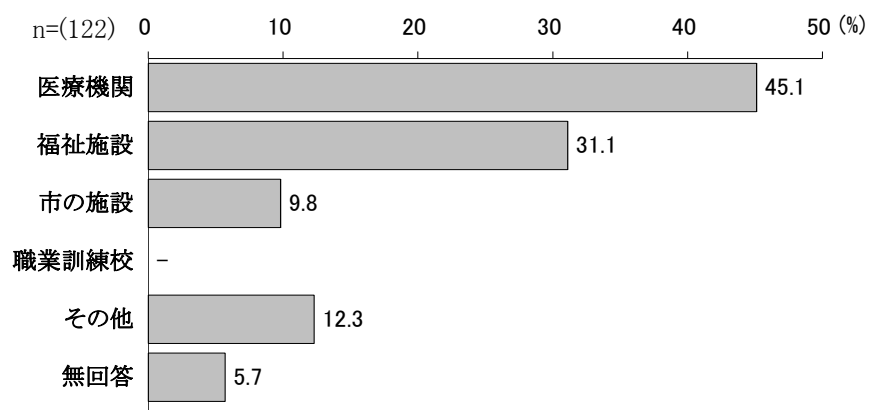
身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練について、「受けている」が1割台、「受けていない」が8割前後となっています。

(6) 機能訓練を受けている機関

【身体・知的・難病調査のみ】

問14で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

問14-1 受けている機関はどこですか。[いくつでも〇]

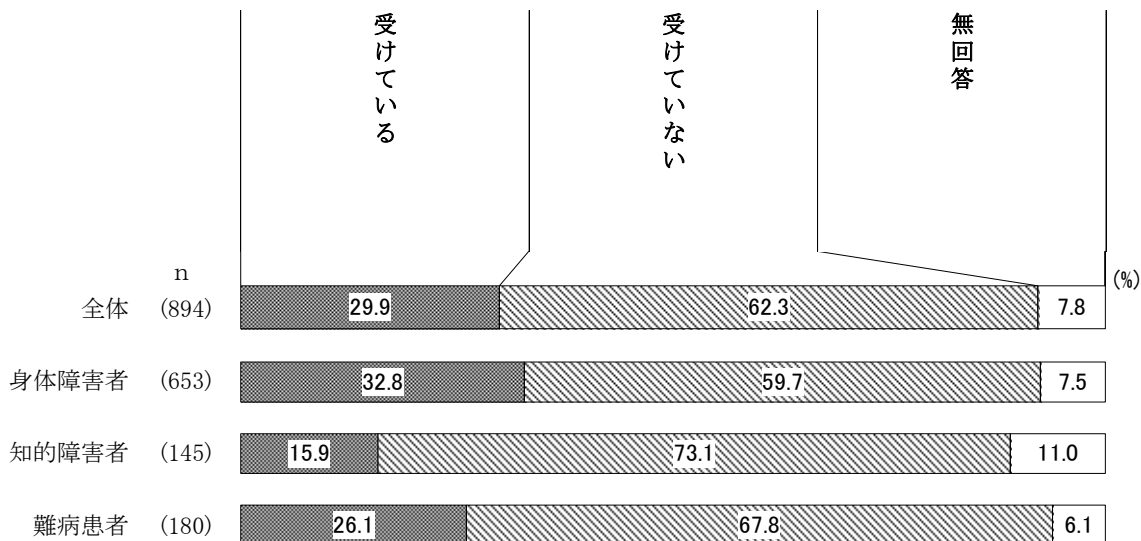


身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていると回答した方が受けている機関は、「医療機関」が4割台半ば、「福祉施設」が3割台前半、「市の施設」が約1割となっています。

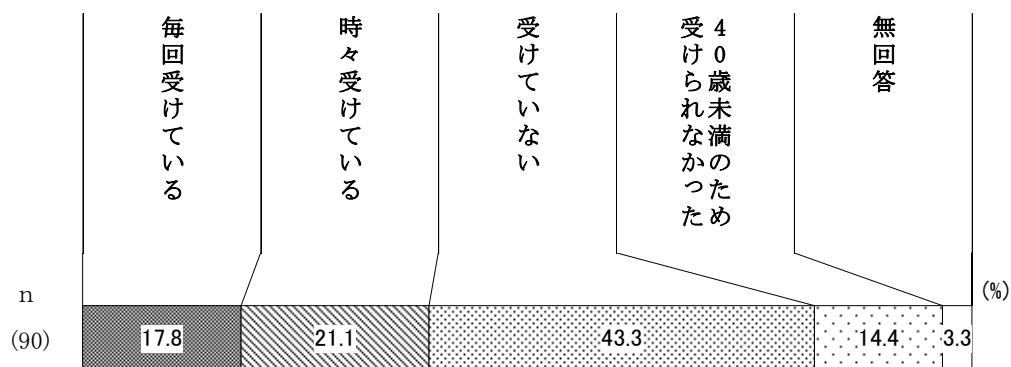
(7) 市で実施している健康診断の受診の有無

問15 市で実施している健康診査を受けていますか。[1つに○]【精神／問27】

身体・知的・難病



精神



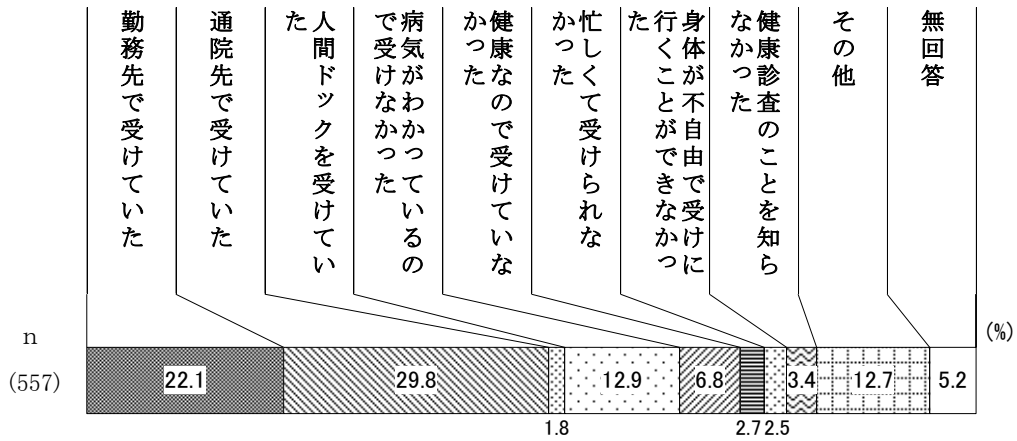
市で実施している健康診査の受診の有無は、「受けている」が身体障害者で3割台前半、難病患者で2割台後半となっています。知的障害者では、「受けていない」が7割台前半となっています。精神障害者では、「毎回受けている」と「時々受けている」を合わせた<受けている>は3割台後半、「受けていない」は4割台前半となっています。

(8) 受けていない主な理由

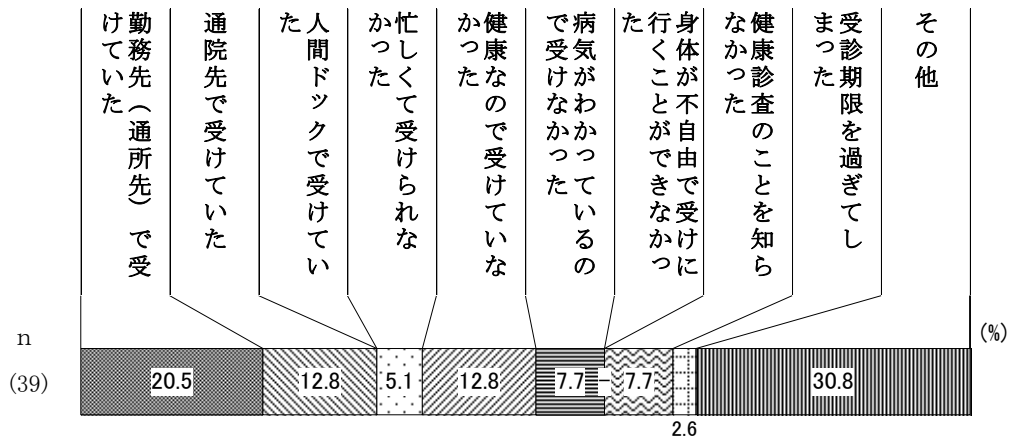
問15で「2. 受けていない」と答えた方におたずねします。

問15-1 主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問27-1】

身体・知的・難病



精神

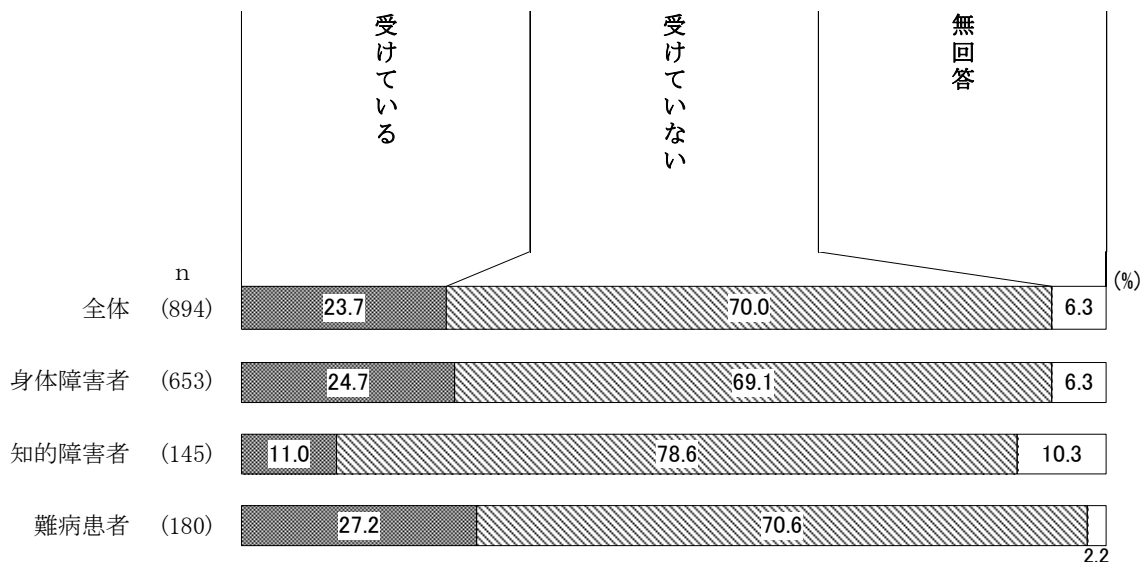


市で実施している健康診査を受けていない理由は、身体・知的・難病患者では、「通院先で受けていた」が最も多く約3割、「勤務先で受けていた」が2割台前半、「病気がわかっているのに受けなかった」が1割台前半となっています。精神障害者では、「勤務先(通所先)で受けていた」が約2割、「通院先で受けていた」「健康なので受けていなかった」が1割台前半と続いています。

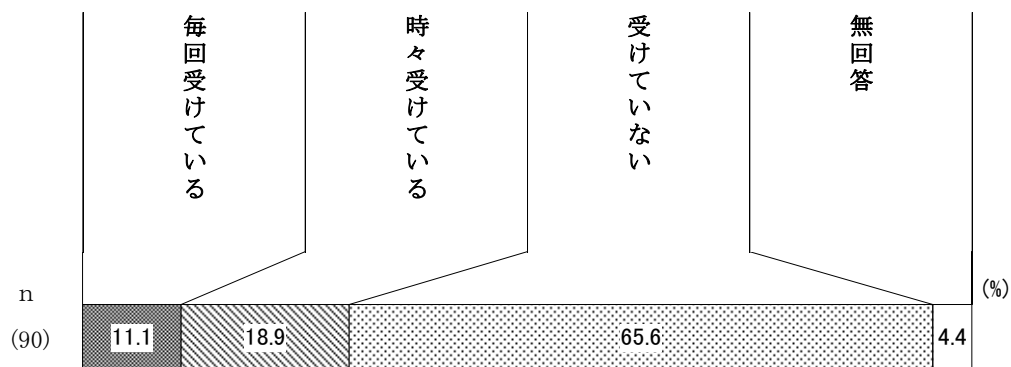
(9) 市で実施しているがん検診の受診状況

問16 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[1つに○] 【精神／問28】

身体・知的・難病



精神



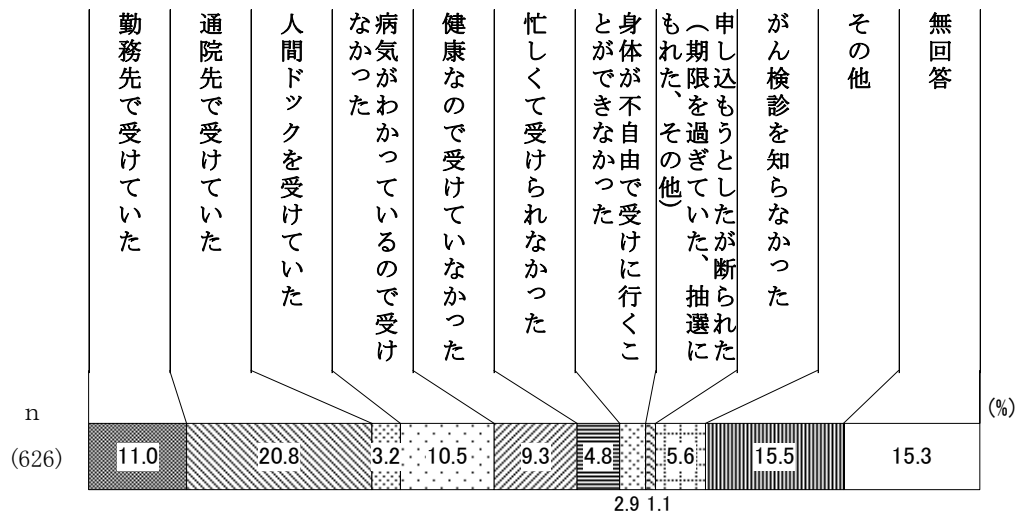
市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）については、「受けている」が身体・難病で2割台、「受けていない」が約7割となっています。知的障害者では「受けていない」が7割台後半です。精神障害者では、「毎回受けている」「時々受けている」を合わせたく受けている>が3割、「受けていない」は6割台半ばとなっています。

(10) 受けていない主な理由

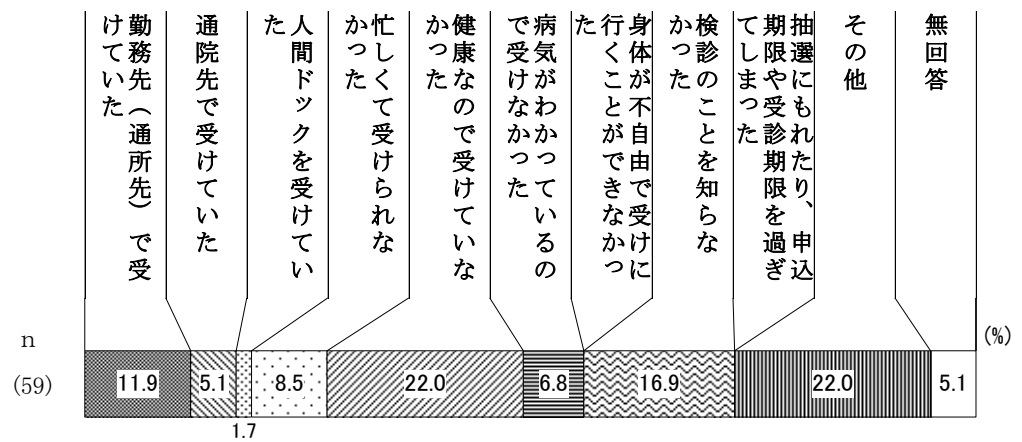
問16で「2. 受けていない」と答えた方におたずねします。

問16-1 主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問28-1】

身体・知的・難病



精神

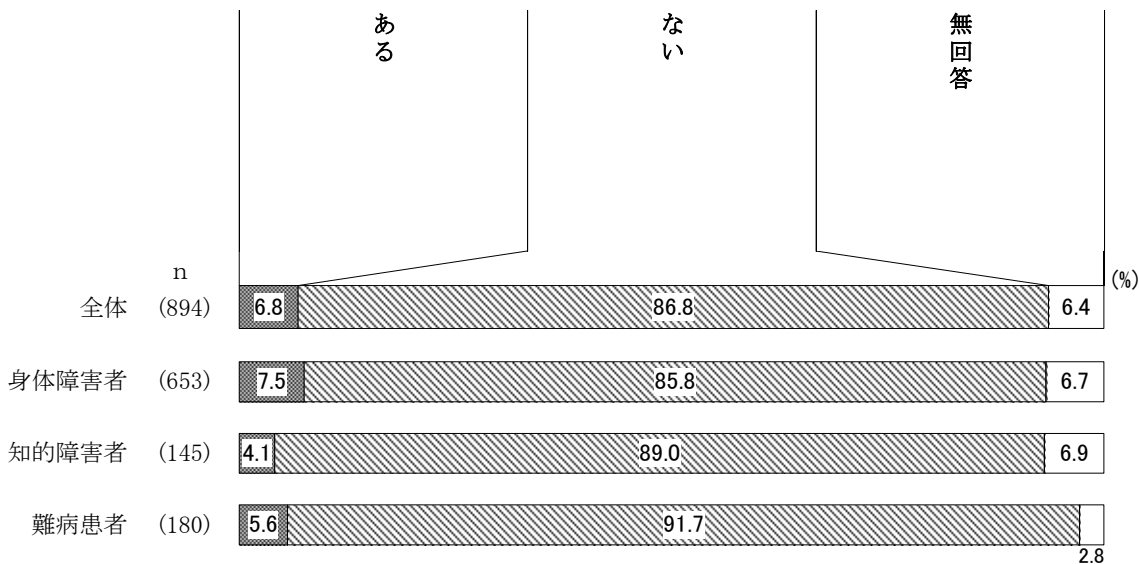


市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受診していない理由は、身体・知的・難病患者では、「通院先で受けていた」が約2割、「勤務先で受けていた」「病気がわかっているので受けなかった」「健康なので受けていなかった」と続いています。精神障害者では、「健康なので受けていなかった」が2割台前半と最も多く、「検診のことを知らなかった」が1割台後半、「勤務先（通所先）で受けていた」と続いています。

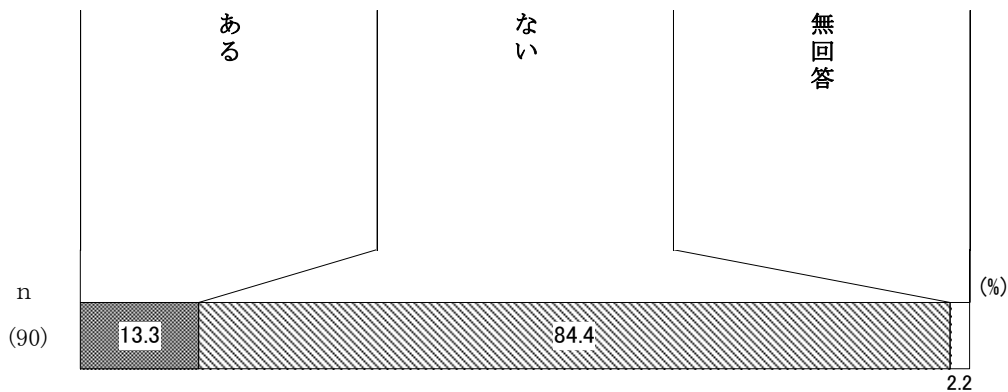
(11) 市の健康相談、電話相談利用の有無

問17 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。[1つに○]  
【精神／問29】

身体・知的・難病



精神



市で行っている健康相談、電話相談利用の有無は、身体・知的・難病患者では、8割台以上が「ない」と回答し、「ある」は1割未満となっています。精神障害者も同様に、「ない」が8割台前半、「ある」が13.3%となっています。

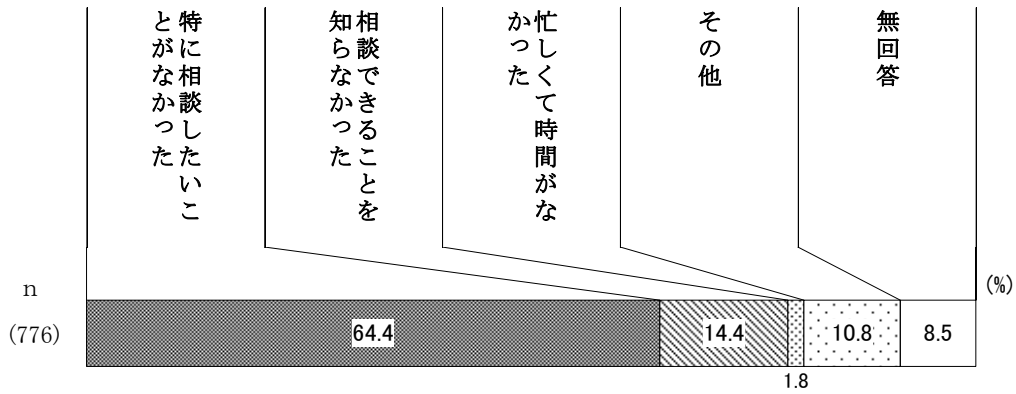


(12) 利用したことがない理由

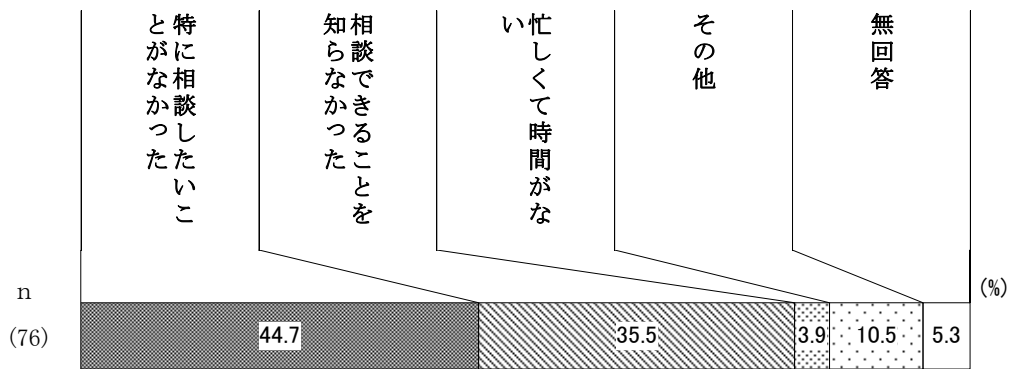
問17で「2. ない」と答えた方におたずねします。

問17-1 利用したことがないのはなぜですか。[1つに○] 【精神／問29】

身体・知的・難病



精神

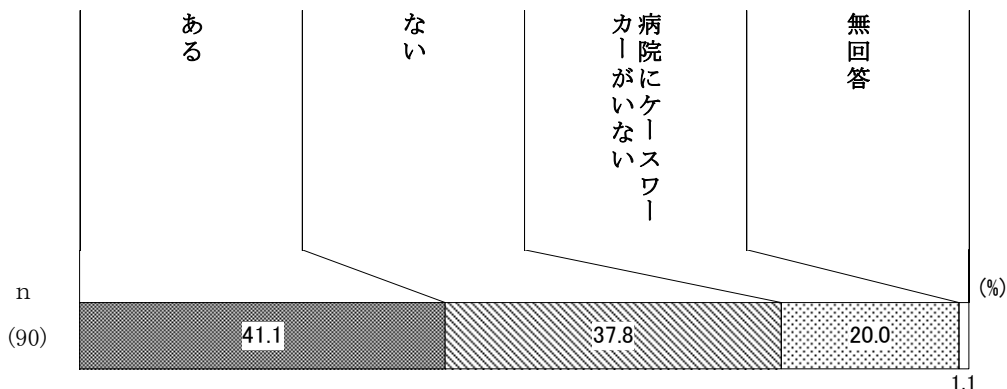


市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがない理由は、身体・知的・難病患者では、6割台前半が「特になかった」と回答し、「相談できることを知らなかった」が1割台前半となっています。精神障害者では、「特になかった」が4割台前半、次いで「相談できることを知らなかった」が3割台半ばとなっています。

(13) 病院のケースワーカーへの相談

【精神疾患等調査のみ】

問24 病院のケースワーカーに相談したことがありますか。[1つに○]



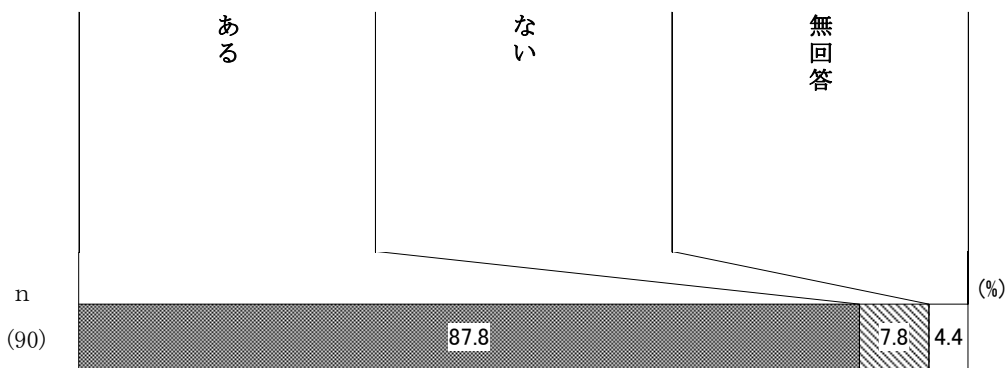
病院のケースワーカーへの相談は、「ある」が4割前半、「ない」が3割後半となっています。「病院にケースワーカーがない」が2割となっています。

(14) 市役所利用の有無

【精神疾患等調査のみ】

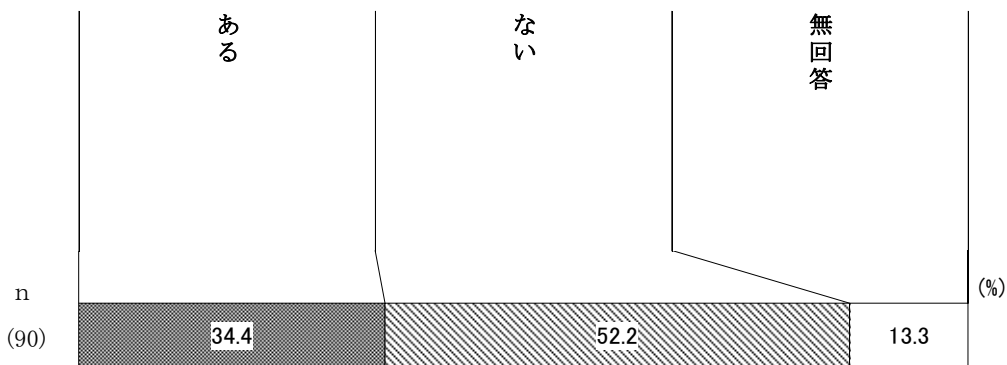
問25 あなたは、市役所または保健所を利用したことがありますか。[それぞれ1つに○]

市役所



市役所利用の有無は、8割後半が「ある」と回答しています。

保健所



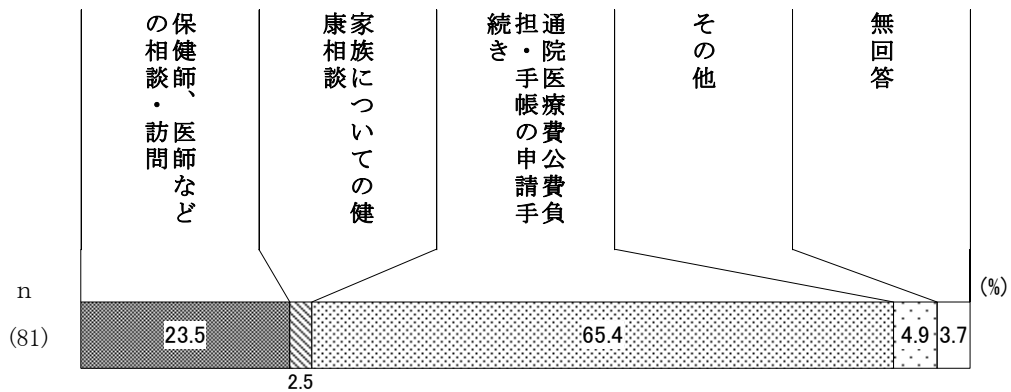
保健所の利用の有無は、「ある」3割前半、「ない」が5割前半となっています。

(15) 市役所、保健所の利用の内容

【精神疾患等調査のみ】

問25で市役所または保健所のどちらかの利用で「1. ある」と答えた方におたずねします。

問25-1 どのような利用をしましたか。[1つに○]

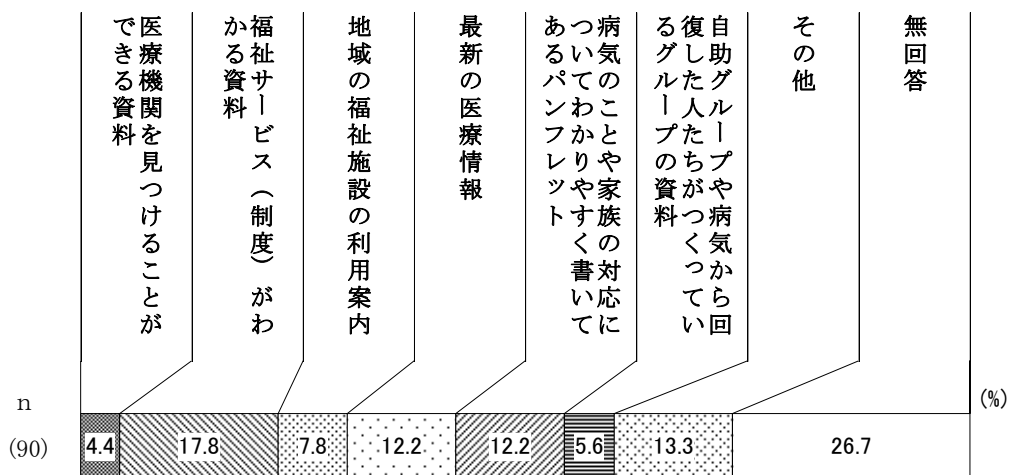


市役所または保健所の利用は、「通院医療費公費負担・手帳の申請手続き」が6割台半ばで最も多く、次いで「保健師、医師などの相談・訪問」が2割台前半となっています。

(16) 市役所や保健所などで必要な情報

【精神疾患等調査のみ】

問26 市役所や保健所などで、あなたがほしい情報は何ですか。[1つに○]



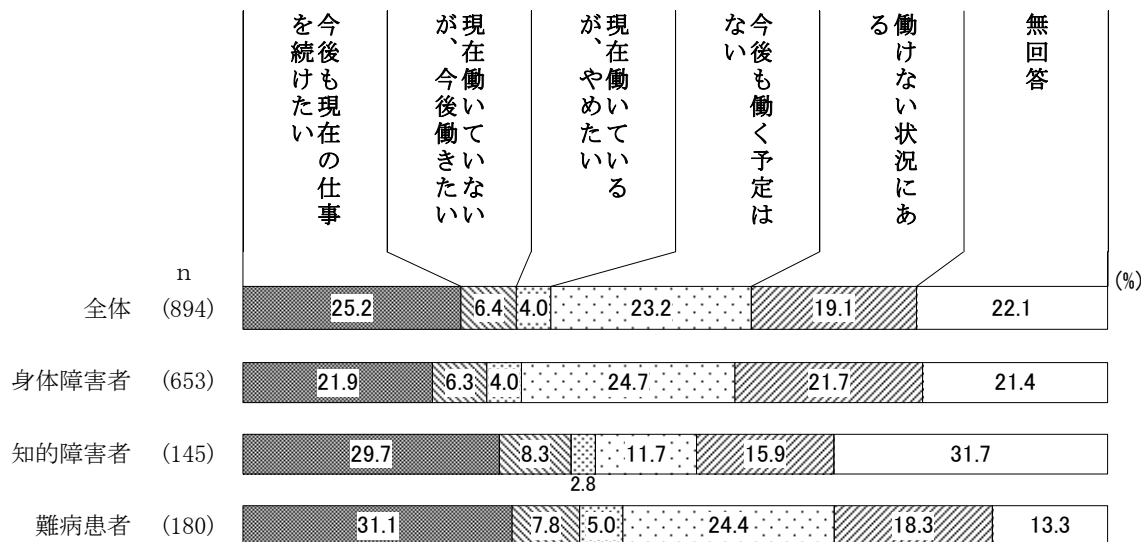
市役所や保健所などで、ほしい情報は、「福祉サービス(制度)がわかる資料」が1割台後半、次いで「最新の医療情報」「病気のことや家族の対応についてわかりやすく書いてあるパンフレット」がそれぞれ1割台前半で続いています。

## 5. 就労について

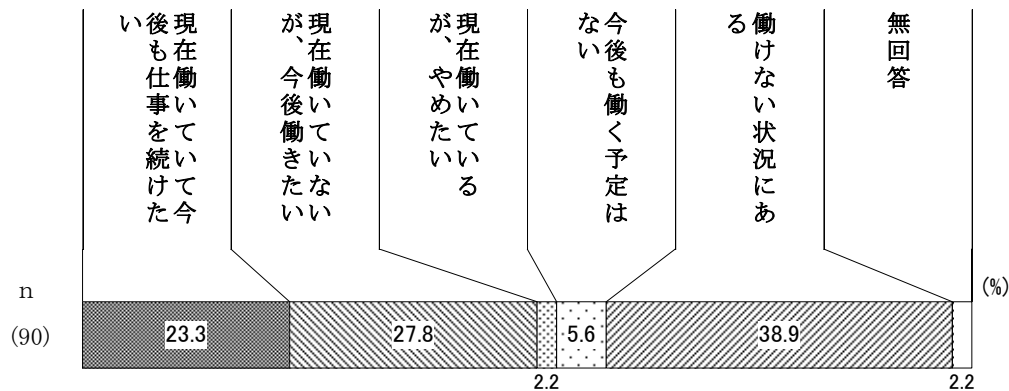
### (1) 現在の就労状況

問18 あなたの現在の就労状況について教えてください。[1つに〇] 【精神/問30】

#### 身体・知的・難病



#### 精神



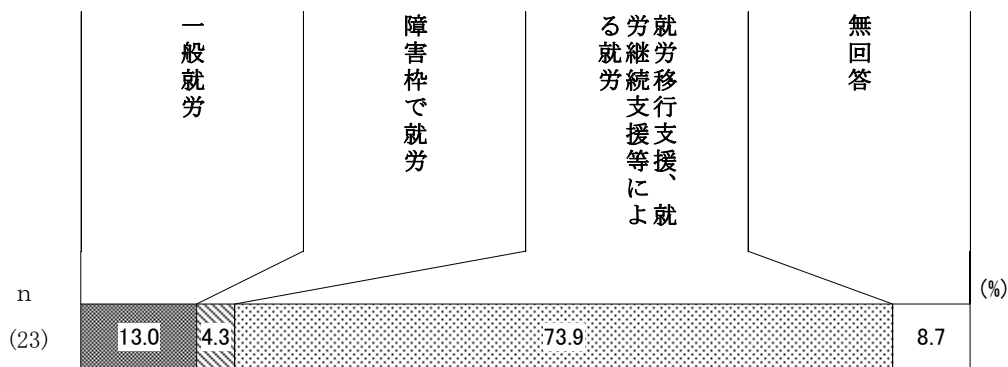
現在の就労状況は、知的・難病では、「今後も現在の仕事を続けたい」が3割前後となっています。身体・難病では、「今後も働く予定はない」が2割台前半、「働けない状況にある」が2割前後となっています。精神障害者では、「働けない状況にある」が3割台後半と最も多く、「現在働いていないが、今後働きたい」が2割台後半、「現在働いていて今後も仕事を続けたい」が2割台前半で続いています。

(2) 現在の就労形態

【精神疾患等調査のみ】

問30で「1. 現在働いていて今後も仕事を続けたい」または「3. 現在働いているが、やめたい」と答えた方におたずねします。

問30-1 現在の就労形態は次のどれですか。[1つに○]



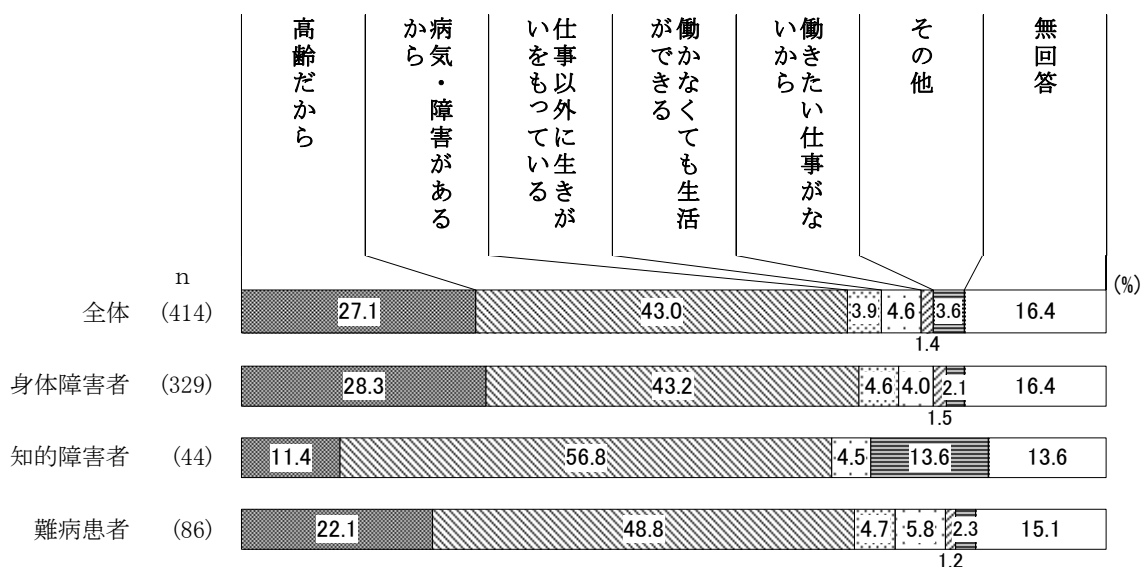
「現在働いていて今後も仕事を続けたい」または「現在働いているが、やめたい」と回答した方の就労形態は、7割台前半が「就労移行支援、就労継続支援等による就労」と回答し、「一般就労」は1割台前半、「障害枠で就労」が1割未満となっています。

(3) 働くのをやめたい、働く予定がない、働けない主な理由

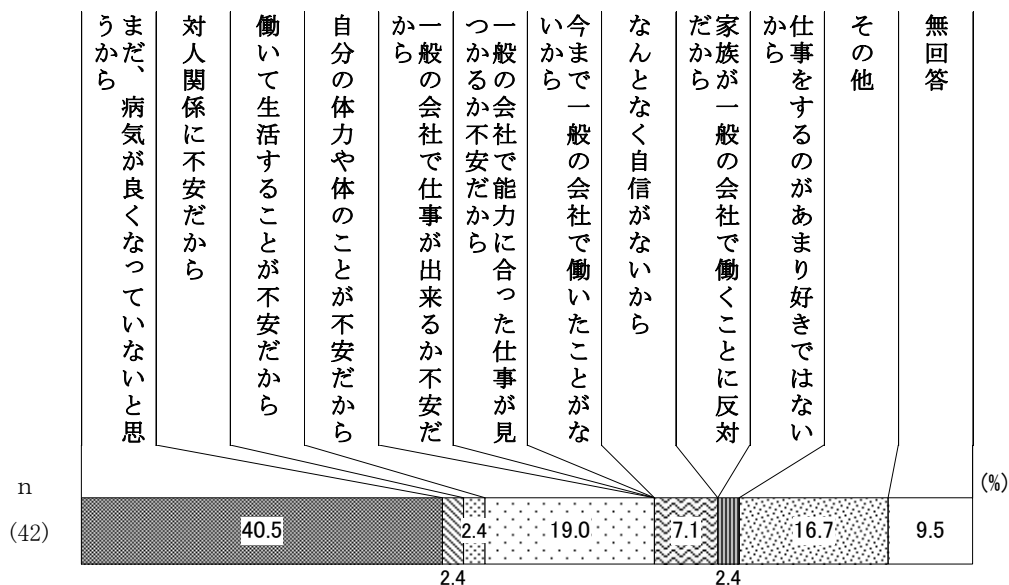
問18で「3. 現在働いているが、やめたい」、「4. 今後も働く予定はない」または「5. 働けない状況にある」と答えた方におたずねします。

問18-1 その主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問30-2】

身体・知的・難病



精神



「現在働いているが、やめたい」「今後も働く予定はない」または「働けない状況にある」と答えた方の理由は、身体障害者では「高齢だから」が2割台後半と比較的高くなっています。「病気・障害があるから」は知的障害者で5割台後半となっています。精神障害者では、約4割が「まだ、病気が良くなっていないと思うから」と回答し、「自分の体力や体のことが不安だから」が約2割となっています。

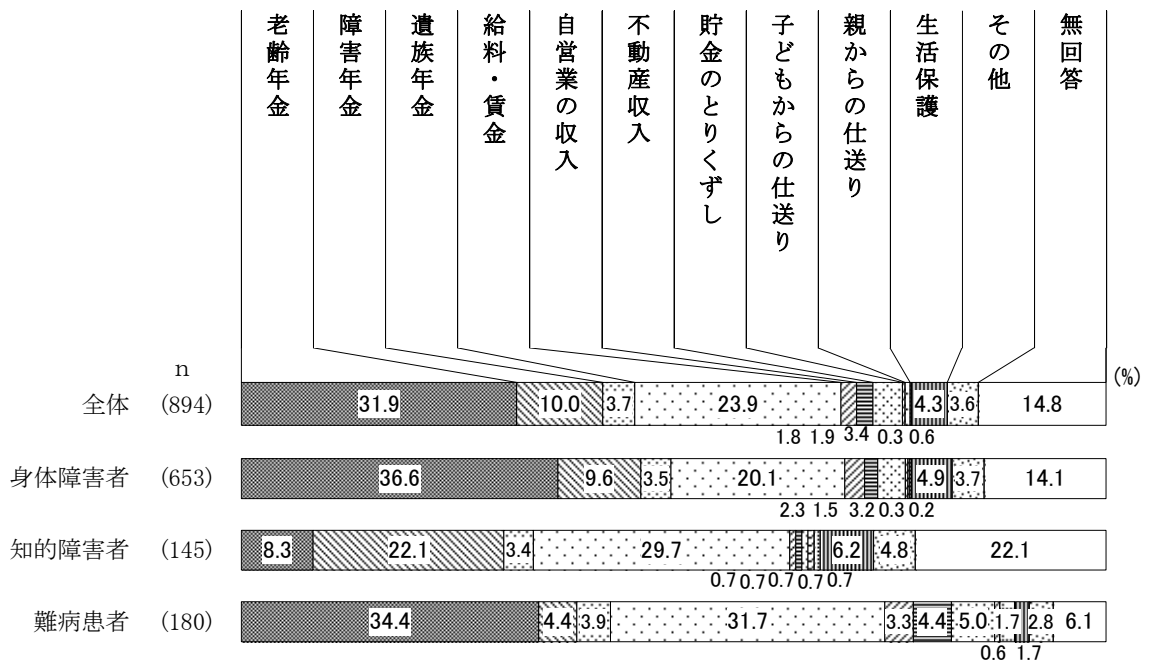
## 6. 収入について

### (1) 家庭の収入

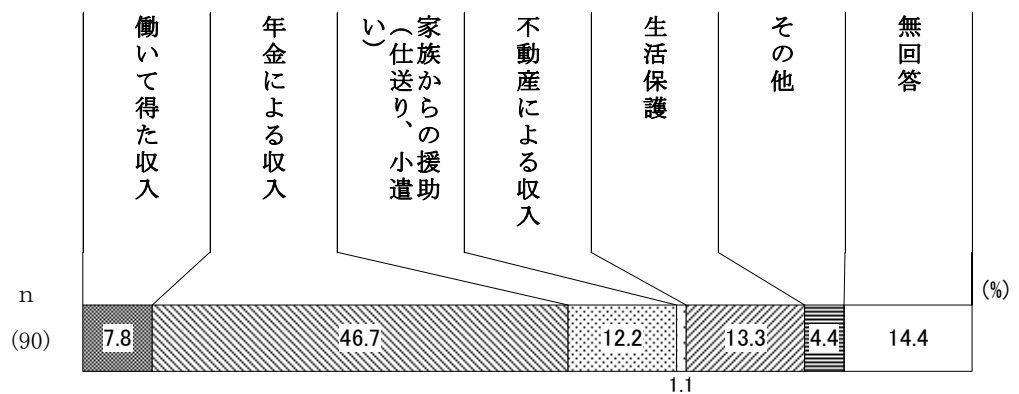
問19 あなたの家庭の収入は次のうちどれですか。[金額の多い順に3つ以内]【精神／問31】

#### ■ 1番目

身体・知的・難病



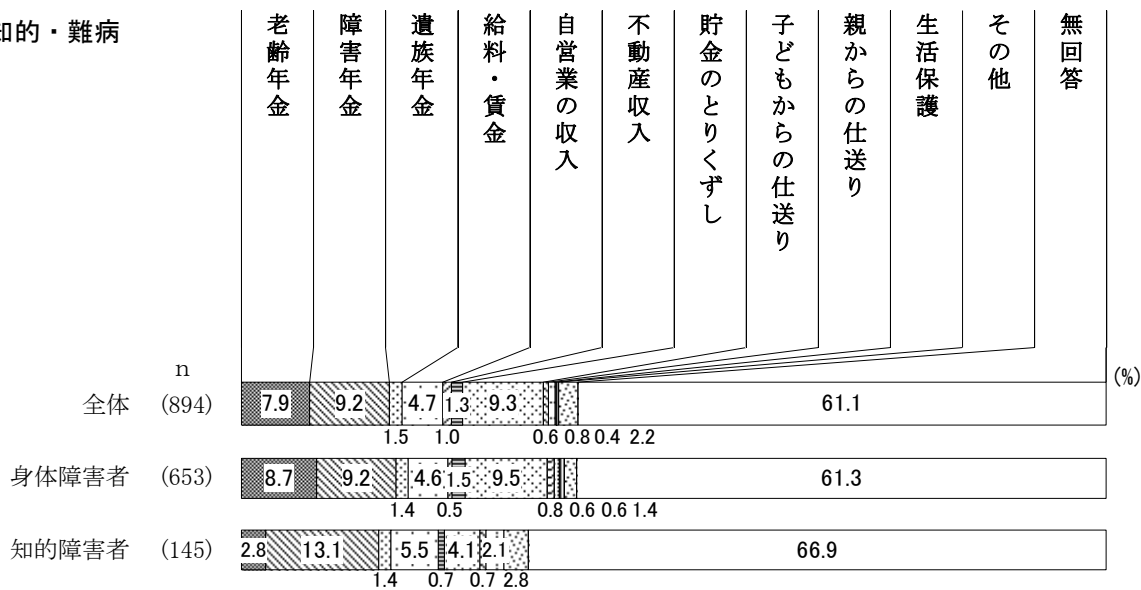
精神



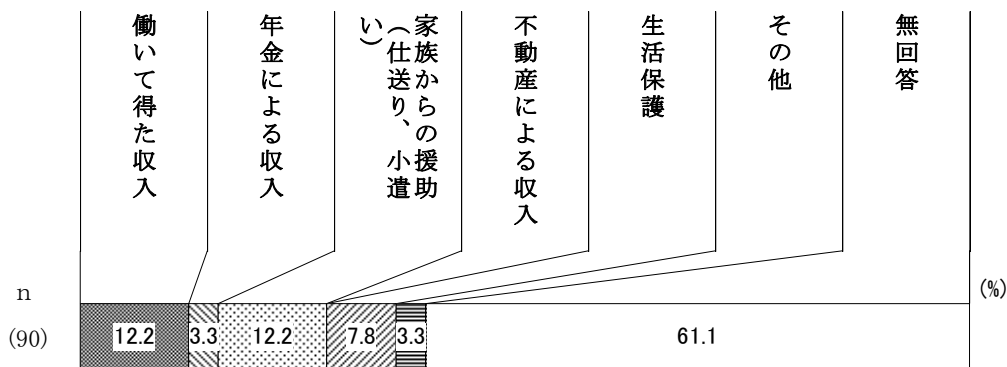
家庭の収入の1番目は、身体・難病では、「老齢年金」が3割台で最も多くなっています。知的・難病では「給料・賃金」が3割前後です。知的障害者では「障害年金」が2割台となっています。精神障害者では、「年金による収入」が4割台後半で最も多く、次いで「生活保護」「家族からの援助(仕送り、小遣い)」が1割台前半で続いています。

■ 2番目

身体・知的・難病



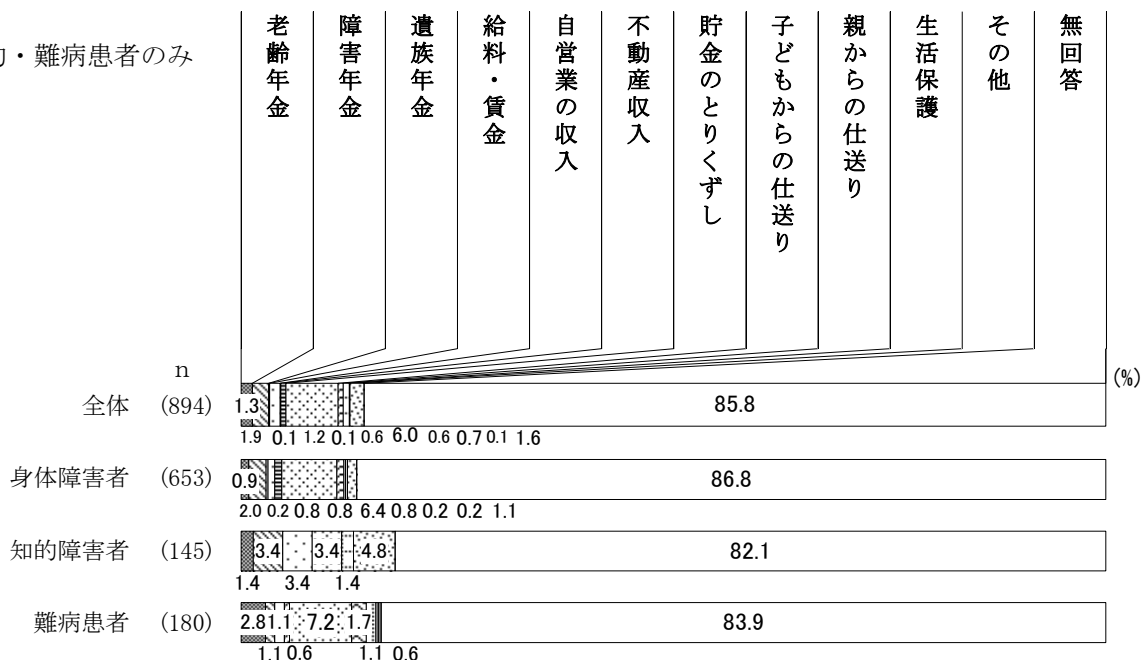
精神



収入の2番目は、身体障害者で「貯金のとりくずし」が約1割となっています。精神障害者では、「働いて得た収入」「家族からの援助（仕送り、小遣い）」が1割台前半です。

■ 3番目

身体・知的・難病患者のみ



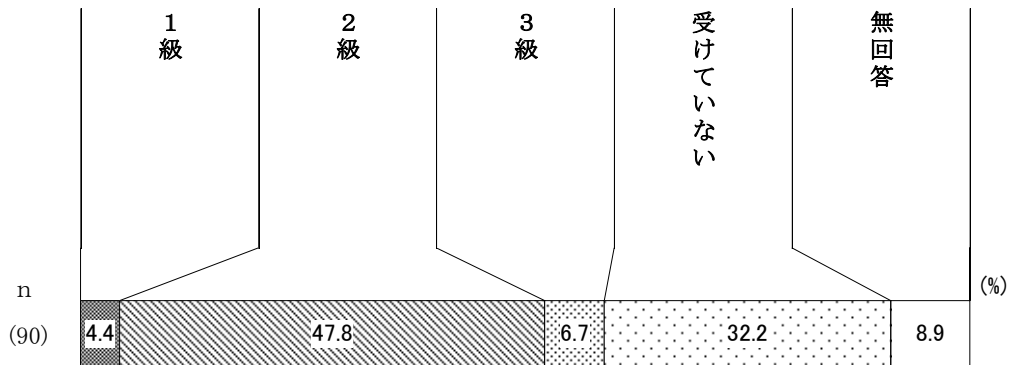
※身体・知的・難病患者の収入の3番目は参考にとどめる。



(2) 障害年金受給の有無と等級

【精神疾患等調査のみ】

問8 障害年金を受けていますか。受けている場合、級を記入してください。[1つに○]

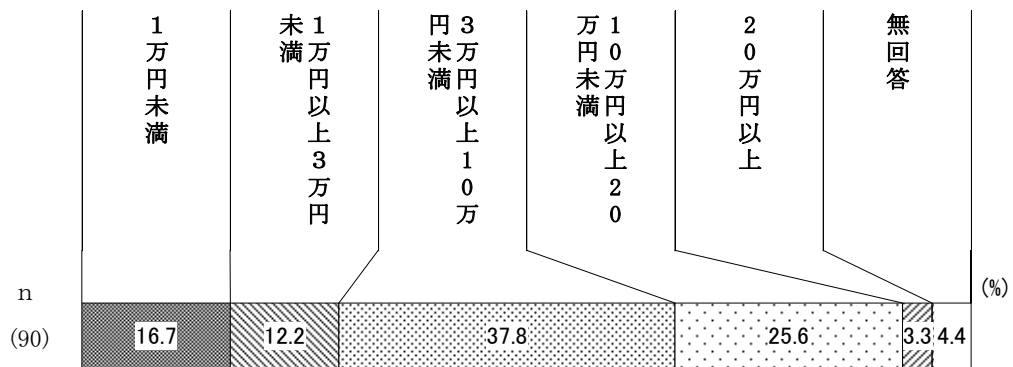


障害年金受給の有無と等級は、「2級」が最も多く4割台後半、「3級」「1級」がそれぞれ1割未満となっています。一方、3割台前半が「受けていない」と回答しています。

(3) 1か月の収入

【精神疾患等調査のみ】

問32 あなたの1か月の収入は、およそどのくらいですか。[1つに○]

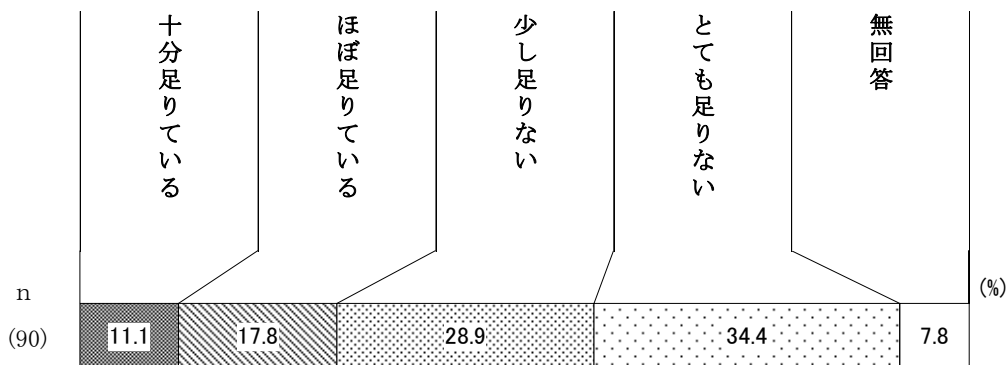


1か月の収入は、「3万円以上10万円未満」が3割台後半で最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が2割台半ば、「1万円未満」「1万円以上3万円未満」と続いています。

(4) 収入による生活費の過不足

【精神疾患等調査のみ】

問33 あなたの収入で、生活費は足りていますか。[1つに○]

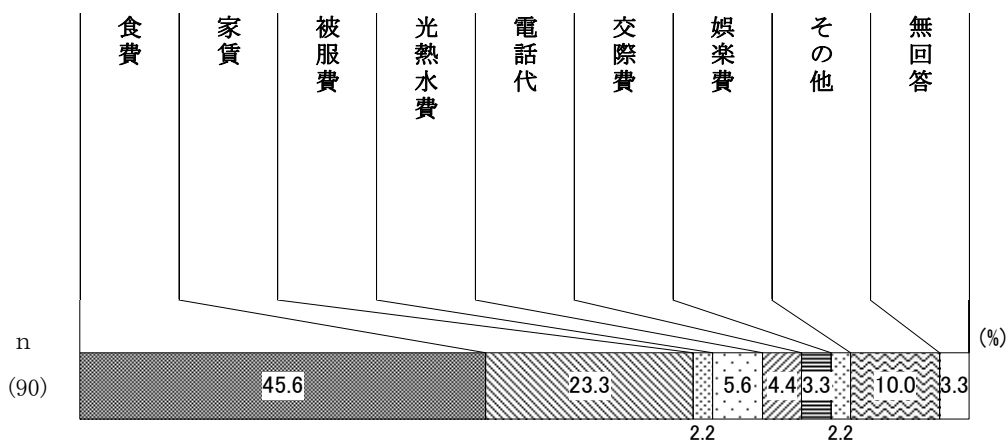


生活費の過不足については、「十分足りている」「ほぼ足りている」を合わせた<足りている>は、2割台後半、「少し足りない」「とても足りない」を合わせた<足りない>は、6割台前半で<足りない>が多くなっています。

(5) 支出の中で最も割合の多いもの

【精神疾患等調査のみ】

問34 あなたの支出の中で、最も割合の多いものは何ですか。[1つに○]

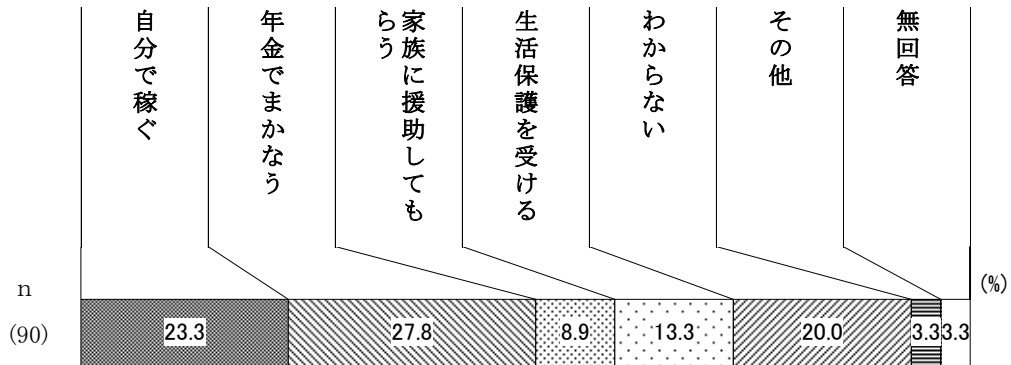


支出の中で最も割合の多いものは、「食費」が4割台半ば、次いで「家賃」が2割台前半となっています。

(6) 今後の生活費の考え方

【精神疾患等調査のみ】

問35 あなたは今後の生活費をどのように考えていますか。[1つに○]

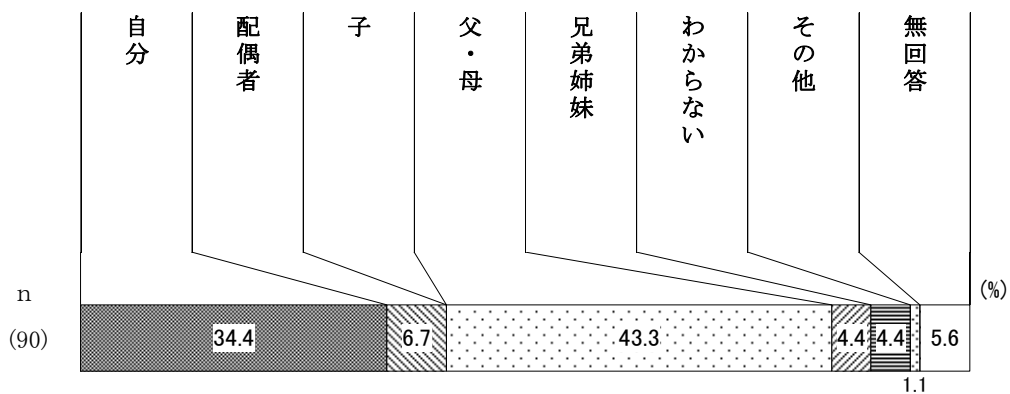


今後の生活費については、「年金でまかなう」が2割台後半、「自分で稼ぐ」が2割台前半、「生活保護を受ける」が1割台前半となっていますが、2割が「わからない」と回答しています。

(7) 家族の暮らしを支えている人

【精神疾患等調査のみ】

問36 家族の暮らしを支えている人は主に誰ですか。[1つに○]

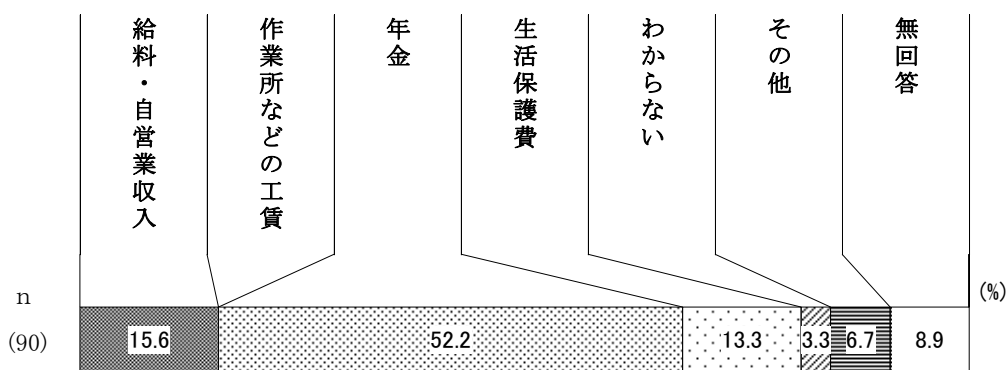


家族の暮らしを主に支えているのは、「父・母」が4割台前半、次いで「自分」が3割台前半となっています。

(8) 家族の生活費をまかなっている主な収入

【精神疾患等調査のみ】

問37 家族の生活費をまかなっている主な収入は次のどれですか。[1つに○]



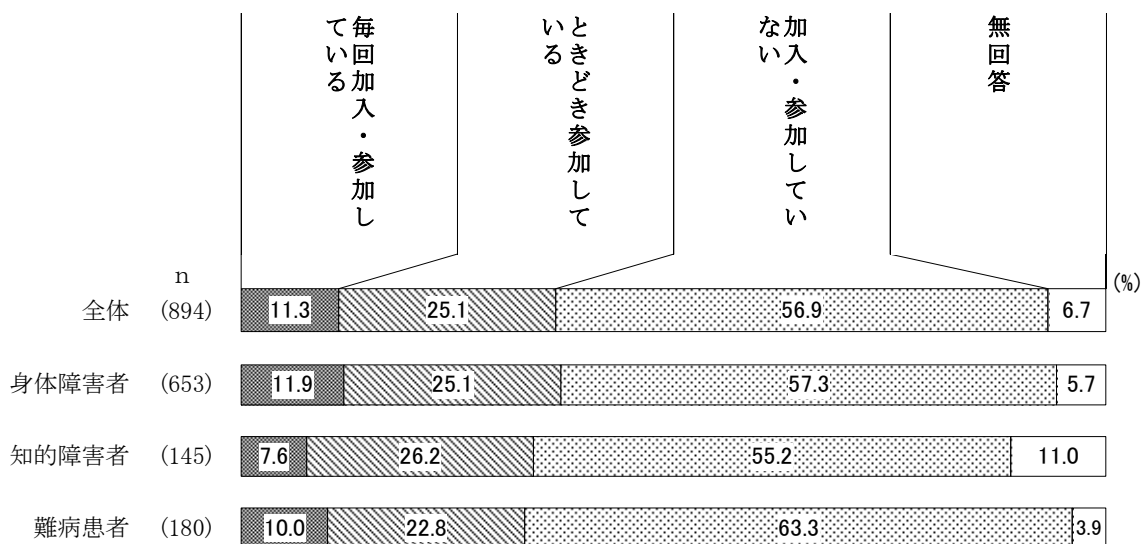
家族の生活費をまかなっている主な収入は、「年金」が5割台前半で最も多く、次いで「給料・自営業収入」が1割台半ば、「生活保護費」が1割台前半と続いています。

7. 社会参加と日ごろの活動について

(1) 地域や各種団体への加入状況、団体が行う行事や事業への参加状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問20 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[1つに○]



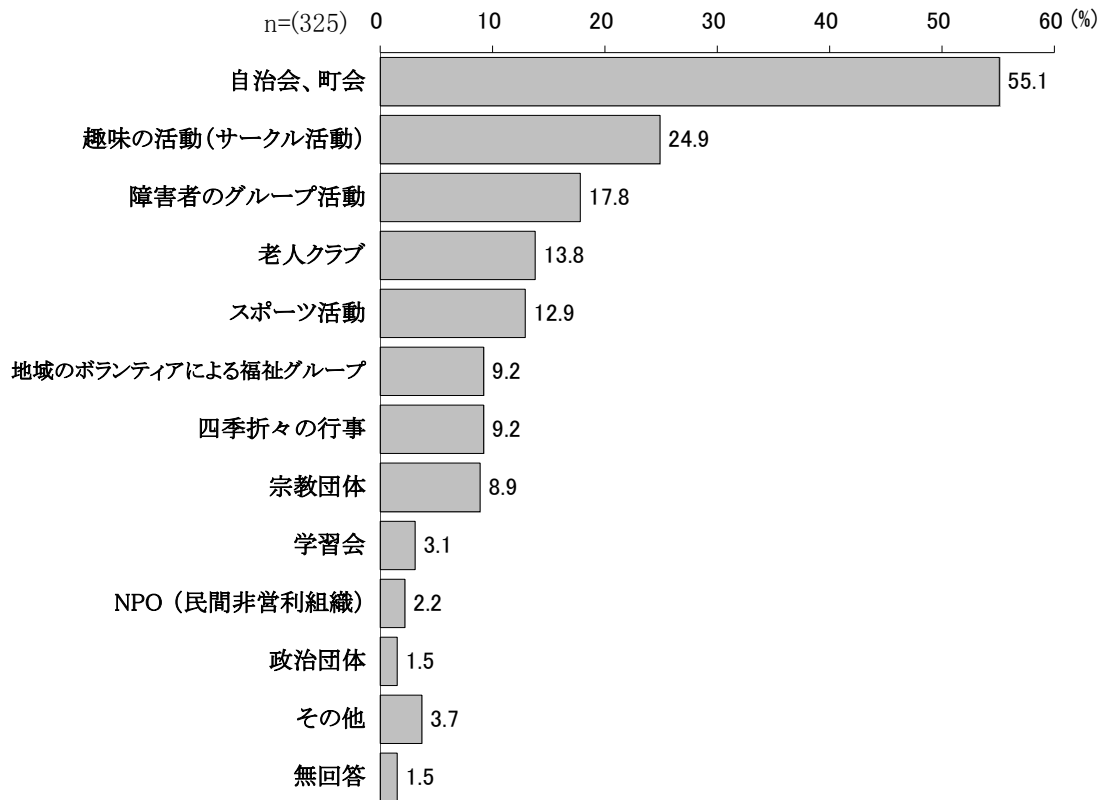
地域や各種団体への加入、団体が行う行事や事業への参加状況は、「毎回加入・参加している」と「ときどき参加している」を合わせた＜参加している＞は、3割台、一方「加入・参加していない」は5割を超えています。

(2) 加入、参加している団体

【身体・知的・難病調査のみ】

問20で「1. 毎回加入・参加している」または「2. ときどき参加している」と答えた方におたずねします。

問20-1 それは次のどれですか。[いくつでも○]



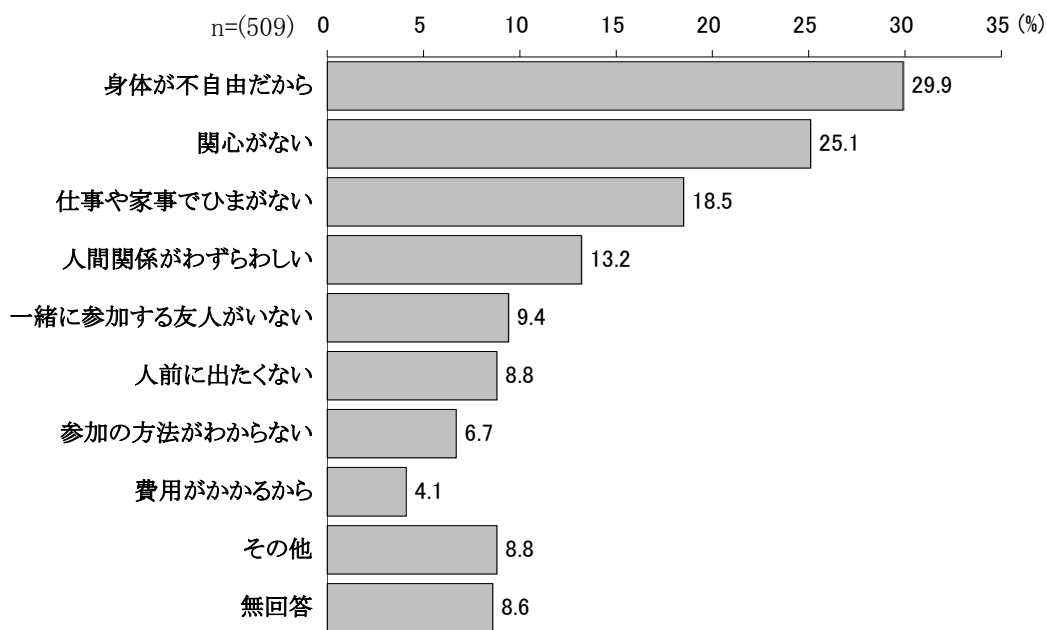
「毎回加入・参加している」または「ときどき参加している」と回答した方が加入、参加している団体は、「自治会、町会」が5割台半ばで最も多く、「趣味の活動(サークル活動)」が2割台前半、「障害者のグループ活動」「老人クラブ」「スポーツ活動」と続いています。

(3) 加入、参加していない主な理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問20で「3. 加入・参加していない」と答えた方におたずねします。

問20-2 主な理由は何ですか。[いくつでも○]

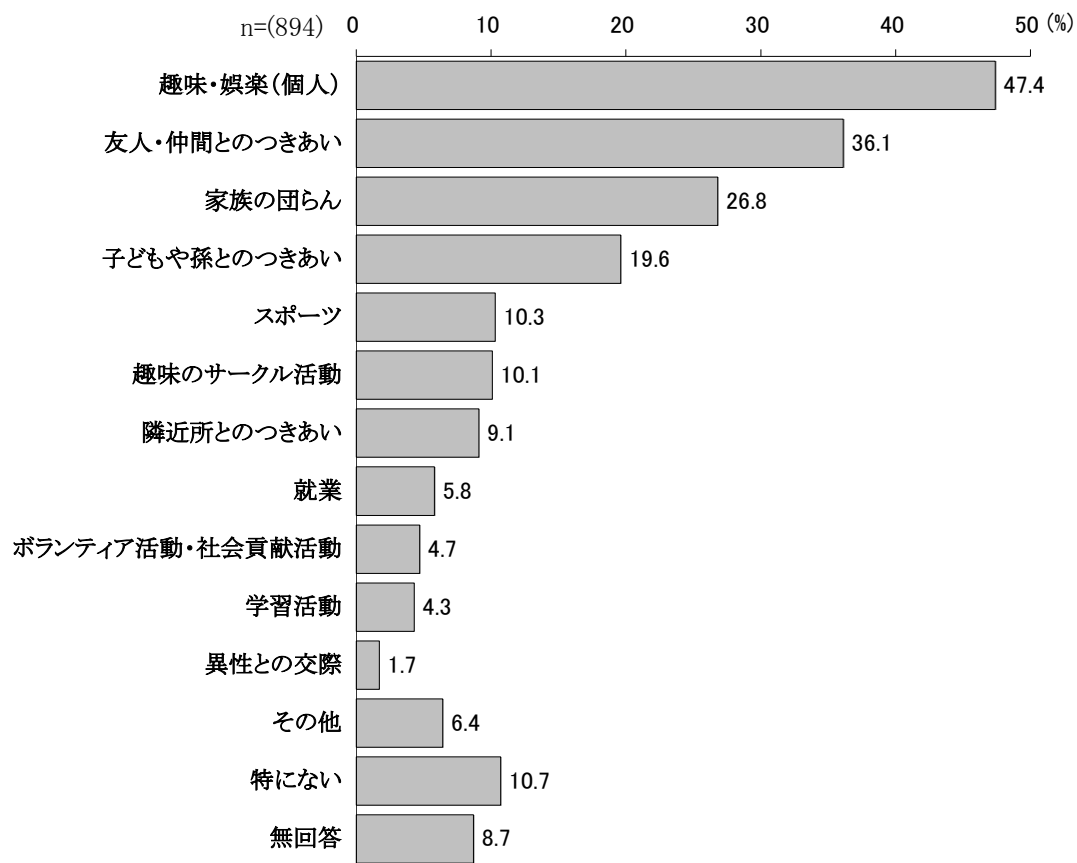


「加入・参加していない」と回答した方の理由は、「身体が不自由だから」が約3割で最も多く、次いで「関心がない」が2割台半ば、「仕事や家事でひまがない」「人間関係がわずらわしい」と続いています。

## (4) 楽しみや生きがい

【身体・知的・難病調査のみ】

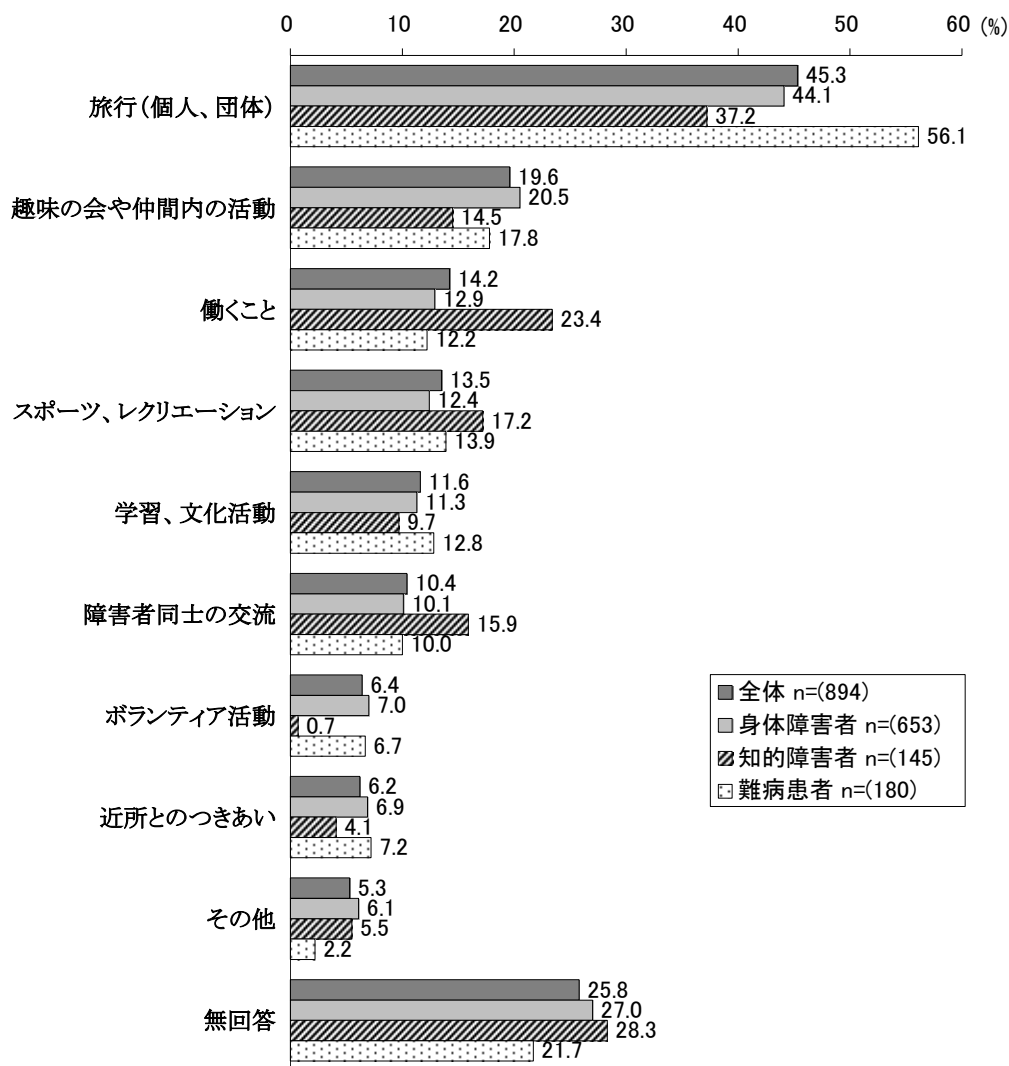
問21 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]



楽しみや生きがいは、「趣味・娯楽（個人）」が4割台後半で最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が3割台後半、「家族の団らん」「子どもや孫とのつきあい」と続いています。

(5) 今後やってみたいこと

問22 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[いくつでも○]



今後やってみたいことは、「旅行（個人、団体）」が難病患者で5割台後半と特に多くなっています。知的障害者では「働くこと」が2割台前半、「スポーツ、レクリエーション」「障害者同士の交流」が1割台半ばで比較的多くなっています。

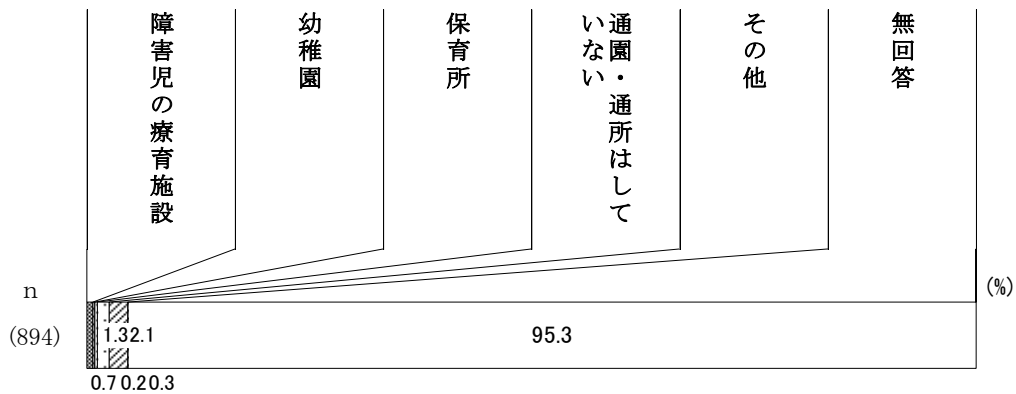


(6) 昼間、通っている場所

【身体・知的・難病調査のみ】

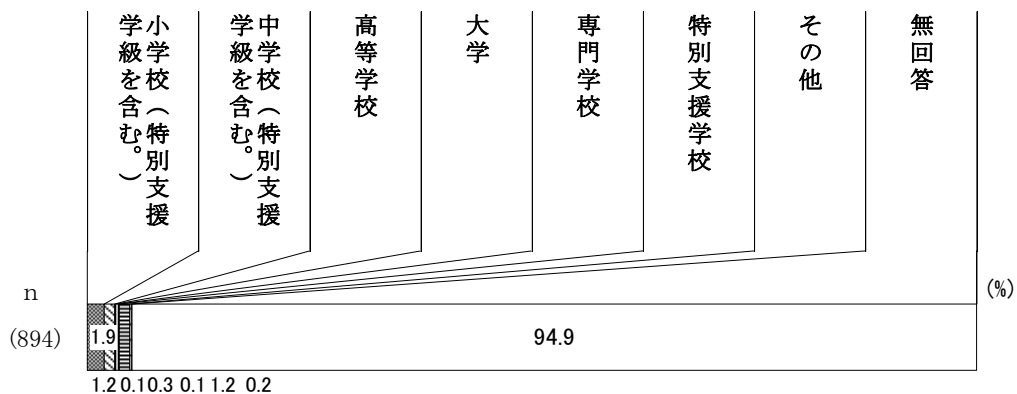
問23 あなたは昼間、主にどこへ通っていますか。

(1) 未就学の方（学校へ入学前の方）



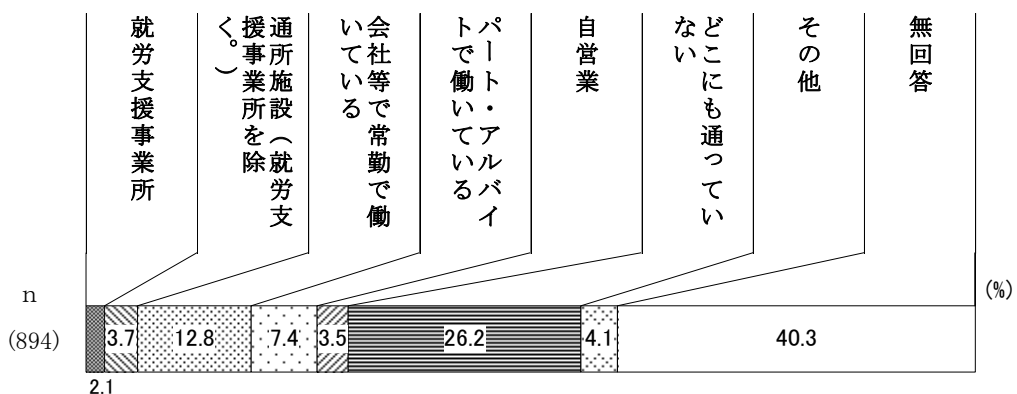
※無回答が多いため、参考にとどめる。

(2) 学校で学んでいる方



※無回答が多いため、参考にとどめる。

(3) 社会人の方



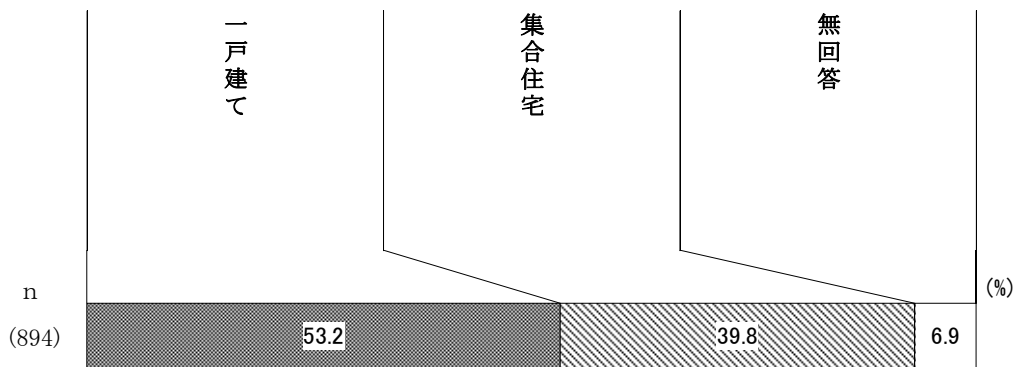
社会人は、「会社等で常勤で働いている」が1割前半、「パート・アルバイトで働いている」が1割未満となっています。一方、2割後半が「どこにも通っていない」と回答しています。

## 8. 住まいについて

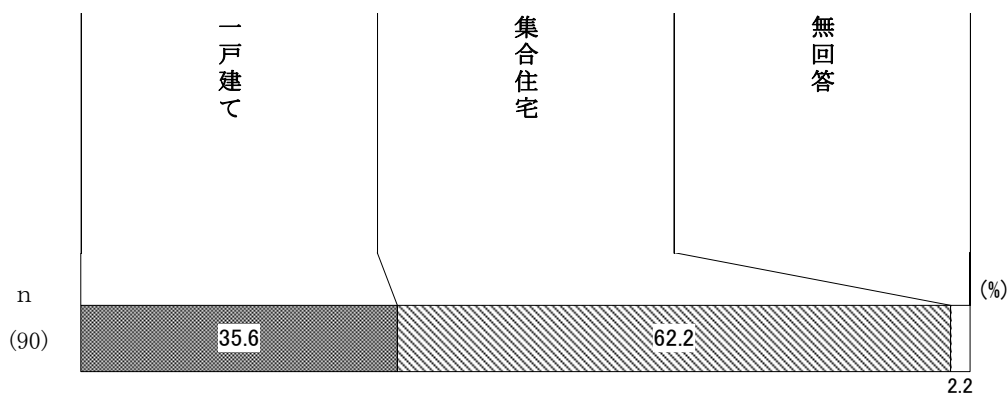
### (1) 住居形態

問24 あなたのお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。[1つに〇]【精神/問38】

身体・知的・難病



精神

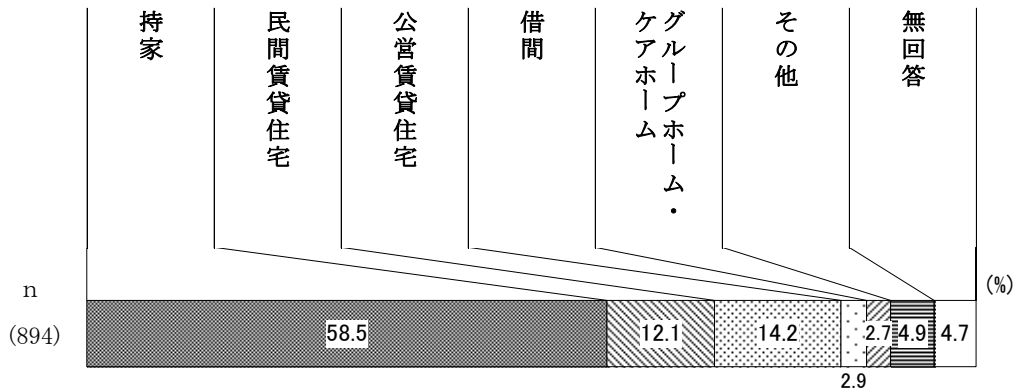


住居形態は、身体・知的・難病患者では「一戸建て」が5割台前半、「集合住宅」が約4割となっています。精神障害者では、「集合住宅」の割合が多く6割台前半、「一戸建て」は3割台半ばとなっています。

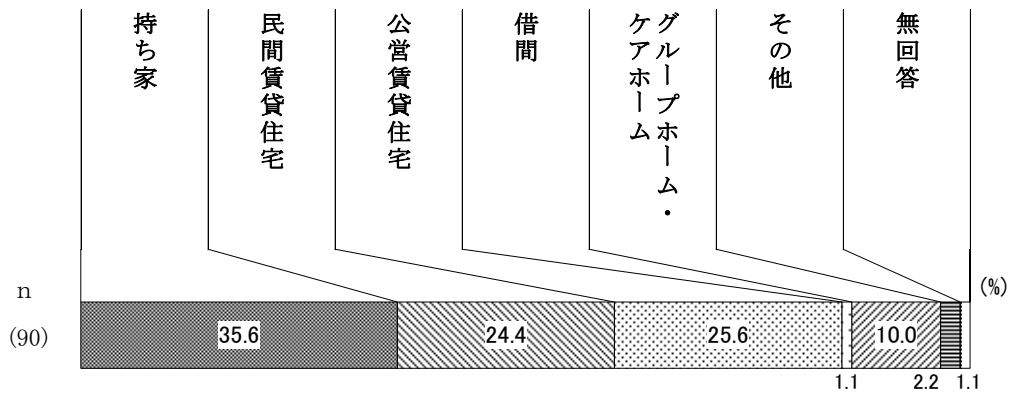
(2) 持ち家・賃貸等

問25 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。[1つに○] 【精神／問39】

身体・知的・難病



精神

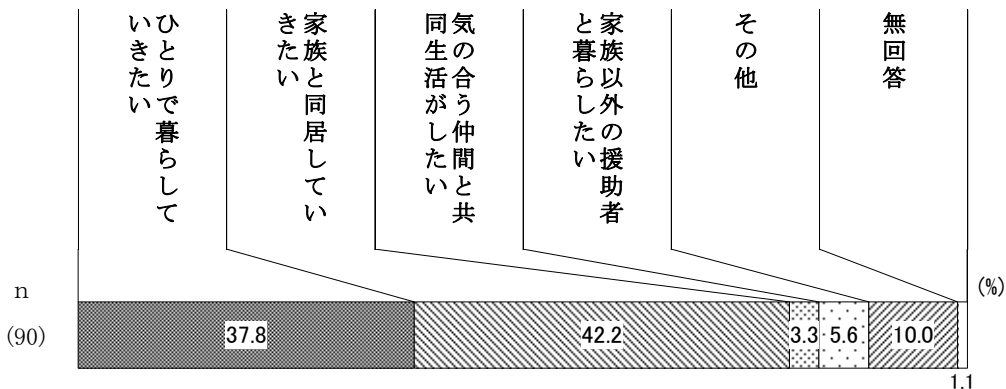


持ち家、賃貸の別では、身体・知的・難病患者では、「持ち家」が5割後半と半数を超え、次いで「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」が1割前半となっています。精神障害者では、「持ち家」が3割台半ば、「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」が2割半ば前後となっています。

(3) 今後、望んでいる暮らし方

【精神疾患等調査のみ】

問40 あなたは、今後どのような暮らしをしていきたいですか。[1つに○]

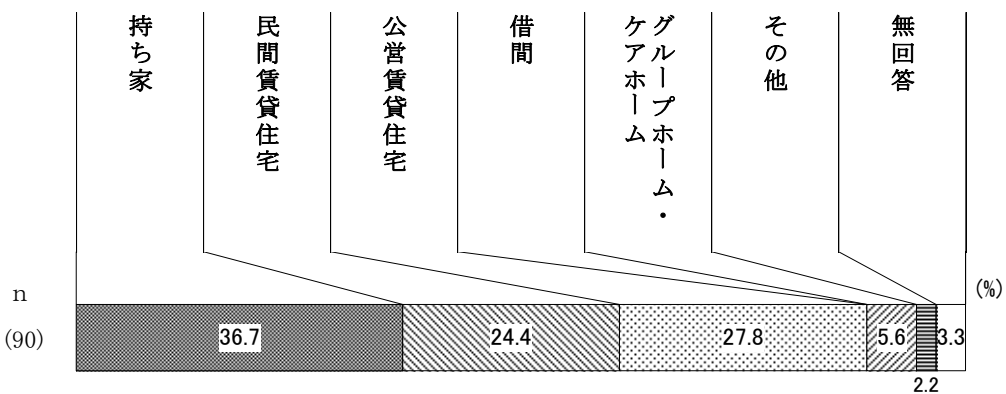


今後どのような暮らしをしていきたいかは、4割台前半が「家族と同居していきたい」と回答し、次いで「ひとり暮らししていきたい」が3割台後半となっています。

(4) 今後暮らしたい場所

【精神疾患等調査のみ】

問41 今後暮らしていきたいのは、どんな場所ですか。[1つに○]

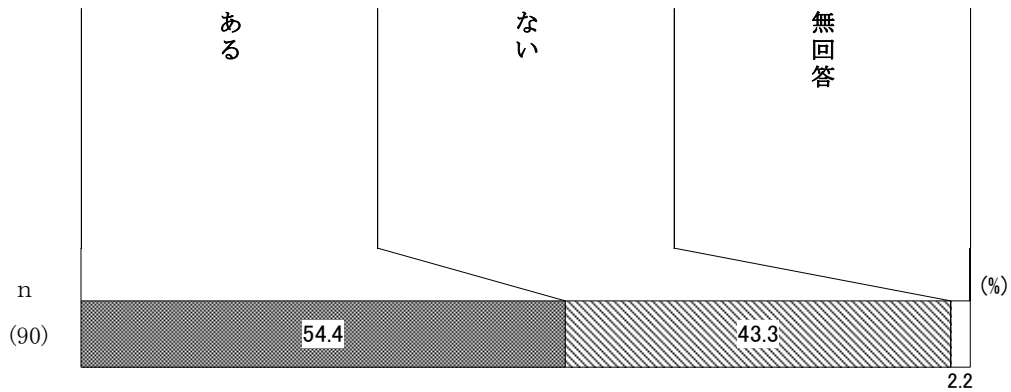


今後暮らしていきたい場所は、「持ち家」が3割台後半と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」と続いています。

(5) 住まいを探した経験

【精神疾患等調査のみ】

問42 あなたは、今まで、お住まいを探した経験がありますか。[1つに○]



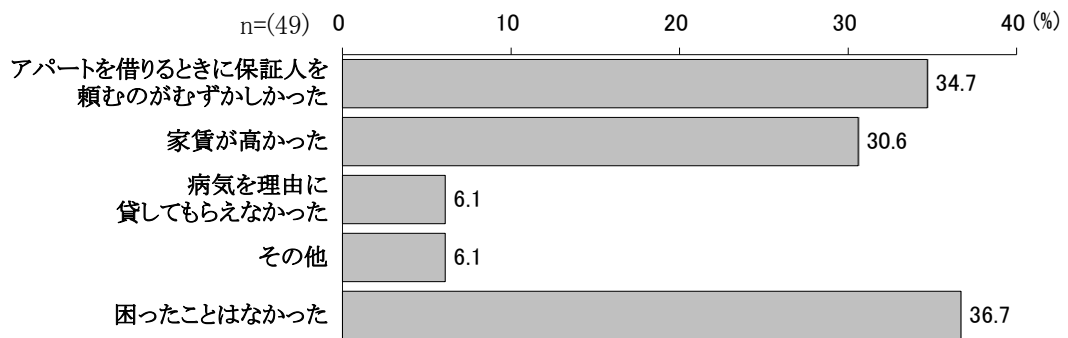
今まで、住まいを探した経験の有無は、「ある」が5割台前半、「ない」が4割台前半で「ある」が多くなっています。

(6) 住まいを探した時に困ったこと

【精神疾患等調査のみ】

問42で「1. ある」と答えた方におたずねします。

問42-1 そのときに困ったことがありましたか。[いくつでも○]

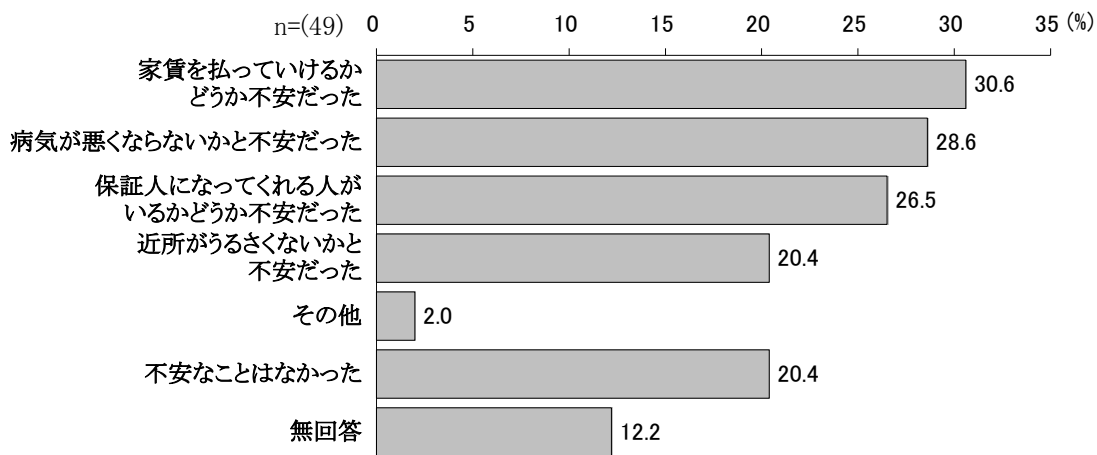


住まいを探した時に困ったことは、「アパートを借りるときに保証人を頼むのがむずかしかった」が3割台前半、「家賃が高かった」が約3割となっています。一方、3割台後半が「困ったことはなかった」と回答しています。

(7) 住まいを探した時に不安に思ったこと

【精神疾患等調査のみ】

問42-2 そのとき不安に思ったことはありますか。[いくつでも○]

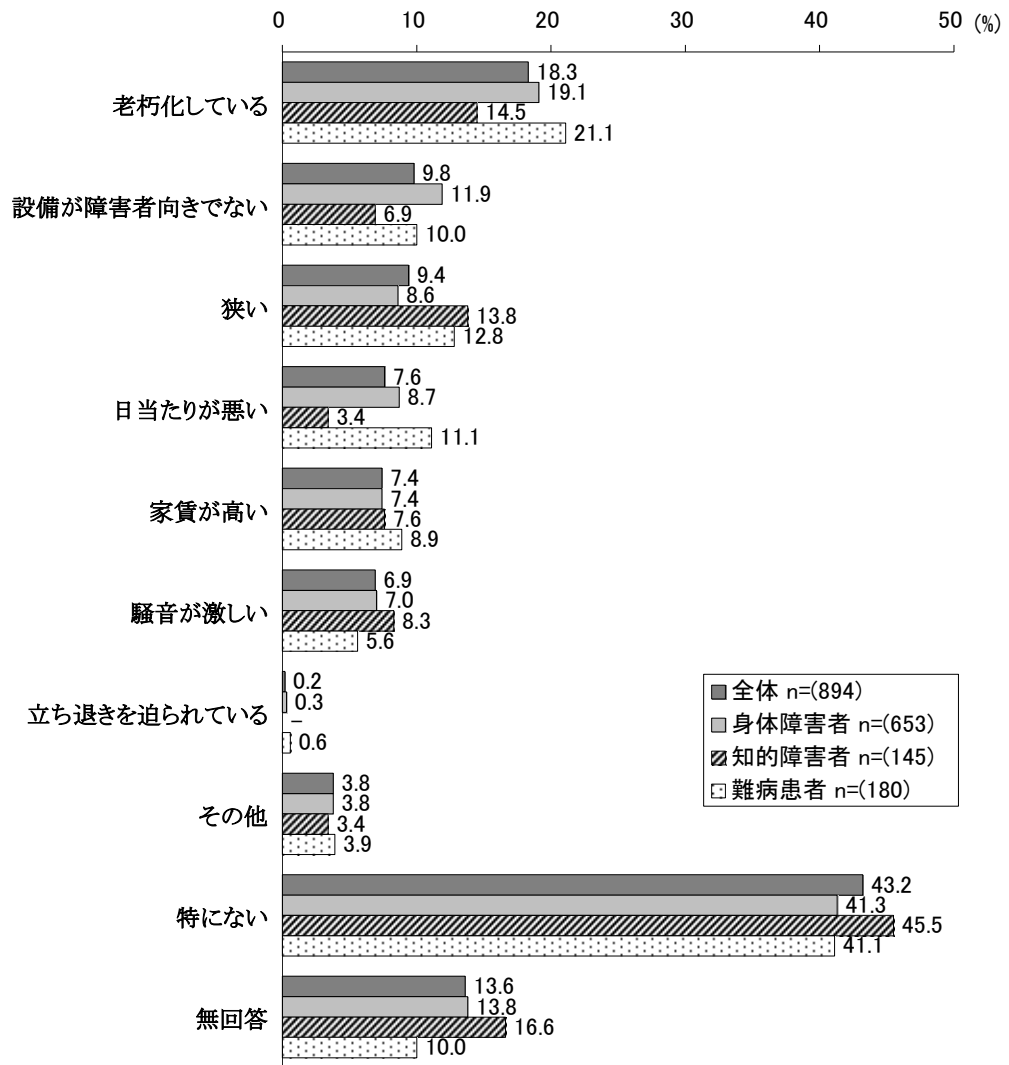


住まいを探した時に不安に思ったことは、「家賃を払っていけるかどうか不安だった」が約3割、「病気が悪くならないかと不安だった」「保証人になってくれる人がいるかどうか不安だった」が2割台後半、「近所がうるさくないかと不安だった」と続いています。一方、約2割が「不安なことはなかった」と回答しています。

(8) 現在、住まいで困っていること

【身体・知的・難病調査のみ】

問26 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[いくつでも○]

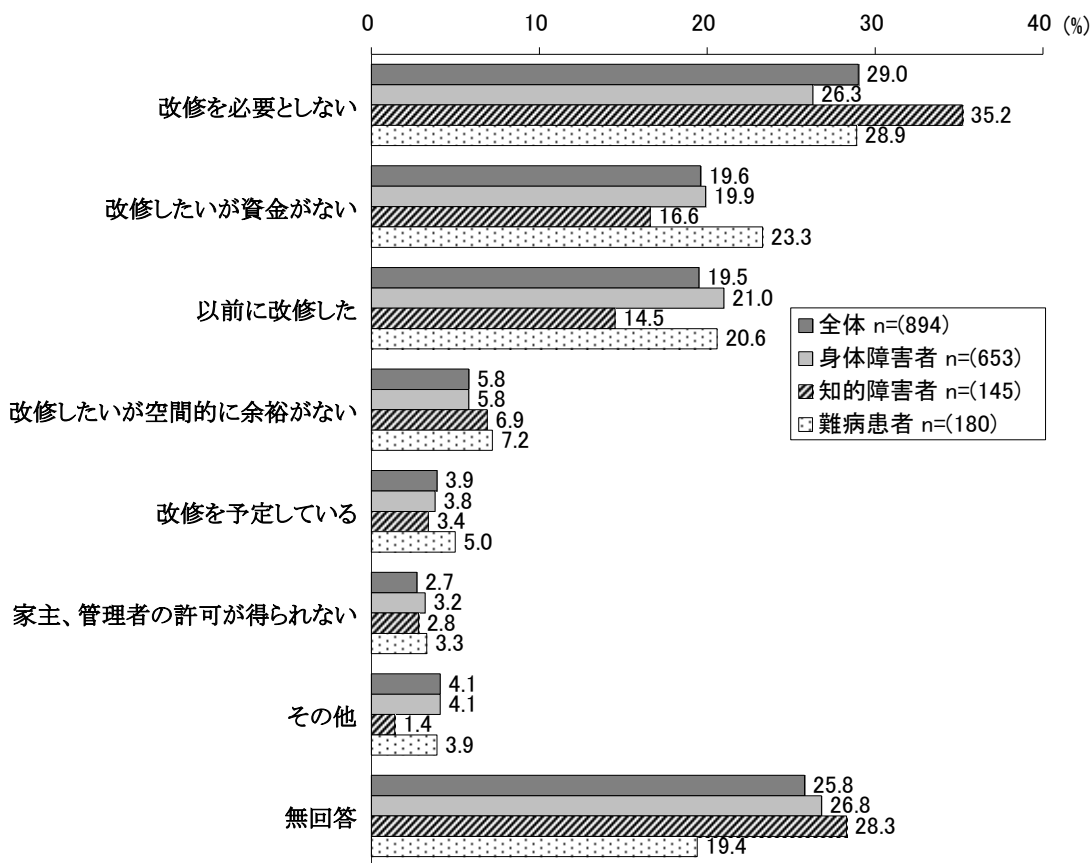


現在、住まいで困っていることは、「老朽化している」が難病患者で2割を超えて多く、「設備が障害者向きでない」は身体・難病で1割となっています。また、「狭い」は知的・難病で1割台前半となっています。

(9)「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修

【身体・知的・難病調査のみ】

問27 「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修についておたずねします。  
[いくつでも○]



「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修については、知的障害者で「改修を必要としない」が3割台半ばで最も多く、「改修したいが資金がない」「以前に改修した」は難病患者で2割を超えています。

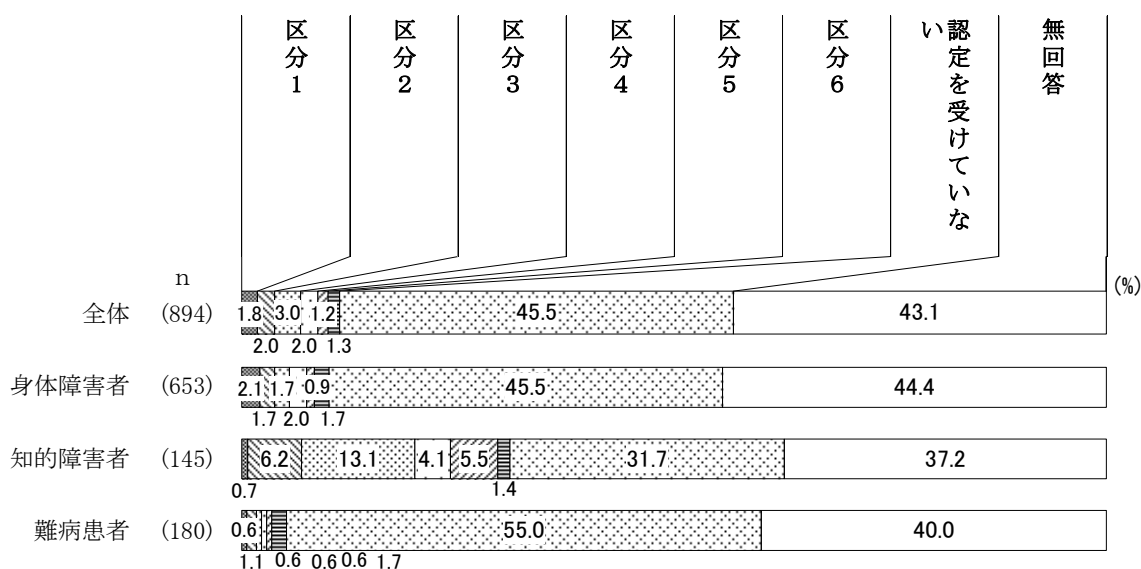


## 9. 障害者福祉サービスについて

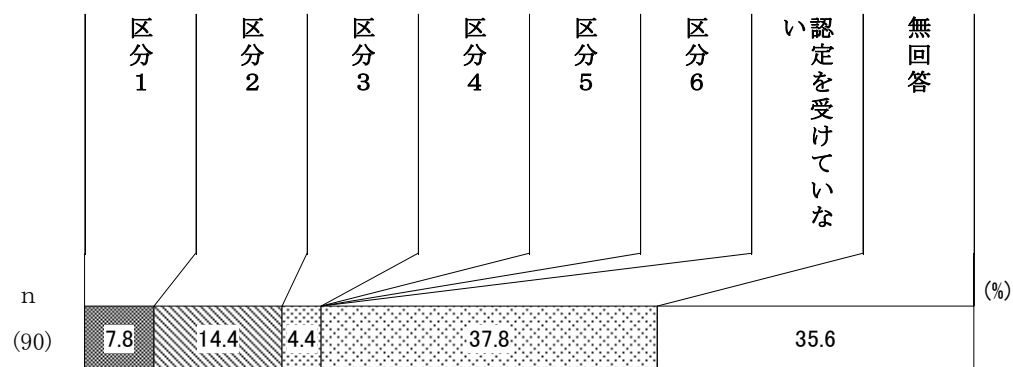
### (1) 障害程度区分の認定状況

問28 障害福祉サービスの必要量を決める障害程度区分は次のうちどれですか。[1つに○]  
【精神／問43】

#### 身体・知的・難病



#### 精神

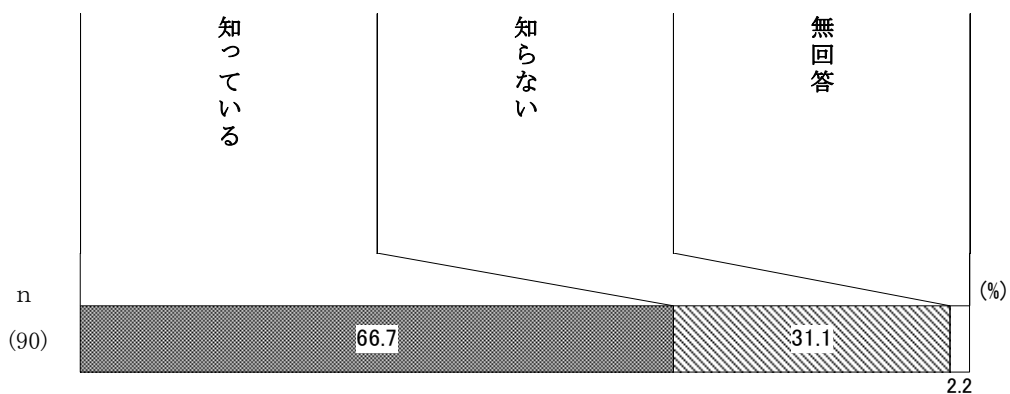


障害程度区分の認定状況は、「認定を受けていない」が身体障害者で4割台半ば、難病患者で5割台半ばとなっています。知的障害者では、「区分3」が1割台前半です。精神障害者では、「認定を受けていない」が3割台後半、「区分2」が1割台前半となっています。

(2) 居宅介護（ホームヘルプ）の認知状況

【精神疾患等調査のみ】

問44 食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）を実施していますが、ご存知ですか。[1つに○]

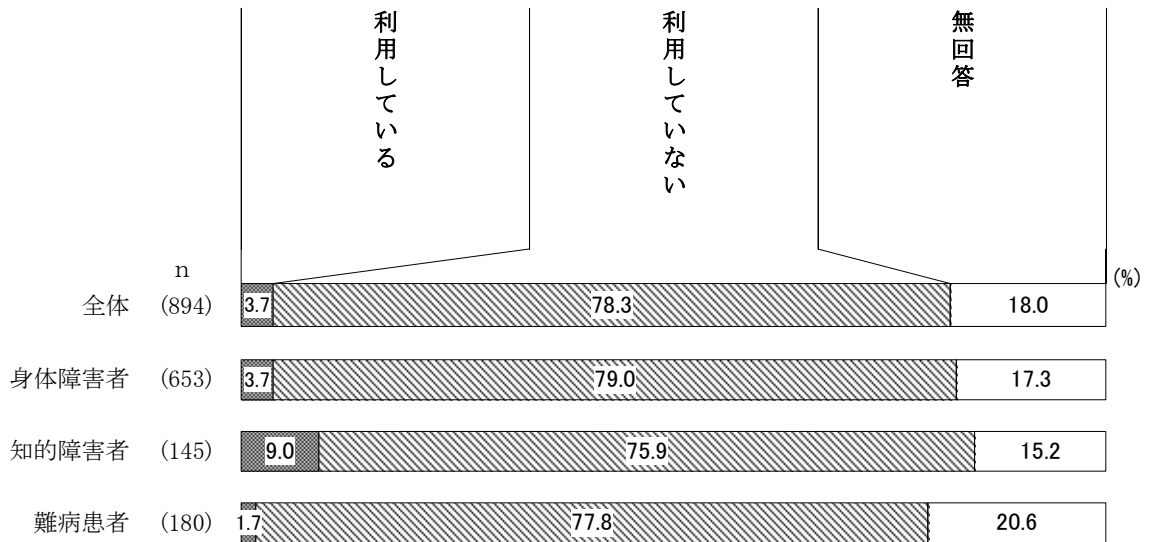


食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の認知状況は、6割台後半が「知っている」と回答し、「知らない」は3割台前半となっています。

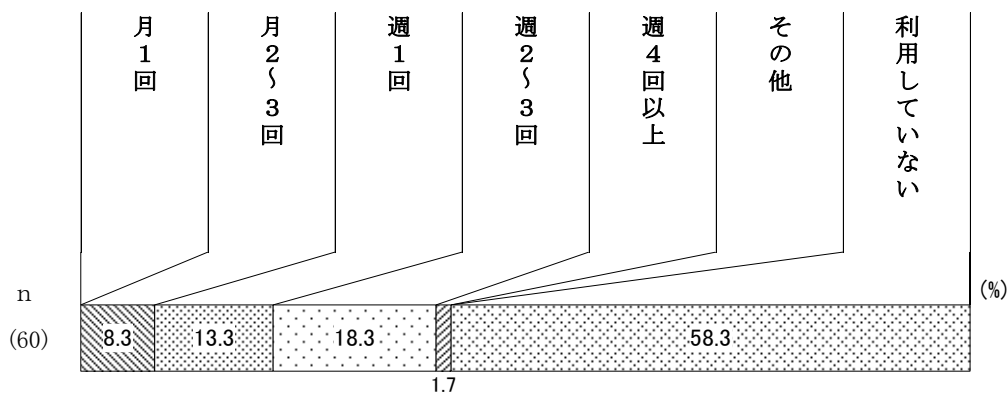
(3) 居宅介護（ホームヘルプ）の利用の有無

問29 自宅で、食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についておたずねします。[1つに○]【精神／問44-1】

身体・知的・難病



精神



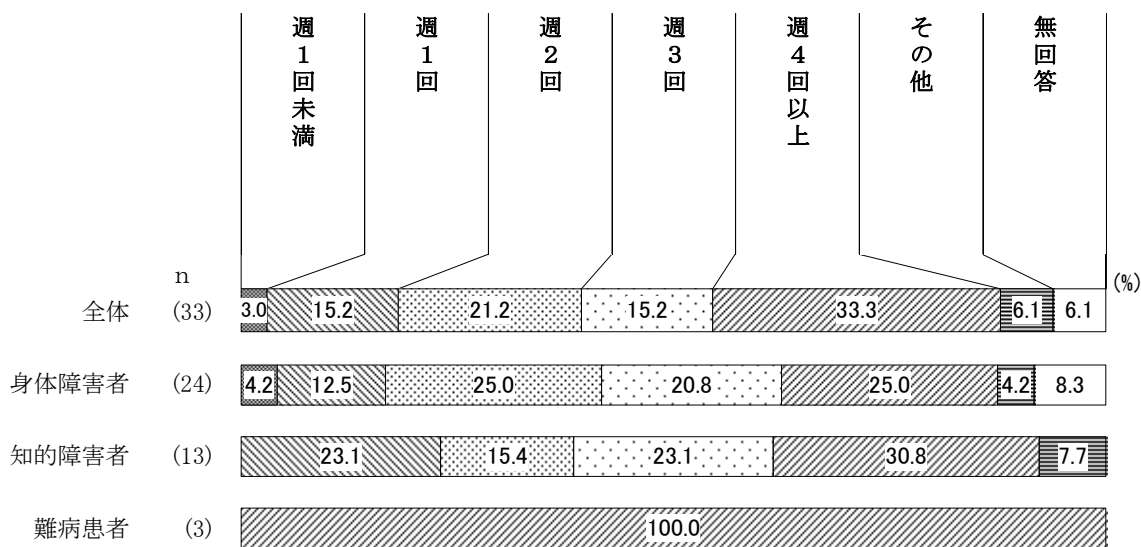
居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況は、身体・知的・難病患者では、7割台後半が「利用していない」と回答し、「利用している」は1割未満となっています。精神障害者では、「週2〜3回」が1割台後半、次いで「週1回」「月2〜3回」が1割未満となっています。一方、5割台後半が「利用していない」と回答しています。

(4) 利用頻度

【身体・知的・難病調査のみ】

問29で「1. 利用している」と答えた方におたずねします。

問29-1 どの程度利用していますか。[1つに○]

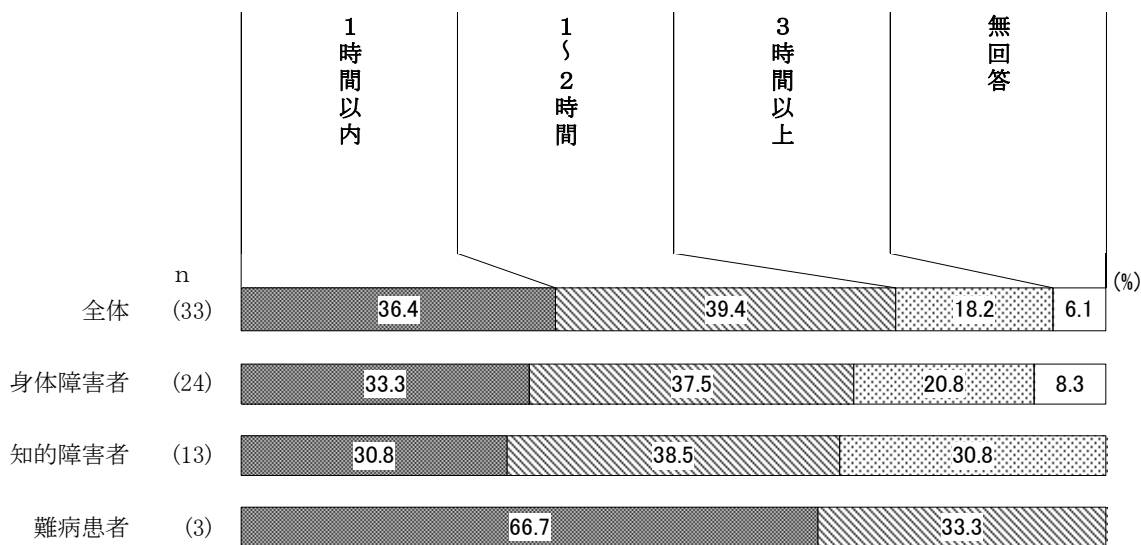


利用頻度は、身体障害者で「週2回」「週4回以上」が2割台半ば、「週3回」が2割となっています。

(5) 1回当たりの平均利用時間

【身体・知的・難病調査のみ】

問29-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[1つに○]

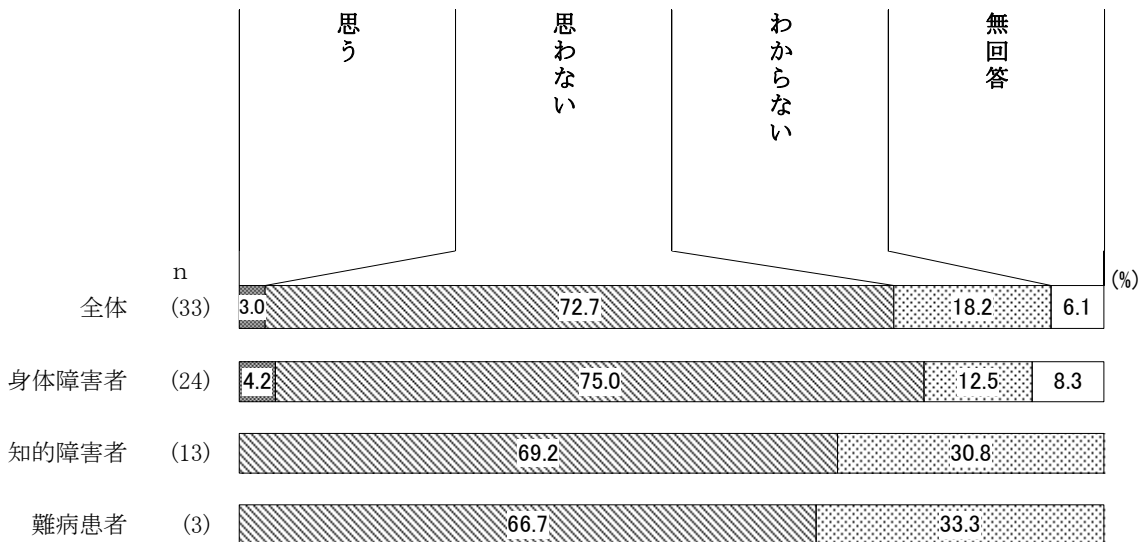


1回当たりの平均利用時間は、身体障害者で「3時間以上」が2割、「1~2時間」が3割台後半、「1時間以内」が3割台前半となっています。

(6) 居宅介護提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問29-3 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに○]



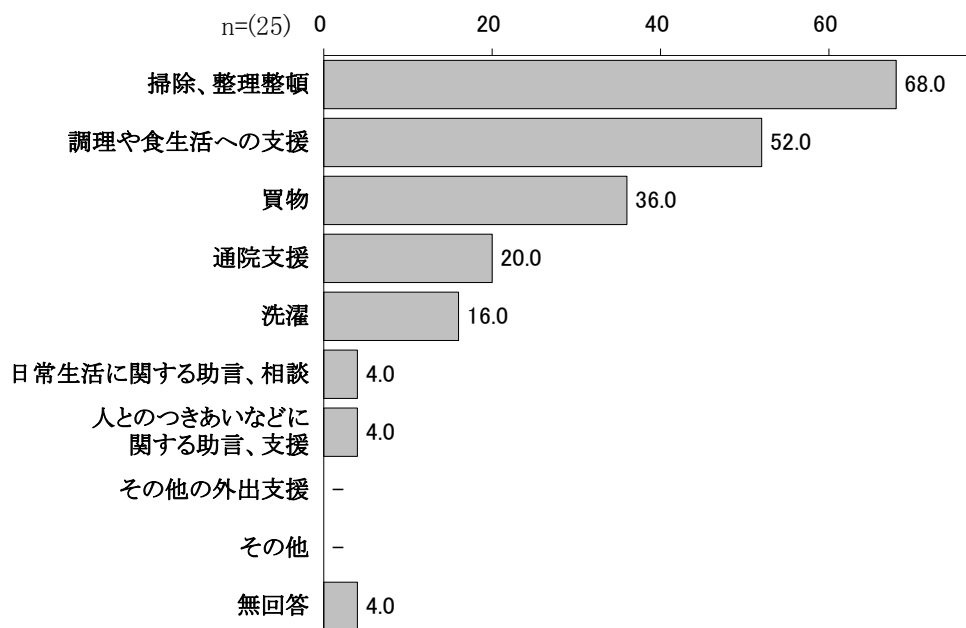
居宅介護（ホームヘルプ）を提供しているサービス提供事務所の今後の変更については、身体障害者で7割台半ばが「思わない」と回答しています。

(7) 利用している居宅サービスの内容

【精神疾患等調査のみ】

問44-1で、居宅サービスを利用していると答えた方におたずねします。

問44-1-1 利用しているサービスの内容は何ですか。[いくつでも○]



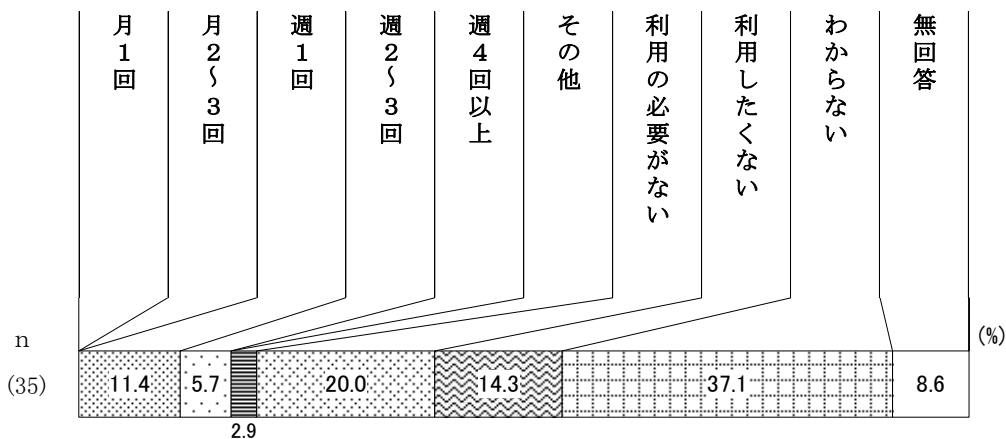
利用している居宅サービスの内容は、「掃除、整理整頓」が6割台後半で最も多く、次いで「調理や食生活への支援」が5割台前半、「買物」が3割台更新と続いています。

(8) 今後の居宅サービス利用意向

【精神疾患等調査のみ】

問44-1で、居宅サービスを利用していないと答えた方におたずねします。

問44-1-2 今後、居宅介護（ホームヘルプ）をどの程度、利用したいと思いますか。[1つに○]

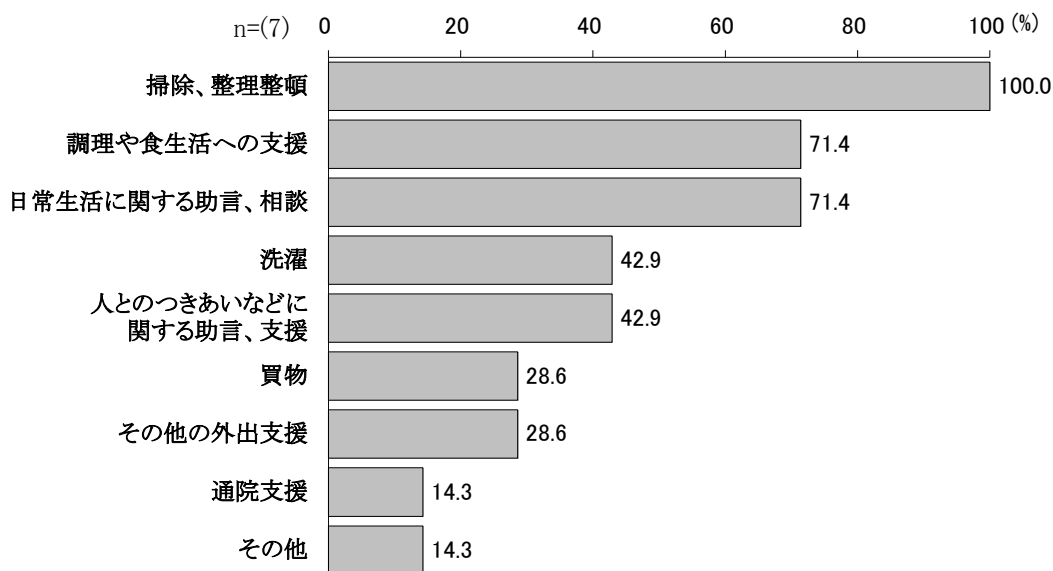


現在、居宅サービスを利用していないと回答した方の今後の利用意向は、「週1回」が1割台前半、「週2～3回」と続いています。一方、「利用の必要がない」が2割、「利用したくない」が1割台前半となっています。

(9) 利用したいサービスの内容

【精神疾患等調査のみ】

問44-1-3 利用したいと思う場合のサービスの内容は何ですか。[いくつでも○]

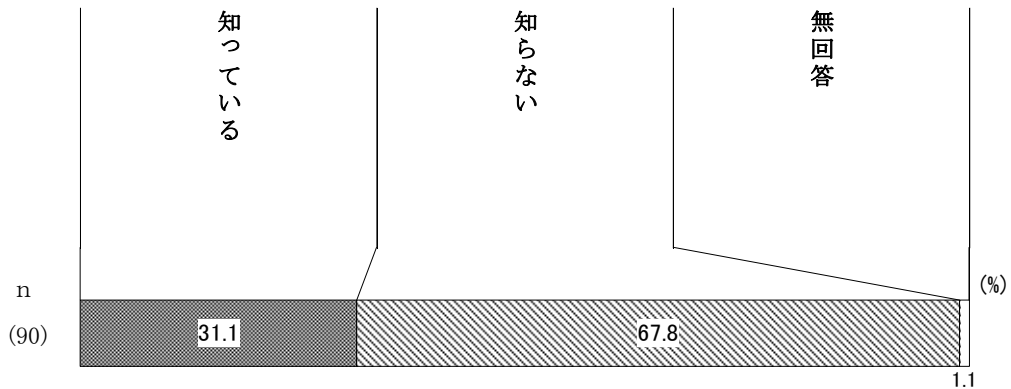


※回答数が少ないため、参考にとどめる。

(10) ショートステイの認知状況

【精神疾患等調査のみ】

問45 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」を実施しています。あなたはご存知ですか。[1つに○]

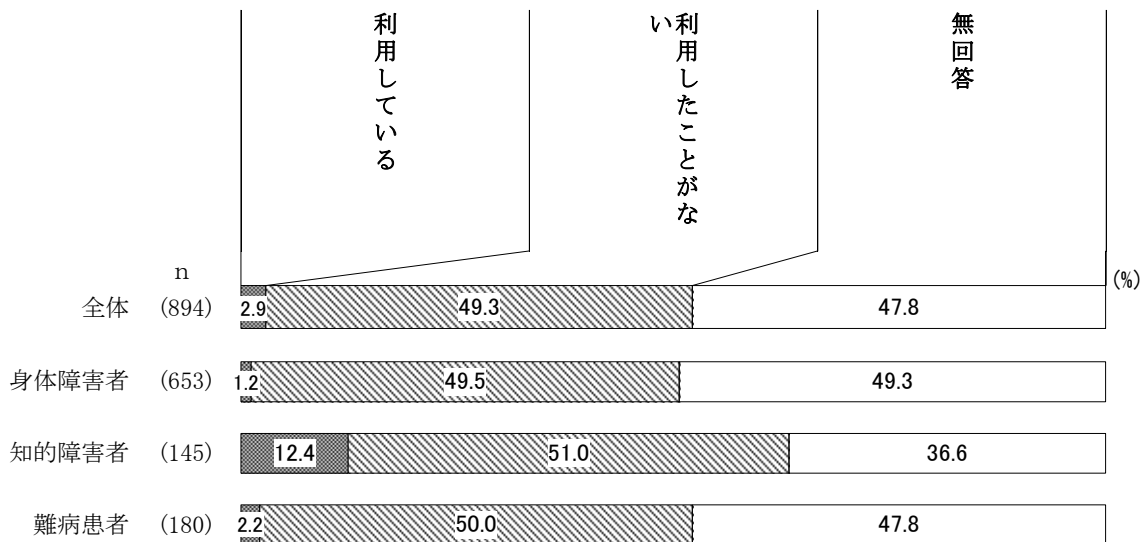


家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」の認知状況は、「知っている」が3割台前半、「知らない」が6割台後半で「知らない」の割合が多くなっています。

(11) 短期入所（ショートステイ）の利用の有無

問30 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際のサービスである短期入所（ショートステイ）の利用状況についておたずねします。[1つに○]

身体・知的・難病



短期入所（ショートステイ）の利用状況は、「利用している」は知的障害者で1割台前半となっています。

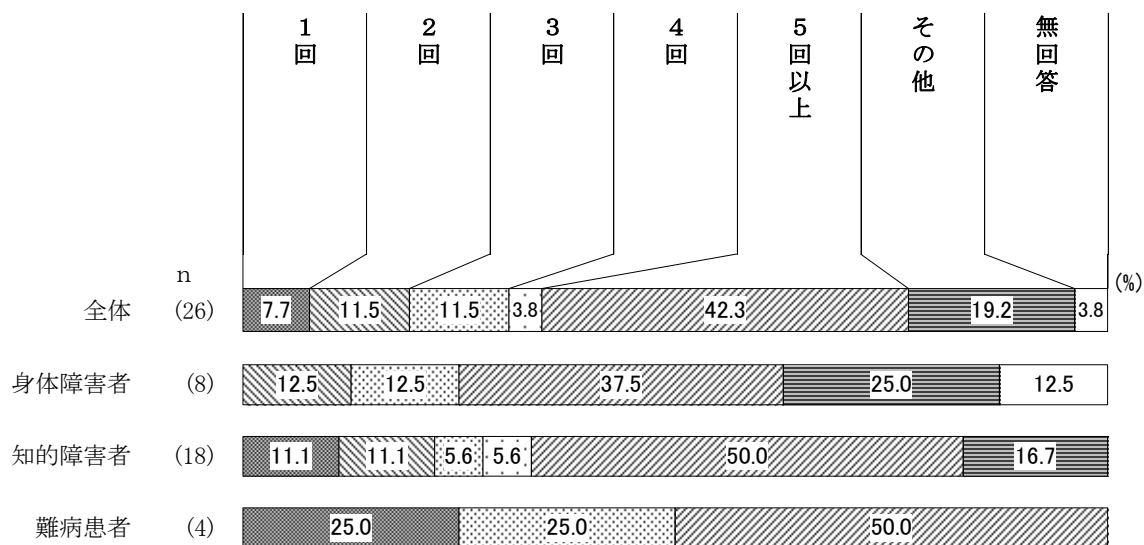


(12) 1年間のショートステイの利用回数

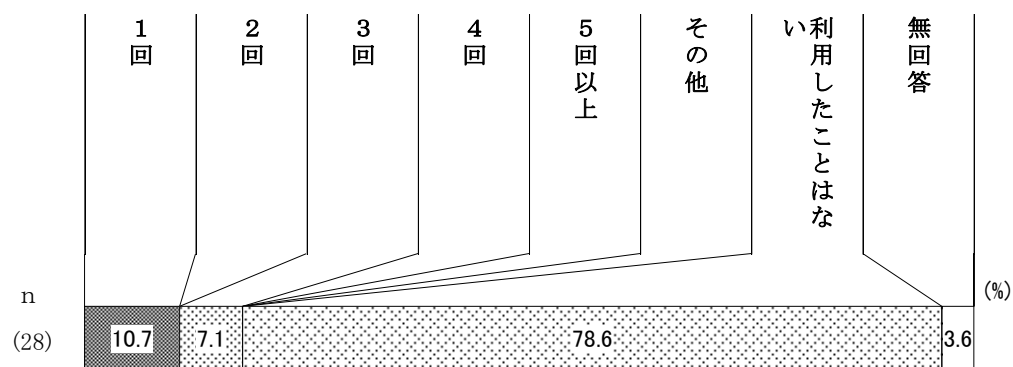
問30で「1. 利用している」と答えた方におたずねします。

問30-1 1年間に何回利用したことがありますか。[1つに○] 【精神/問45-1】

身体・知的・難病



精神

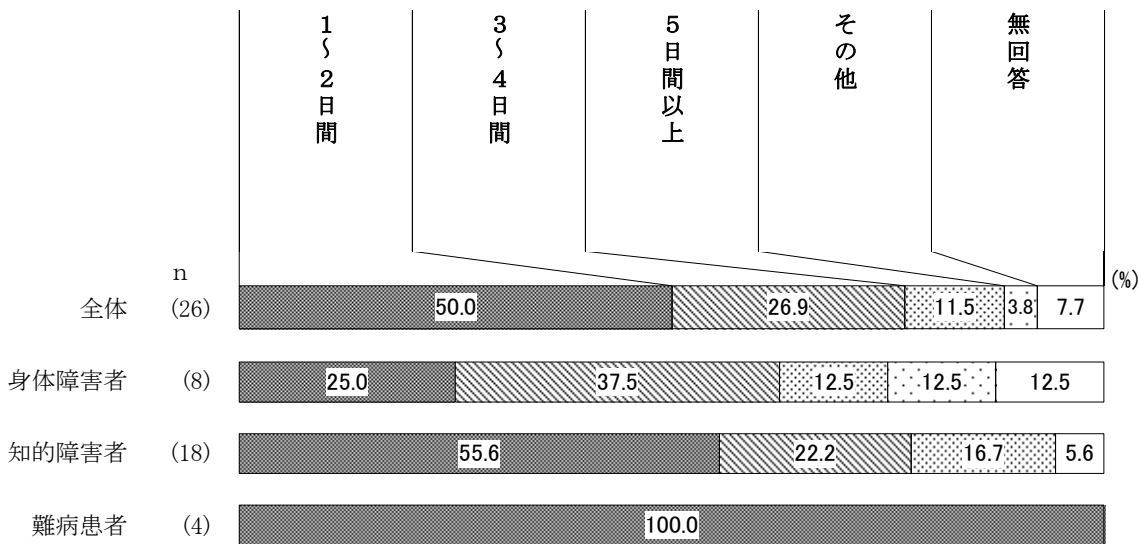


1年間のショートステイの利用回数は、身体・知的・難病患者では「5回以上」が4割台前半、「3回」「2回」と続いています。精神障害者では、「利用したことがない」が7割台後半、「1回」「3回」を合わせた利用者は1割台後半となっています。

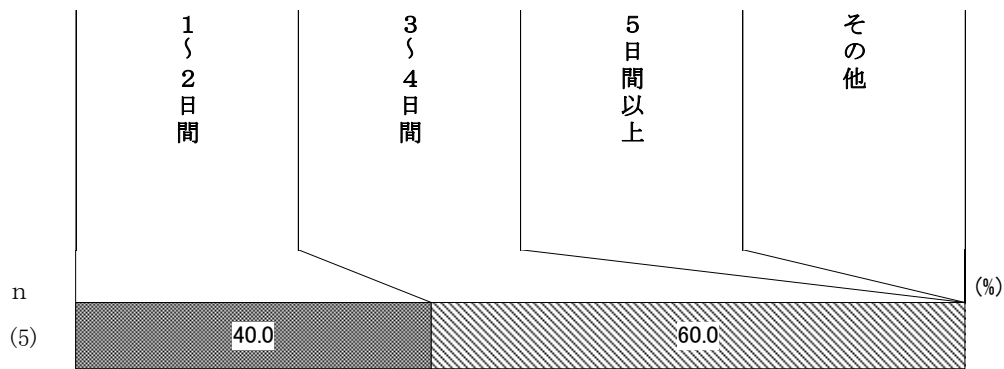
(13) ショートステイの平均利用日数（1回あたり）

問30-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[1つに○] 【精神/問45-2】

身体・知的・難病



精神



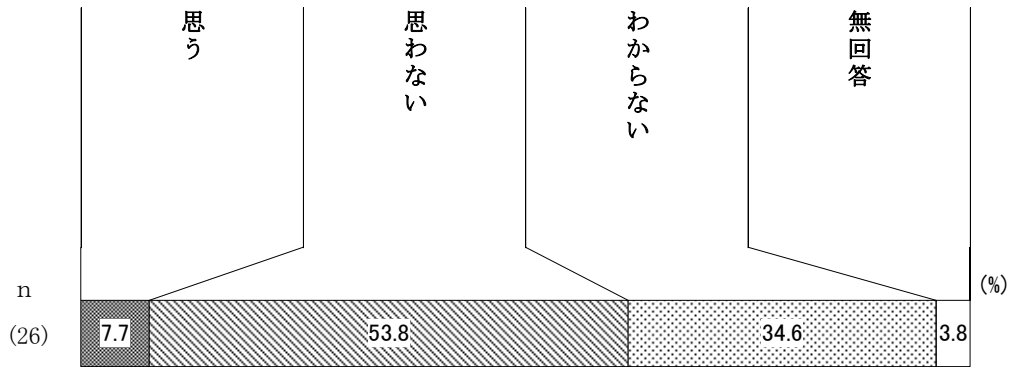
1回あたりの平均利用日数は、身体・知的・難病患者では、「1～2日間」が5割、「3～4日間」「5日間以上」と続いています。

(14) ショートステイの提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問30-3 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに○]

身体・知的・難病

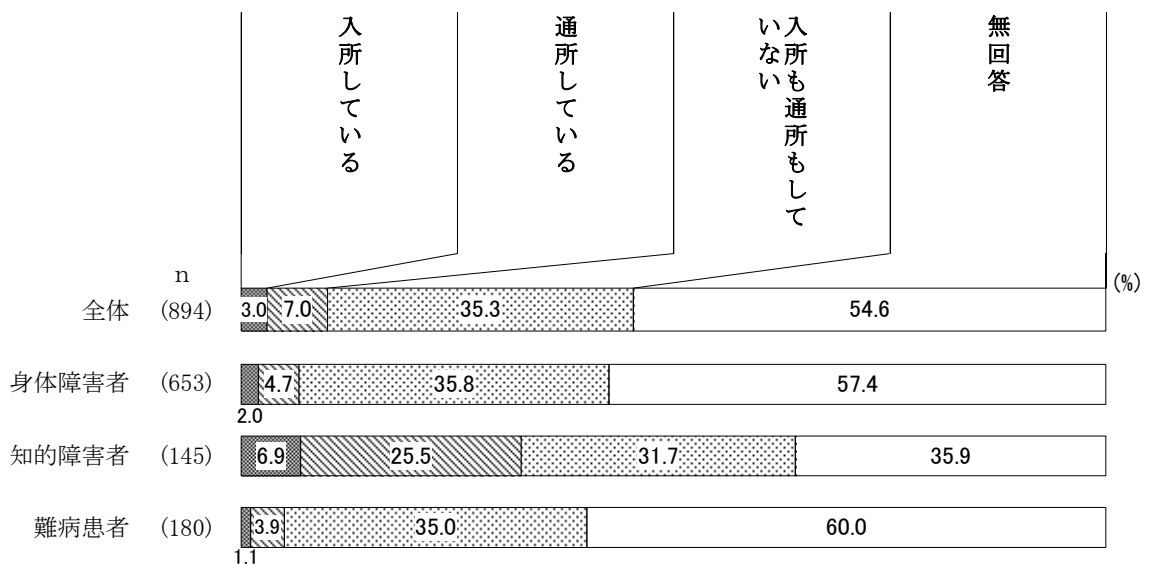


ショートステイの提供事務所の今後の変更意向は、「思わない」が5割前半、「思う」が1割未満、「わからない」が3割前半となっています。

(15) 施設の利用状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問31 施設の利用状況についておたずねします。[1つに○]



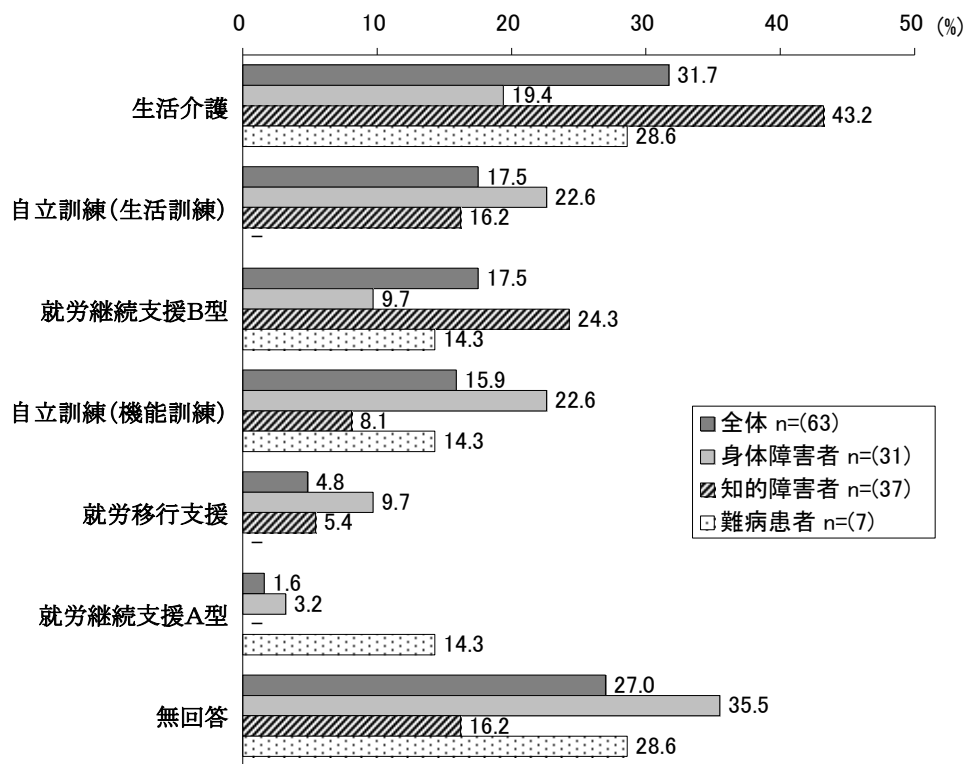
施設の利用状況は、「入所も通所もしていない」が3割台で最も多くなっています。知的障害者では、「通所している」が2割台半ばとなっています。

(16) 現在利用しているサービス

【身体・知的・難病調査のみ】

問31で「2. 通所している」と答えた方におたずねします。

問31-1 現在利用しているサービスは何ですか。[いくつでも○]

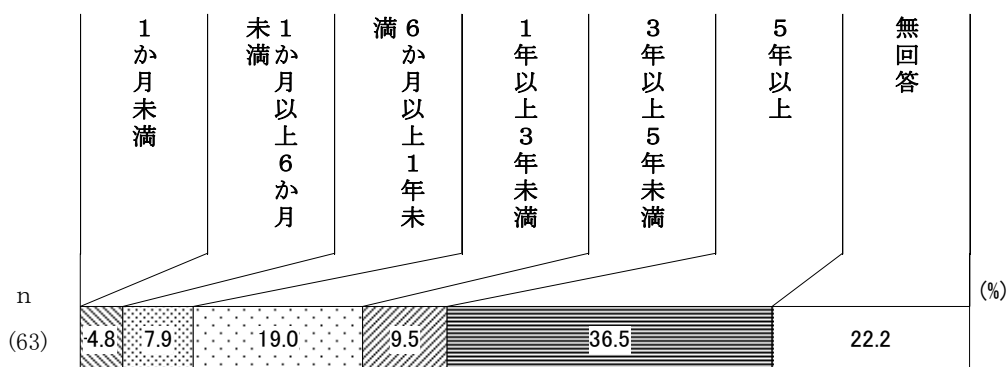


通所している方が利用しているサービスは、知的障害者で「生活介護」が4割台前半で特に多く、身体障害者で「自立訓練（生活訓練）」「自立訓練（機能訓練）」が2割台前半で多くなっています。

(17) 利用を始めてからの期間

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-2 利用を始めてからどの程度の期間利用していますか。[1つに○]

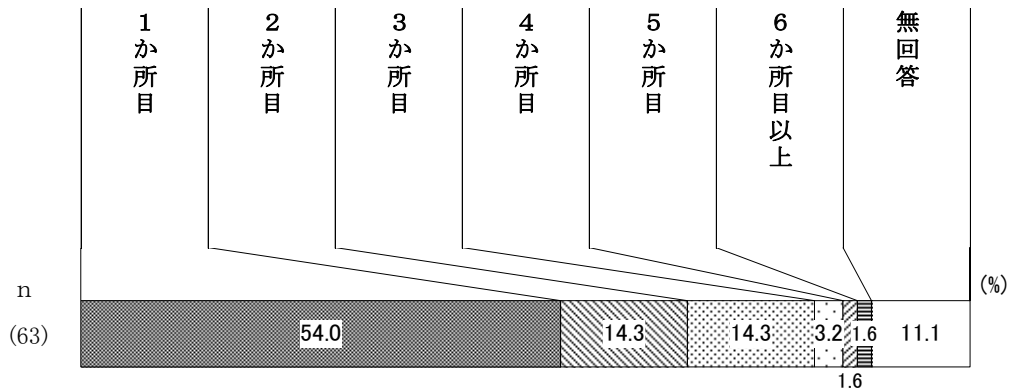


利用を始めてからの期間は、「5年以上」が3割台後半と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が約2割、「3年以上5年未満」が約1割となっています。

(18) 現在の通所先は何か所目にあたるか

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-3 現在の通所先は何か所目ですか。[1つに○]

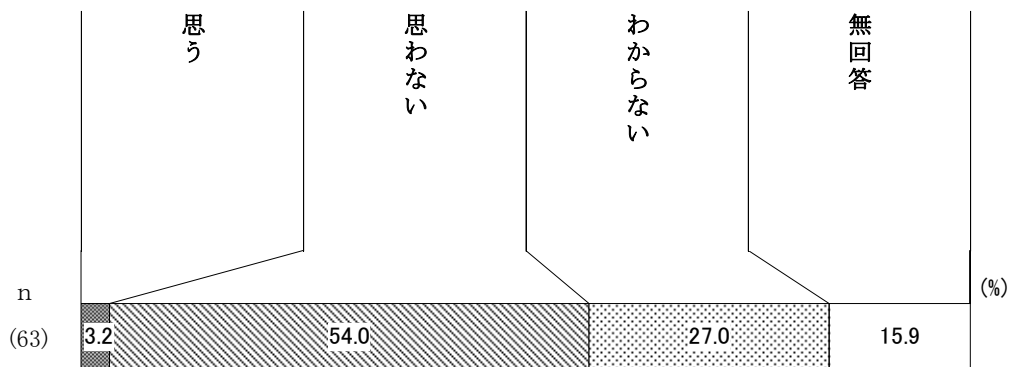


現在の通所先は、「1か所目」が5割台前半、「2か所目」「3か所目」が1割台前半と続いています。

(19) サービス提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-4 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに○]

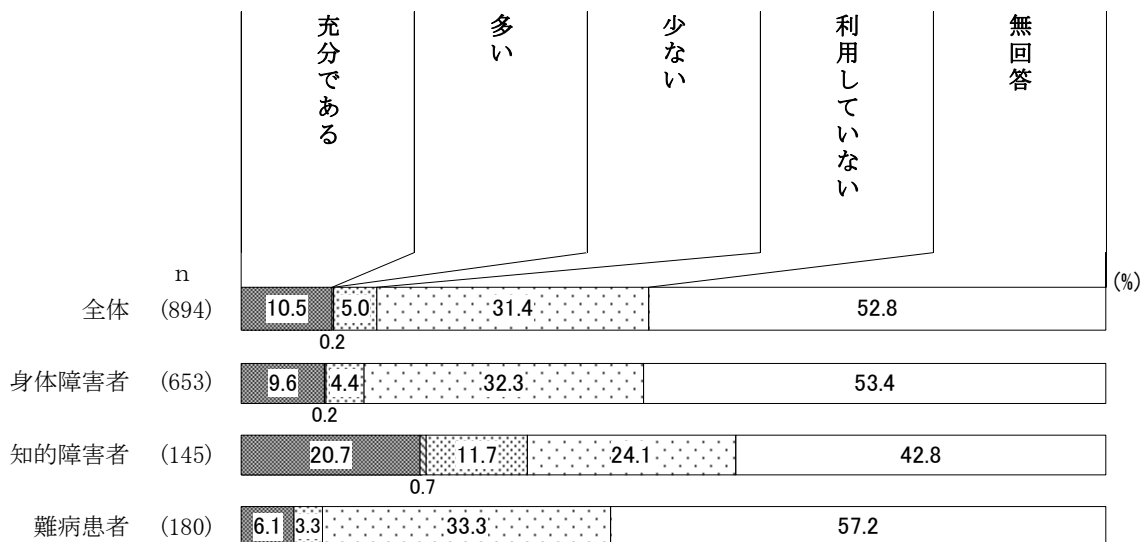


サービス提供事務所の今後の変更意向は、「思わない」が5割台前半と最も多く、「思う」は3.2%、「分からない」が2割台後半となっています。

(20) 障害者総合支援制度全般について、現在利用しているサービス量の過不足

【身体・知的・難病調査のみ】

問32 障害者総合支援制度全般について、現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[1つに○]

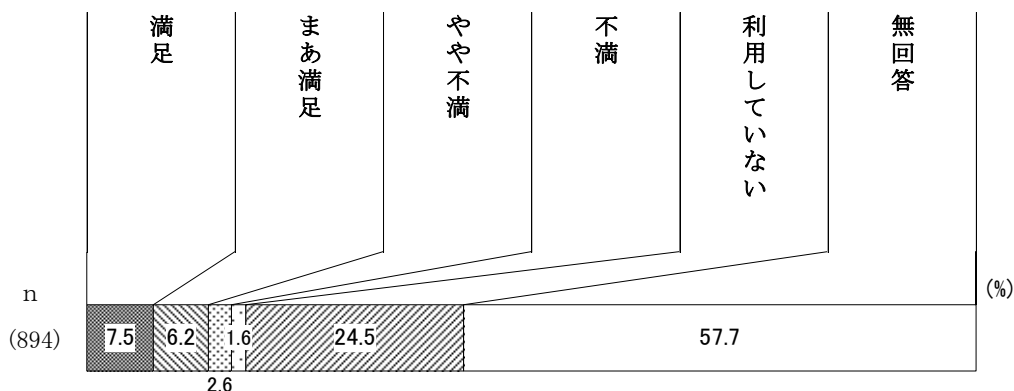


障害者総合支援制度全般について、現在利用しているサービス量の過不足については、「充分である」が知的障害者で2割と多くなっています。

(21) 現在、利用しているサービス提供事業者の満足度

【身体・知的・難病調査のみ】

問33 現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者には満足していますか。[1つに○]

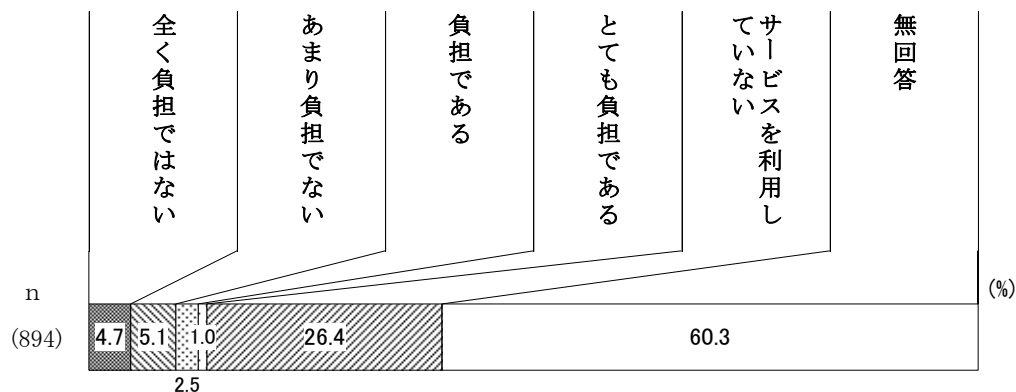


現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者への満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた<満足>は1割前半、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は1割未満と低い割合で、「利用していない」が2割前半となっています。

(22) 現在支払っているサービス利用料の負担感

【身体・知的・難病調査のみ】

問34 現在支払っているサービス利用料の負担感についておたずねします。[1つに○]



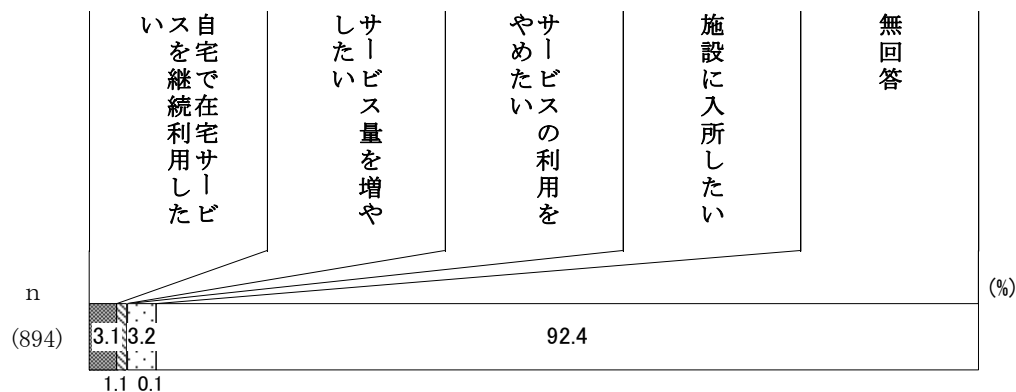
現在支払っているサービス利用料の負担感は、「全く負担ではない」と「あまり負担ではない」を合わせた<負担ではない>が約1割で、「負担である」と「とても負担である」を合わせた<負担である>はわずか3.5%と低く、「サービスを利用していない」が2割台後半となっています。

## 10. 在宅でサービスを利用している方の今後の利用意向

### (1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問35 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]



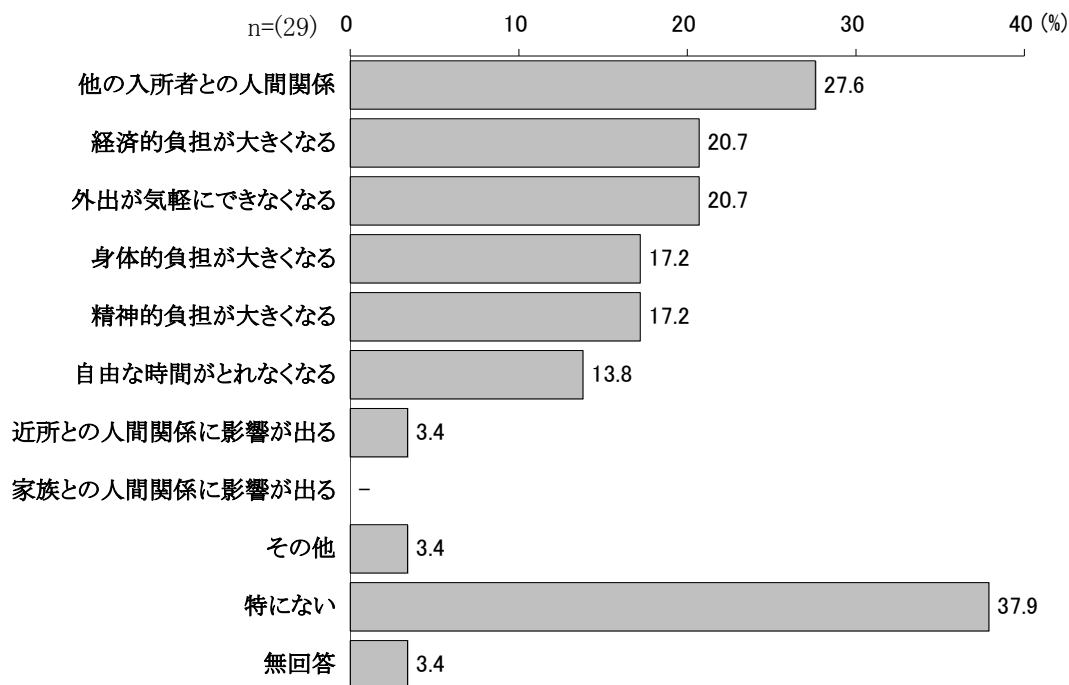
※無回答が多いため参考にとどめる。

### (2) 施設でのサービスに変更する際の不安

【身体・知的・難病調査のみ】

問35で「4. 施設に入所したい」と答えた方におたずねします。

問35-1 施設でのサービスに変更するにあたって不安などはありますか。[いくつでも○]



施設に入所希望の方が施設でのサービスに変更する際の不安は、「他の入所者との人間関係」が2割台後半と最も多く、次いで「経済的負担が大きくなる」「外出が気軽にできなくなる」が約2割、「身体的負担が大きくなる」「精神的負担が大きくなる」と続いています。一方、3割台後半が「特にない」と回答しています。

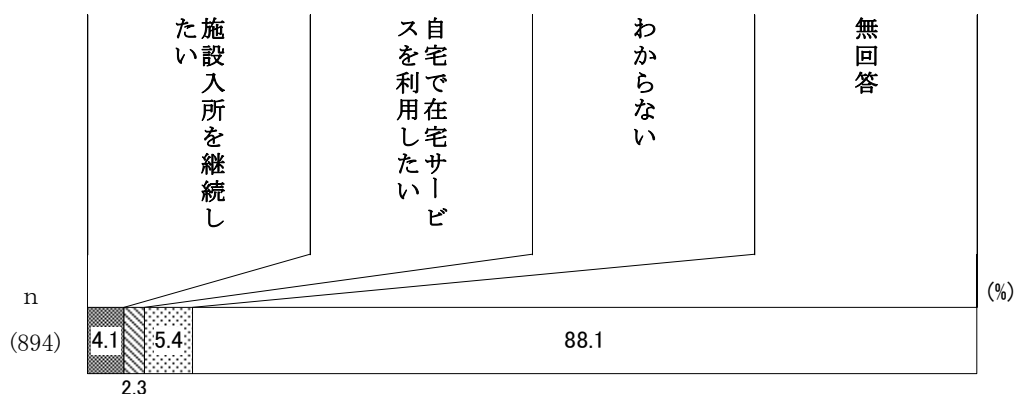


## 11. 施設でサービスを利用している方の今後の利用意向

### (1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問36 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]



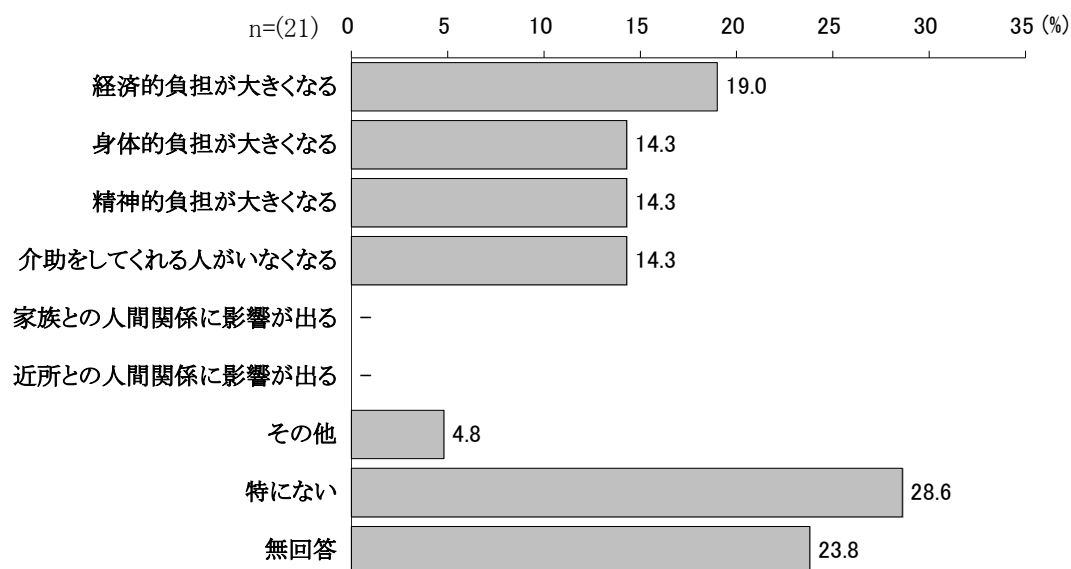
※無回答が多いため参考にとどめる。

### (2) 在宅でのサービスに変更する際の不安

【身体・知的・難病調査のみ】

問36で「2. 自宅で在宅サービスを利用したい」と答えた方におたずねします。

問36-1 在宅でのサービスに変更するにあたって、不安などはありますか。[いくつでも○]



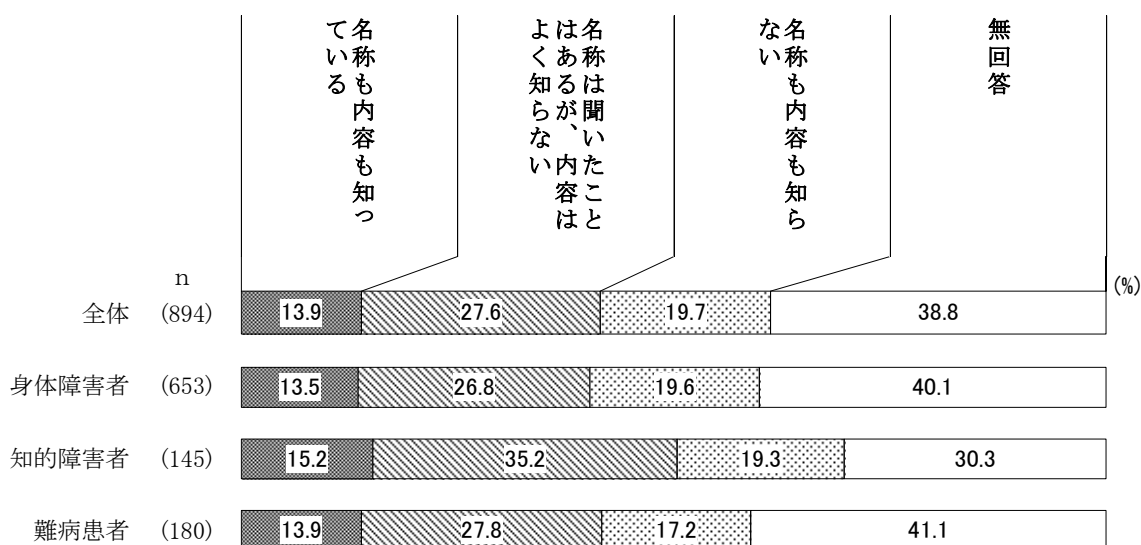
施設でサービスを利用している方が在宅でのサービスに変更する際の不安は、「経済的負担が大きくなる」が約2割、「身体的負担が大きくなる」「精神的負担が大きくなる」「介助をしてくれる人がいなくなる」と続いています。一方、「特にない」が2割台後半となっています。

## 12. その他の福祉サービスについて

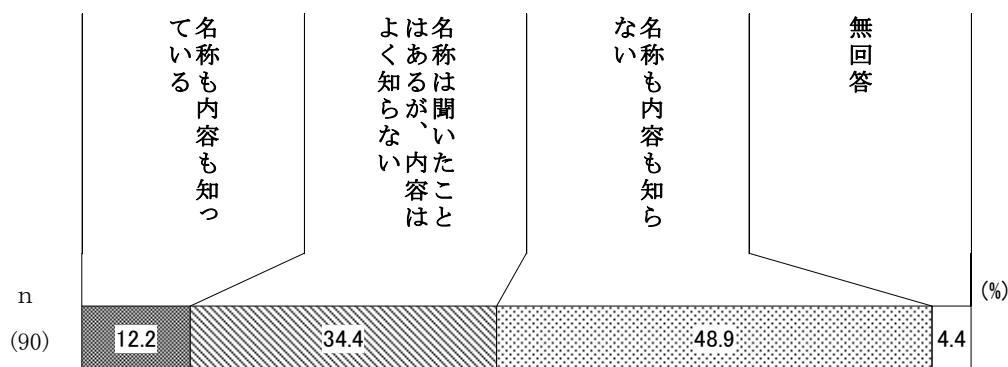
### (1) 「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」の認知状況

問37 判断能力が十分でない方の権利を擁護する事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知ですか。[1つに○] 【精神／問47】

#### 身体・知的・難病



#### 精神

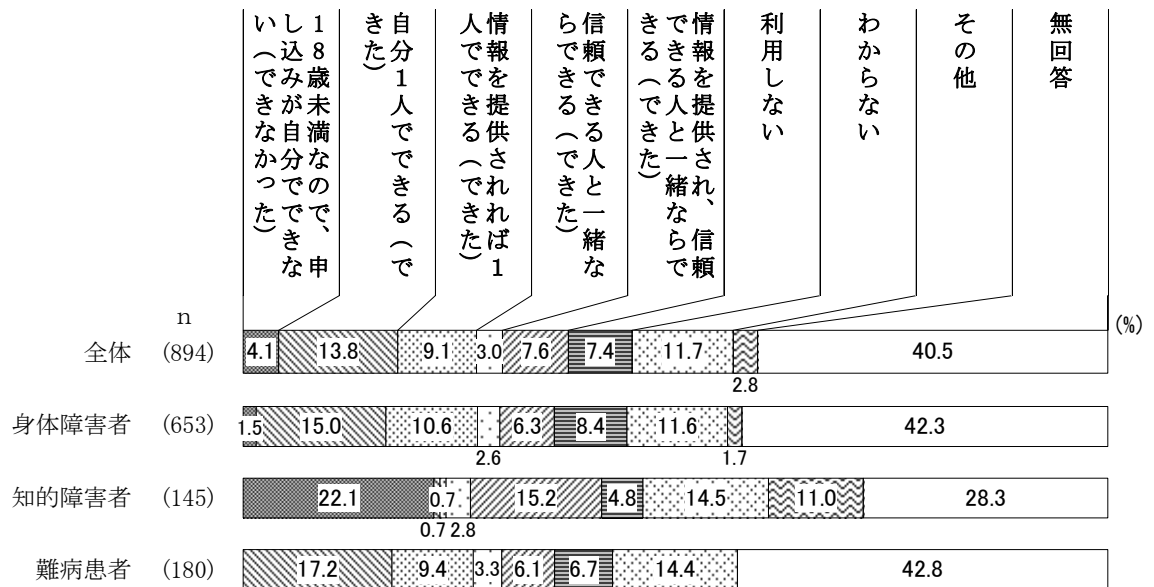


「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の認知状況は、身体・知的・難病患者では、「名前も内容も知っている」が1割台となっています。「名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は知的障害者で3割台半ば、身体・難病で2割台後半となっています。一方、「名前も内容も知らない」は1割台後半となっています。精神障害者では、「名前も内容も知っている」が1割台前半、「名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が3割台前半となっており、「名前も内容も知らない」は4割台後半となっています。

(2) サービス申し込みの手続きを自力で可能かどうか

【身体・知的・難病調査のみ】

問38 福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム・ケアホーム、ショートステイなどを利用する際にサービスの申し込みが必要になりますが、あなたが直接申し込みをされる(された)場合、ご自身で手続きができますか(できましたか)。[1つに〇]

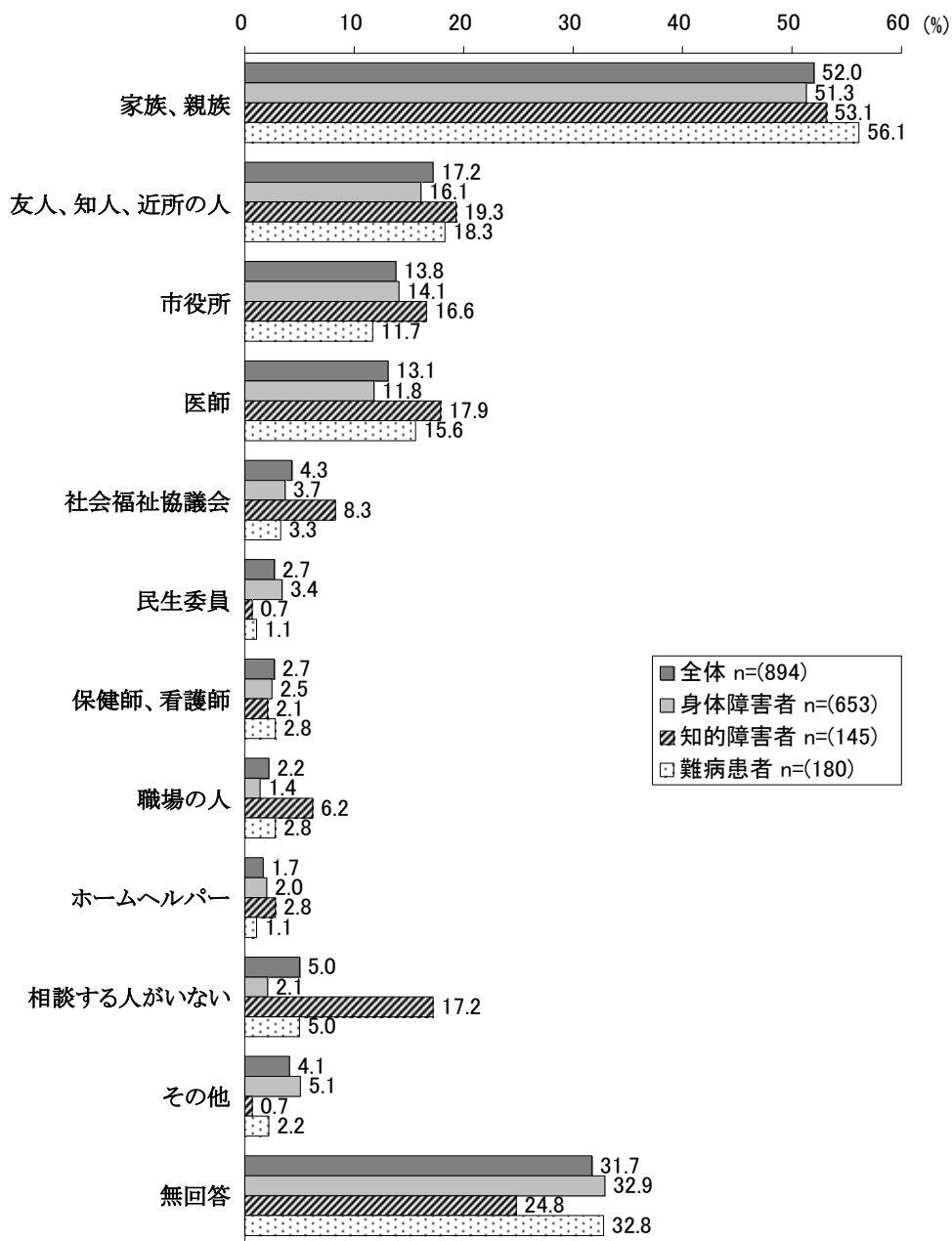


福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム・ケアホーム、ショートステイなどを利用する際のサービスの申し込みについては、「自分1人でできる(できた)」が身体・難病で1割台となっています。知的障害者では、「18歳未満なので、申し込みが自分でできない(できなかった)」が2割台前半、「情報を提供され、信頼できる人と一緒ならできる(できた)」が1割台半ばとなっています。

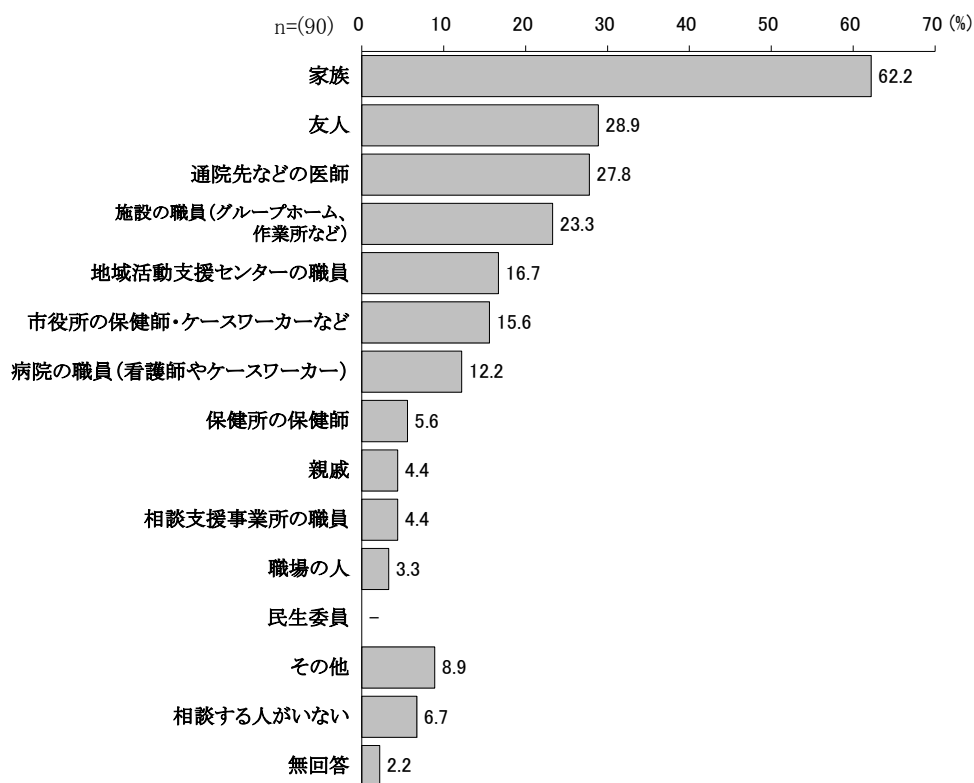
(3) 本人や介助者が生活上の悩みや困ったことを相談する先

問39 あなたや介助者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[いくつでも  
○]【精神／問48】

身体・知的・難病



精神

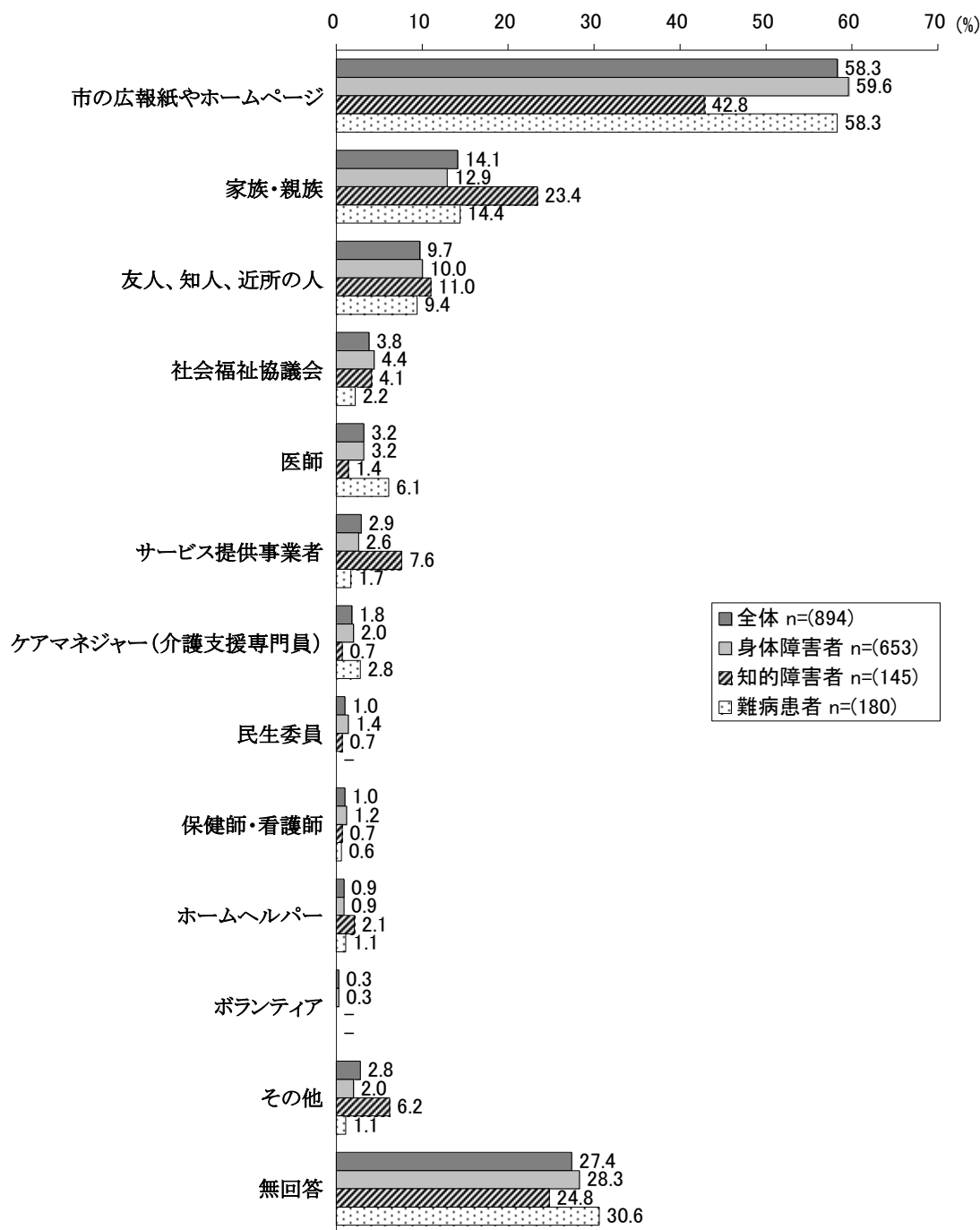


調査対象者や介助者の生活上の悩みや困ったことの相談先は、身体・知的・難病患者では「家族、親族」が5割台で最も多く、次いで「友人、知人、近所の人」「市役所」「医師」と続いています。また、知的障害者では「相談する人がいない」が1割台後半となっています。精神障害者では、「家族」が6割台前半で最も多く、次いで「友人」「通院先などの医師」「施設の職員（グループホーム、作業所など）」と続いています。

(4) 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することを知る手段

【身体・知的・難病調査のみ】

問40 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することは、主に何でお知りになりますか。[いくつでも○]

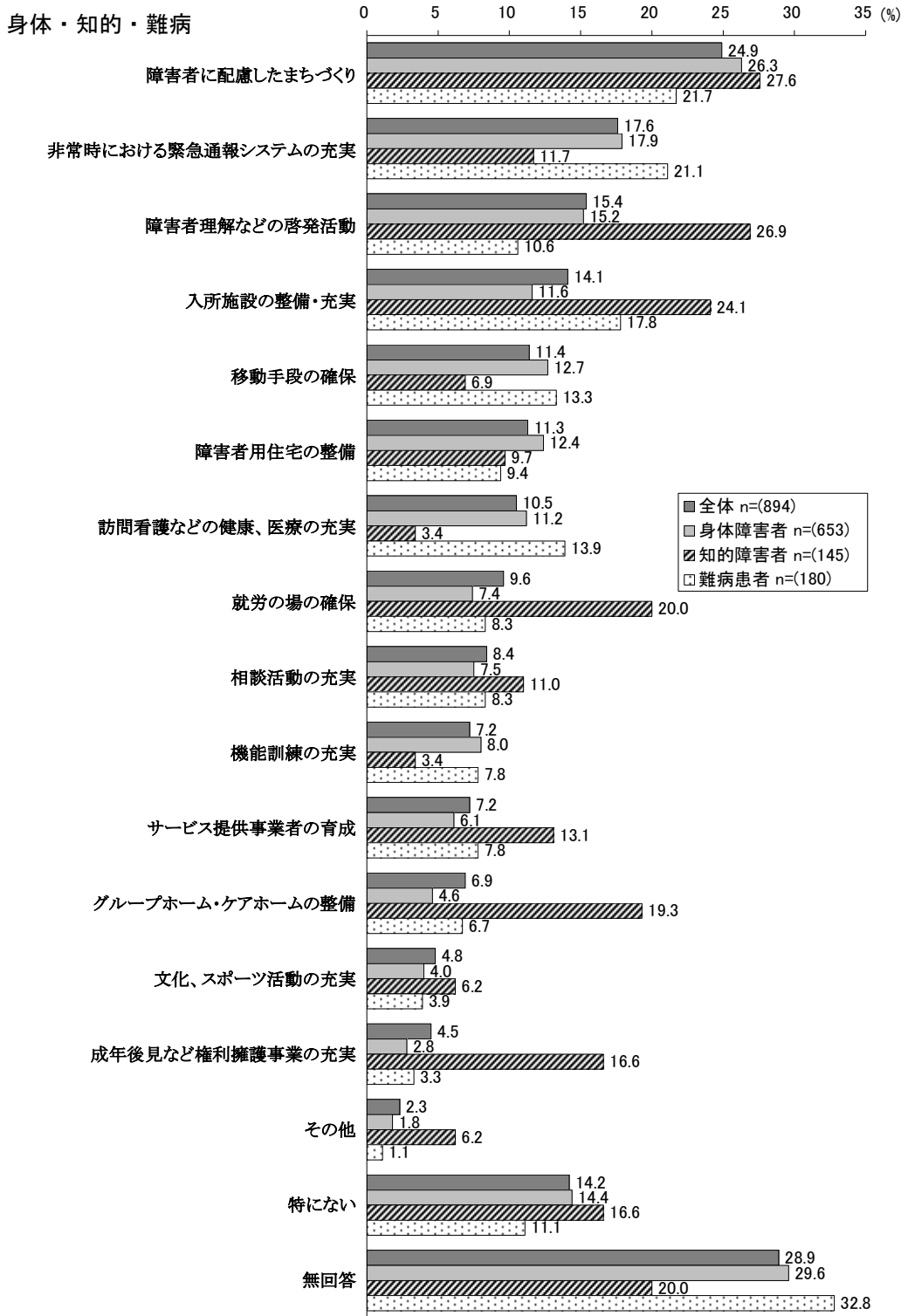


市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することを知る手段は、「市の広報紙やホームページ」が身体・難病で5割台後半と特に多くなっています。知的障害者では「家族・親族」が2割台前半です。

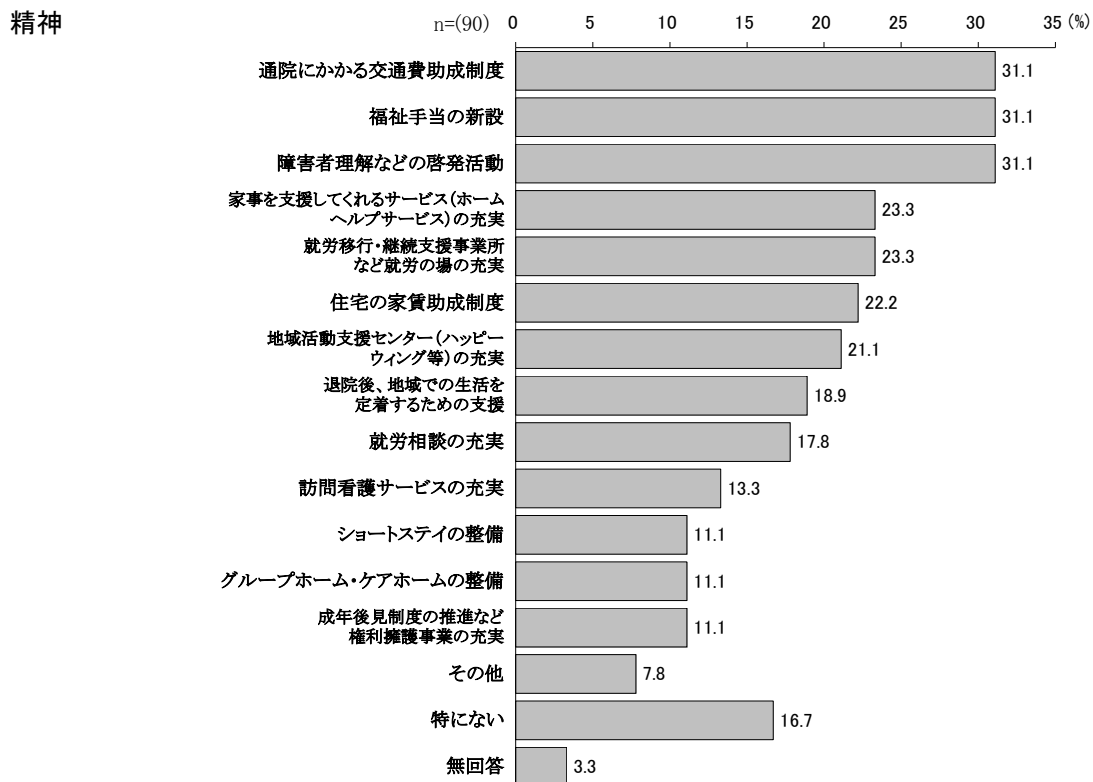
(5) 今後、市に期待すること

【身体・知的・難病調査のみ】

問41 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]【精神／問49】



### 第3章 障害者生活実態調査結果の詳細



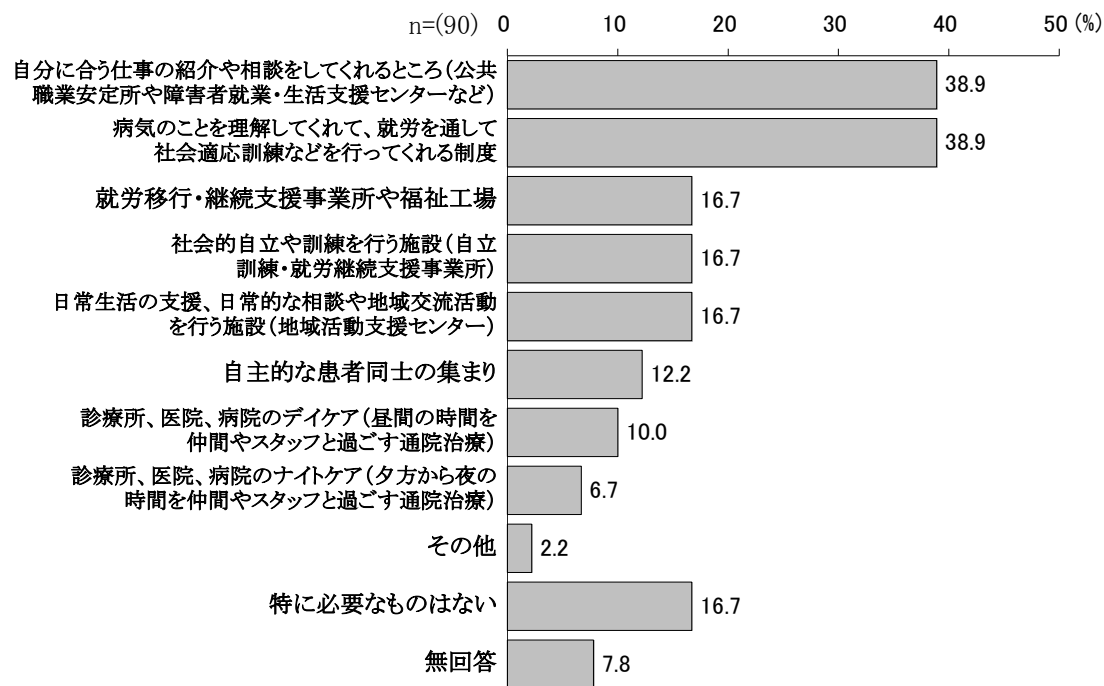
今後、市に期待することは、身体・知的・難病患者では「障害者に配慮したまちづくり」が2割台で最も多く、知的障害者では、「障害者理解などの啓発活動」「入所施設の整備・充実」「就労の場の確保」「グループホーム・ケアホームの整備」「成年後見など権利擁護事業の充実」が特に多くなっています。精神障害者では、「通院にかかる交通費助成制度」「福祉手当の新設」「障害者理解などの啓発活動」が多くなっています。



(6) 「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要なこと

【精神疾患等調査のみ】

問46 「働く場」や「活動の場」を充実させるため、あなたが必要と思うものは何ですか。  
[3つ以内に○]



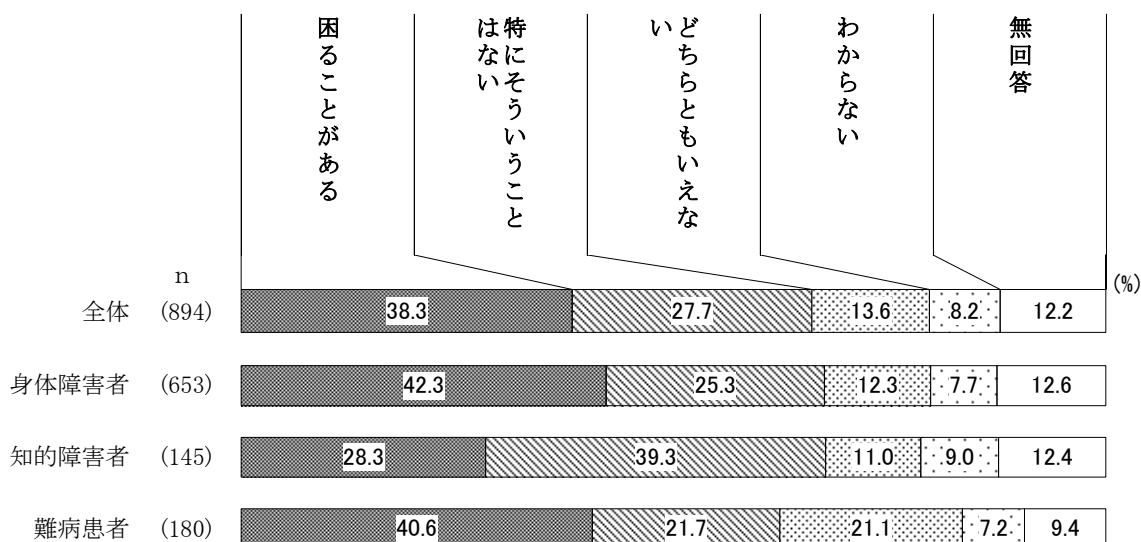
「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要と思うものは、「自分に向合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ(公共職業安定所や障害者就業・生活支援センターなど)」「病気のことを理解してくれて、就労を通して社会適応訓練などを行ってくれる制度」がともに3割台後半、「就労移行・継続支援事業所や福祉工場」「社会的自立や訓練を行う施設(自立訓練・就労継続支援事業所)」「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設(地域活動支援センター)」と続いています。一方、「特に必要なものはない」が1割台後半となっています。

### 13. 災害時の対応について

#### (1) 災害時、受診や診療を受けられない場合に健康上困ることの有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問42 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[1つに○]



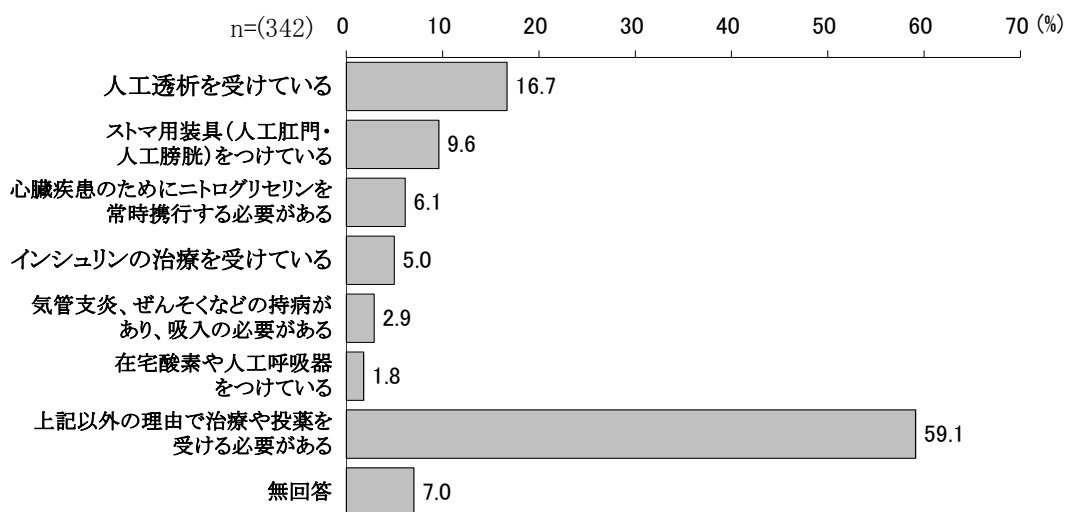
災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることの有無は、身体・難病で「困ることがある」が4割を超えています。

#### (2) 受診や治療を受けられない場合に困る理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問42で「1. 困ることがある」と答えた方におたずねします。

問42-1 それはどのような理由によるものですか。[いくつでも○]

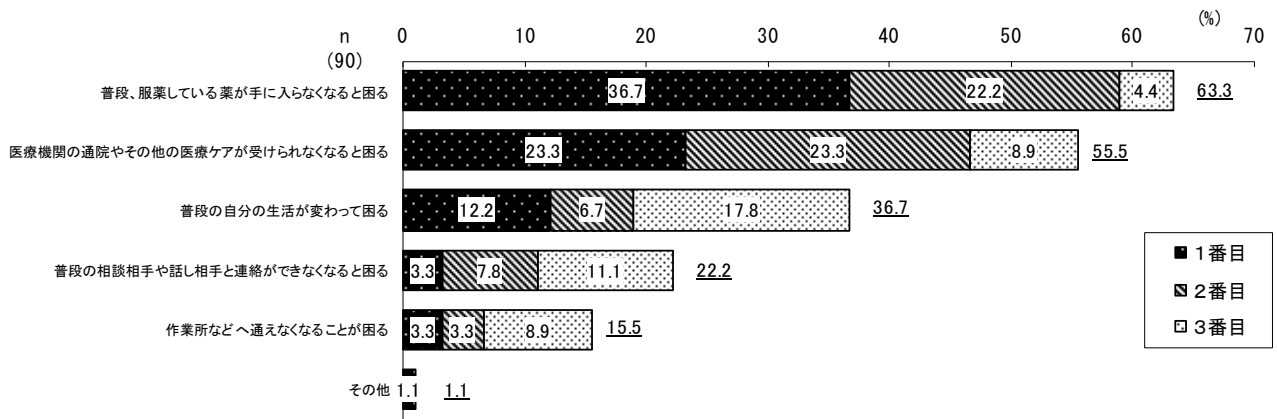


困る理由は、「人工透析を受けている」が1割台後半、「ストマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけている」が約1割となっています。また、「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」が約6割で最も多くなっています。

(3) 災害発生時に心身の健康面や生活面で困ること

【精神疾患等調査のみ】

問52 震災や水害などの災害発生時に、あなたは心身の健康面や生活面でどんなことに困ると思いますか。[最も困ると思われることから順に3つ以内]

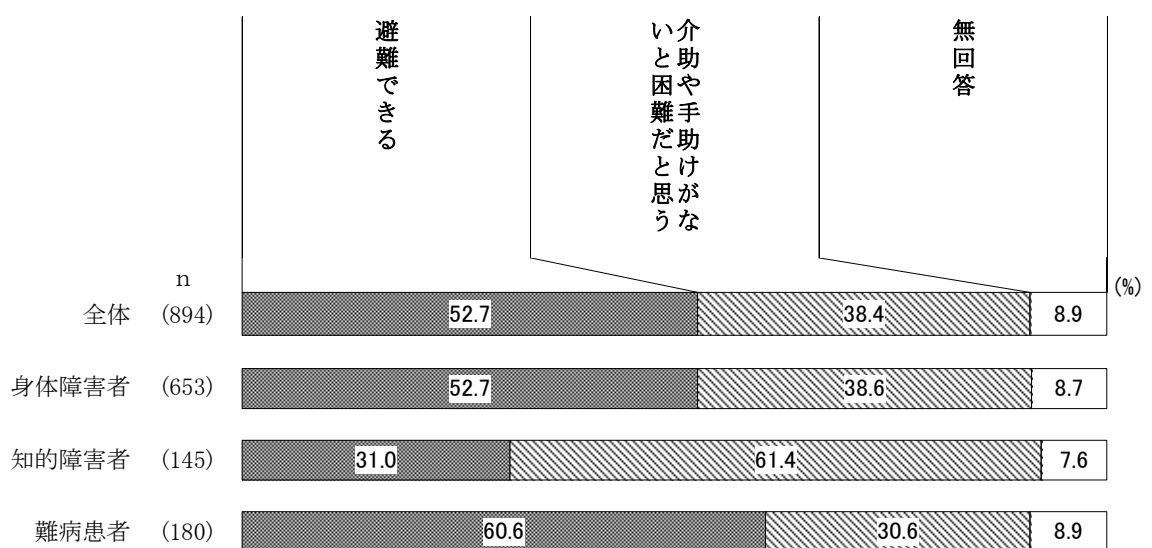


震災や水害などの災害発生時に、心身の健康面や生活面で困ることは、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が3割台後半、「医療機関の通院やその他の医療ケアが受けられなくなると困る」が2割台前半、「普段の自分の生活が変わって困る」が1割台前半と続いています。

(4) 災害発生時の自力で避難の可否

【身体・知的・難病調査のみ】

問44 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[1つに〇]



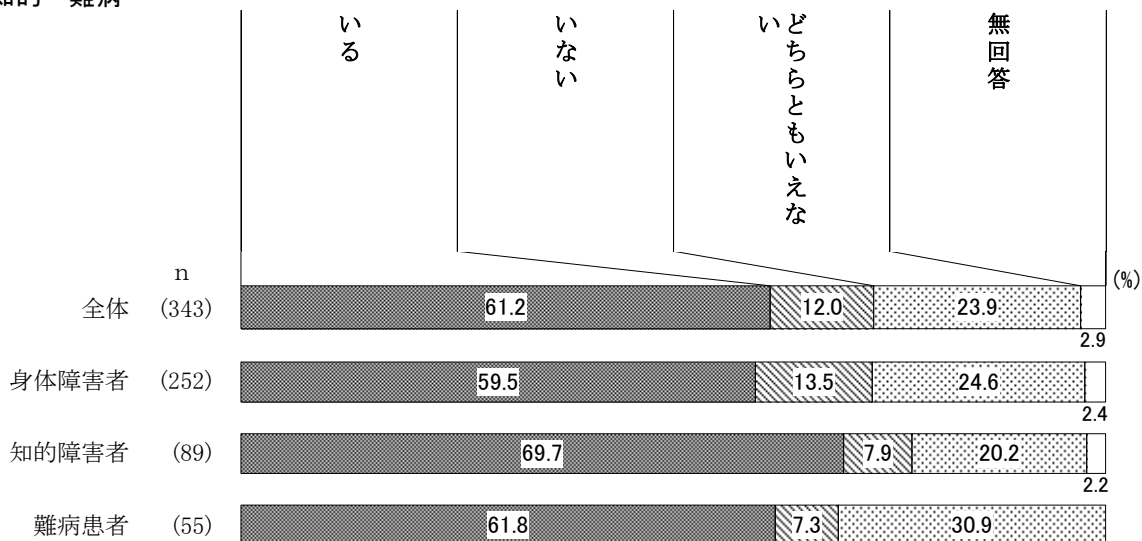
震災や水害などの災害発生時の自力での避難については、「避難できる」が難病患者で6割、身体障害者で5割台前半となっています。「介助や手助けがないと困難だと思う」は知的障害者で6割台前半となっています。

(5) 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けをしてくれる人の有無

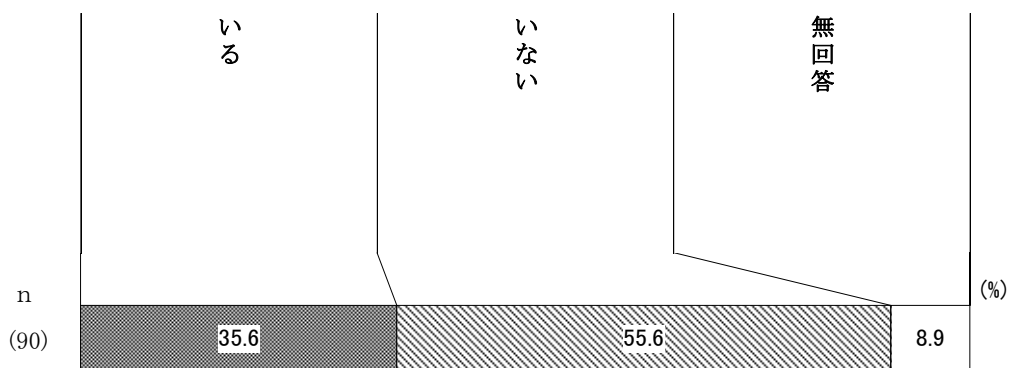
問44で「2. 介助や手助けがないと困難だと思う」と答えた方におたずねします。

問44-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。[1つに○]【精神/問50】

身体・知的・難病



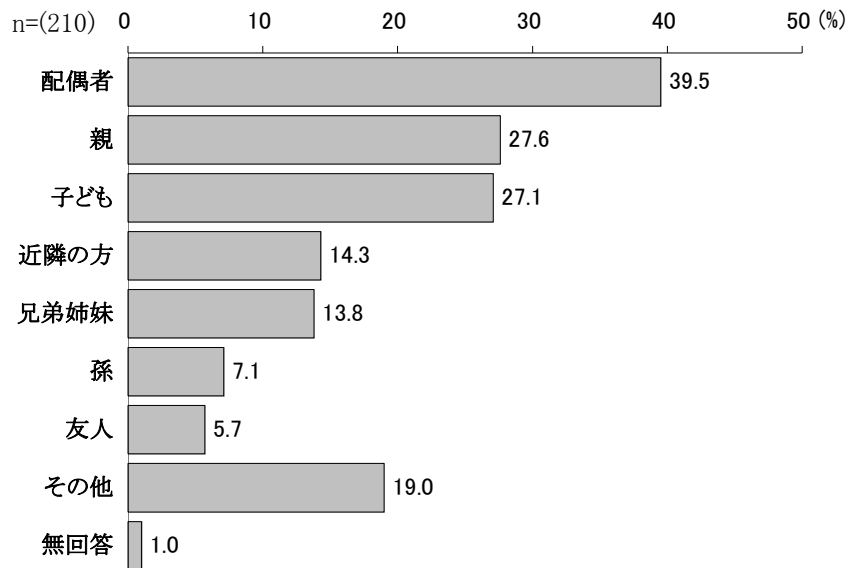
精神



災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人については、「いる」が知的障害者で6割台後半、身体・難病で6割前後となっています。「いない」は身体障害者で1割台前半です。精神障害者では、「いない」が5割台半ば、「いる」が3割台前半で「いない」の割合が多くなっています。

(6) 避難時に身近に助けをしてくれる人

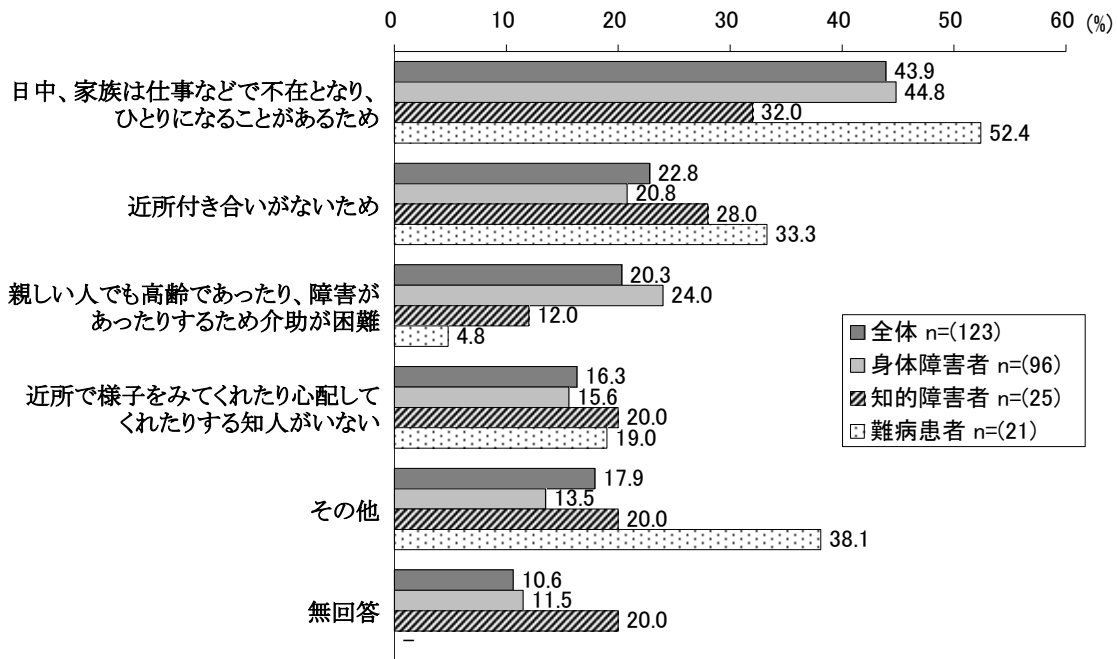
【身体・知的・難病調査のみ】  
 問44-1-1 (問44-1で「1. いる」と答えた方におたずねします。) それは誰ですか。[いくつでも○]



避難時に身近に手助けをしてくれる人は、「配偶者」が約4割、「親」「子ども」がそれぞれ2割台後半となっています。

(7) 手助けがない、どちらともいえない理由

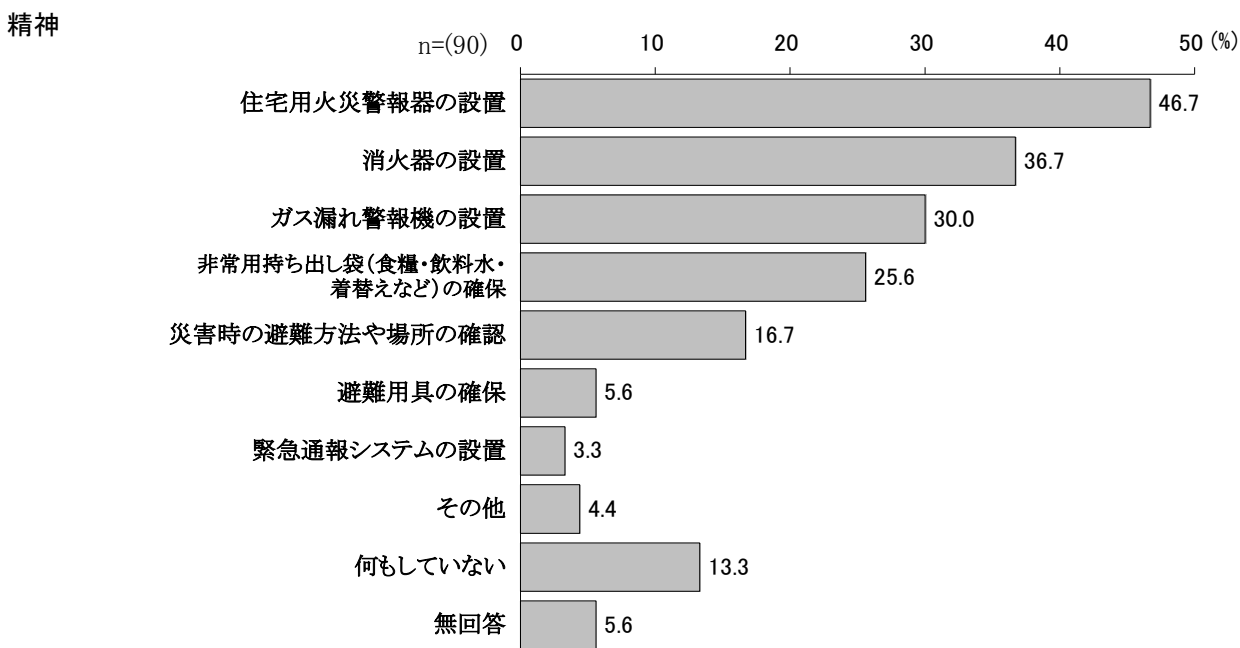
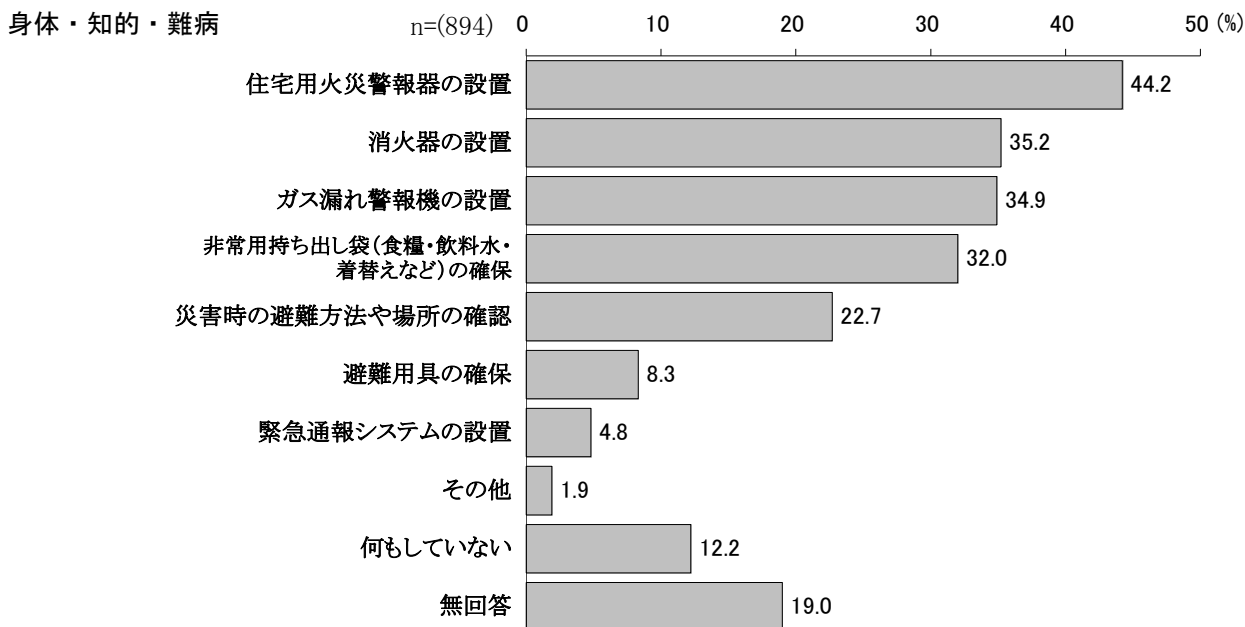
【身体・知的・難病調査のみ】  
 問44-1-2 (問44-1で「2. いない」または「3. どちらともいえない」と答えた方におたずねします。) どのような理由によるものですか。[いくつでも○]



避難時に身近に手助けをしてくれる人がいない、またはどちらともいえない理由は、「日中、家族は仕事などで不在となり、ひとりになることがあるため」が難病患者で5割台前半と特に多く、「近所付き合いがないため」が続いています。「親しい人でも高齢であったり、障害があつたりするため介助が困難」は身体障害者で2割台前半と多くなっています。

(8) 家庭で緊急時の対応策として準備していること

問45 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。[いくつでも○]  
【精神／問51】

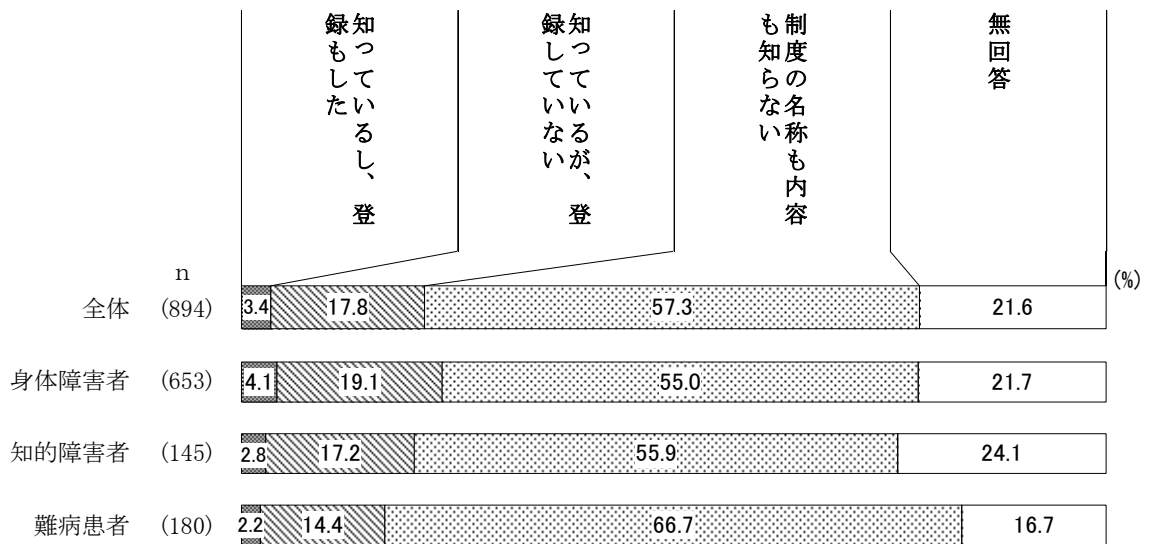


家庭で緊急時の対応策として準備していることは、身体・知的・難病患者、精神障害者とも、「住宅用火災報知器の設置」が4割半ば前後で最も多く、次いで「消火器の設置」「ガス漏れ警報機の設置」「非常用持ち出し袋（食糧・飲料水・着替えなど）の確保」と続いています。

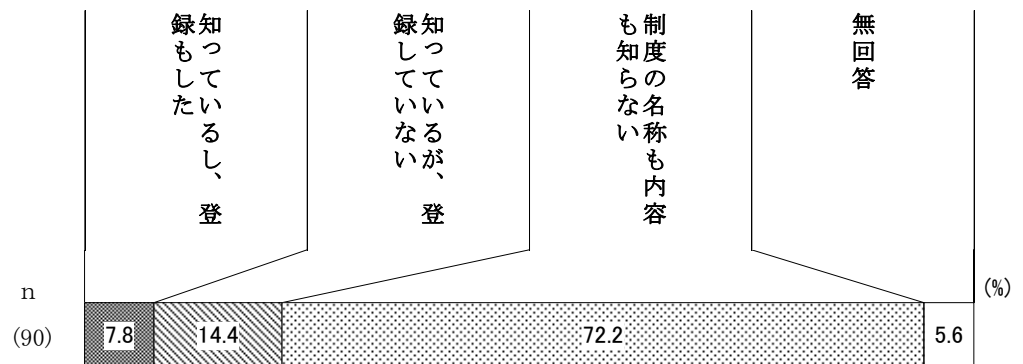
(9) 「災害時要援護者登録制度」の認知及び登録状況

問46 「災害時要援護者登録制度」をご存知ですか。[1つに○] 【精神／問53】

身体・知的・難病



精神

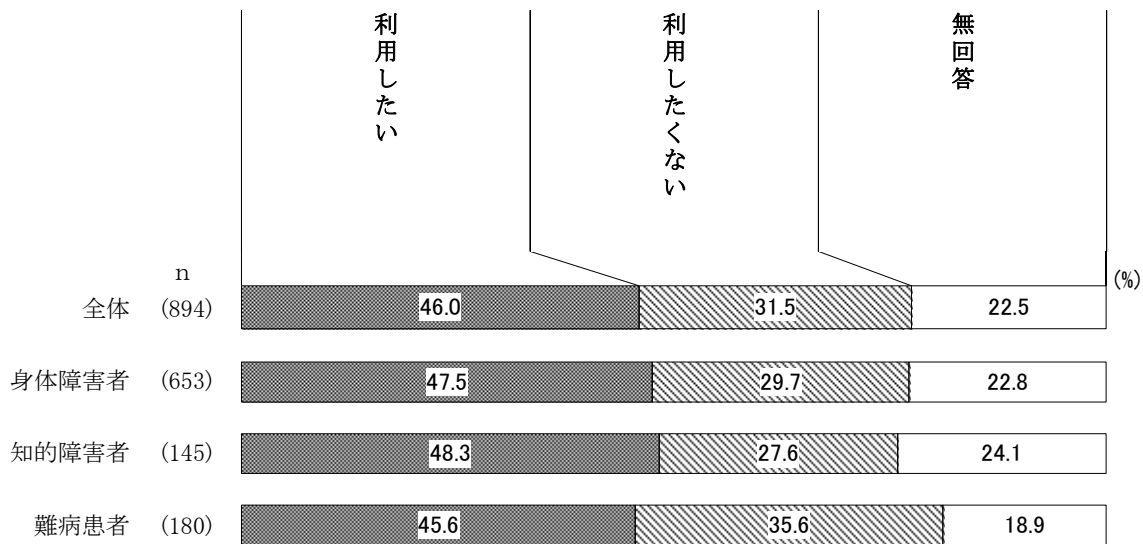


「災害時要援護者登録制度」の認知と登録状況は、「知っているし、登録もした」は身体で4.1%となっています。「知っているが、登録していない」は身体・知的で1割後半となっています。精神障害者では、「制度の名称も内容も知らない」が7割前半で多くなっています。

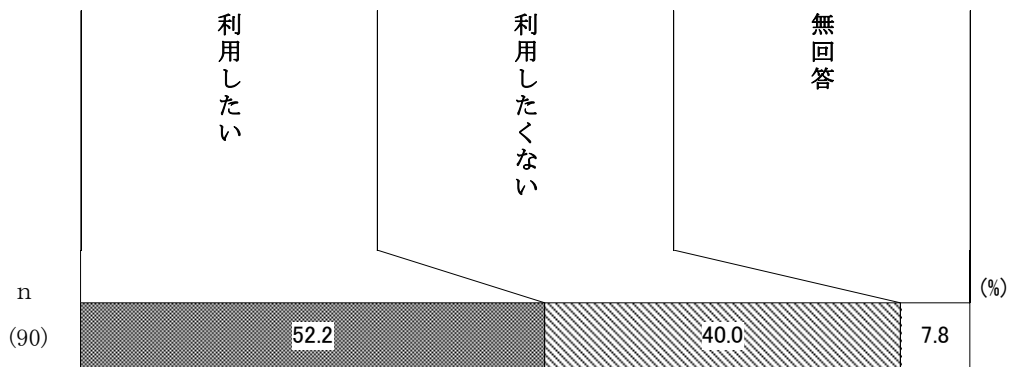
(10) ヘルプカードの利用意向

問47 ヘルプカードを利用したいですか。[1つに〇] 【精神/問54】

身体・知的・難病



精神



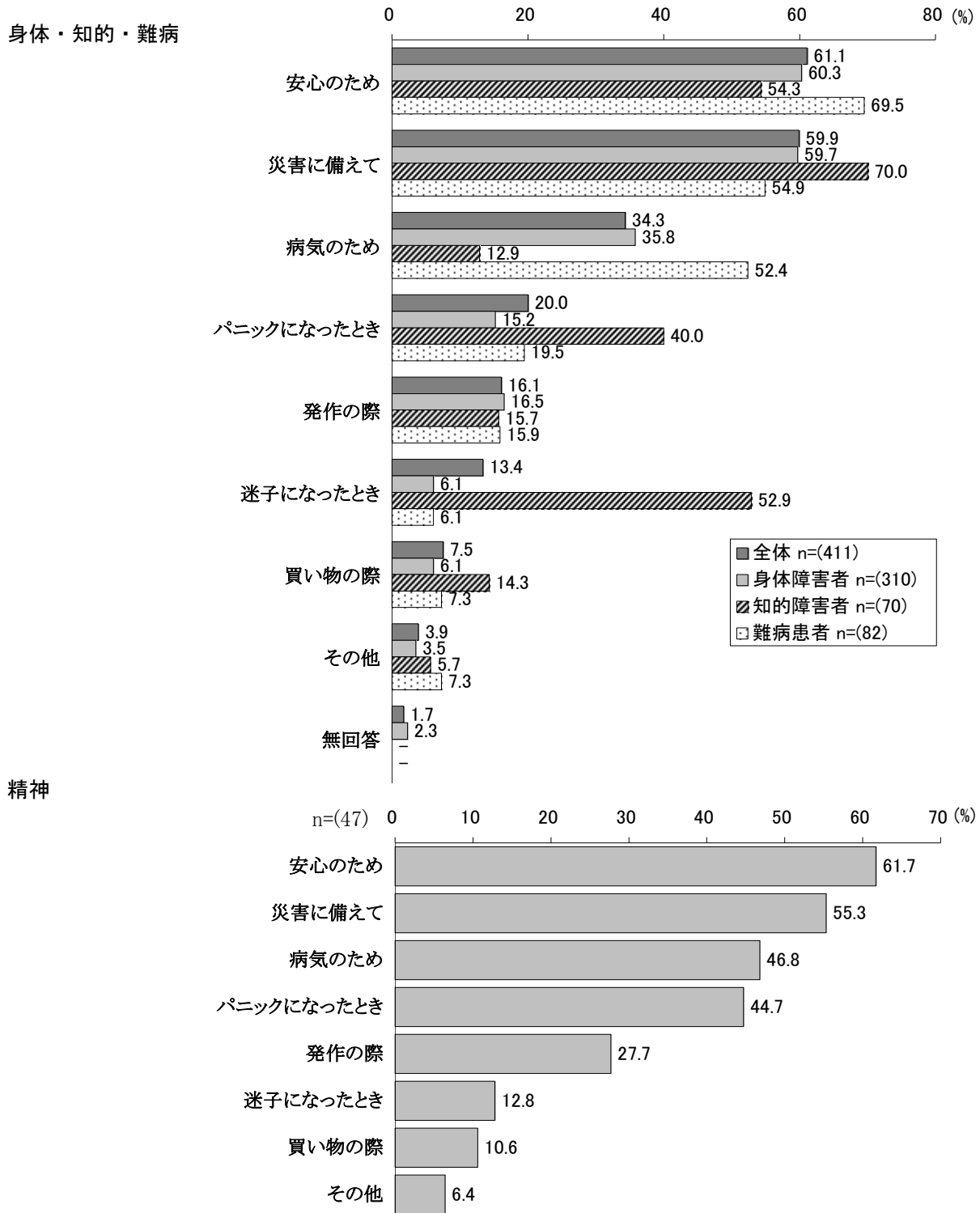
ヘルプカードの利用については、身体・知的・難病患者では、「利用したい」が4割台後半となっています。精神障害者では、「利用したい」が5割台前半、「利用したくない」が4割となっています。



(11) 利用したい理由

問47で「1. 利用したい」と答えた方におたずねします。

問47-1 利用したい理由は次のどれですか。[いくつでも○] 【精神/問54-1】

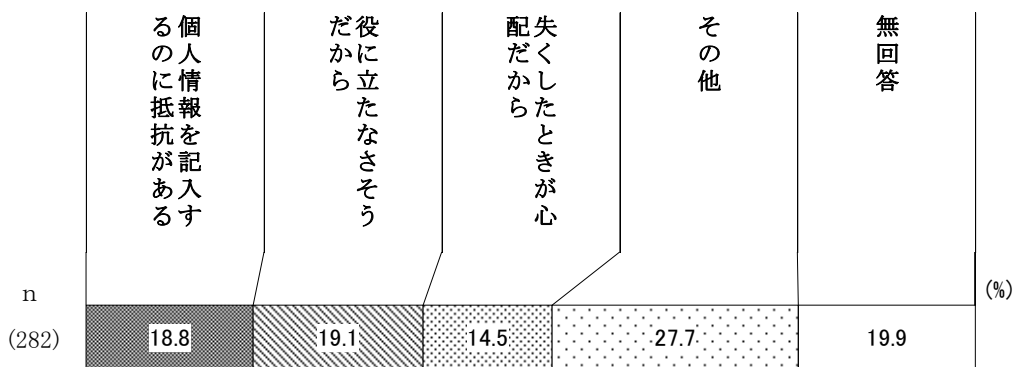


ヘルプカードを利用したい理由は、難病患者で「安心のため」が6割台後半、「病気のため」が5割台前半、知的障害者では「災害に備えて」が7割、「迷子になったとき」が5割台前半、「パニックになったとき」が4割となっています。精神障害者では、「安心のため」が6割台前半、「災害に備えて」「病気のため」「パニックになったとき」と続いています

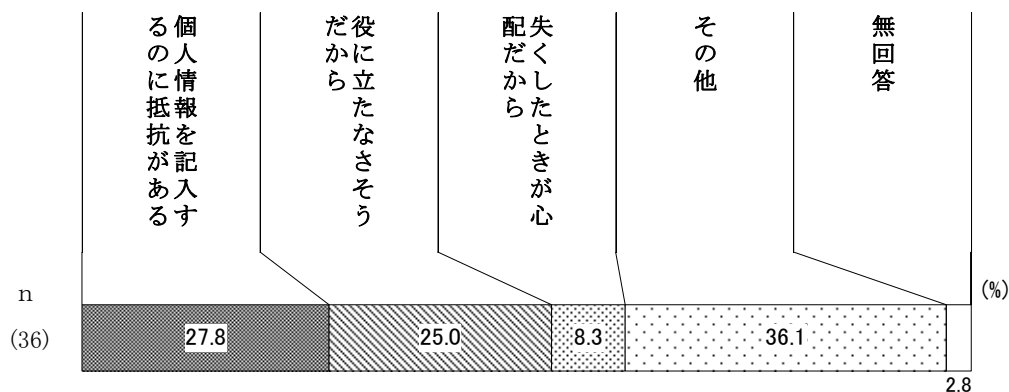
(12) 利用したくない理由

問47で「2. 利用したくない」と答えた方におたずねします。  
 問47-2 利用したくない理由は次のどれですか。[1つに○] 【精神／問54-2】

身体・知的・難病



精神



ヘルプカードを利用したくない理由は、身体・知的・難病患者では「役に立たなさそうだから」が約2割、「個人情報に抵抗がある」が1割台後半、「失くしたときが心配だから」が1割台前半となっています。精神障害者では、「個人情報に抵抗がある」が2割台後半、「役に立たなさそうだから」が2割台半ばとなっています。



福生市 高齢者・障害者生活実態調査  
報告書

平成26年3月

発行 福生市福祉保健部社会福祉課  
〒197-8501  
東京都福生市本町5番地  
TEL : 042-551-1511 (代)